

平成28年度 青葉区区民意識調査

調査結果報告書

—詳細版—

平成28年12月

横浜市青葉区

平成28年度 青葉区区民意識調査

目 次

調査概要	2
I. 回答者の属性	3
II. 調査結果	9
1. お住まいの周辺的生活環境について	9
2. 地域と生活について	38
3. 定住意識について	51
4. 区・市への愛着について	55
5. 青葉区の魅力について	60
6. 防災について	71
7. 子ども・子育て支援について	82
8. 広報について	97
9. 読書推進について	99
10. 社会貢献活動について	104
11. 地域の福祉保健活動について	109
12. 健康について	113
13. 介護予防について	128
14. 区政について	129
調査票	130

青葉区 区民意識調査

調査概要

調査の目的	青葉区にお住まいの皆さまの生活意識や区政に対する満足度、要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的とする。
調査対象	青葉区内在住の16歳以上の男女3,000人（うち外国人60人）
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
調査方法	郵送によるアンケート方式
回答率	42.5%（有効回答者数1,274人）
調査期間	平成28年7月13日～7月29日
設問分野	生活環境、地域活動・地域社会、定住意向、防災、子ども・子育て支援、広報、読書活動、地域福祉、健康等
図表の見方	図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。 n：その設問に対する回答者数

※集計結果の見方

- ・回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回答者数を基本としている（n=1,274）。

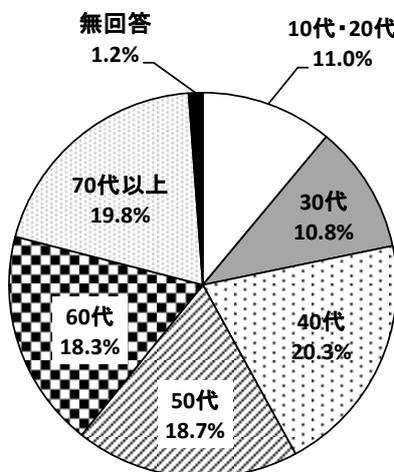
※クロス集計表の見方

- 濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、数値を反転表示している。
- 薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目（区全体の数値と比べて概ね10ポイント以上数値が高い項目）については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

I. 回答者の属性

年齢 (F 1)

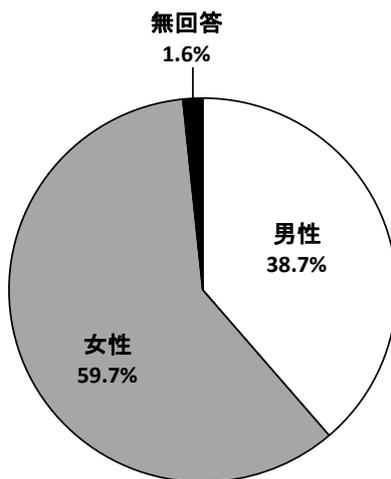
- ・最も多いのは40代の20.3%、次いで70代以上の19.8%である。少ないのは30代の10.8%、10代・20代の11.0%である。



n=1,274

性別 (F 2)

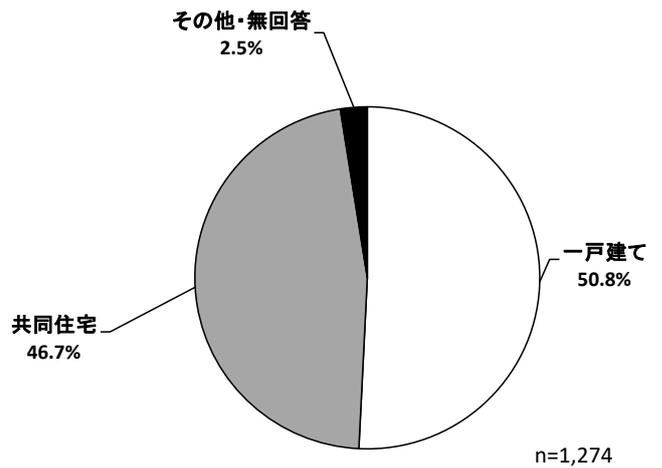
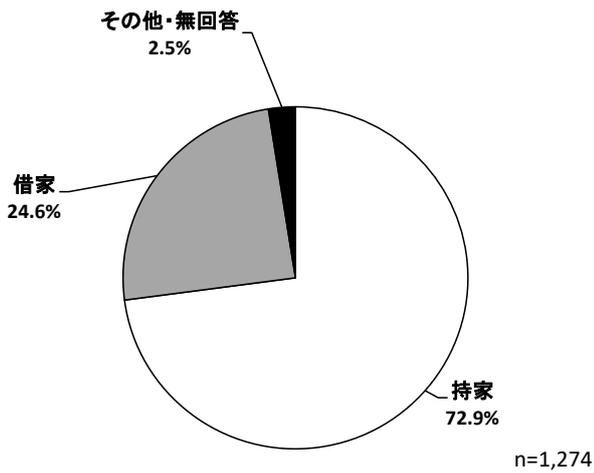
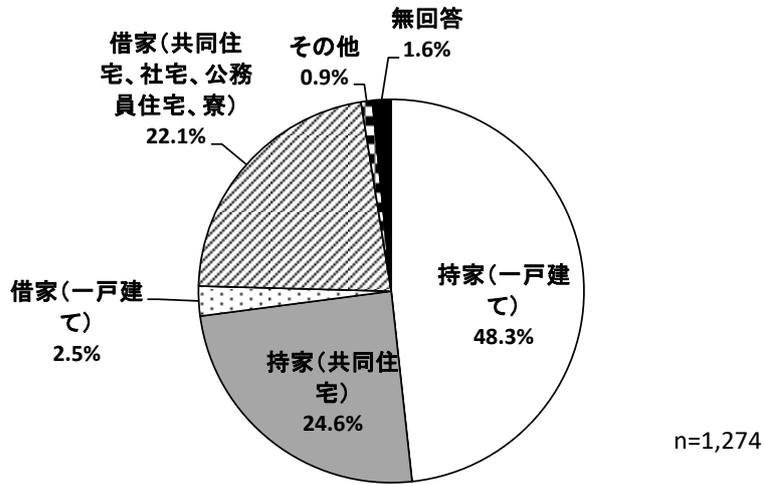
- ・女性が59.7%で、男性の38.7%を21.0ポイント上回っている。



n=1,274

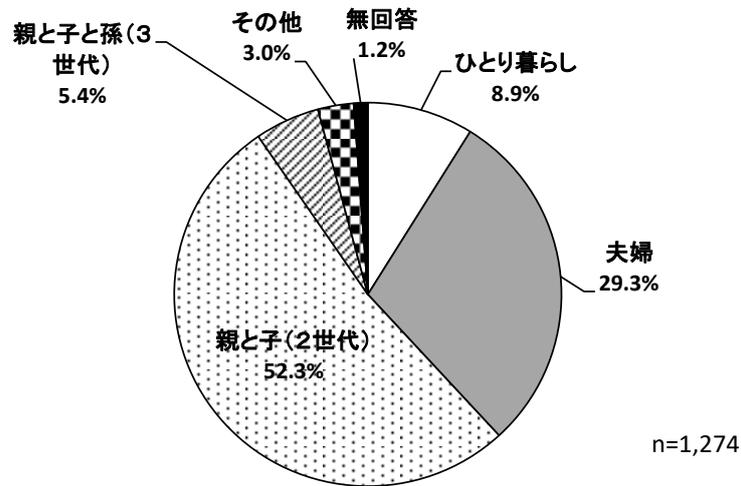
居住形態（F3）

- ・「持家（一戸建て）」が 48.3% で最も多い。次いで「持家（共同住宅）」が 24.6% で、この 2 つを合わせると 72.9% と、持家率は 7 割を超える。以下「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」（22.1%）、「借家（一戸建て）」（2.5%）、「その他」（0.9%）となっている。
- ・「持家（一戸建て）」「借家（一戸建て）」を合わせると 50.8%、「持家（共同住宅）」「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」を合わせると 46.7% で、一戸建てが共同住宅をわずかに上回っている。



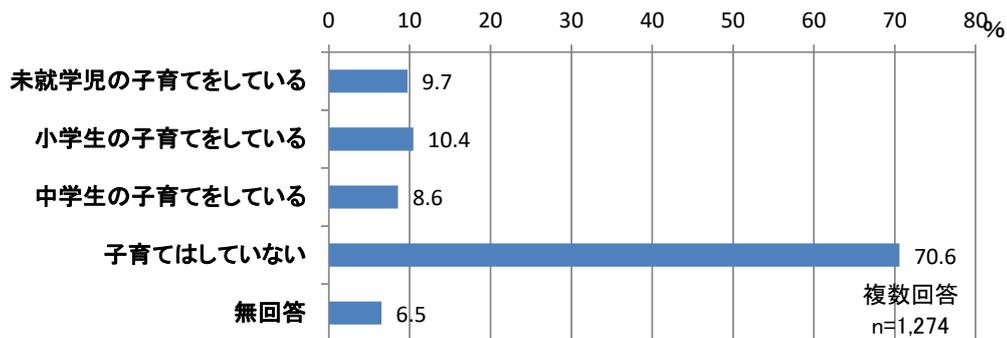
家族構成（F 4）

- ・「親と子（2世代）」が最も多く 52.3%で、全体の半数強を占める。次いで「夫婦」が 29.3%で、全体の約 3 割である。



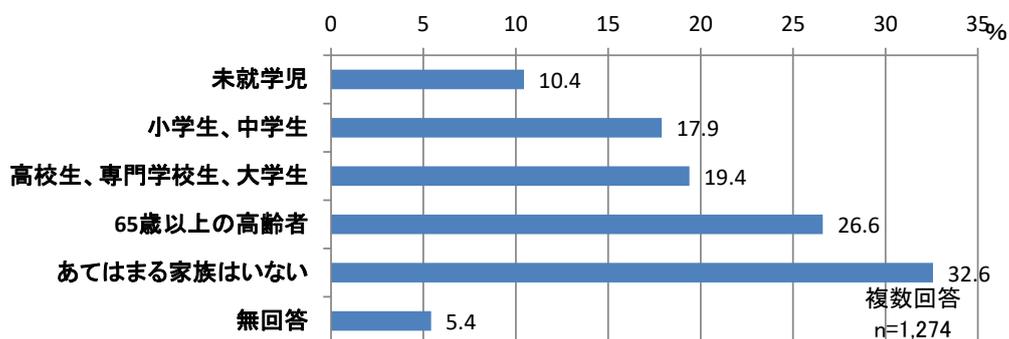
子育ての状況（F 5）

- ・「子育てはしていない」が最多の 70.6%となっているが、これを除くと、最も多いのは「小学生の子育てをしている」（10.4%）、次いで「未就学児の子育てをしている」（9.7%）、「中学生の子育てをしている」（8.6%）が僅差で続く。



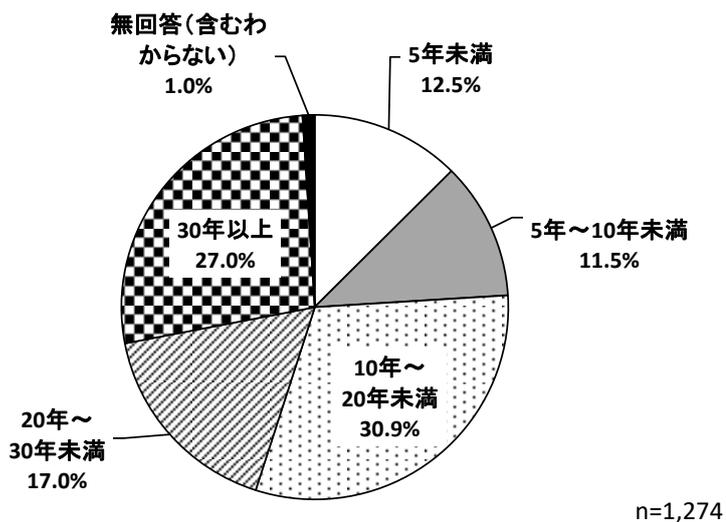
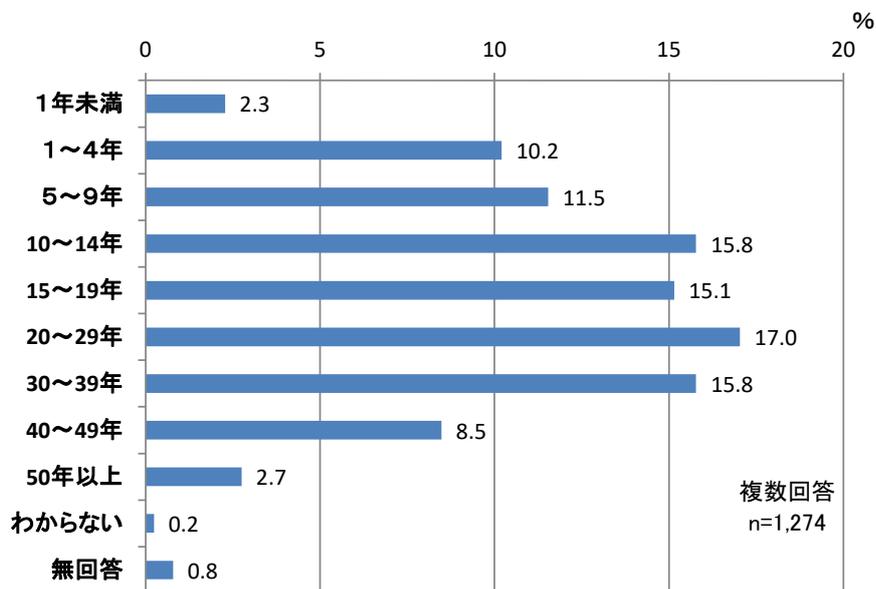
同居家族（F 6）

- ・「あてはまる家族はいない」が最多の 32.6%となっているが、これを除くと、最も多いのは「65歳以上の高齢者」（26.6%）、次いで「高校生、専門学校生、大学生」（19.4%）、「小学生、中学生」（17.9%）、「未就学児」（10.4%）と続く。



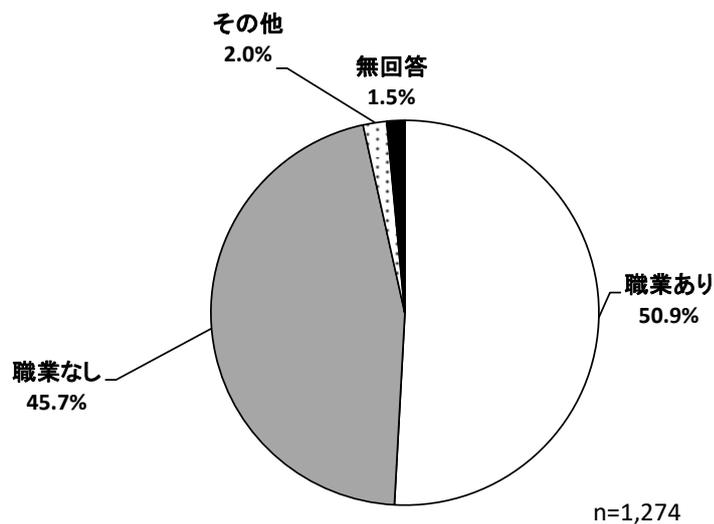
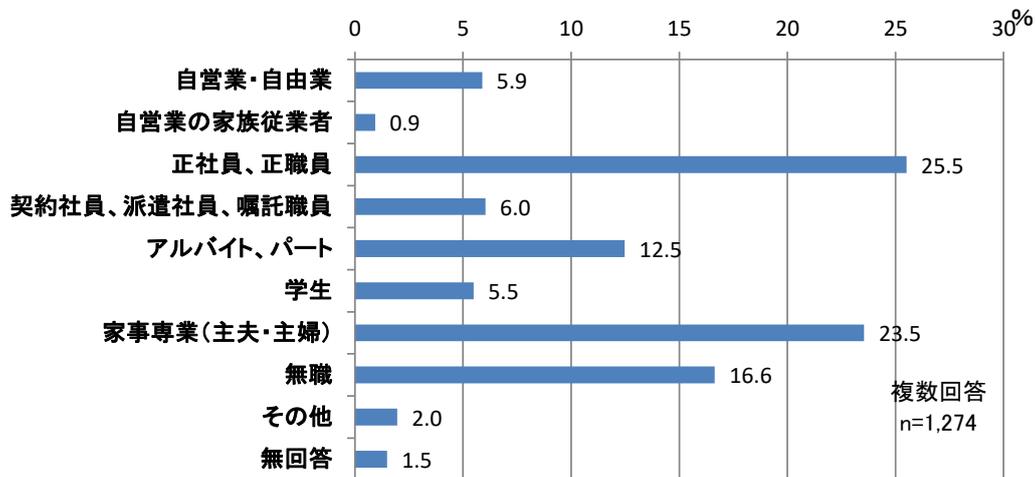
居住期間（F7）

- ・最も多いのは「20～29年」の17.0%、以下「10～14年」「30～39年」（ともに15.8%）、「15～19年」（15.1%）、「5～9年」（11.5%）、「1～4年」（10.2%）などと続く。
- ・5年から10年きざみで括ってみると、「10年～20年未満」が30.9%で最も多く、以下「30年以上」（27.0%）、「20年～30年未満」（17.0%）、「5年未満」（12.5%）、「5年～10年未満」（11.5%）と続く。



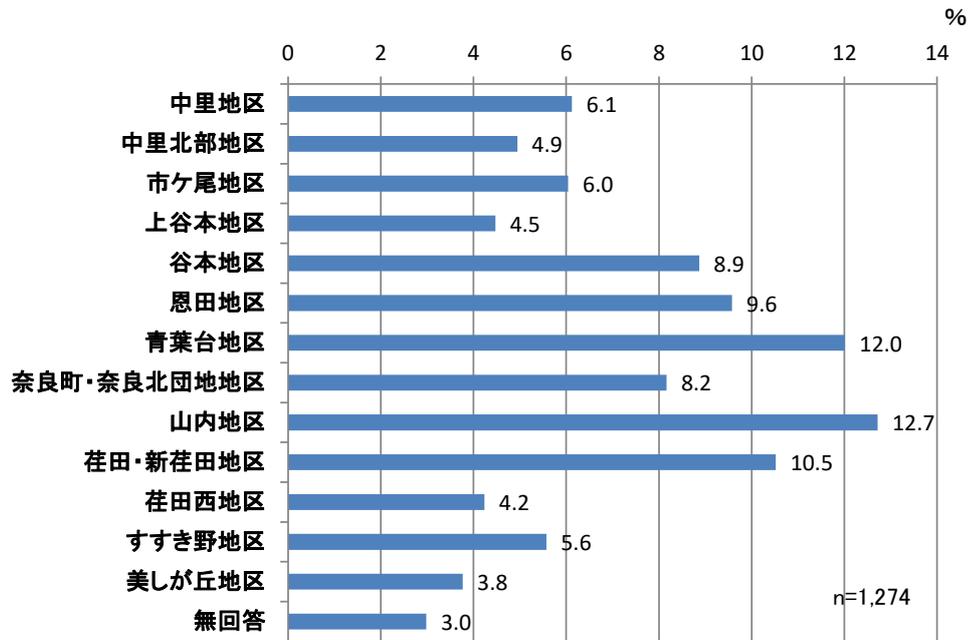
職業（F8）

- ・最も多いのは「正社員、正職員」の25.5%で、全体の約4分の1である。次いで「家事専業（主夫・主婦）」が23.5%、以下「無職」（16.6%）、「アルバイト、パート」（12.5%）、「契約社員、派遣社員、嘱託職員」（6.0%）、「自営業・自由業」（5.9%）、「学生」（5.5%）、「その他」（2.0%）、「自営業の家族従業者」（0.9%）と続く。
- ・職業ありと職業なし（学生・家事専業・無職）の比率を見ると、職業あり（50.9%）が職業なし（45.7%）を5.2ポイント上回っている。



居住地区（F9）

・最も多いのは「山内地区」（12.7%）で、これに「青葉台地区」（12.0%）、「荏田・新荏田地区」（10.5%）が続く。



青葉区地区別エリア図

- | | | |
|--------|---------|----------|
| ①中里地区 | ②中里北部地区 | ③市ヶ尾地区 |
| ④上谷本地区 | ⑤谷本地区 | ⑥恩田地区 |
| ⑦青葉台地区 | ⑧奈良町地区 | ⑨奈良北団地地区 |
| ⑩山内地区 | ⑪荏田地区 | ⑫荏田西地区 |
| ⑬新荏田地区 | ⑭すずき野地区 | ⑮美しが丘地区 |

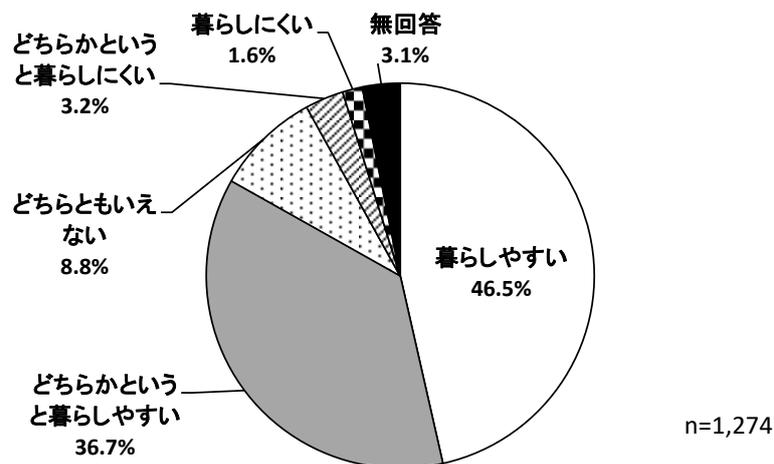


Ⅱ. 調査結果

1. お住まいの周辺の生活環境について

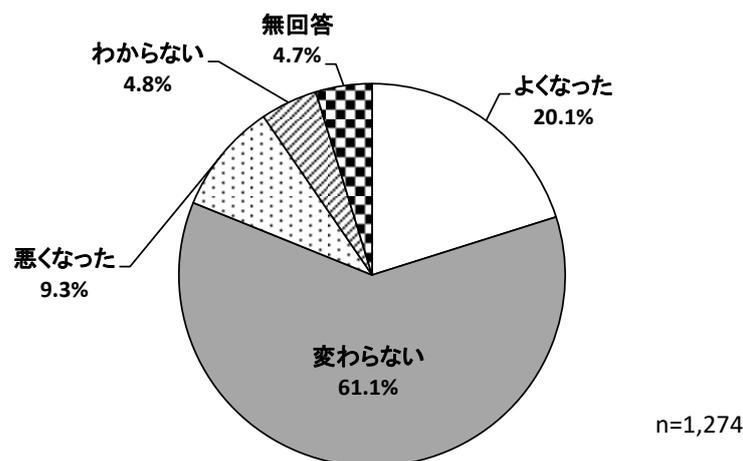
問1 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。(○は1つだけ)

- ・最も多いのは「暮らしやすい」(46.5%)で半数近くを占める。「どちらかという暮らしやすい」(36.7%)を加えると83.2%で、8割以上が暮らしやすいと感じている。



問2 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境が以前(概ね5年前、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。(○は1つだけ)

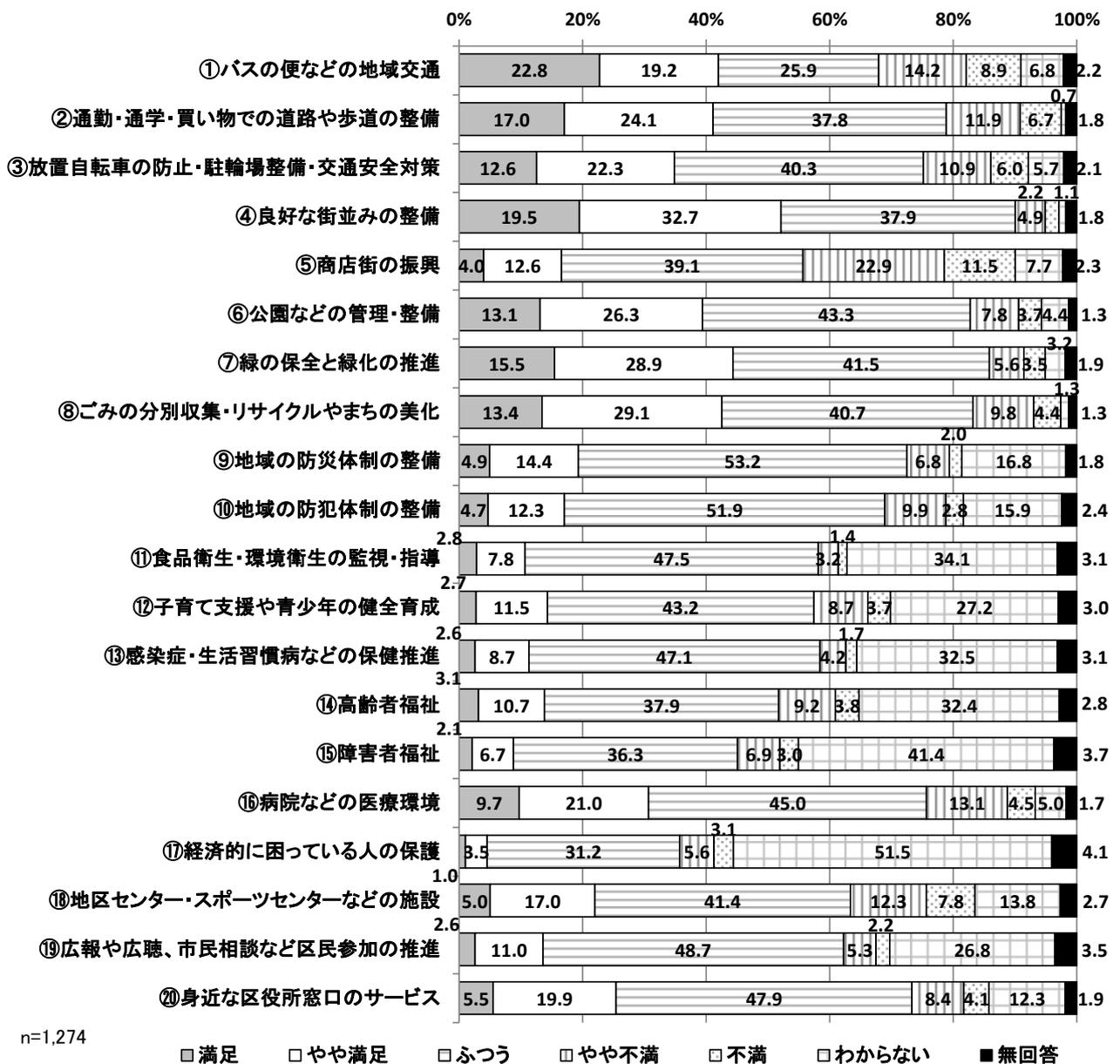
- ・最も多いのは「変わらない」(61.1%)で、6割強を占める。「よくなった」が20.1%で全体の約2割、「悪くなった」は9.3%で1割弱となっている。「わからない」は4.8%である。



問3 あなたは現在のお住まいの周辺的生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(概ね5年前、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。(項目ごとに“満足度”、“以前と比べて“からそれぞれに○は1つ)

<満足度>

- ・「⑮障害者福祉」「⑰経済的に困っている人の保護」では「わからない」が最も多く、それ以外の項目は「ふつう」が最多となっている。
- ・「満足」「やや満足」を合わせた数値の上位項目は、「④良好な街並みの整備」「⑦緑の保全と緑化の推進」「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「①バスの便などの地域交通」「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」で、これら5項目のみ「満足」「やや満足」を合わせた数値が4割を超えている。

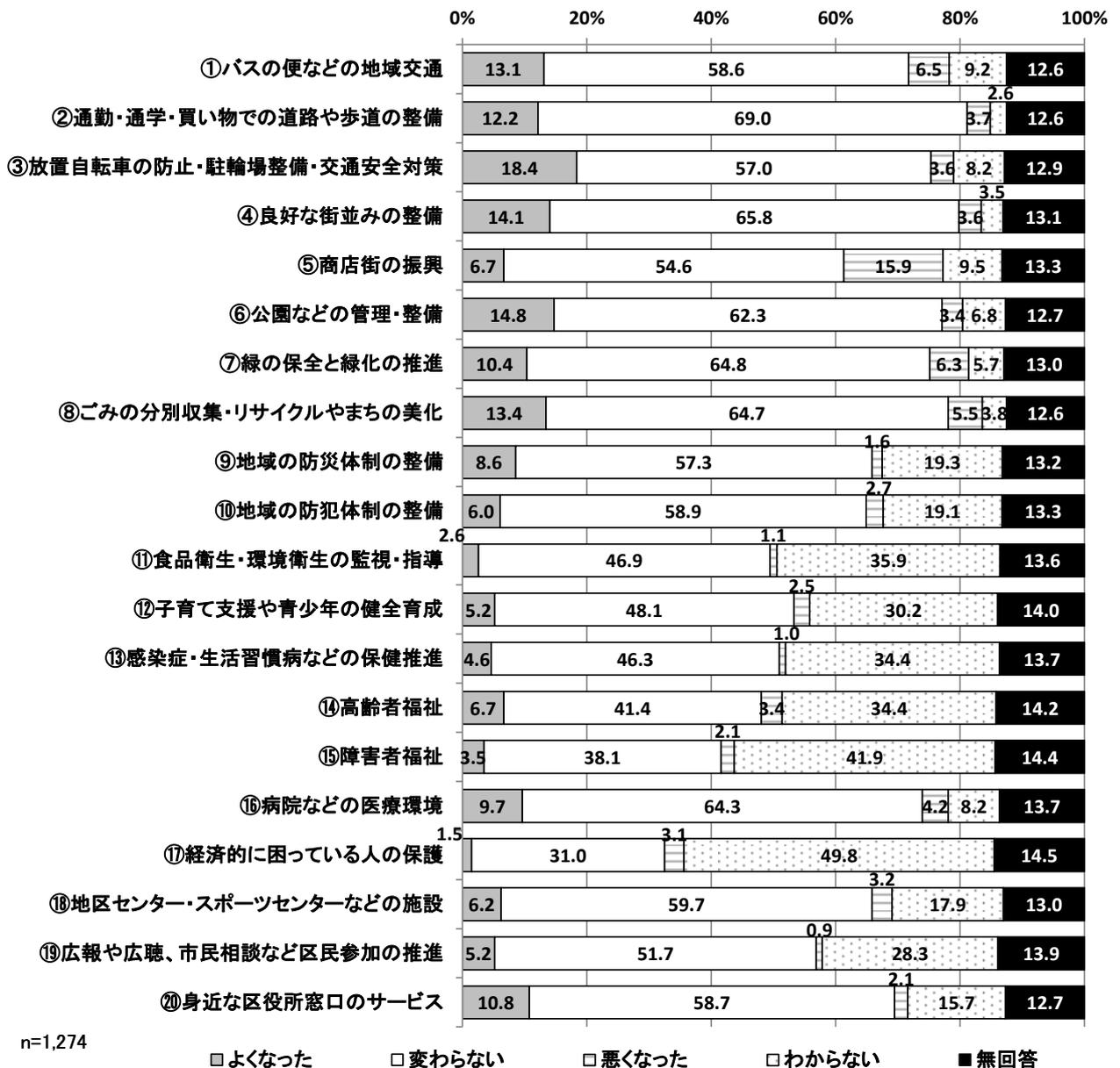


n=1,274

□満足 □やや満足 □ふつう □やや不満 □不満 □わからない ■無回答

< 以前との比較 >

- ・ 以前との比較については、「⑮障害者福祉」「⑰経済的に困っている人の保護」のみ「わからない」、それ以外は「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 「よくなった」の数値が最も高いのは「③放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策」で、以下「⑥公園などの管理・整備」「④良好な街並みの整備」「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「①バスの便などの地域交通」が上位5項目である。
- ・ 「悪くなった」の数値が最も高いのは「⑤商店街の振興」で、これのみ「悪くなった」が1割以上である。



■ 『満足度』と『以前と比べた変化』の関係

『満足度』『以前と比べた変化』について結果を点数化（※）し、両者の関係をみると、『満足度』では、「商店街振興」（設問項目を省略表記＜次ページ表＞参照-以下同様）、「保護」「障害者」「公共施設」を除いて全ての項目が「満足」側にあり、『以前と比べた変化』では「商店街振興」と「保護」を除いて「よくなった」側に位置している。全体として、青葉区の生活環境の評価は高い。

※満足度---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「満足」2点、「やや満足」1点、「ふつう」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を付与して合計して算出

※以前と比べた変化---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「よくなった」1点、「かわらない」0点、「悪くなった」-1点を付与して合計して算出

回答状況を分野（※）ごとにみると、“みどり”に関わる分野の「街並み」「公園」は、いずれも『満足度』、『以前と比べた変化』ともに高かった。「緑化」については、『満足度』は高いものの、『以前と比べた変化』はやや低くなっている。

“安全”では、「交通安全」が「よくなった」割合が全項目中最も高い。「防災体制」「防犯体制」については、「交通安全」と比較すると『満足度』、『以前と比べた変化』ともに低くなっている。

“利便”では、「道路整備」「地域交通」ともに“みどり”に次いで満足度が高くなっている。

“衛生”では、「ごみ」は『満足度』『以前と比べた変化』ともに高かったが、「環境衛生」は『満足度』『以前と比べた変化』ともに低い。

“産業”では「商店街振興」が『満足度』『以前と比べた変化』ともに極めて低い。

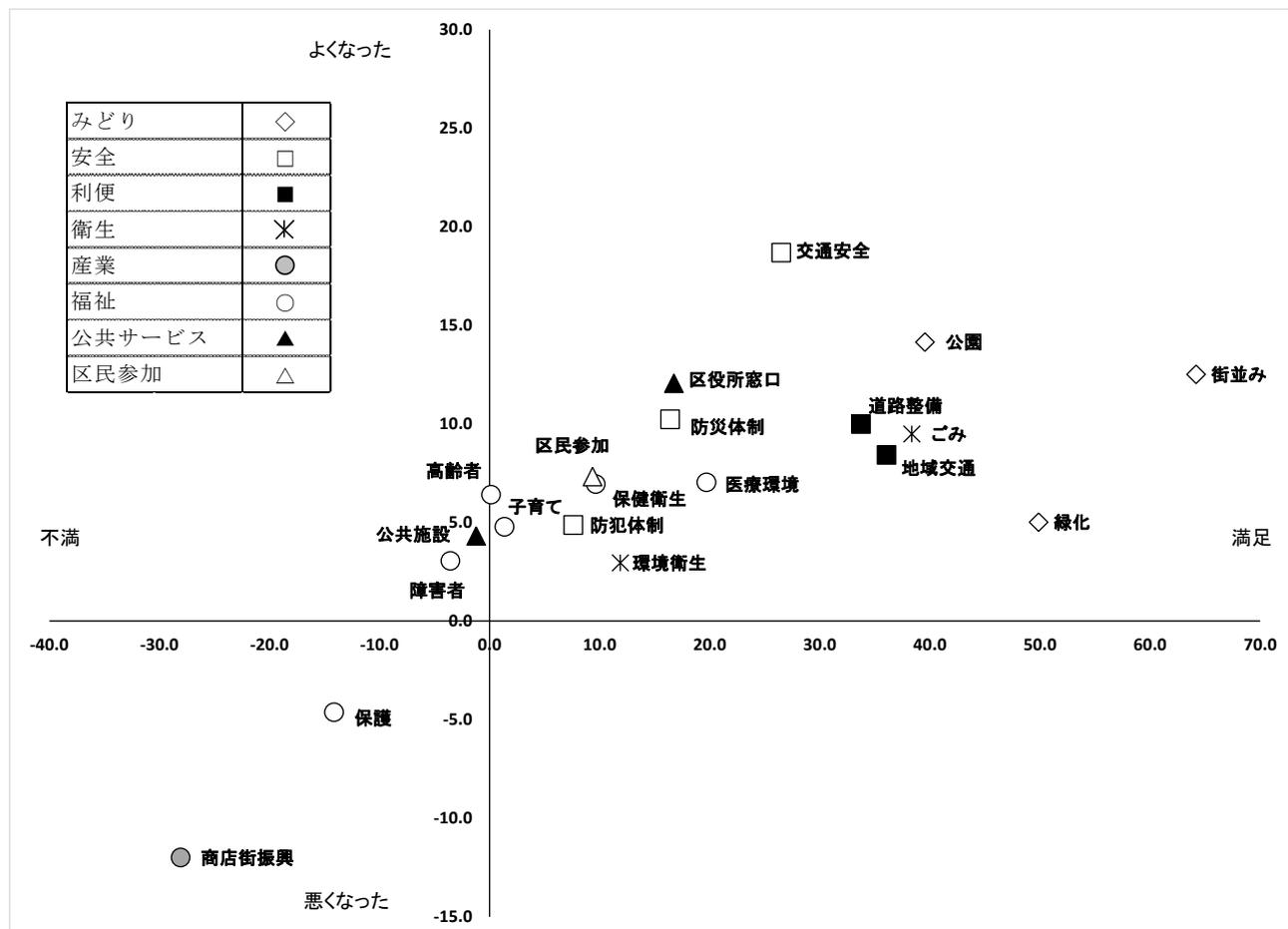
“福祉”では、『満足度』では「医療環境」「保健衛生」「子育て」「高齢者」「障害者」「保護」の順に低くなっており、『以前と比べた変化』では「医療環境」「保健衛生」「高齢者」「子育て」「障害者」「保護」の順に低くなっており、「障害者」「保護」は『不満』側に位置している。

“公共サービス”では、「区役所窓口」では『以前と比べた変化』が比較的高くなっているが、「公共施設」では『満足度』『以前と比べた変化』ともにやや低く、「公共施設」の『満足度』は『不満』側に位置している。

“区民参加”では、『満足度』『以前と比べた変化』ともにやや低い。

※分野---項目の共通性を考慮し、「みどり」「安全」「利便」「衛生」「産業」「福祉」「公共サービス」「区民参加」8つの分野に分類した。

『満足度』と『以前と比べた変化』の関係



設問項目	省略表記	分野
①バスの便などの地域交通	地域交通	利便
②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備	道路整備	利便
③放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	交通安全	安全
④良好な街並みの整備	街並み	みどり
⑤商店街の振興	商店街振興	産業
⑥公園などの管理・整備	公園	みどり
⑦緑の保全と緑化の推進	緑化	みどり
⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	ごみ	衛生
⑨地域の防災体制の整備	防災体制	安全
⑩地域の防犯体制の整備	防犯体制	安全
⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導	環境衛生	衛生
⑫子育て支援や青少年の健全育成	子育て	福祉
⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	保健衛生	福祉
⑭高齢者福祉	高齢者	福祉
⑮障害者福祉	障害者	福祉
⑯病院などの医療環境	医療環境	福祉
⑰経済的に困っている人の保護	保護	福祉
⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	公共施設	公共サービス
⑲広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	区民参加	区民参加
⑳身近な区役所窓口のサービス	区役所窓口	公共サービス

■ 年齢・居住地区別 満足度、以前との比較(問3×F1, 9)

① バスの便などの地域交通

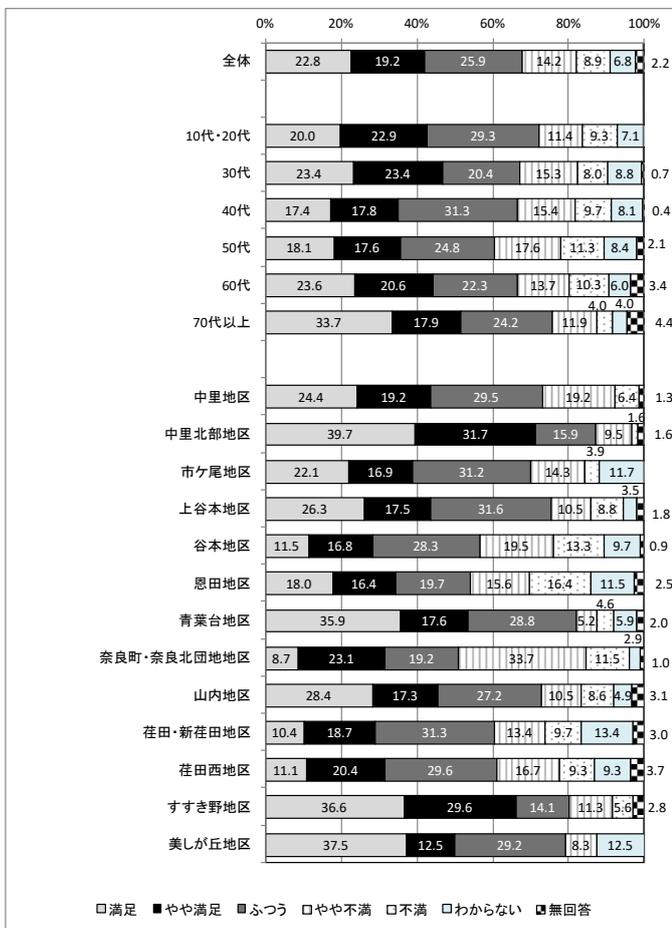
<満足度>

- ・年齢別では、60代、70代以上で「満足」、30代では「やや満足」「満足」が同率、それ以外では「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、中里北部地区、青葉台地区、山内地区、すすき野地区、美しが丘地区で「満足」、奈良町・奈良北団地地区では「やや不満」、それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を足した数値は中里北部地区、青葉台地区、すすき野地区で、「やや不満」「不満」を足した数値は奈良町・奈良北団地地区で、それぞれ区全体よりも10ポイント以上高い。

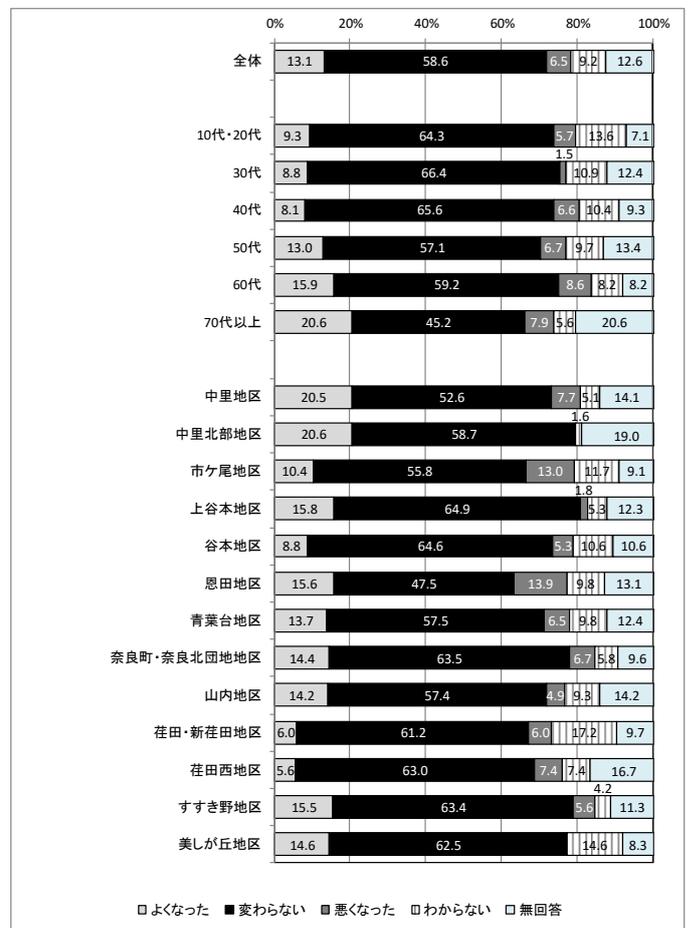
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



② 通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備

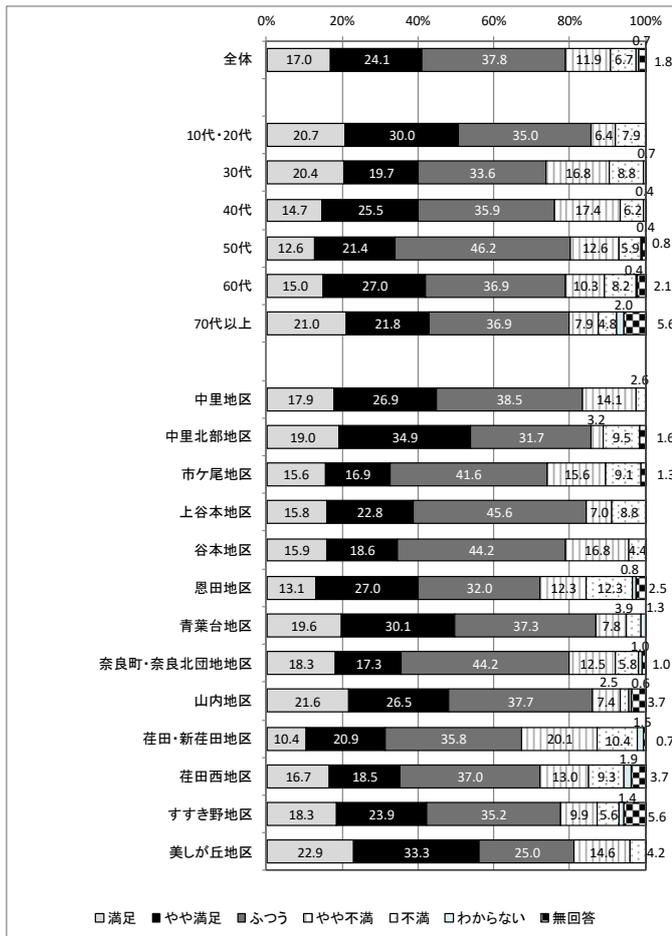
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、中里北部地区、美しが丘地区では「やや満足」、それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を足した数値は中里北部地区、美しが丘地区で、「やや不満」「不満」を足した数値は荇田・新荇田地区で、それぞれ区全体よりも10ポイント以上高い。

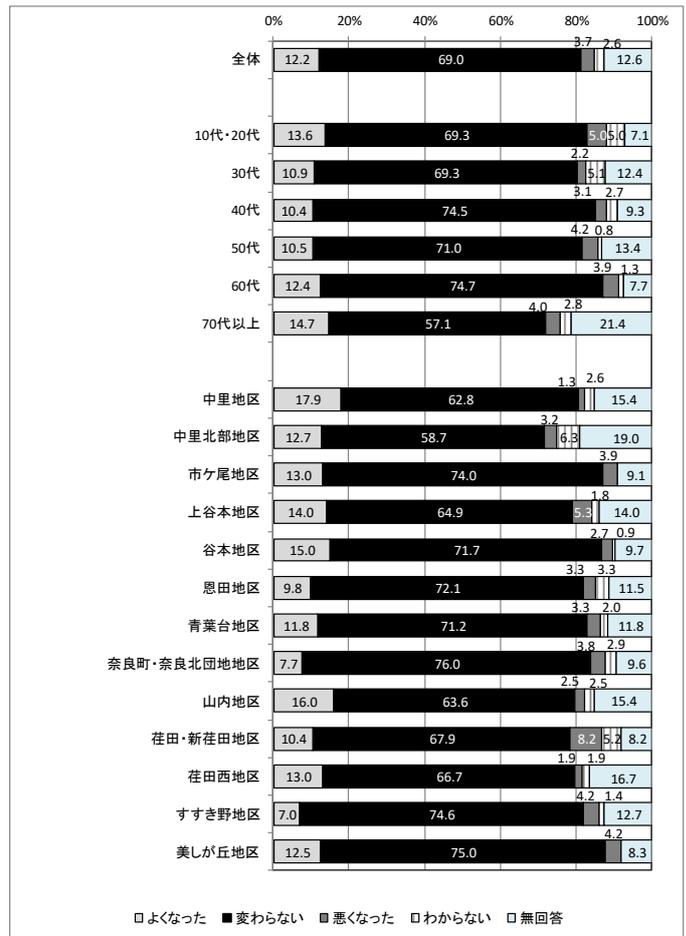
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



③ 放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策

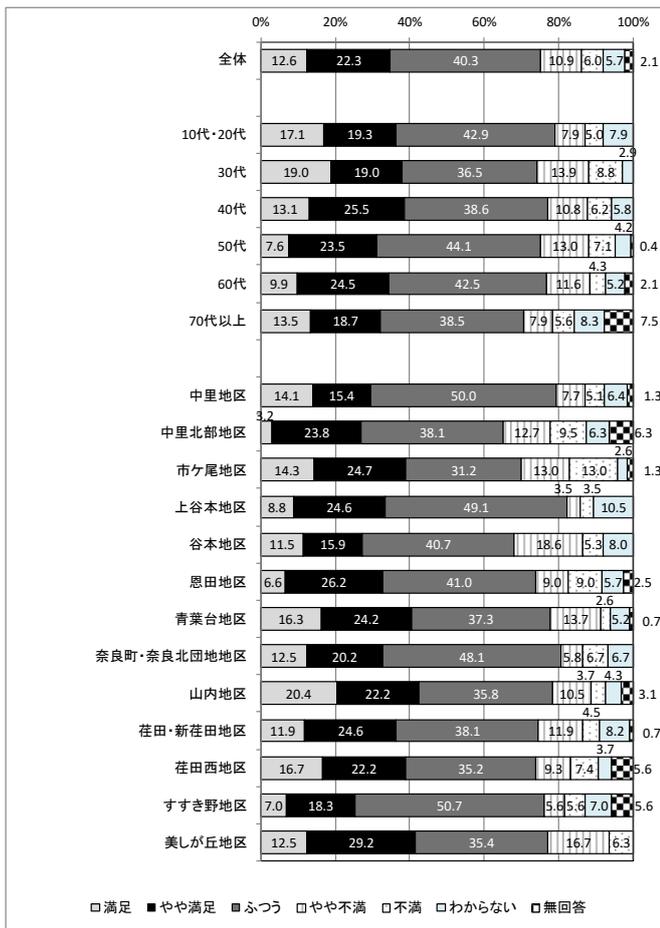
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

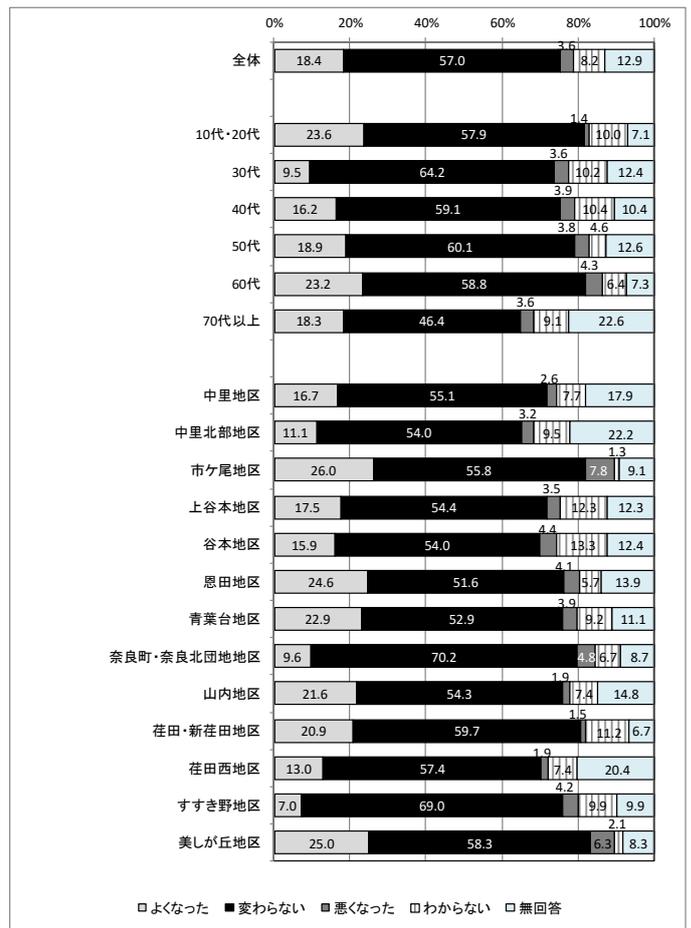
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。奈良町・奈良北団地地区とすすき野地区では「変わらない」の数値が区全体の数値よりも 10 ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



④ 良好な街並みの整備

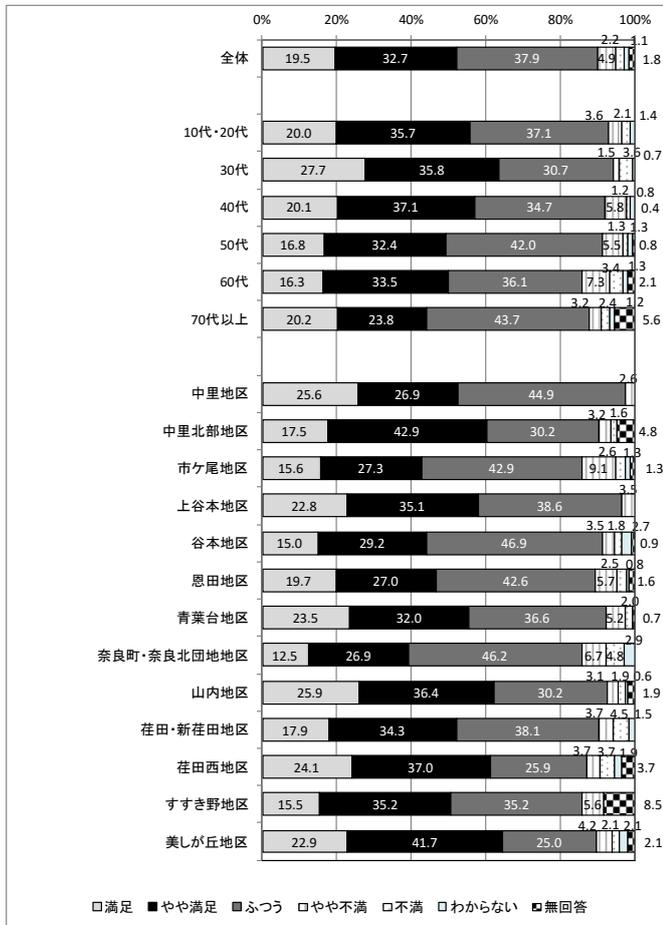
<満足度>

- ・年齢別では、30代、40代では「やや満足」、それ以外の年代では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は30代で区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、中里北部地区、山内地区、荏田西地区、美しが丘地区では「やや満足」、すすき野地区では「やや満足」と「ふつう」、それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は山内地区、美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

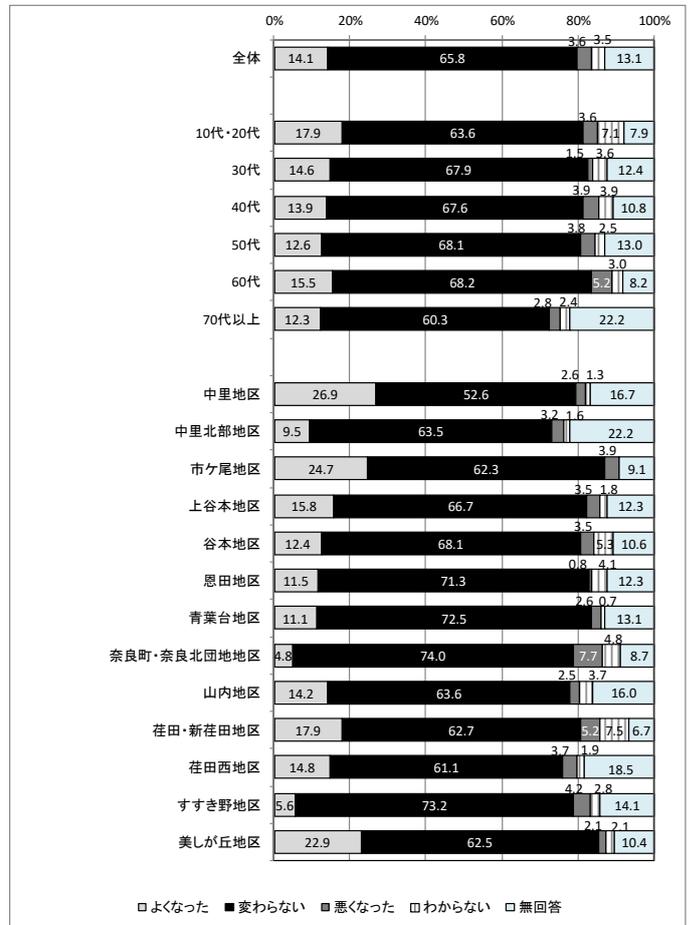
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、中里地区と市ヶ尾地区では「よくなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑤ 商店街の振興

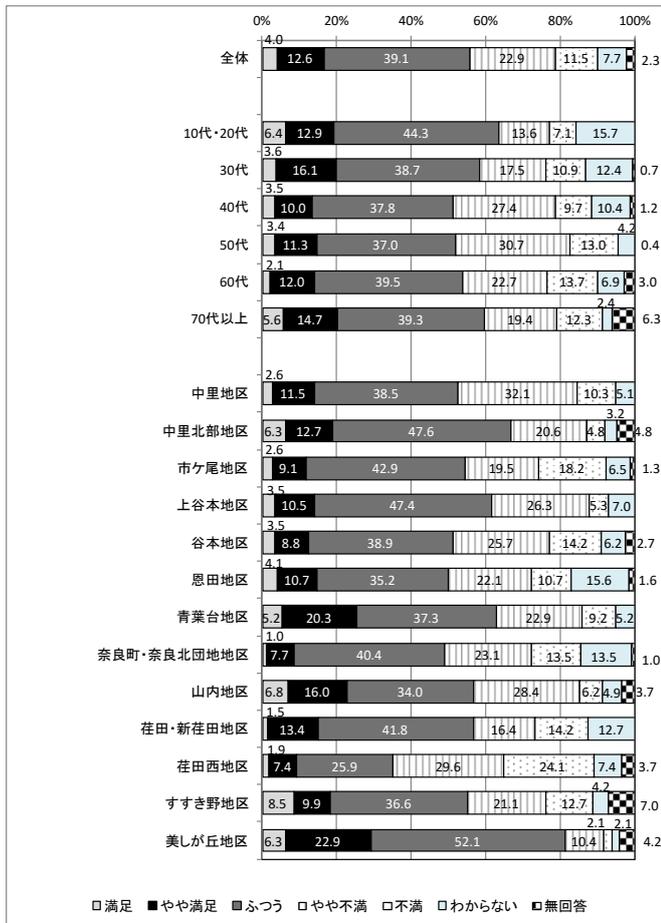
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、荇田西地区のみ「やや不満」が最も多く、その他の地区では「ふつう」が最も多い。また「満足」と「やや満足」を合わせた数値は美しが丘地区で、「やや不満」と「不満」を合わせた数値は荇田西地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

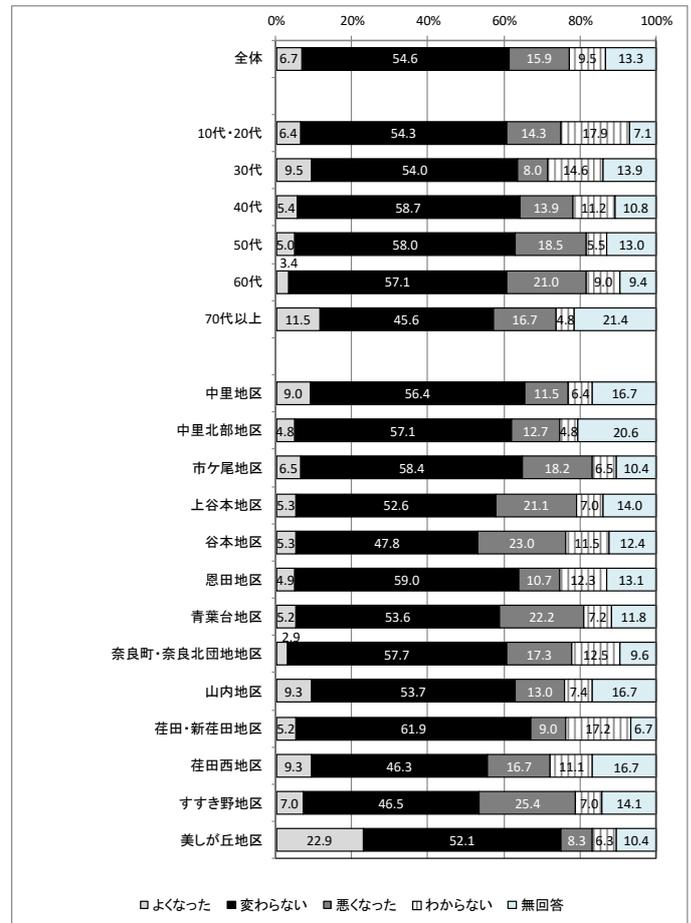
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、美しが丘地区では「よくなった」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑥ 公園などの管理・整備

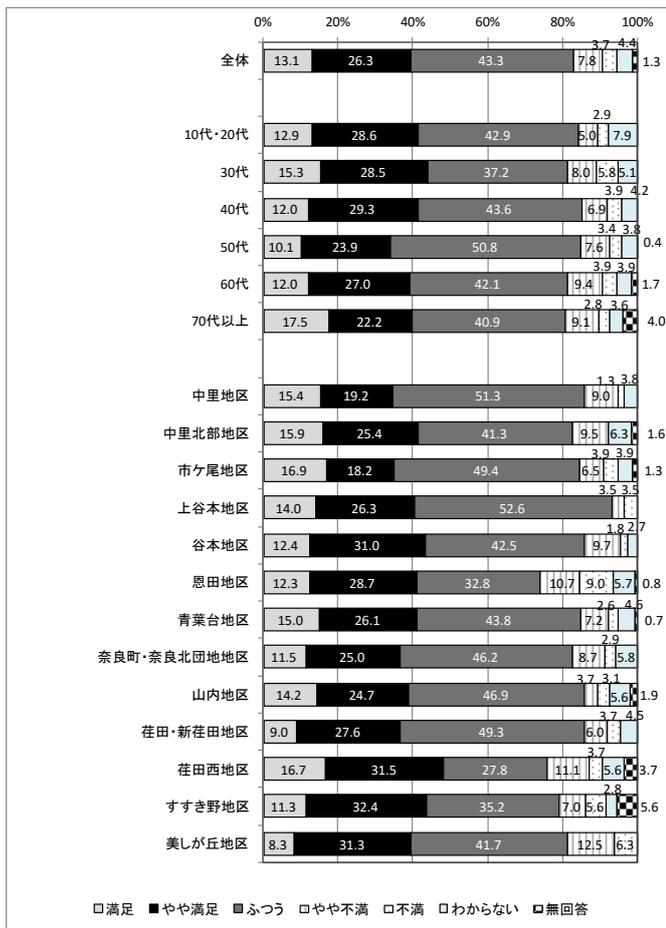
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、荇田西地区で「やや満足」、その他の地区では「ふつう」が最も多い。

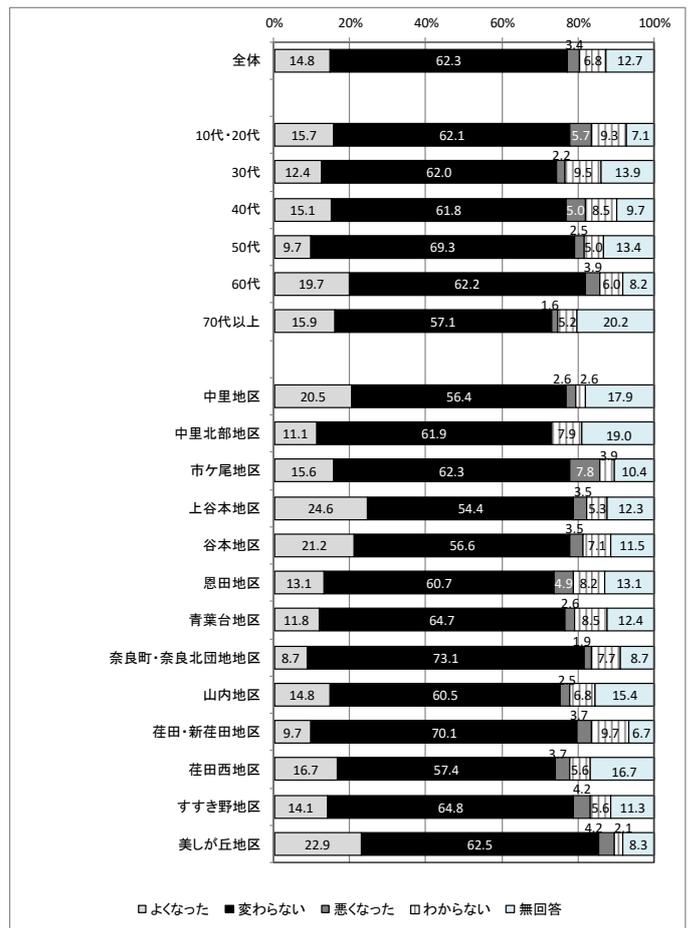
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、奈良町・奈良北団地地区で「変わらない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑦ 緑の保全と緑化の推進

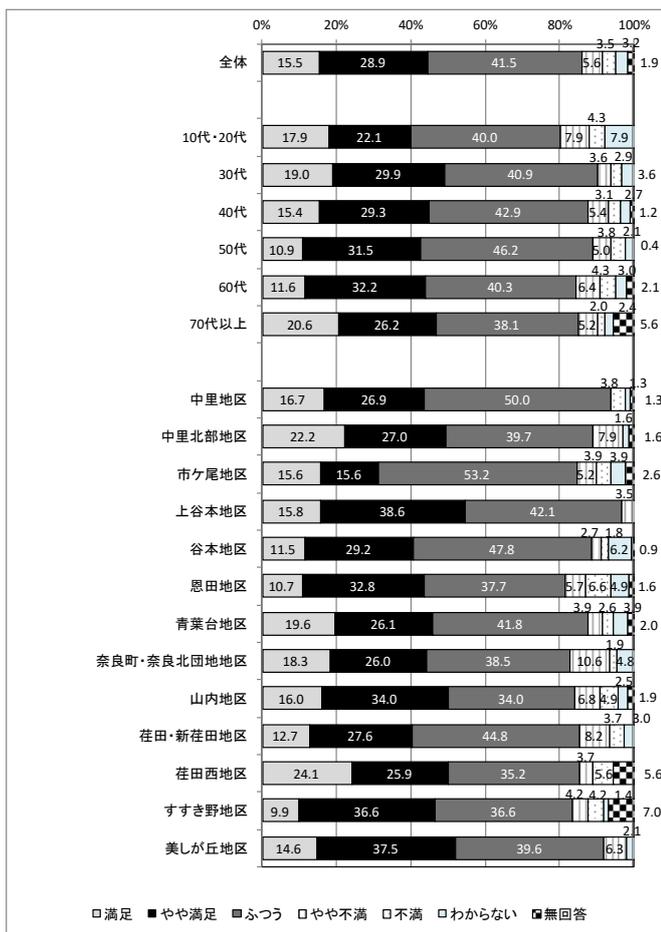
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、山内地区とすすき野地区で「やや満足」と「ふつう」が同率、その他の地区では「ふつう」が最も多い。「満足」と「やや満足」を合わせた数値は上谷本地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

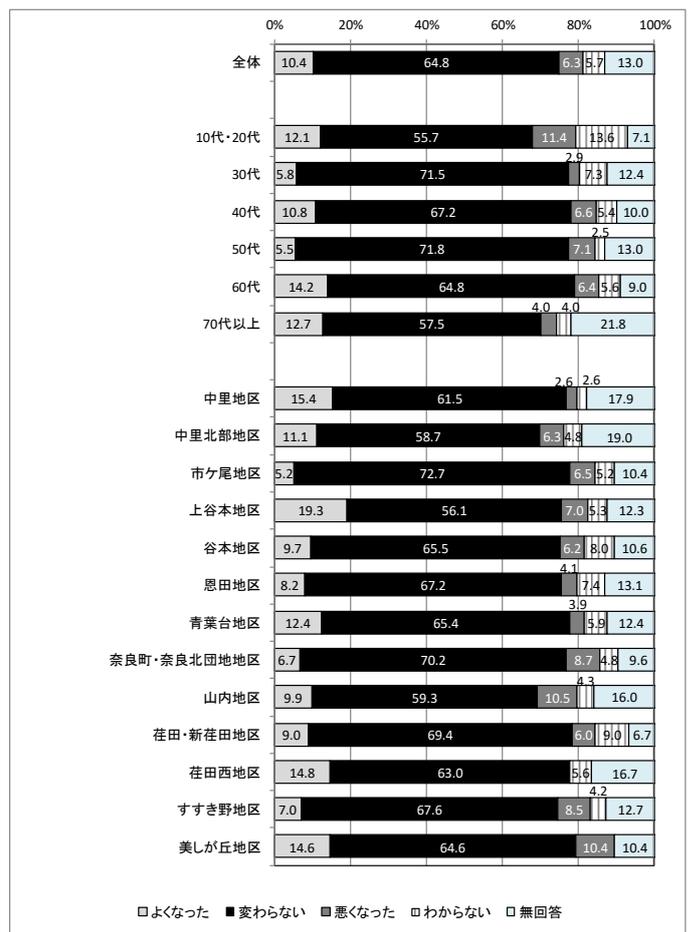
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化

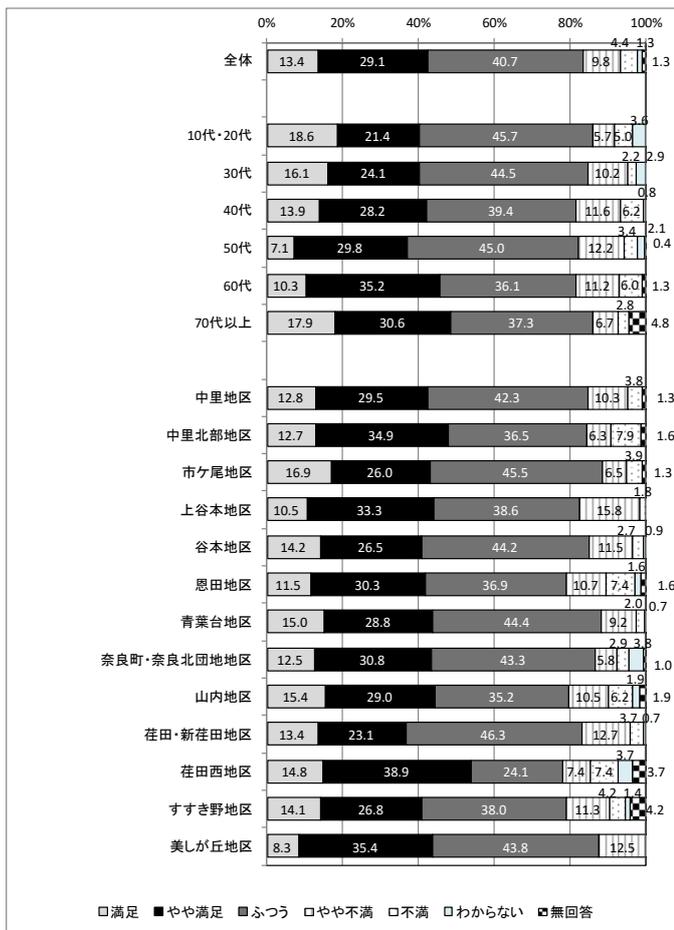
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、荇田西地区で「やや満足」、その他の地区では「ふつう」が最も多い。また「満足」と「やや満足」を合わせた数値は荇田西地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

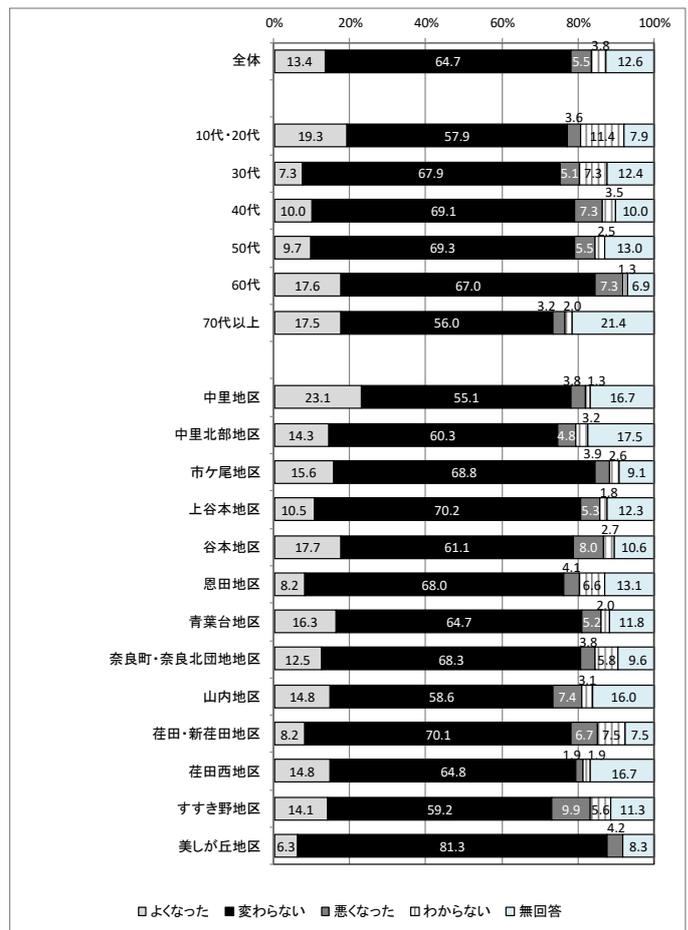
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、美しが丘地区で「変わらない」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑨ 地域の防災体制の整備

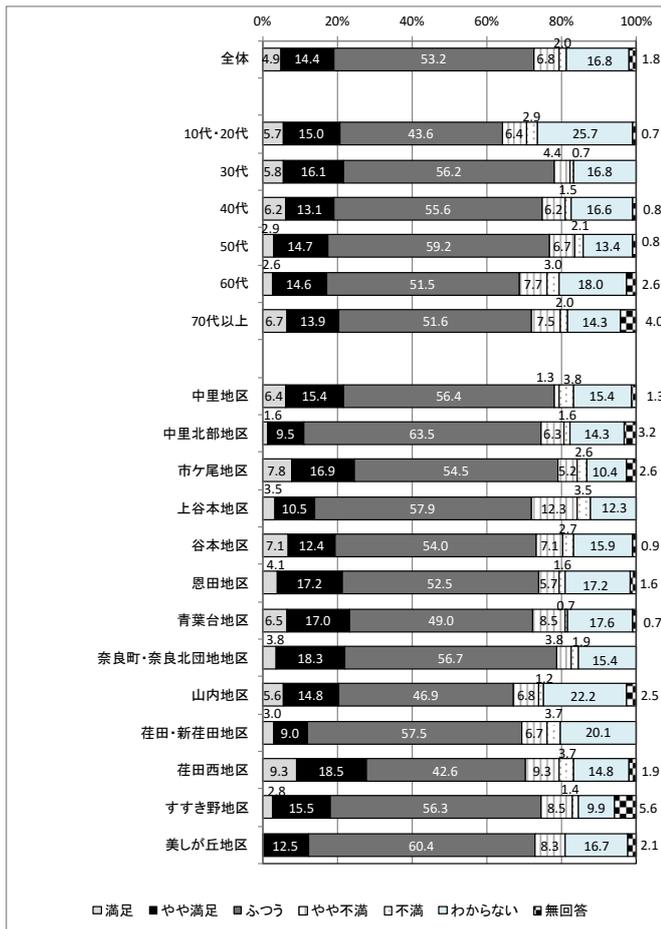
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

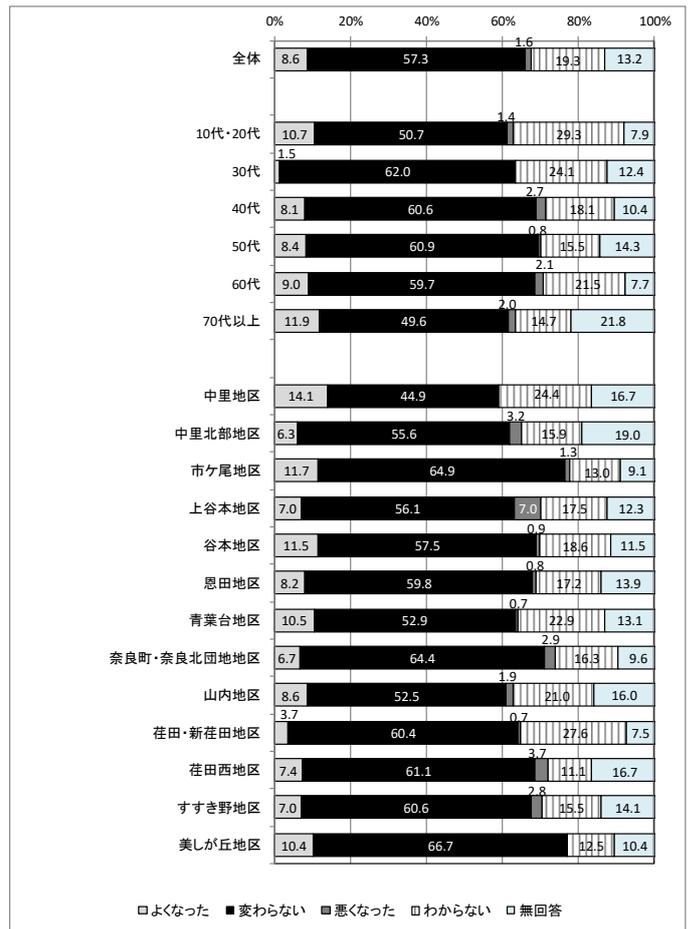
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑩ 地域の防犯体制の整備

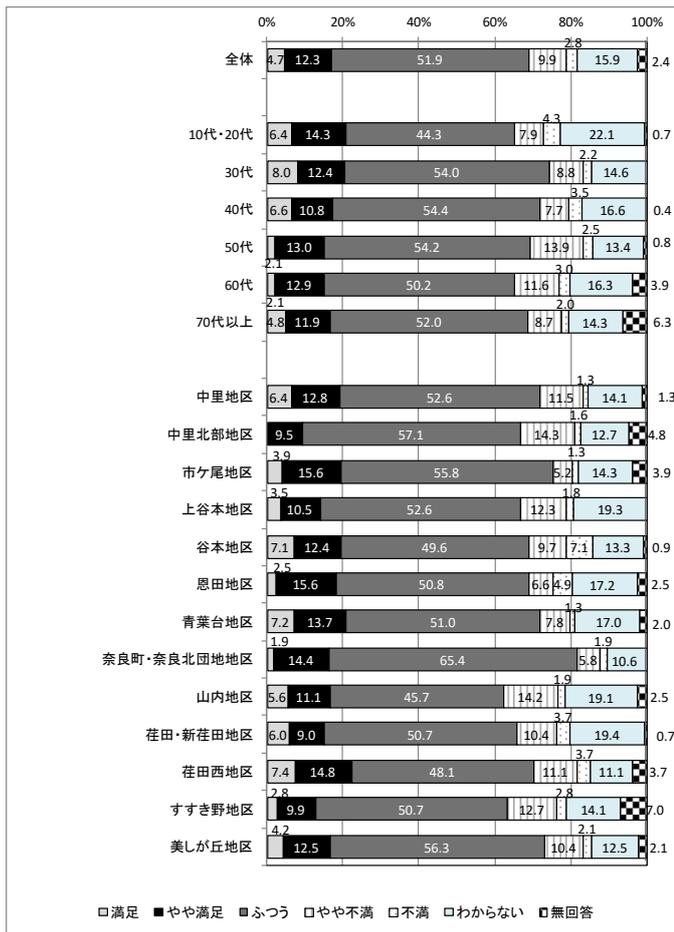
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

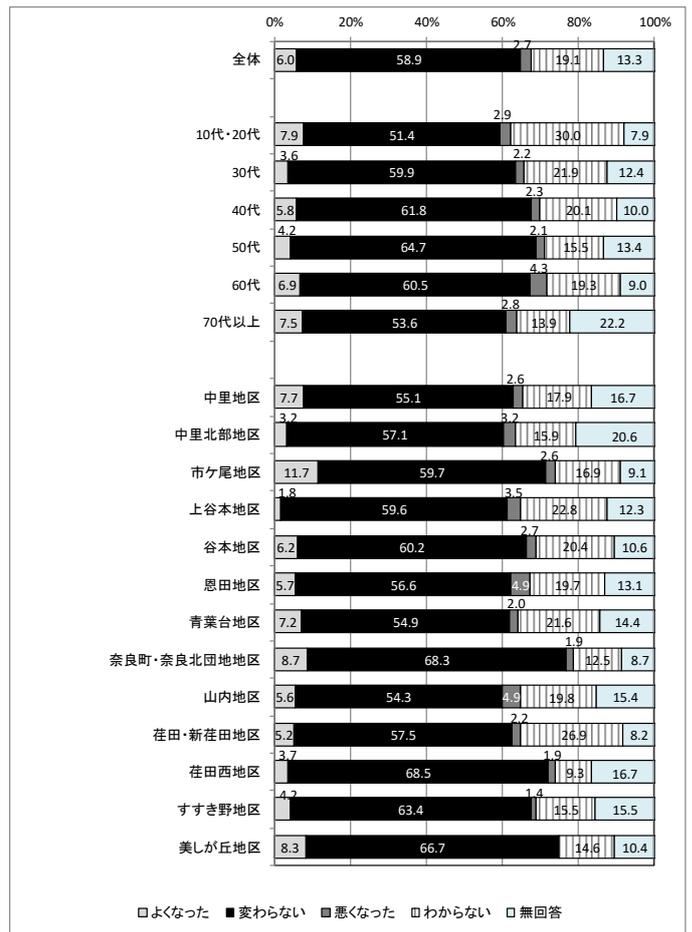
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代で「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑪ 食品衛生・環境衛生の監視・指導

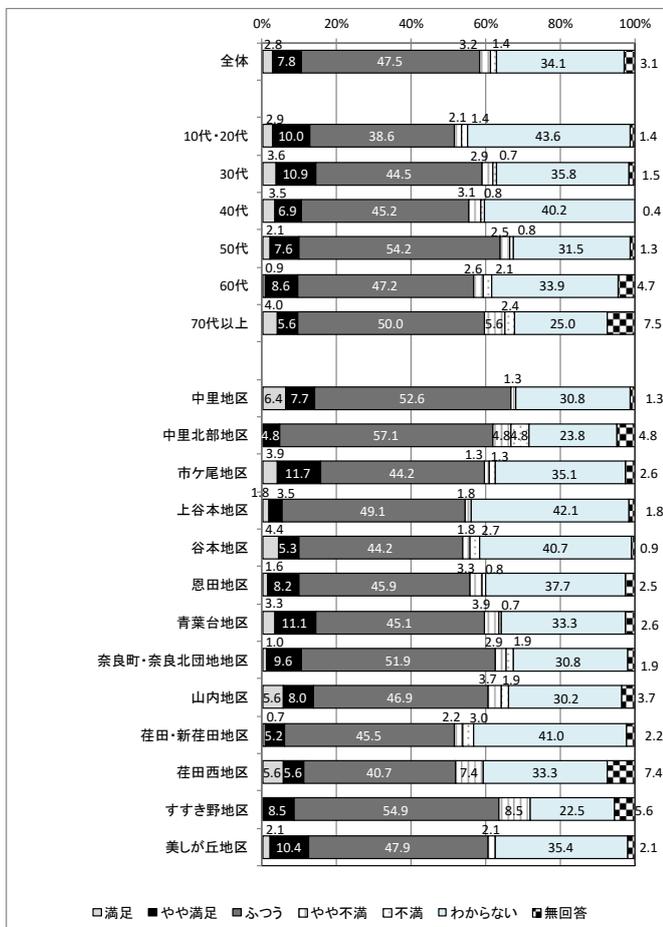
<満足度>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代ではいずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

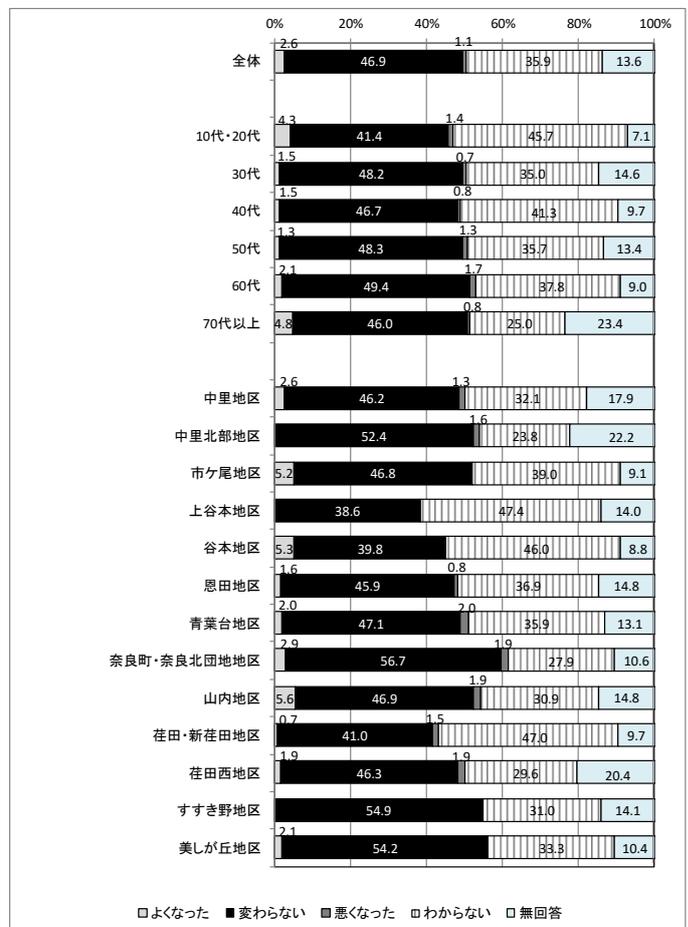
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」、その他の年代ではいずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、上谷本地区、谷本地区、荏田・新荏田地区で「わからない」が最も多く、その他の地区では「変わらない」が最も多い。また、上谷本地区、谷本地区、荏田・新荏田地区の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑫ 子育て支援や青少年の健全育成

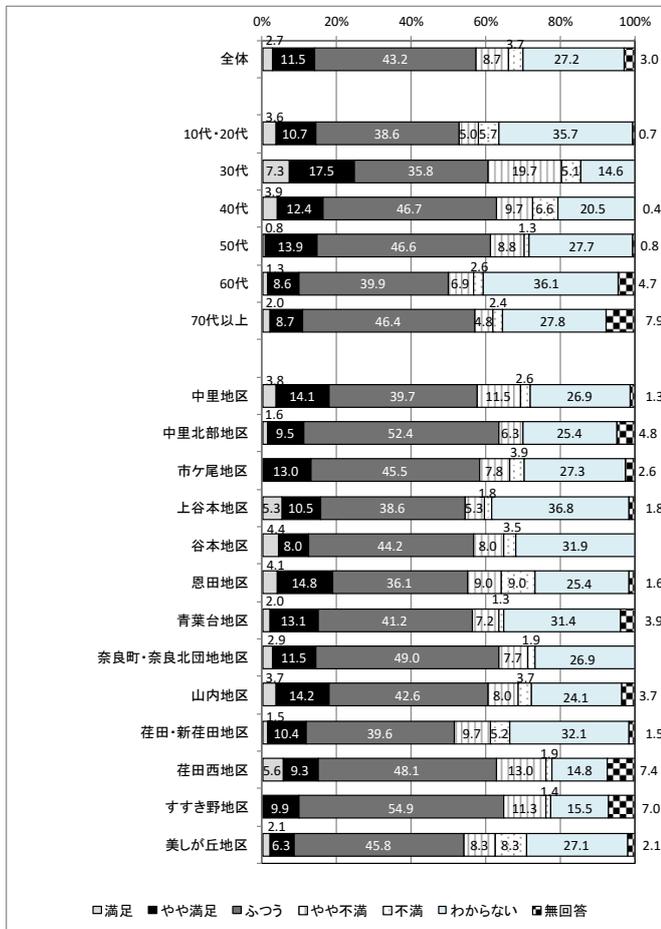
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。30代では、「満足」と「やや満足」を合わせた数値、「不満」と「やや不満」を合わせた数値が、ともに区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。

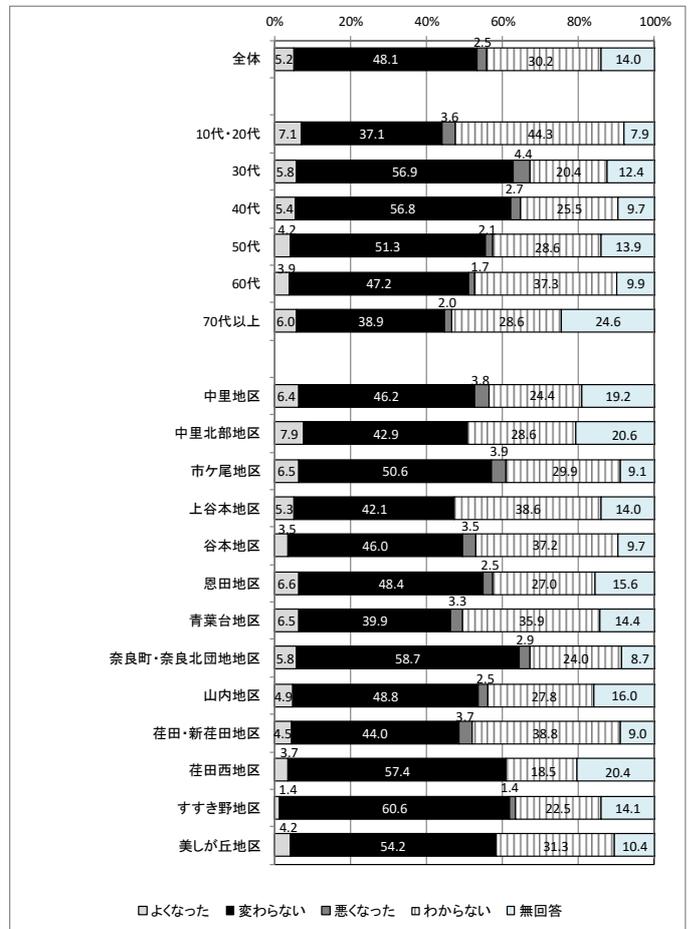
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「変わらない」が最も多い。また、10代・20代の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、奈良町・奈良北団地地区、すすき野地区の「変わらない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑬ 感染症・生活習慣病などの保健推進

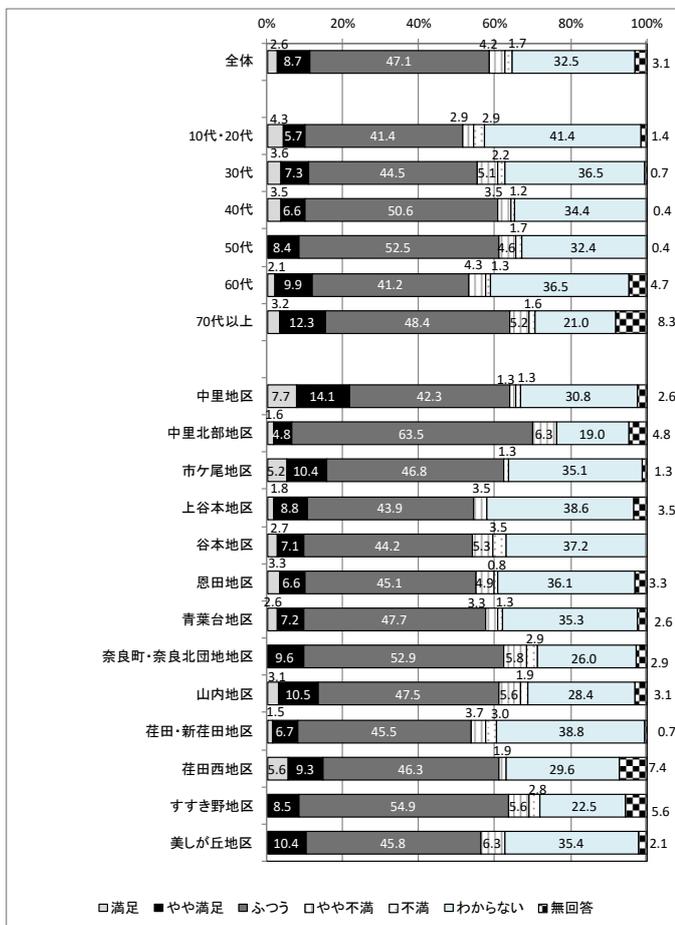
<満足度>

- ・年齢別では、10代・20代で「ふつう」と「わからない」が同率、その他の年代は「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「満足」と「やや満足」を合わせた数値は、中里地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

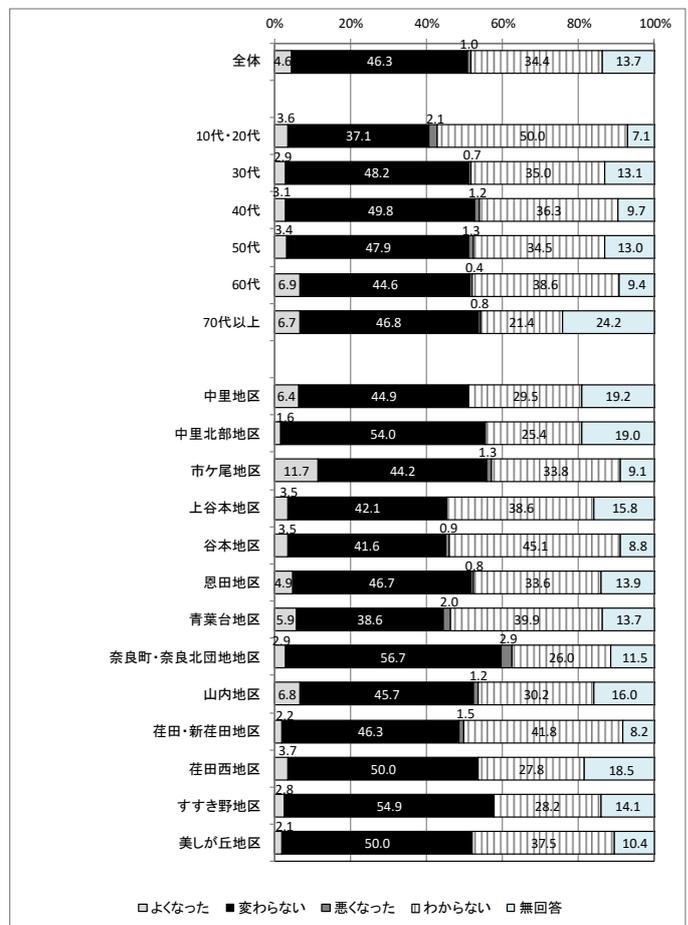
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「変わらない」が最も多い。また、10代・20代の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、谷本地区、青葉台地区で「わからない」が最も多い。その他の地区は「変わらない」が最も多い。また、谷本地区の「わからない」、奈良町・奈良北団地地区の「変わらない」の数値は、それぞれ区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑭ 高齢者福祉

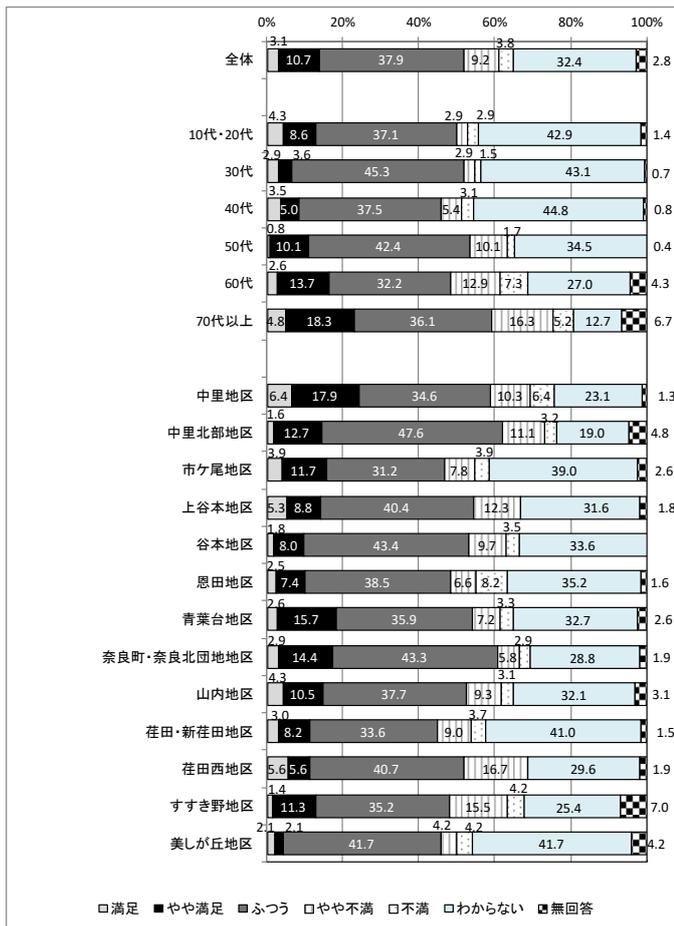
<満足度>

- ・年齢別では、10代・20代と40代で「わからない」、その他の年代では「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、市ヶ尾地区、荇田・新荇田地区では「わからない」が最も多く、美しが丘地区では「ふつう」「わからない」が同率である。それ以外の地区では「ふつう」が最も多い。「満足」と「やや満足」を合わせた数値は、中里地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

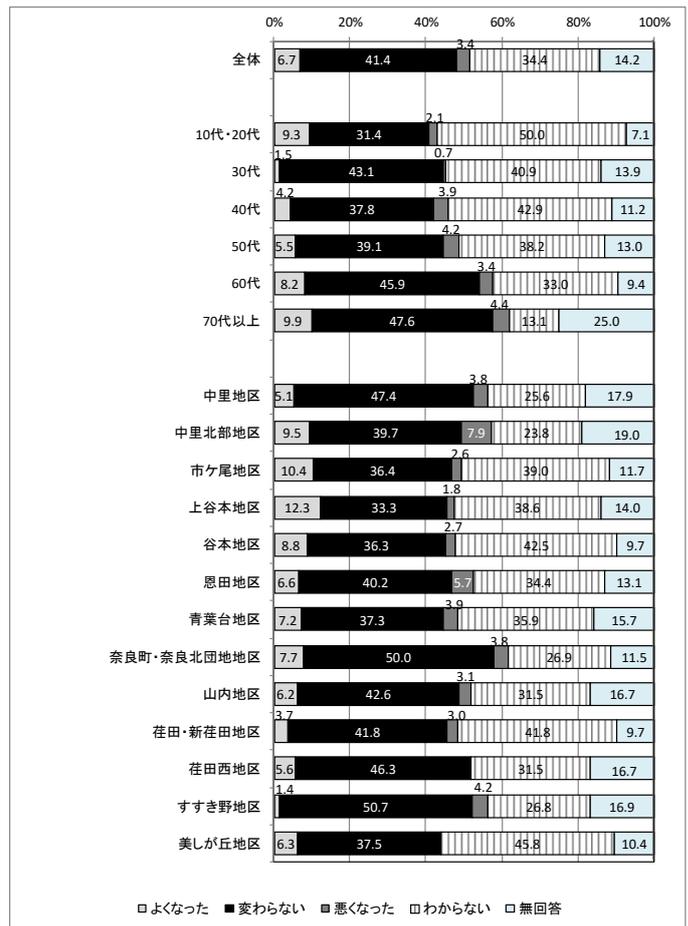
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代と40代で「わからない」、それ以外の年代では「変わらない」が最も多い。また、10代・20代の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、市ヶ尾地区、上谷本地区、谷本地区、美しが丘地区で「わからない」が最も多く、荇田・新荇田地区では「変わらない」「わからない」が同率である。その他の地区は「変わらない」が最も多い。また、美しが丘地区の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑮ 障害者福祉

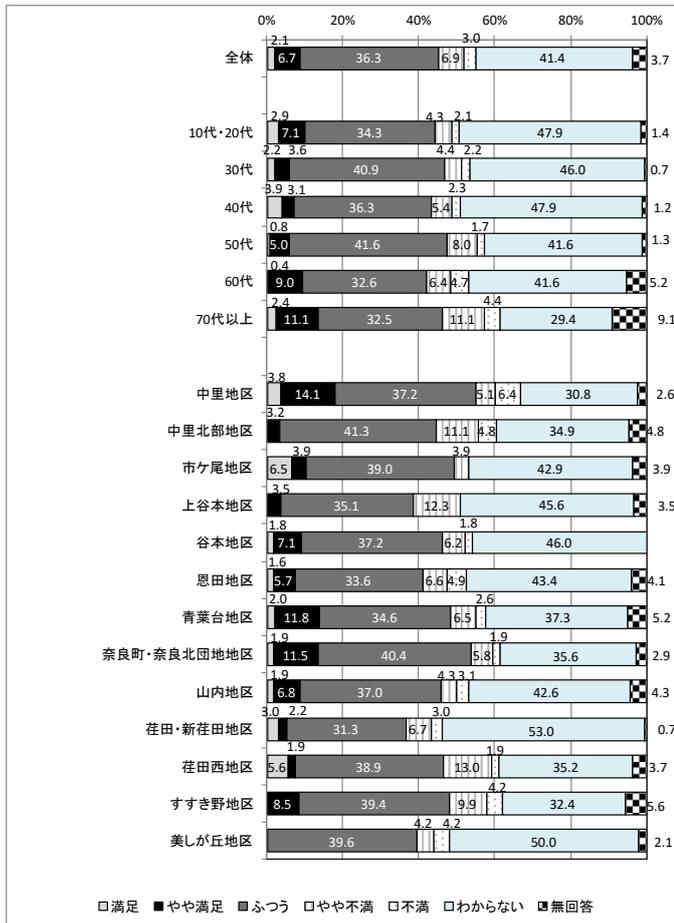
<満足度>

- ・年齢別では、50代では「ふつう」「わからない」が同率、70代以上で「ふつう」が最も多い。それ以外の年代では「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、中里地区、中里北部地区、奈良町・奈良北団地地区、荇田西地区、すすき野地区で「ふつう」が最も多い。その他の地区は「わからない」が最も多い。

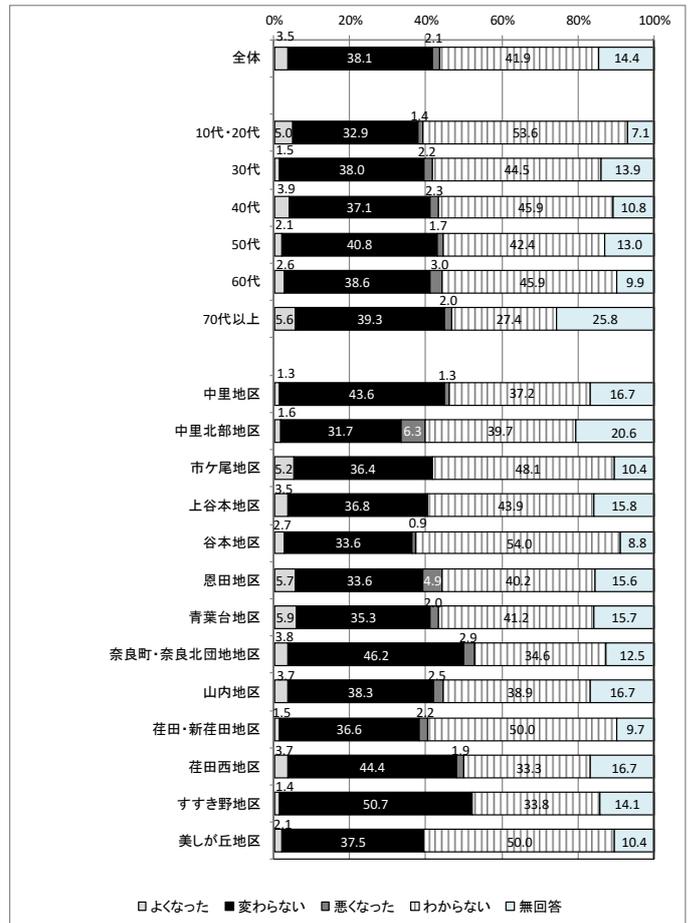
<以前との比較>

- ・年齢別では、70代以上で「変わらない」が最も多い。それ以外の年代では「わからない」が最も多い。また、10代・20代の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、中里地区、奈良町・奈良北団地地区、荇田西地区、すすき野地区で「変わらない」が最も多い。その他の地区は「わからない」が最も多い。また、すすき野地区の「変わらない」の数値、谷本地区の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑯ 病院などの医療環境

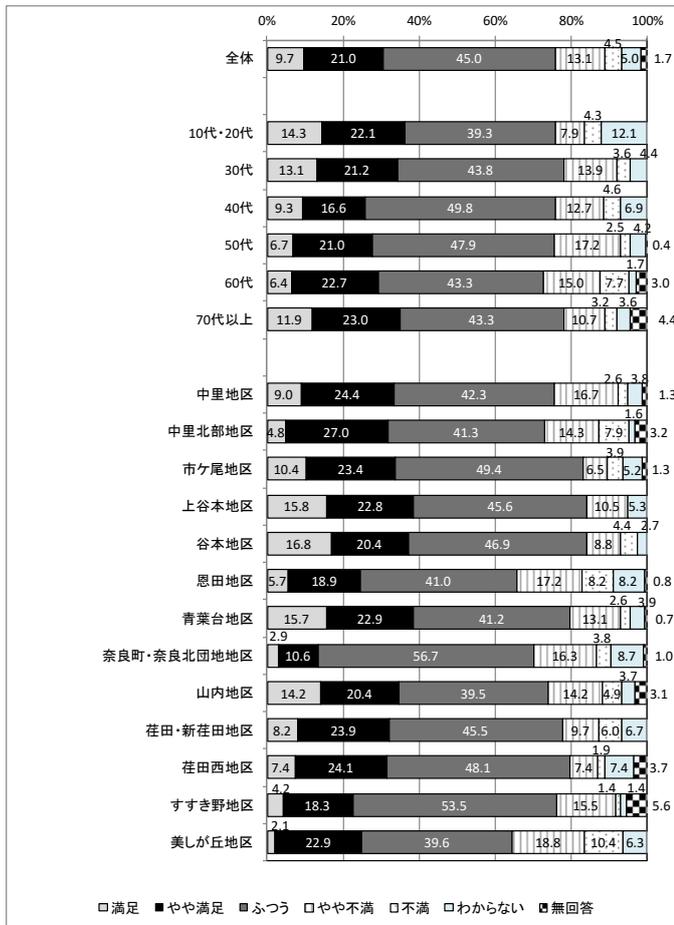
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。「不満」と「やや不満」を合わせた数値は、美しが丘地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

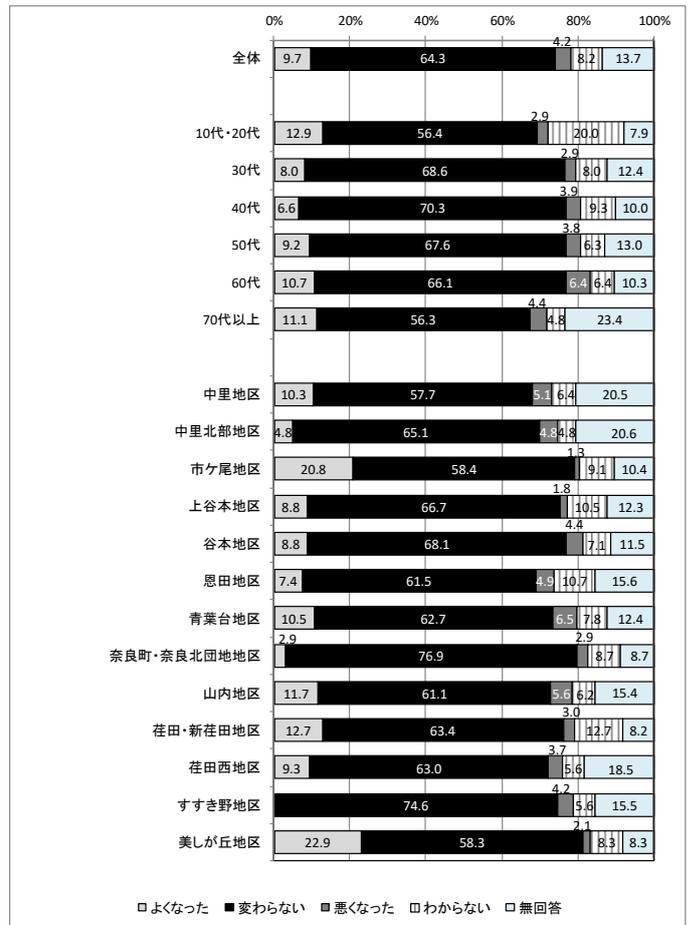
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代で「わからない」の数値が区全体の数値よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、市ヶ尾地区、美しが丘地区では「よくなった」、奈良町・奈良北団地地区、すすき野地区で「変わらない」の数値が、それぞれ区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

満足度



以前との比較



⑰ 経済的に困っている人の保護

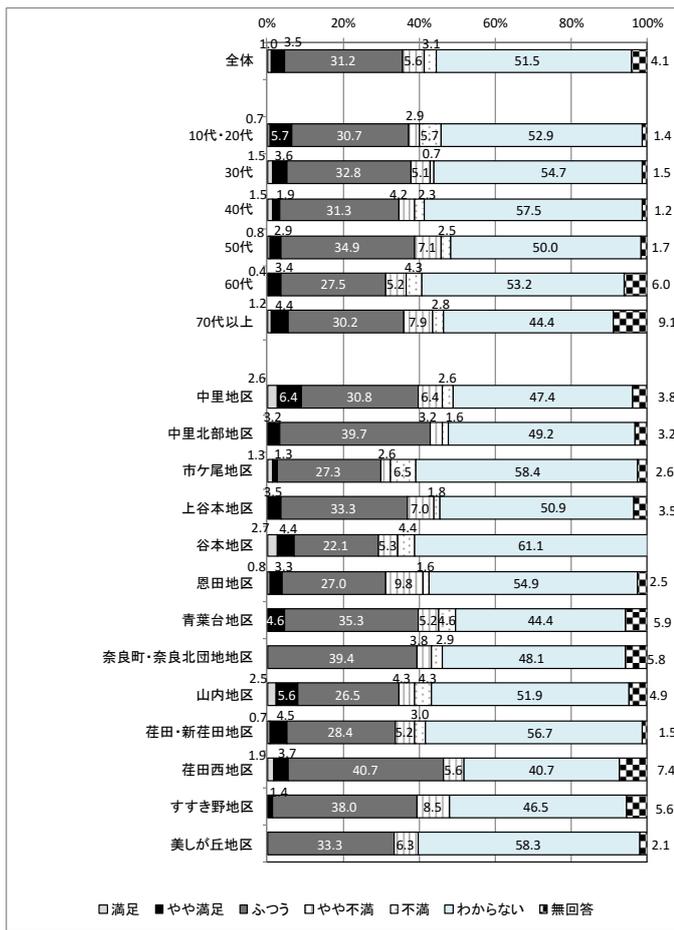
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、荇田西地区で「ふつう」と「わからない」が同率、それ以外の地区では「わからない」が最も多い。

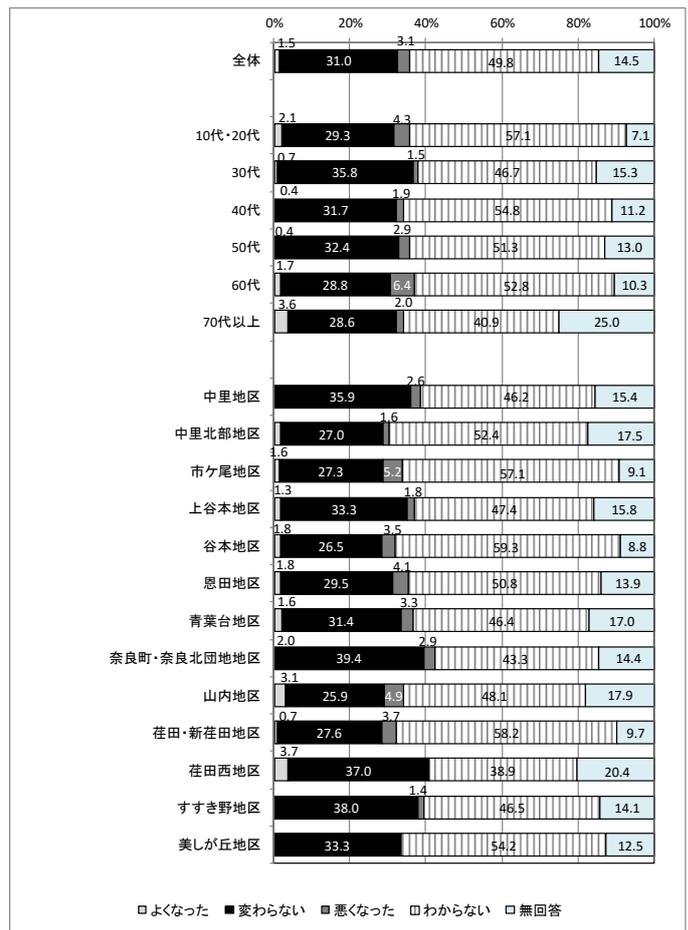
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「わからない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「わからない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑩ 地区センター・スポーツセンターなどの施設

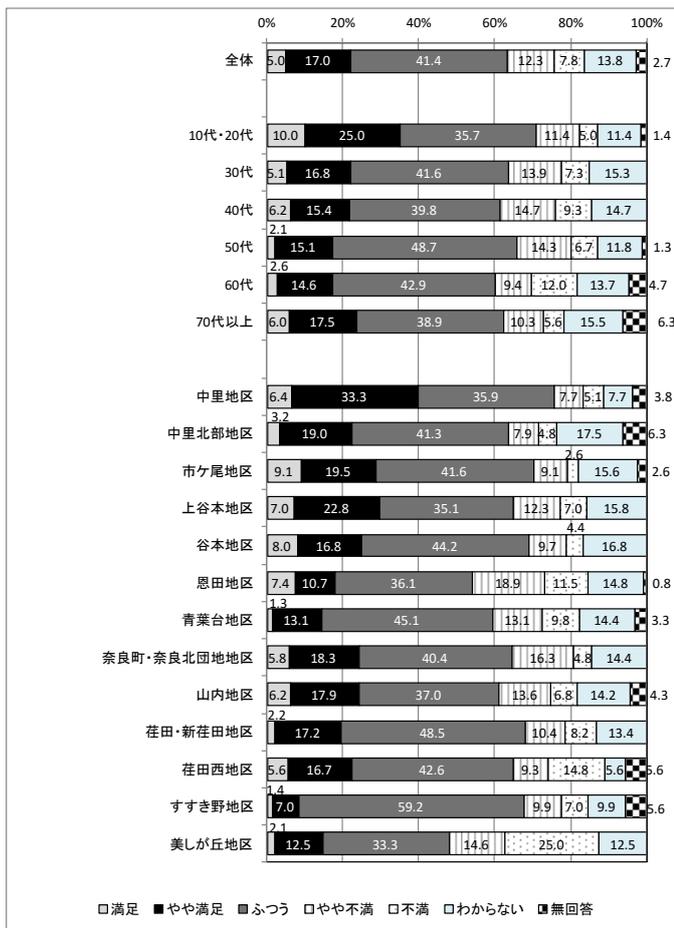
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は10代・20代で区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里地区で、「不満」と「やや不満」を合わせた数値は恩田地区と美しが丘地区で、それぞれ区全体よりも10ポイント以上高い。

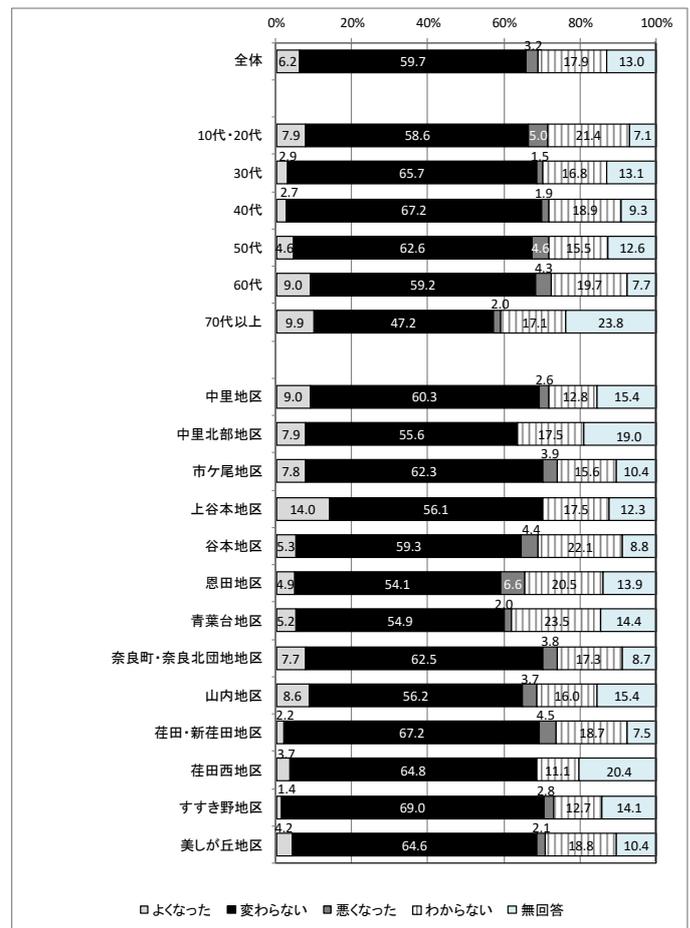
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑱ 広報や広聴、市民相談など区民参加の推進

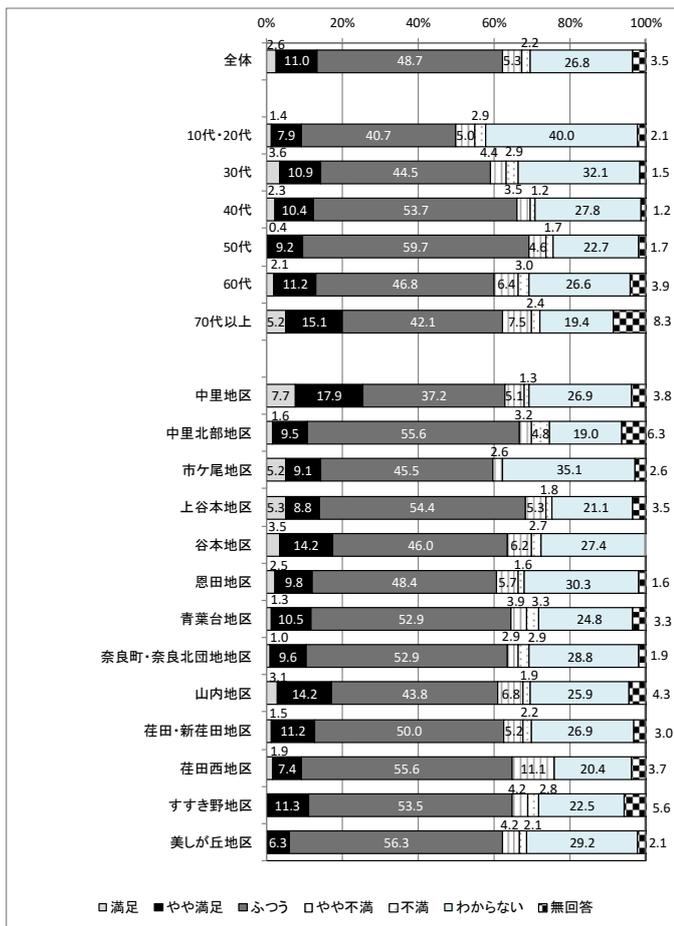
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は、中里地区で区全体よりも10ポイント以上高い。

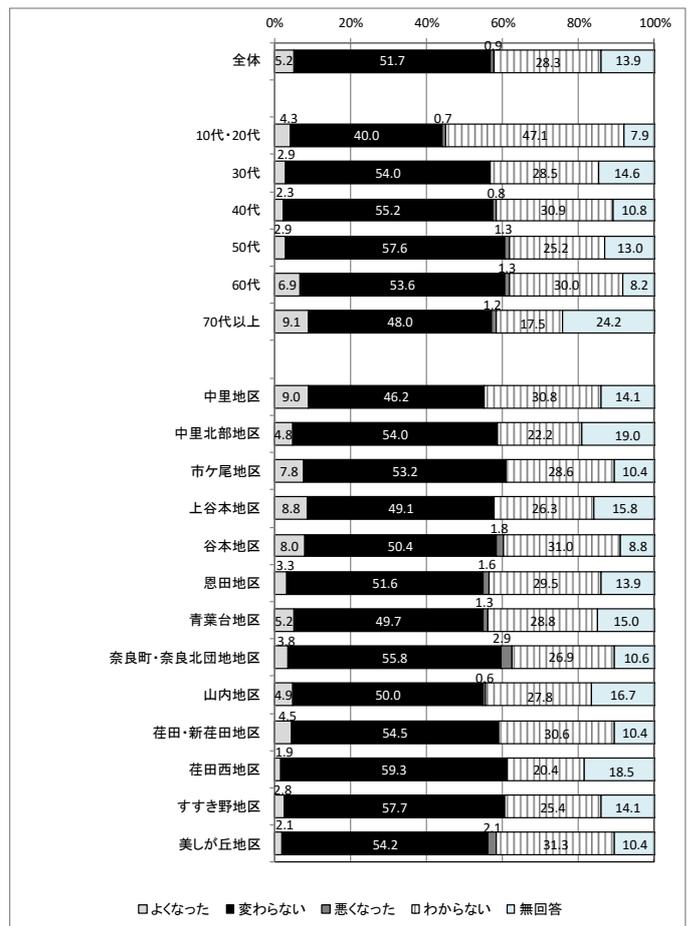
<以前との比較>

- ・年齢別では、10代・20代で「わからない」が最も多い。その他の年代は「変わらない」が最も多い。また、10代・20代の「わからない」の数値は、区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度



以前との比較



⑳ 身近な区役所窓口のサービス

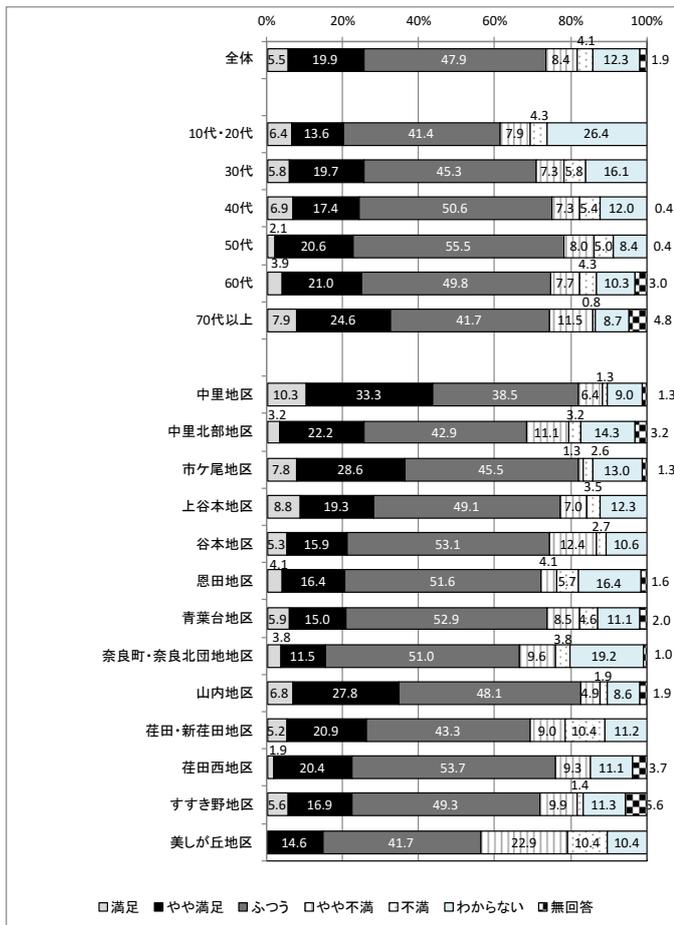
<満足度>

- ・年齢別では、いずれも「ふつう」が最も多い。
- ・地区別では、いずれも「ふつう」が最も多い。また、「満足」と「やや満足」を合わせた数値は中里地区と市ヶ尾地区で、「やや不満」と「不満」を合わせた数値は美しが丘地区で、それぞれ区全体の数値よりも10ポイント以上高い。

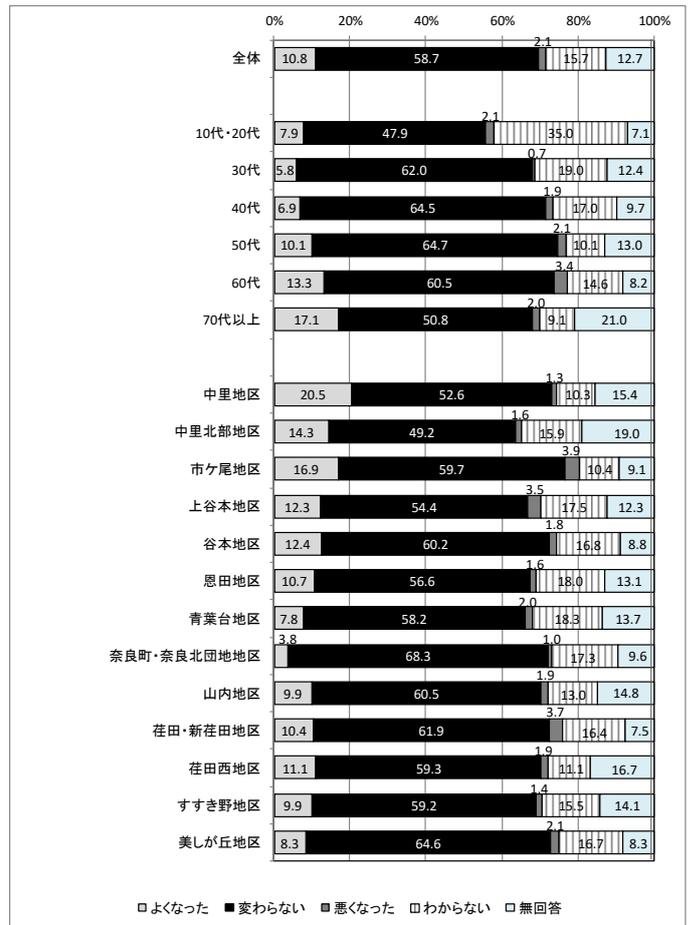
<以前との比較>

- ・年齢別では、いずれも「変わらない」が最も多い。また、10代・20代では「わからない」の数値が区全体よりも10ポイント以上高い。
- ・地区別では、いずれも「変わらない」が最も多い。

満足度

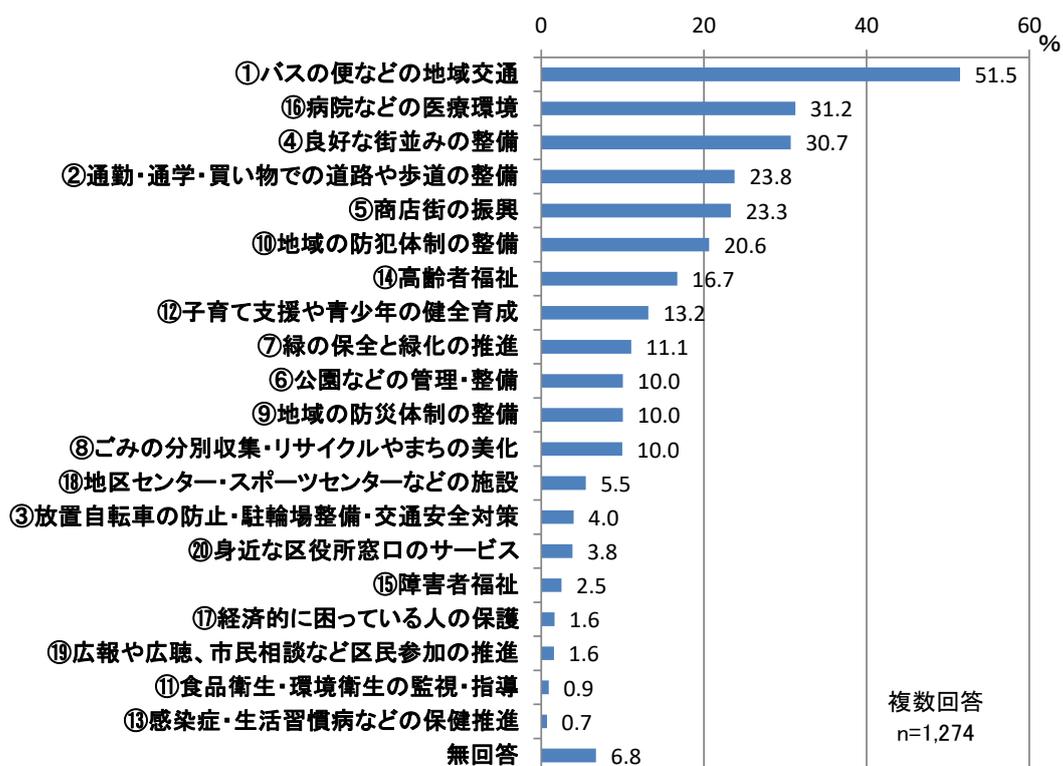


以前との比較



問4 仮に今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺環境で、特に重視するのはどのようなことですか。（問3の質問項目①～⑳のうち、該当する項目の番号を3つまで記入）

・「①バスの便などの地域交通」が51.5%で最も多く、半数強の人が挙げている。「⑯病院などの医療環境」（31.2%）、「④良好な街並みの整備」（30.7%）も3割を超えている。次いで「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」（23.8%）、「⑤商店街の振興」（23.3%）、「⑩地域の防犯体制の整備」（20.6%）が2割台となっている。以下「⑭高齢者福祉」（16.7%）、「⑫子育て支援や青少年の健全育成」（13.2%）「⑦緑の保全と緑化の推進」（11.1%）の順である。



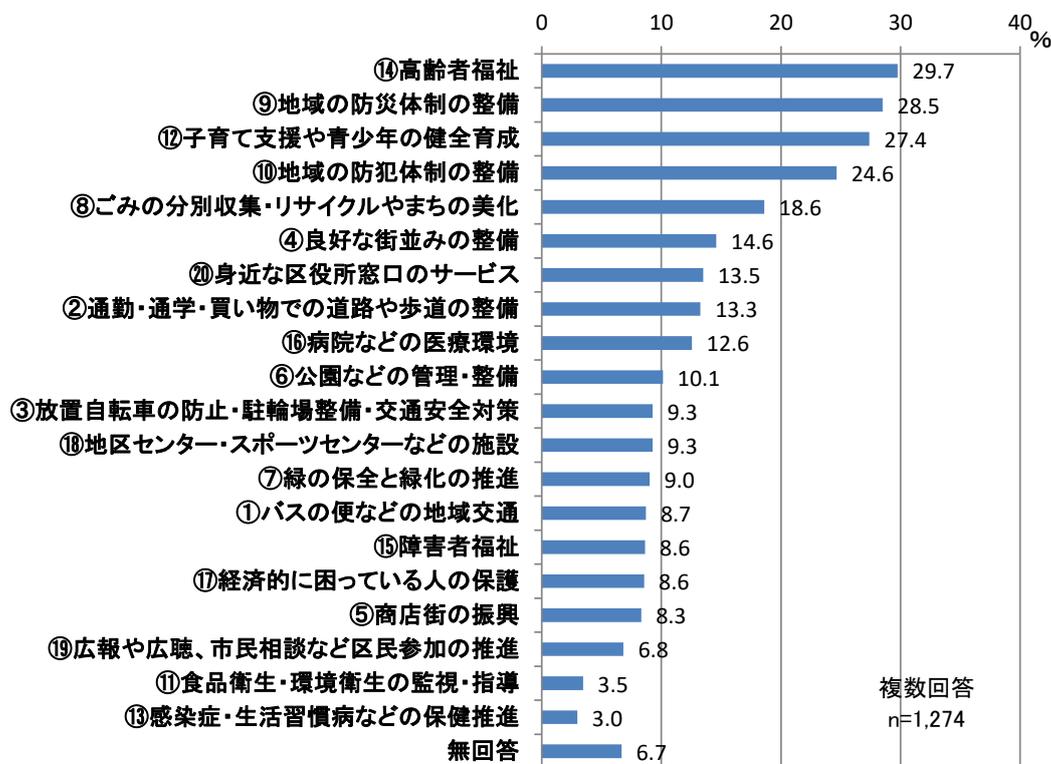
■ 年齢別 重視する生活環境項目：上位 5 位（問 4×F1）

- ・ いずれの年代でも「①バスの便などの地域交通」が最も多く、特に 10 代・20 代では 6 割以上が挙げている。「⑩病院などの医療環境」については、年齢が上がるにつれて順位が上がる傾向がみられる。「④良好な街並みの整備」についても全ての年代で 5 位以内に入っているが、高齢の世代では順位、割合ともに下がる傾向がみられる。「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」については、10 代～40 代で重視する傾向がみられる。「⑤商店街の振興」が 5 位以内に入っているのは 50 代以上である。
- ・ 全体では 5 位以内に入っていないが、10 代～50 代では 2 割以上が「⑩地域の防犯体制の整備」を挙げている。60 代以上では 3 割前後の人が「⑭高齢者福祉」を挙げており、10 代～30 代では「⑫子育て支援や青少年の健全育成」を上位に挙げている。

順位	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 位	バスの便などの地域交通 65.0	バスの便などの地域交通 46.0	バスの便などの地域交通 51.7	バスの便などの地域交通 56.3	バスの便などの地域交通 51.5	バスの便などの地域交通 43.7
2 位	道路や歩道の整備 39.3	子育て支援・青少年育成 42.3	良好な街並みの整備 38.2	良好な街並みの整備 36.1	病院などの医療環境 39.9	病院などの医療環境 30.2
3 位	良好な街並みの整備 35.7	道路や歩道の整備 37.2	病院などの医療環境 34.4	病院などの医療環境 34.9	高齢者福祉 33.5	高齢者福祉 29.4
4 位	地域の防犯体制の整備 21.4 子育て支援・青少年育成 21.4	良好な街並みの整備 35.8	地域の防犯体制の整備 26.6	商店街の振興 26.9	商店街の振興 27.5	商店街の振興 24.2
5 位	病院などの医療環境 18.6	地域の防犯体制の整備 21.9 病院などの医療環境 21.9	道路や歩道の整備 26.3	地域の防犯体制の整備 24.8	良好な街並みの整備 27.0	良好な街並みの整備 16.7

問5 区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。(問3の質問項目①～⑳のうち、該当する項目の番号を3つまで記入)

- ・「⑭高齢者福祉」が最も多く29.7%で、3割近くの人が挙げている。次いで「⑨地域の防災体制の整備」(28.5%)、「⑫子育て支援や青少年の健全育成」(27.4%)、「⑩地域の防犯体制の整備」(24.6%)が2割台である。以下「⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」(18.6%)、「④良好な街並みの整備」(14.6%)「⑳身近な区役所窓口のサービス」(13.5%)、「②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」(13.3%)、「⑯病院などの医療環境」(12.6%)と続く。



■ 年齢別 行政が取り組む課題：上位 5 位（問 5×F1）

- ・全ての年代において「⑨地域の防災体制の整備」「⑩地域の防犯体制の整備」「⑫子育て支援や青少年の健全育成」が 5 位以内に入っている。特に「⑫子育て支援や青少年の健全育成」は、10 代・20 代と 30 代では 1 位となっている。また、40 代では「⑨地域の防災体制の整備」が 1 位となっている。また「⑭高齢者福祉」は、10 代・20 代、30 代では 5 位以内に入っていないが、50 代以上の年代では 1 位となっている。

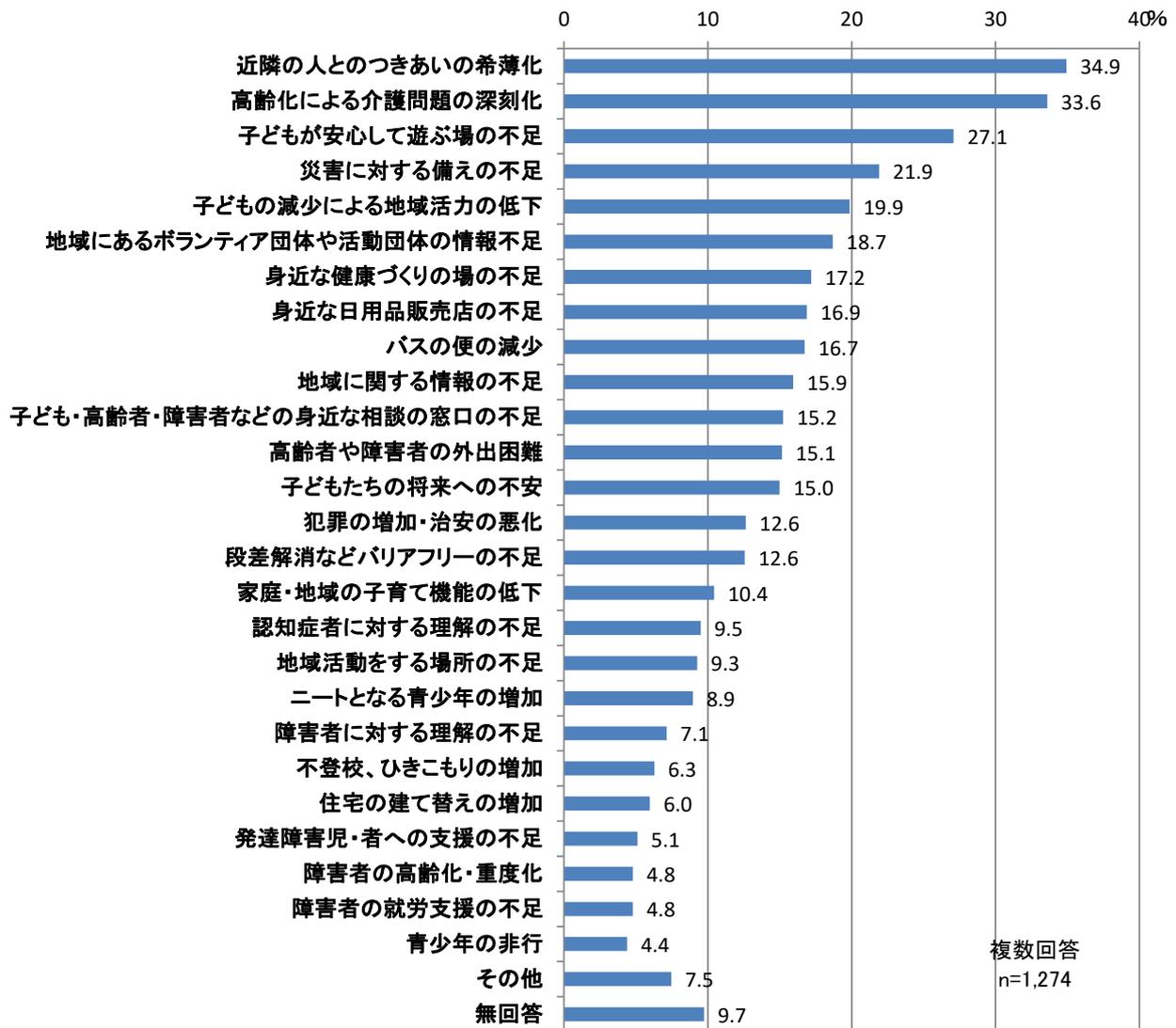
順位	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 位	子育て支援・青少年育成 32.9	子育て支援・青少年育成 48.9	地域の防災体制の整備 35.5	高齢者福祉 39.1	高齢者福祉 42.9	高齢者福祉 34.1
2 位	地域の防犯体制の整備 26.4	地域の防犯体制の整備 24.8	子育て支援・青少年育成 35.1	地域の防災体制の整備 34.9	地域の防災体制の整備 27.9	地域の防犯体制の整備 21.0
3 位	地域の防災体制の整備 25.7	地域の防災体制の整備 23.4	地域の防犯体制の整備 30.9	地域の防犯体制の整備 26.5	子育て支援・青少年育成 21.5	地域の防災体制の整備 20.2
4 位	良好な街並みの整備 20.7	公園などの管理・整備 21.2	高齢者福祉 23.2	子育て支援・青少年育成 22.7	ごみの分別収集等 18.9	ごみの分別収集等 19.0
5 位	道路や歩道の整備 18.6	道路や歩道の整備 18.2	ごみの分別収集等 18.9	ごみの分別収集等 21.8	地域の防犯体制の整備 18.5	子育て支援・青少年育成 15.1
	ごみの分別収集等 18.6					

2. 地域と生活について

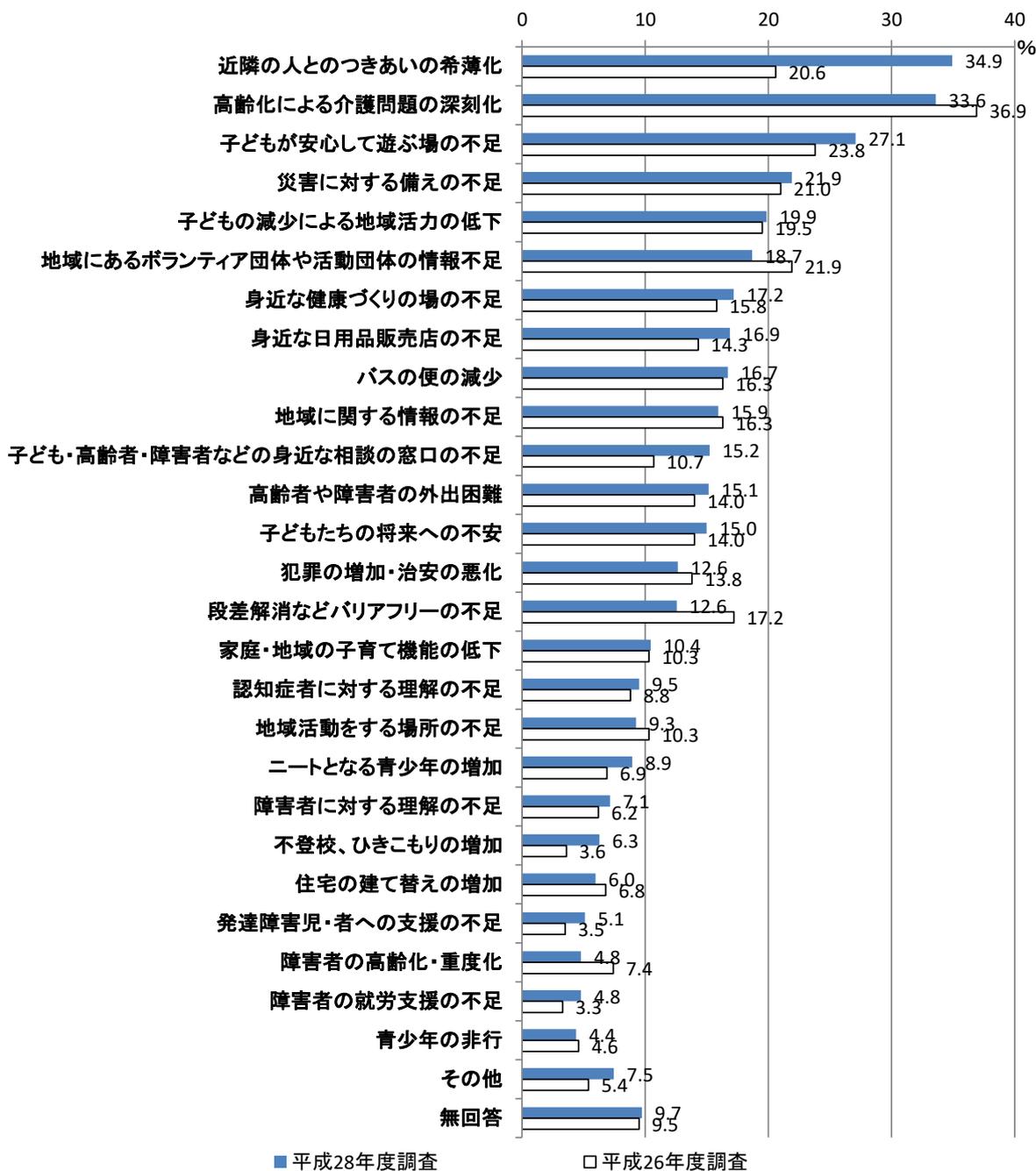
問6 あなたの住んでいる地域には、現在どのような課題や問題があると思いますか。

(〇はいくつでも)

- 最も多いのは「近隣の人とのつきあいの希薄化」の34.9%で、平成26年度調査(20.6%)に比べ14.3ポイント上昇した。これに「高齢化による介護問題の深刻化」が33.6%で続く。次いで「子どもが安心して遊ぶ場の不足」(27.1%)、「災害に対する備えの不足」(21.9%)であり、これらの項目は2割を超えている。



＜参考 平成26年度調査結果との比較＞



＜参考 平成26年度調査結果との比較 上位15位＞

平成26年度調査		平成28年度調査	
高齢化による介護問題の深刻化	36.9	近隣の人とのつきあいの希薄化	34.9
子どもが安心して遊ぶ場の不足	23.8	高齢化による介護問題の深刻化	33.6
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	21.9	子どもが安心して遊ぶ場の不足	27.1
災害に対する備えの不足	21.0	災害に対する備えの不足	21.9
近隣の人とのつきあいの希薄化	20.6	子どもの減少による地域活力の低下	19.9
子どもの減少による地域活力の低下	19.5	地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	18.7
段差解消などバリアフリーの不足	17.2	身近な健康づくりの場の不足	17.2
バスの便の減少	16.3	身近な日用品販売店の不足	16.9
地域に関する情報の不足	16.3	バスの便の減少	16.7
身近な健康づくりの場の不足	15.8	地域に関する情報の不足	15.9
身近な日用品販売店の不足	14.3	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	15.2
高齢者や障害者の外出困難	14.0	高齢者や障害者の外出困難	15.1
子どもたちの将来への不安	14.0	子どもたちの将来への不安	15.0
犯罪の増加・治安の悪化	13.8	犯罪の増加・治安の悪化	12.6
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	10.7	段差解消などバリアフリーの不足	12.6

注) 薄い網掛けは2つ以上順位を上げた項目、濃い網掛けは2つ以上順位を下げた項目

■ 年齢別 地域の課題や問題(問6×F1)

・10代・20代、30代では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多く、40代では「子どもが安心して遊ぶ場の不足」「近隣の人とのつきあいの希薄化」が同率である。50代以上の世代では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、60代、70代以上では高い数値となっている。

		問6 地域の課題や問題点															
		合計	低下	家庭・地域の子育て機能の不足	子どもが安心して遊ぶ場の不足	子どもの減少による地域活力の低下	子どもたちの将来への不安	発達障害児・者への支援の不足	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	高齢者や障害者の外出困難	高齢化による介護問題の深刻化	認知症者に対する理解の不足	障害者に対する理解の不足	障害者の高齢化・重度化	障害者の就労支援の不足	青少年の非行	不登校、ひきこもりの増加
全体		1274	10.4	27.1	19.9	15.0	5.1	15.2	15.1	33.6	9.5	7.1	4.8	4.8	4.4	6.3	
F1 年齢(統合)	10代・20代	140	12.1	32.9	18.6	18.6	5.7	16.4	10.7	17.1	7.1	7.9	4.3	2.9	5.7	10.0	
	30代	137	19.7	35.8	9.5	20.4	2.9	8.8	9.5	13.9	3.6	5.1	1.5	1.5	5.1	5.1	
	40代	259	12.0	30.9	19.7	18.1	5.4	12.0	12.4	23.6	6.2	6.2	3.9	5.4	4.6	8.1	
	50代	238	8.0	25.6	17.6	10.9	6.3	18.9	18.1	40.3	10.5	8.4	5.5	6.7	4.2	6.7	
	60代	233	6.9	24.5	23.2	13.7	4.3	15.5	17.2	45.1	12.9	7.7	3.4	4.3	3.4	4.7	
	70代以上	252	8.3	19.0	25.0	11.9	4.8	18.3	17.9	47.2	13.1	6.7	8.3	5.6	4.0	4.0	

		問6 地域の課題や問題点																
		合計	ニートとなる青少年の増加	薄化	近隣の人とのつきあいの希薄化	活動団体の情報不足	地域にあるボランティア団体や	地域活動をする場所の不足	身近な健康づくりの場の不足	犯罪の増加・治安の悪化	災害に対する備えの不足	地域に関する情報の不足	住宅の建て替えの増加	バスの便の減少	段差解消などバリアフリーの不足	身近な日用品販売店の不足	その他	無回答
全体		1274	8.9	34.9	18.7	9.3	17.2	12.6	21.9	15.9	6.0	16.7	12.6	16.9	7.5	9.7		
F1 年齢(統合)	10代・20代	140	6.4	40.0	19.3	12.9	14.3	15.0	24.3	19.3	6.4	17.9	13.6	12.1	10.0	7.9		
	30代	137	9.5	40.9	14.6	10.2	14.6	14.6	19.0	14.6	6.6	16.1	11.7	21.9	8.0	8.0		
	40代	259	7.3	30.9	15.1	7.3	13.1	13.5	24.3	18.9	6.9	18.5	9.3	21.6	7.3	6.9		
	50代	238	10.1	31.9	17.6	10.9	15.5	12.2	24.8	14.3	4.6	18.5	13.4	14.3	5.9	5.9		
	60代	233	10.3	34.3	23.6	9.0	21.5	12.4	21.9	17.2	7.3	15.9	13.3	17.6	8.2	9.9		
	70代以上	252	9.5	36.9	20.6	7.5	21.4	9.9	16.7	13.1	4.8	13.5	13.1	13.9	6.7	17.5		

■ 居住地区別 地域の課題や問題(問6×F9)

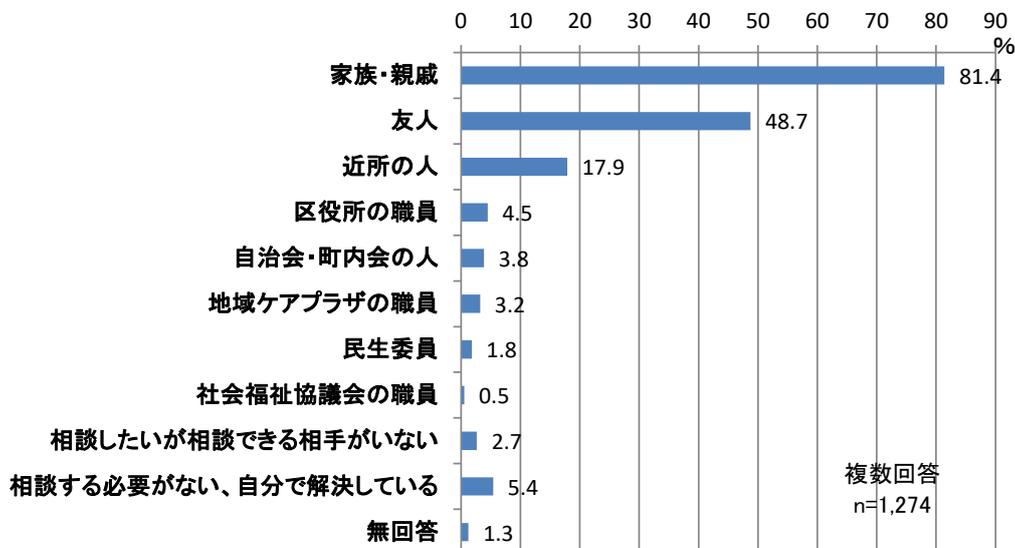
- ・中里地区、上谷本地区、谷本地区、山内地区、すすき野地区では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、特にすすき野地区では数値が高い。中里北部地区では「高齢化による介護問題の深刻化」「近隣の人とのつきあいの希薄化」、奈良町・奈良北団地地区では「近隣の人とのつきあいの希薄化」「バスの便の減少」、美しが丘地区では「近隣の人とのつきあいの希薄化」「身近な健康づくりの場の不足」が同率である。市ヶ尾地区、恩田地区、青葉台地区、荇田・新荇田地区、荇田西地区では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多い。
- ・中里地区では「身近な日用品販売店の不足」、中里北部地区、上谷本地区、すすき野地区では「子どもの減少による地域活力の低下」、美しが丘地区では「地域に関する情報の不足」が、それぞれ区全体の数値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

		問6 地域の課題や問題点															
		合計	低下	家庭・地域の子育て機能の不足	子どもが安心して遊ぶ場の不足	子どもの減少による地域活力の低下	子どもたちの将来への不安	発達障害児・者への支援の不足	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	高齢者や障害者の外出困難	高齢化による介護問題の深刻化	認知症者に対する理解の不足	障害者に対する理解の不足	障害者の高齢化・重度化	障害者の就労支援の不足	青少年の非行	不登校、ひきこもりの増加
全体		1274	10.4	27.1	19.9	15.0	5.1	15.2	15.1	33.6	9.5	7.1	4.8	4.8	4.4	6.3	
地区別	中里地区	78	7.7	21.8	19.2	9.0	5.1	15.4	19.2	34.6	9.0	3.8	3.8	2.6	2.6	7.7	
	中里北部地区	63	12.7	15.9	36.5	20.6	6.3	9.5	11.1	39.7	6.3	4.8	4.8	4.8	3.2	4.8	
	市ヶ尾地区	77	9.1	32.5	20.8	10.4	3.9	14.3	11.7	27.3	10.4	9.1	5.2	6.5	5.2	7.8	
	上谷本地区	57	7.0	24.6	33.3	15.8	3.5	14.0	15.8	38.6	12.3	7.0	5.3	1.8	5.3	7.0	
	谷本地区	113	15.9	27.4	14.2	13.3	5.3	19.5	13.3	37.2	12.4	12.4	7.1	6.2	5.3	8.8	
	恩田地区	122	6.6	32.8	19.7	18.9	6.6	19.7	16.4	31.1	10.7	7.4	3.3	6.6	4.1	9.8	
	青葉台地区	153	10.5	25.5	16.3	11.1	4.6	17.0	20.9	33.3	8.5	5.2	5.9	3.9	5.2	4.6	
	奈良町・奈良北団地地区	104	7.7	19.2	23.1	14.4	5.8	12.5	13.5	27.9	5.8	5.8	1.9	3.8	3.8	3.8	
	山内地区	162	11.7	31.5	13.6	14.2	4.9	16.0	9.9	34.6	11.7	11.1	4.3	4.3	6.8	7.4	
	荇田・新荇田地区	134	10.4	35.1	17.2	18.7	2.2	10.4	20.9	30.6	7.5	4.5	3.7	4.5	3.7	3.7	
	荇田西地区	54	14.8	24.1	13.0	14.8	5.6	5.6	14.8	33.3	13.0	5.6	13.0	7.4	1.9	3.7	
	すすき野地区	71	9.9	21.1	31.0	11.3	4.2	19.7	14.1	50.7	7.0	5.6	4.2	2.8	2.8	9.9	
美しが丘地区	48	6.3	22.9	18.8	18.8	8.3	22.9	14.6	25.0	6.3	2.1	2.1	6.3	2.1	2.1		

		問6 地域の課題や問題点																	
		合計	ニートとなる青少年の増加	薄化	近隣の人とのつきあいの希薄化	活動団体の情報不足	地域にあるボランティア団体や地域の活動をする場所の不足	地域活動をする場所の不足	身近な健康づくりの場の不足	犯罪の増加・治安の悪化	災害に対する備えの不足	地域に関する情報の不足	住宅の建て替えの増加	バスの便の減少	の不足	段差解消などバリアフリー	身近な日用品販売店の不足	その他	無回答
全体		1274	8.9	34.9	18.7	9.3	17.2	12.6	21.9	15.9	6.0	16.7	12.6	16.9	7.5	9.7			
地区別	中里地区	78	9.0	28.2	15.4	14.1	16.7	16.7	24.4	12.8	2.6	19.2	7.7	28.2	3.8	11.5			
	中里北部地区	63	7.9	39.7	23.8	4.8	15.9	4.8	15.9	22.2	11.1	7.9	12.7	4.8	11.1	15.9			
	市ヶ尾地区	77	11.7	36.4	23.4	10.4	14.3	15.6	19.5	14.3	5.2	22.1	20.8	22.1	5.2	7.8			
	上谷本地区	57	14.0	33.3	22.8	0.0	15.8	7.0	26.3	22.8	8.8	5.3	8.8	21.1	5.3	10.5			
	谷本地区	113	10.6	34.5	19.5	6.2	14.2	17.7	23.0	16.8	4.4	25.7	8.8	21.2	9.7	6.2			
	恩田地区	122	9.8	39.3	16.4	9.8	13.1	18.9	19.7	14.8	8.2	26.2	18.0	18.0	9.8	4.1			
	青葉台地区	153	9.8	34.6	22.2	11.8	20.3	7.2	26.1	17.0	6.5	5.9	16.3	17.6	7.2	11.8			
	奈良町・奈良北団地地区	104	5.8	30.8	21.2	8.7	13.5	9.6	21.2	13.5	2.9	30.8	8.7	18.3	10.6	6.7			
	山内地区	162	9.3	30.9	12.3	7.4	18.5	18.5	22.8	12.3	5.6	11.1	11.7	10.5	4.9	13.6			
	荇田・新荇田地区	134	6.7	41.8	20.9	12.7	14.9	11.2	22.4	18.7	6.0	21.6	11.9	14.2	6.0	6.7			
	荇田西地区	54	5.6	40.7	14.8	11.1	14.8	14.8	16.7	9.3	1.9	20.4	13.0	24.1	3.7	5.6			
	すすき野地区	71	8.5	35.2	15.5	12.7	25.4	5.6	14.1	14.1	4.2	7.0	7.0	7.0	5.6	9.9			
美しが丘地区	48	8.3	33.3	20.8	10.4	33.3	10.4	25.0	27.1	12.5	4.2	10.4	20.8	14.6	16.7				

問7 日常生活のうえで、困ったときに、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

- ・「家族・親戚」が81.4%で突出して多く8割を超える人が挙げている。次いで「友人」が48.7%で半数近くとなっている。以下「近所の人」(17.9%)、「区役所の職員」(4.5%)、「自治会・町内会の人」(3.8%)、「地域ケアプラザの職員」(3.2%)などと続く。



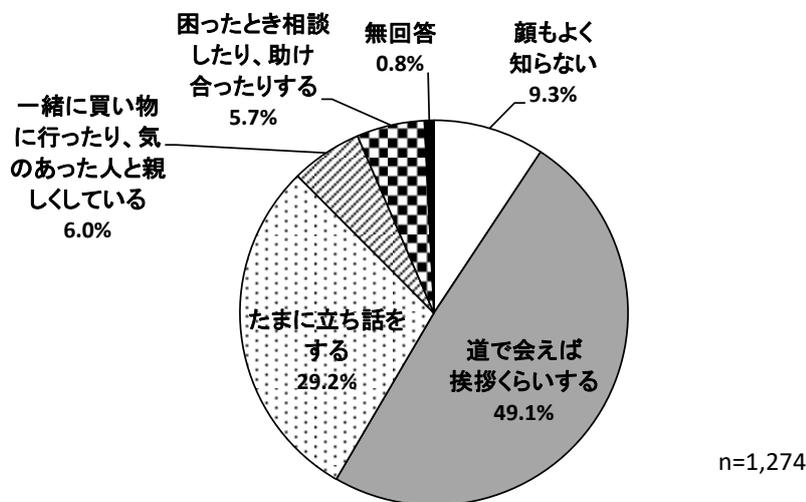
■ 年齢別、男女別 日常生活上困ったときの相談先 (問7×F1、F2)

- ・全ての世代で「家族・親戚」が最も高く、30代を中心に50代以下では8割を超えている。また、10代・20代、30代では「友人」が区全体の数値と比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・男女とも「家族・親戚」が最も多く、女性は男性より9.9ポイント高くなっている。また、女性では「友人」の割合が55.9%で、男性と比べて17.8ポイント高くなっている。

		合計	問7 日常生活上、困ったときの相談先										
			家族・親戚	友人	近所の人	自治会・町内会の人	民生委員	区役所の職員	地域ケアプラザの職員	社会福祉協議会の職員	相談したいが相談できる相手がいない	相談する必要がある、自分で解決している	無回答
全体		1274	81.4	48.7	17.9	3.8	1.8	4.5	3.2	0.5	2.7	5.4	1.3
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	85.0	65.0	2.9	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	6.4	0.7
	30代	137	87.6	59.1	13.9	0.7	0.7	5.1	0.7	0.7	2.9	0.7	0.7
	40代	259	83.0	54.4	18.5	2.3	0.4	3.5	0.8	0.0	2.7	3.9	0.4
	50代	238	80.7	47.1	23.1	2.9	0.8	5.9	0.8	0.0	4.2	6.3	1.3
	60代	233	78.1	45.9	19.7	6.4	1.7	6.0	6.9	1.3	2.1	7.3	0.9
	70代以上	252	78.2	32.5	21.8	7.5	6.0	4.8	7.5	1.2	2.4	6.7	2.8
F2 性別	男性	493	75.5	38.1	14.6	5.5	1.2	6.1	3.4	1.0	4.5	7.9	1.2
	女性	760	85.4	55.9	20.1	2.9	2.0	3.4	3.2	0.3	1.4	3.7	1.2

問8 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つだけ)

- ・「道で会えば挨拶くらいする」(49.1%)が5割弱、次いで「たまに立ち話をする」(29.2%)は3割弱である。次いで「顔もよく知らない」(9.3%)、「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」(6.0%)、「困ったとき相談したり、助け合ったりする」(5.7%)の順である。



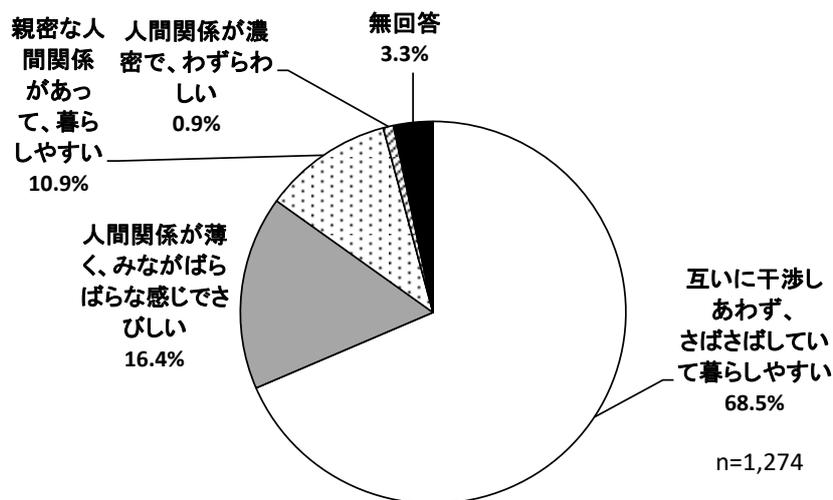
■ 年齢別 隣近所とつき合い方 (問8×F1)

- ・70代以上では「たまに立ち話をする」が最も多い。それ以外の世代では「道で会えば挨拶くらいする」が最も多く、特に10代では75.0%で、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。
- ・「顔もよく知らない」の割合は若い世代ほど高い傾向にあり、10代・20代では2割弱、30代でも1割を超えている。「たまに立ち話をする」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」は60代以上で数値が高い傾向にある。

		合計	問8 隣近所とつき合い方					
			顔もよく知らない	道で会えば挨拶くらいする	たまに立ち話をする	あつたり親しく	一緒に買い物に	困ったとき相談したり
全体		1274	9.3	49.1	29.2	6.0	5.7	0.8
F1 年齢(統合)	10代・20代	140	18.6	75.0	5.0	0.0	0.7	0.7
	30代	137	15.3	57.7	19.0	2.2	5.8	0.0
	40代	259	9.3	52.5	28.2	6.2	3.9	0.0
	50代	238	8.8	44.5	32.8	5.0	8.4	0.4
	60代	233	4.7	44.6	38.6	6.9	4.7	0.4
	70代以上	252	4.8	35.7	37.3	11.1	8.7	2.4

問9 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

- ・「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が68.5%と、7割近くに達している。次いで「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」(16.4%)、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(10.9%)である。



■ 年齢別 隣近所とつき合い方をどう感じているか (問9×F1)

- ・いずれの世代も「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が最も多くなっている。特に10代・20代と40代、60代では7割を超えている。

		合計	問9 隣近所とのつき合いをどう感じているか				
			互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい	人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい	親密な人間関係があって、暮らしやすい	人間関係が濃密で、わずらわしい	無回答
	全体	1274	68.5	16.4	10.9	0.9	3.3
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	75.0	14.3	10.0	0.7	0.0
	30代	137	67.9	24.8	5.1	1.5	0.7
	40代	259	71.0	15.1	10.8	0.4	2.7
	50代	238	69.3	14.3	12.2	0.8	3.4
	60代	233	70.4	12.4	11.6	0.9	4.7
	70代以上	252	61.5	19.4	13.1	0.8	5.2

■ 居住地区別 隣近所とつき合い方をどう感じているか（問9×F9）

- ・全ての居住地区で「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」が最も多くなっている。中里地区、上谷本地区、青葉台地区、奈良町・奈良北団地地区、すすき野地区、美しが丘地区では7割を超えている。
- ・市ヶ尾地区、谷本地区、恩田地区、荇田・新荇田地区では「人間関係が薄く、みなばらばらな感じでさびしい」が2割を超えている。

		合計	問9 隣近所とのつき合い方をどう感じているか				
			互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい	人間関係が薄く、みなばらばらな感じでさびしい	親密な人間関係があつて、暮らしやすい	人間関係が濃密で、わずらわしい	無回答
全体		1274	68.5	16.4	10.9	0.9	3.3
地区別	中里地区	78	75.6	6.4	12.8	0.0	5.1
	中里北部地区	63	66.7	12.7	12.7	3.2	4.8
	市ヶ尾地区	77	64.9	22.1	11.7	1.3	0.0
	上谷本地区	57	71.9	15.8	10.5	0.0	1.8
	谷本地区	113	59.3	23.9	12.4	1.8	2.7
	恩田地区	122	62.3	21.3	13.1	0.8	2.5
	青葉台地区	153	72.5	16.3	7.8	1.3	2.0
	奈良町・奈良北団地地区	104	75.0	12.5	10.6	1.0	1.0
	山内地区	162	68.5	14.2	13.0	0.0	4.3
	荇田・新荇田地区	134	64.9	23.1	9.7	0.0	2.2
	荇田西地区	54	64.8	18.5	9.3	0.0	7.4
	すすき野地区	71	73.2	9.9	12.7	0.0	4.2
	美しが丘地区	48	79.2	10.4	8.3	0.0	2.1

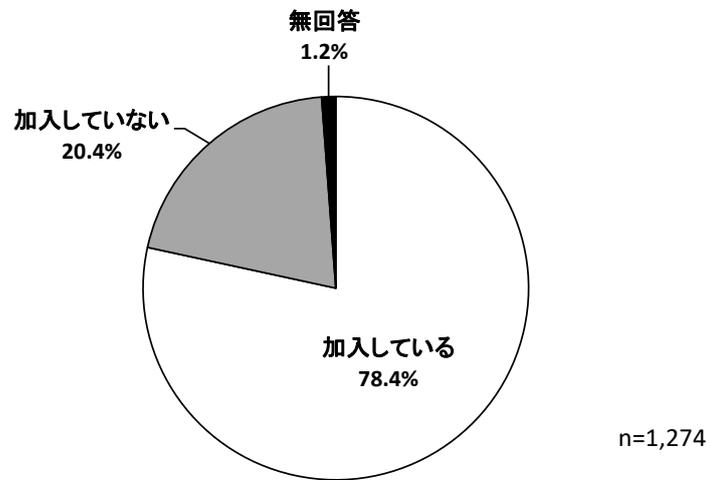
■ 隣近所とのつきあい方別 隣近所とつき合い方をどう感じているか（問9×問8）

- ・隣近所とのつき合い方が「困ったとき相談したり、助け合ったりする」では半数以上が「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」としている。それ以外では「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」の割合が高くなっている。
- ・「顔もよく知らない」では「人間関係が薄く、みなばらばらな感じでさびしい」、「一緒に買い物に行ったり、気のあつた人と親しくしている」では「親密な人間関係があつて、暮らしやすい」が区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

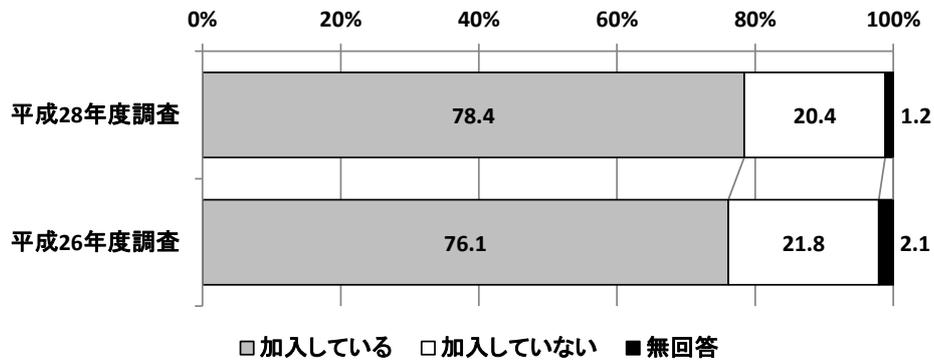
		合計	問9 隣近所とのつき合い方をどう感じているか				
			互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい	人間関係が薄く、みなばらばらな感じでさびしい	親密な人間関係があつて、暮らしやすい	人間関係が濃密で、わずらわしい	無回答
全体		1274	68.5	16.4	10.9	0.9	3.3
問8 隣近所とつき合い方	顔もよく知らない	118	66.1	28.8	0.0	0.8	4.2
	道で会えば挨拶くらいする	626	74.4	18.7	2.9	1.1	2.9
	たまに立ち話をする	372	69.6	12.4	14.0	0.8	3.2
	一緒に買い物に行ったり、気のあつた人と親しくしている	76	50.0	9.2	38.2	0.0	2.6
	困ったとき相談したり、助け合ったりする	72	40.3	4.2	54.2	0.0	1.4
	無回答	10	30.0	20.0	10.0	0.0	40.0

問 10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(〇は1つだけ)

- ・「加入している」が 78.4%、「加入していない」が 20.4%である。
- ・平成 26 年度調査では「加入している」が 76.1%で、今年度はこれより 2.3 ポイント増加している。



<参考 平成 26 年度調査結果との比較>



■ 居住地区別 自治会・町内会の加入状況（問10×F9）

- ・全ての居住地区で「加入している」の割合が高く、特にすすき野地区では9割を超えている。荏田・新荏田地区では「加入していない」の数値が区全体より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問10 自治会・町内会への加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1274	78.4	20.4	1.2
地区別	中里地区	78	84.6	15.4	0.0
	中里北部地区	63	88.9	7.9	3.2
	市ヶ尾地区	77	72.7	26.0	1.3
	上谷本地区	57	89.5	10.5	0.0
	谷本地区	113	82.3	16.8	0.9
	恩田地区	122	76.2	23.0	0.8
	青葉台地区	153	71.9	28.1	0.0
	奈良町・奈良北団地地区	104	76.0	22.1	1.9
	山内地区	162	85.8	13.0	1.2
	荏田・新荏田地区	134	60.4	37.3	2.2
	荏田西地区	54	81.5	16.7	1.9
	すすき野地区	71	91.5	8.5	0.0
	美しが丘地区	48	72.9	25.0	2.1

■ 居住形態別 自治会・町内会の加入状況（問10×F3）

- ・借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）のみ「加入していない」の方が多く、半数を超えている。持家・借家とも、一戸建てでの加入率が9割前後と高くなっている。

		合計	問10 自治会・町内会への加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1274	78.4	20.4	1.2
F3 居住形態	持家（一戸建て）	615	94.1	5.5	0.3
	持家（共同住宅）	314	80.6	18.8	0.6
	借家（一戸建て）	32	87.5	12.5	0.0
	借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）	281	43.4	54.8	1.8
	その他	12	58.3	25.0	16.7

■ 隣近所とのつき合い方別 自治会・町内会の加入状況（問10×問8）

- ・「顔もよく知らない」では半数以上が自治会・町内会に加入していない。それ以外はいずれも「加入している」の方が多く、「たまに立ち話をする」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」で9割を超えている。

		合計	問10 自治会・町内会への加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1274	78.4	20.4	1.2
問8 隣近所とのつき合い方	顔もよく知らない	118	39.8	56.8	3.4
	道で会えば挨拶くらいする	626	74.8	24.1	1.1
	たまに立ち話をする	372	93.0	6.7	0.3
	一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている	76	90.8	7.9	1.3
	困ったとき相談したり、助け合ったりする	72	84.7	15.3	0.0
	無回答	10	80.0	0.0	20.0

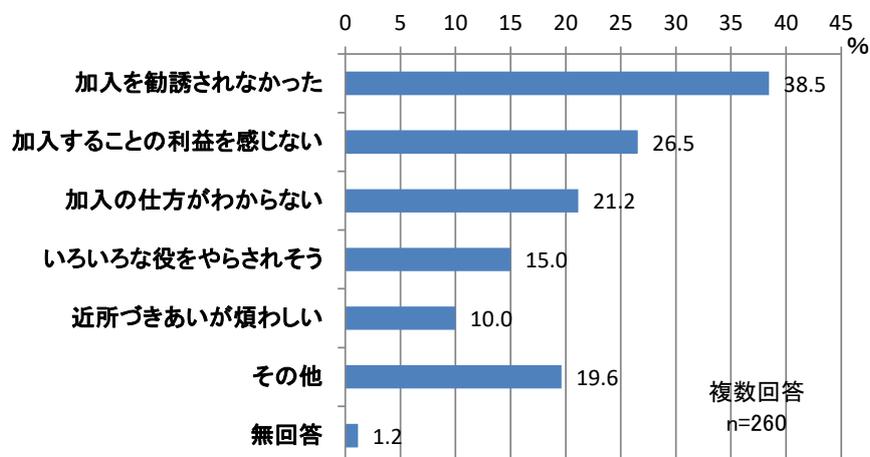
■ 隣近所とのつき合い方をどう感じているか別 自治会・町内会の加入状況（問10×問9）

- ・全ての層で「加入している」の割合が高く、特に「親密な人間関係があって、暮らしやすい」では9割近くが「加入している」と回答している。

		合計	問10 自治会・町内会への加入		
			加入している	加入していない	無回答
全体		1274	78.4	20.4	1.2
問9 隣近所とのつき合い方をどう感じているか	互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい	873	77.1	21.9	1.0
	人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい	209	78.0	22.0	0.0
	親密な人間関係があって、暮らしやすい	139	88.5	11.5	0.0
	人間関係が濃密で、わずらわしい	11	81.8	18.2	0.0
	無回答	42	73.8	11.9	14.3

問 10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。(問 10 で「2 加入していない」と回答された方、〇は2つまで)

- ・「加入を勧誘されなかった」が 38.5% で最も多く、4 割近くとなっている。次いで「加入することの利益を感じない」(26.5%)、「加入の仕方がわからない」(21.2%)、「いろいろな役をやらされそう」(15.0%)、「近所づきあいが煩わしい」(10.0%) が続く。



「その他」意見内容

大分類	中分類	件数
賃貸住宅・集合住宅に住んでいるため		18
	マンションが加入していない	8
	賃貸だから	7
	マンションが自治会のようなもの	1
	マンションの理事会に加入している	1
	マンション全世帯が加入の条件だった	1
仕事のため		5
	忙しい	3
	帰宅が遅い、休みが合わない	1
	海外出張が多い	1
その他の理由		15
	家族が加入している	4
	自治会そのものがない	2
	施設に入居している	1
	いやなことがあったから	1
	面倒だから	1
	未成年だから	1
	高齢だから	1
	身体が弱いから	1
	独身だから	1
	新参者は受け入れられない気がする	1
	長年不在したので	1
わからない		9
	わからない	6
	自治会があるのかどうか知らない	2
	加入しているのかどうか知らない	1

■ 居住形態別 自治会・町内会に加入していない理由（問10-1×F3）

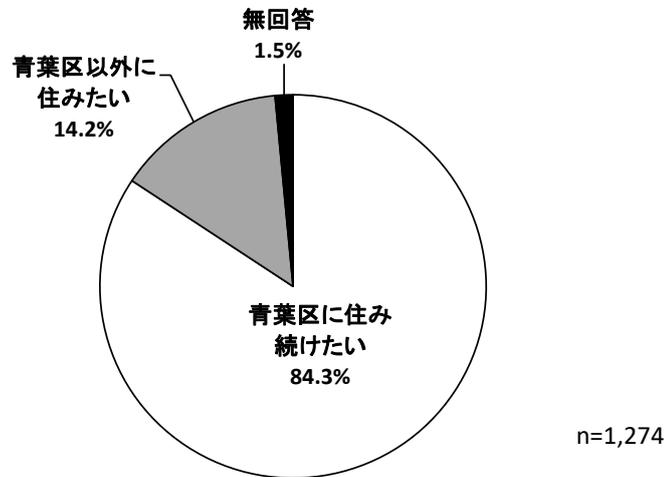
- ・持家（一戸建て）では「加入することの利益を感じない」「加入を勧誘されなかった」が同率となっている。持家（共同住宅）、借家（一戸建て）では「加入することの利益を感じない」、借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）では「加入を勧誘されなかった」が最も多い。

		合計	問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由						
			加入することの利益を感じない	いろいろな役をやらされそう	近所づきあいが煩わしい	加入を勧誘されなかった	加入の仕方がわからない	その他	無回答
全体		260	26.5	15.0	10.0	38.5	21.2	19.6	1.2
F3 居住形態	持家（一戸建て）	34	26.5	11.8	8.8	26.5	17.6	23.5	0.0
	持家（共同住宅）	59	32.2	22.0	6.8	27.1	11.9	23.7	0.0
	借家（一戸建て）	4	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）	154	24.0	13.6	11.7	46.8	24.7	15.6	1.3
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3

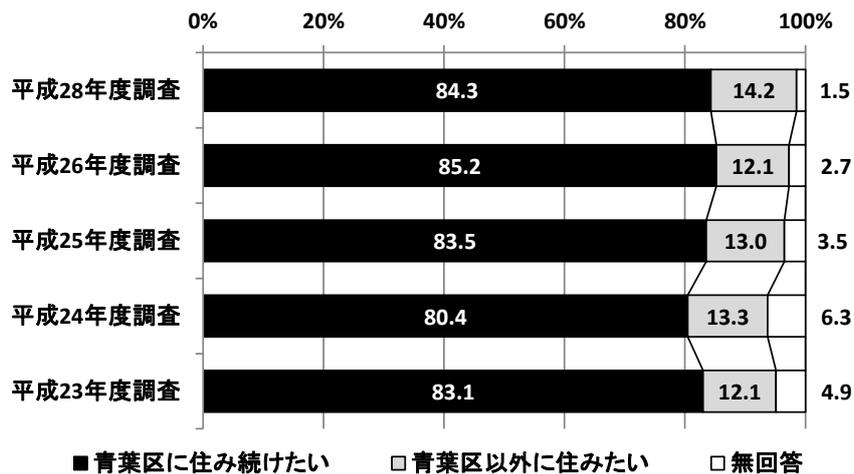
3. 定住意識について

問 11 あなたは、青葉区に住み続けたいと思いますか。 (○は1つだけ)

- ・「青葉区に住み続けたい」が 84.3%である。一方「青葉区以外に住みたい」は 14.2%である。
- ・過去調査と比較すると、平成 23 年度から一貫して「青葉区に住み続けたい」が 8 割を超えている。



< 参考 平成 23～26 年度調査結果との比較 >



■ 年齢別 青葉区への定住意向(問11×F1)

- ・ いずれの年代でも「青葉区に住み続けたい」の方が多く、特に 70 代以上では 9 割を超えている。一方、「青葉区以外に住みたい」の数値は若い世代ほど高く、特に 10 代・20 代では区全体に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問11 青葉区に住み続けたいと思うか		
			青葉区に住み続けたい	青葉区以外に住みたい	無回答
全体		1274	84.3	14.2	1.5
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	72.1	27.1	0.7
	30代	137	82.5	17.5	0.0
	40代	259	80.7	17.4	1.9
	50代	238	84.9	13.9	1.3
	60代	233	89.3	9.4	1.3
	70代以上	252	92.1	6.3	1.6

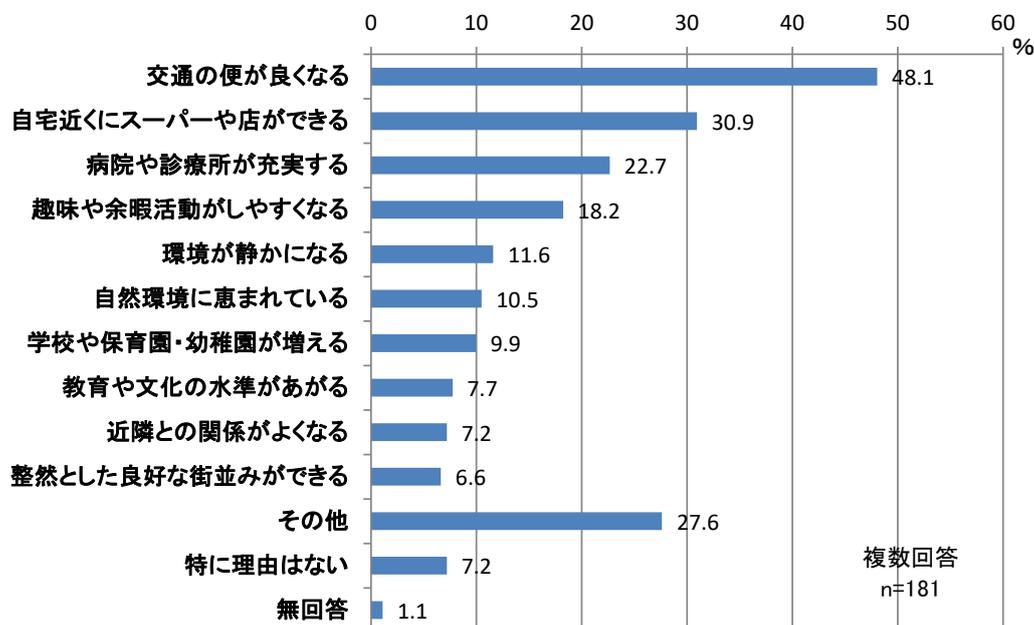
■ 居住地区別 青葉区への定住意向(問11×F9)

- ・ いずれの地区でも「青葉区に住み続けたい」の方が多く、中里地区、上谷本地区では 9 割を超えている。一方、市ヶ尾地区は「青葉区以外に住みたい」の割合が 2 割を超え、区全体の数値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問11 青葉区に住み続けたいと思うか		
			青葉区に住み続けたい	青葉区以外に住みたい	無回答
全体		1274	84.3	14.2	1.5
地区別	中里地区	78	96.2	3.8	0.0
	中里北部地区	63	82.5	15.9	1.6
	市ヶ尾地区	77	74.0	24.7	1.3
	上谷本地区	57	93.0	7.0	0.0
	谷本地区	113	84.1	15.0	0.9
	恩田地区	122	80.3	18.9	0.8
	青葉台地区	153	86.9	12.4	0.7
	奈良町・奈良北団地地区	104	83.7	14.4	1.9
	山内地区	162	87.7	9.3	3.1
	荳田・新荳田地区	134	84.3	14.9	0.7
	荳田西地区	54	79.6	18.5	1.9
	すすき野地区	71	88.7	9.9	1.4
	美しが丘地区	48	83.3	16.7	0.0

問 11-1 「住み続けたくない」気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるためには何が必要だと思いますか。(問 11 で「2 青葉区以外に住みたい」と回答された方、○はいくつでも)

- ・「交通の便が良くなる」が 48.1% で、半数近くが挙げている。次いで「自宅近くにスーパーや店ができる」(30.9%)、「病院や診療所が充実する」(22.7%)で、他の項目と比べてこれら 3 項目は 2 割を超えている。



「その他」意見内容

大分類	中分類	件数
住環境の改善	坂が多い	5
	人が多すぎる	2
	住宅(実家)の維持	2
	ごみの捨て方が簡単になる	1
	完全禁煙化	1
	大気汚染の改善	1
	冬の寒さの改善	1
	商業	1
商店街の充実	1	
福祉	高齢者福祉施設の充実	2
	子ども向けの手当、医療費助成等の充実	2
	バリアフリー化	1
税金・物価	物価・家賃・地価が高い	7
	保険料・年金・税金が高い	6
	経済的格差の解消	3
	道路・交通	11
道路・交通	通勤時間の短縮	4
	田園都市線の混雑解消	4
	交通利便性の向上	1
	駐輪場の充実	1
	駐車場が高い	1
文化・教育	図書館の充実	2
	若者文化を取り入れる	1
地域コミュニティ	お祭り	1
	公共マナーの改善	1
その他		5
計		56

■ 年齢別 住み続けたくない気持ちが変わるために必要なこと(問 11-1×F1)

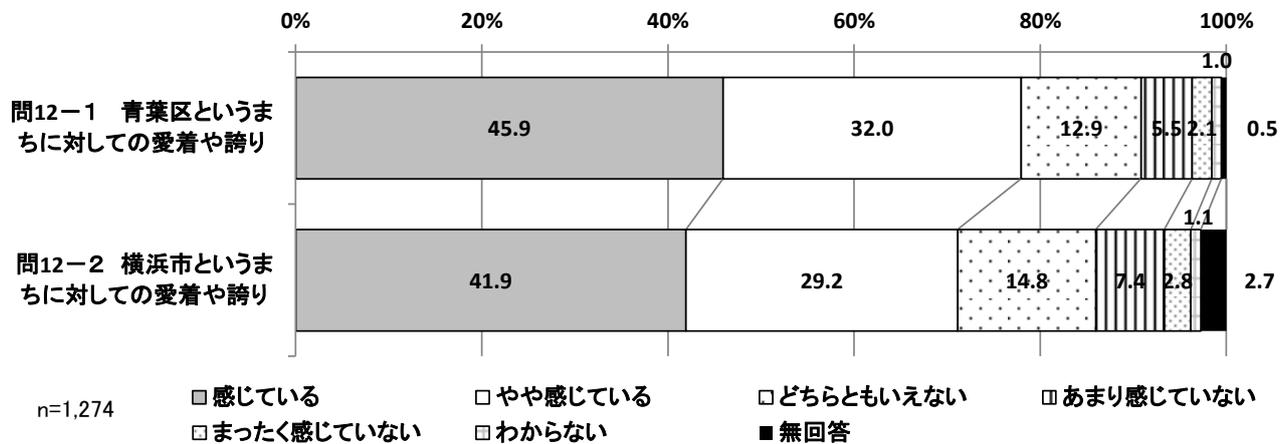
- ・60代では「自宅近くにスーパーや店ができる」が最も多い。それ以外の世代では「交通の便が良くなる」が最も多く、特に30代では高い数値となっている。
- ・10代・20代では「趣味や余暇活動がしやすくなる」、30代と60代では「病院や診療所が充実する」、60代では「近隣との関係がよくなる」、70代以上では「整然とした良好な街並みができる」の数値が区全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

		問11-1 「住み続けたい」気持ちが変わるために必要なこと													
		合計	店 が 自 宅 近 く に ス ー パ ー や	病 院 や 診 療 所 が 充 実 す	交 通 の 便 が 良 く な る	自 然 環 境 に 恵 ま れ て い	趣 味 や 余 暇 活 動 が し や す く な る	学 校 や 保 育 園 ・ 幼 稚 園 が 増 え る	教 育 や 文 化 の 水 準 が あ る	整 然 と し た 良 好 な 街 並 み が で き る	環 境 が 静 か に な る	近 隣 と の 関 係 が よ く な る	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体		181	30.9	22.7	48.1	10.5	18.2	9.9	7.7	6.6	11.6	7.2	27.6	7.2	1.1
F1 年齢 (統合)	10代・20代	38	28.9	5.3	39.5	15.8	31.6	10.5	15.8	10.5	15.8	5.3	23.7	10.5	0.0
	30代	24	20.8	33.3	62.5	4.2	16.7	16.7	0.0	4.2	8.3	12.5	12.5	12.5	0.0
	40代	45	31.1	20.0	44.4	11.1	8.9	15.6	8.9	6.7	13.3	2.2	35.6	2.2	0.0
	50代	33	27.3	21.2	54.5	6.1	12.1	6.1	6.1	0.0	6.1	3.0	27.3	9.1	0.0
	60代	22	54.5	40.9	50.0	18.2	22.7	0.0	0.0	4.5	13.6	22.7	31.8	0.0	4.5
	70代以上	16	25.0	31.3	43.8	6.3	25.0	0.0	12.5	18.8	12.5	6.3	31.3	6.3	0.0

4. 区・市への愛着について

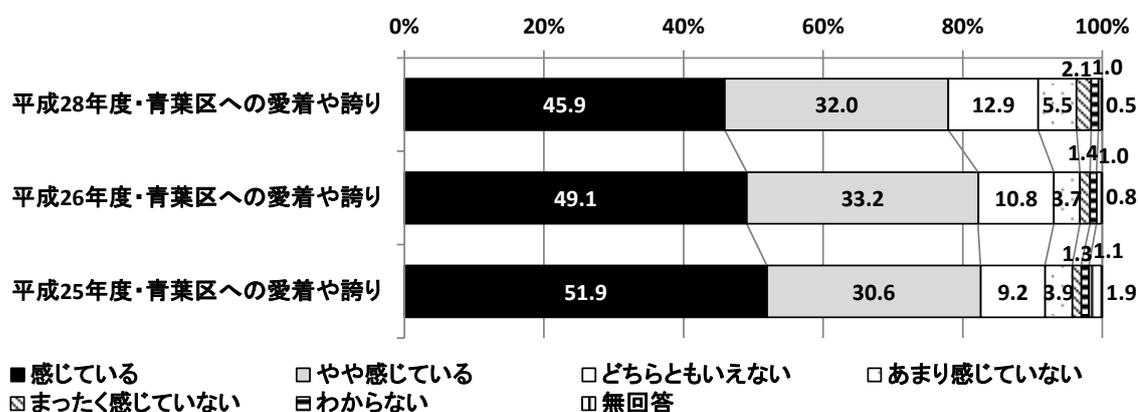
問 12 あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。（それぞれに○は1つ）

- ・青葉区については、愛着や誇りを「感じている」が最も多く 45.9%で、全体の半数近くとなっている。次いで「やや感じている」が 32.0%で、これらを合わせると 77.9%と、8割近い人が青葉区に愛着を感じるとしている。以下「どちらともいえない」（12.9%）、「あまり感じていない」（5.5%）、「まったく感じていない」（2.1%）、「わからない」（1.0%）となっている。
- ・横浜市については、「感じている」が最も多く 41.9%、次いで「やや感じている」が 29.2%で、これらを合わせると 71.1%と、横浜市に愛着を感じているのは7割強となっている。以下「どちらともいえない」（14.8%）、「あまり感じていない」（7.4%）、「まったく感じていない」（2.8%）、「わからない」（1.1%）となっている。

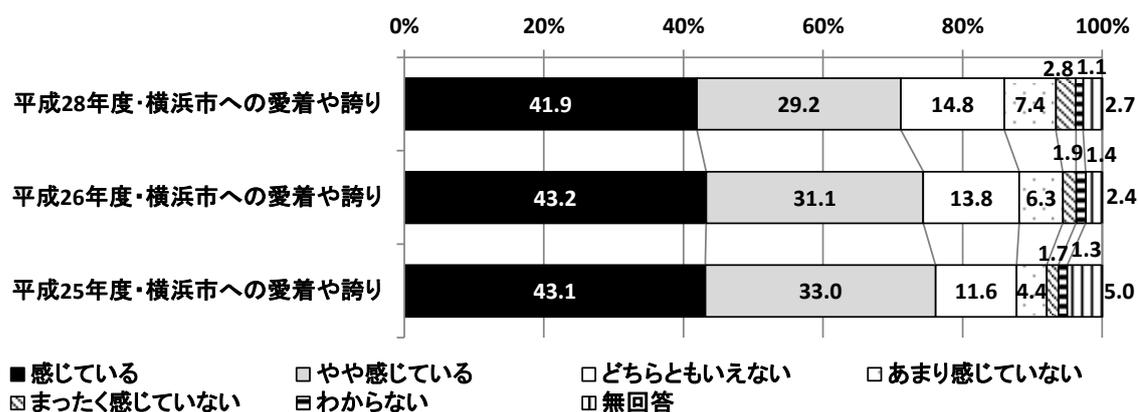


- ・青葉区への愛着や誇りについて、過去の調査結果と比較すると、「感じている」と「やや感じている」を合わせた数値は、平成25, 26年度では8割台を維持していたが、今年度は77.9%と7割台に後退している。
- ・横浜市への愛着や誇りについて、過去の調査結果と比較すると、「感じている」と「やや感じている」を合わせた数値は、平成25年度76.1%、平成26年度74.3%、今年度71.1%と漸減傾向にある。

＜参考 青葉区への愛着や誇り：平成25, 26年度調査結果との比較＞



＜参考 横浜市への愛着や誇り：平成25, 26年度調査結果との比較＞



■ 年齢別 青葉区への愛着や誇り(問 12(1)×F1)

- ・ いずれの世代も「感じている」が最も多く、60代以上の世代では5割を超えている。
- ・ 「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、全ての年代で7割を超えており、特に50代と70代以上では8割以上となっている。

		合計	問12-1 青葉区というまちに対しての愛着や誇り								
			感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答	感じている+やや感じている	あまり感じていない+全く感じていない
	全体	1274	45.9	32.0	12.9	5.5	2.1	1.0	0.5	77.9	7.6
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	39.3	32.9	16.4	6.4	2.9	2.1	0.0	72.1	9.3
	30代	137	39.4	30.7	16.8	8.0	4.4	0.7	0.0	70.1	12.4
	40代	259	39.4	36.7	13.5	4.6	3.9	1.5	0.4	76.1	8.5
	50代	238	46.2	36.6	11.8	4.6	0.4	0.0	0.4	82.8	5.0
	60代	233	51.5	28.3	10.3	6.4	1.3	1.7	0.4	79.8	7.7
	70代以上	252	54.4	27.0	12.3	4.0	1.2	0.4	0.8	81.3	5.2

■ 居住地区別 青葉区への愛着や誇り(問 12(1)×F9)

- ・ いずれも「感じている」が最も多く、特に上谷本地区では6割を超えている。
- ・ 「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、中里地区、上谷本地区、青葉台地区、すすき野地区で8割を超えている。

		合計	問12-1 青葉区というまちに対しての愛着や誇り								
			感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答	感じている+やや感じている	あまり感じていない+全く感じていない
	全体	1274	45.9	32.0	12.9	5.5	2.1	1.0	0.5	77.9	7.6
地区別	中里地区	78	48.7	37.2	9.0	2.6	1.3	1.3	0.0	85.9	3.8
	中里北部地区	63	52.4	27.0	9.5	6.3	0.0	4.8	0.0	79.4	6.3
	市ヶ尾地区	77	44.2	33.8	13.0	9.1	0.0	0.0	0.0	77.9	9.1
	上谷本地区	57	63.2	24.6	8.8	3.5	0.0	0.0	0.0	87.7	3.5
	谷本地区	113	46.9	29.2	14.2	5.3	2.7	1.8	0.0	76.1	8.0
	恩田地区	122	49.2	27.0	12.3	7.4	4.1	0.0	0.0	76.2	11.5
	青葉台地区	153	44.4	39.2	10.5	2.6	1.3	2.0	0.0	83.7	3.9
	奈良町・奈良北団地地区	104	38.5	30.8	20.2	6.7	0.0	1.9	1.9	69.2	6.7
	山内地区	162	46.9	31.5	13.0	4.3	3.7	0.0	0.6	78.4	8.0
	荏田・新荏田地区	134	40.3	32.1	14.9	9.0	2.2	0.7	0.7	72.4	11.2
	荏田西地区	54	48.1	29.6	14.8	0.0	5.6	0.0	1.9	77.8	5.6
	すすき野地区	71	43.7	39.4	9.9	5.6	0.0	1.4	0.0	83.1	5.6
	美しが丘地区	48	47.9	27.1	12.5	8.3	4.2	0.0	0.0	75.0	12.5

■ 年齢別 横浜市への愛着や誇り(問12(2)×F1)

- ・いずれの世代も「感じている」が最も多くなっている。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、30代、40代を除いた世代で7割を超えている。

		合計	問12-2 横浜市というまちに対する愛着や誇り							感じている+やや感じている あまり感じていない+全く感じていない	
			感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答		
全体		1274	41.9	29.2	14.8	7.4	2.8	1.1	2.7	71.1	10.2
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	41.4	38.6	10.0	3.6	2.1	2.9	1.4	80.0	5.7
	30代	137	38.0	21.2	24.1	8.8	5.8	1.5	0.7	59.1	14.6
	40代	259	37.5	27.4	18.9	9.3	3.5	0.8	2.7	64.9	12.7
	50代	238	40.3	32.8	13.0	7.6	2.9	0.0	3.4	73.1	10.5
	60代	233	43.3	30.0	11.6	9.0	2.6	1.7	1.7	73.4	11.6
	70代以上	252	49.2	27.0	12.7	4.8	1.2	0.8	4.4	76.2	6.0

■ 居住地区別 横浜市への愛着や誇り(問12(2)×F9)

- ・すすき野地区を除く全ての地区で、「感じている」が最も多く、特に上谷本地区では5割を超えている。
- ・「感じている」「やや感じている」を合わせた数値を見てみると、上谷本地区では8割を超え、区全体と比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問12-2 横浜市というまちに対する愛着や誇り							感じている+やや感じている あまり感じていない+全く感じていない	
			感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答		
全体		1274	41.9	29.2	14.8	7.4	2.8	1.1	2.7	71.1	10.2
地区別	中里地区	78	44.9	26.9	14.1	6.4	2.6	1.3	3.8	71.8	9.0
	中里北部地区	63	44.4	28.6	11.1	6.3	1.6	4.8	3.2	73.0	7.9
	市ヶ尾地区	77	46.8	19.5	19.5	9.1	1.3	0.0	3.9	66.2	10.4
	上谷本地区	57	54.4	28.1	12.3	5.3	0.0	0.0	0.0	82.5	5.3
	谷本地区	113	41.6	31.0	15.9	5.3	3.5	1.8	0.9	72.6	8.8
	恩田地区	122	45.9	29.5	12.3	9.8	1.6	0.0	0.8	75.4	11.5
	青葉台地区	153	41.2	30.1	13.7	7.8	2.0	2.0	3.3	71.2	9.8
	奈良町・奈良北団地区	104	33.7	29.8	20.2	6.7	1.9	3.8	3.8	63.5	8.7
	山内地区	162	43.8	27.8	17.9	4.3	3.1	0.0	3.1	71.6	7.4
	荏田・新荏田地区	134	38.1	32.8	11.2	11.2	4.5	0.7	1.5	70.9	15.7
	荏田西地区	54	48.1	22.2	14.8	3.7	7.4	0.0	3.7	70.4	11.1
	すすき野地区	71	29.6	45.1	12.7	8.5	0.0	0.0	4.2	74.6	8.5
	美しが丘地区	48	43.8	22.9	14.6	10.4	6.3	0.0	2.1	66.7	16.7

■ 横浜市・青葉区への愛着度別 定住意向(問12(1)(2)×問11)

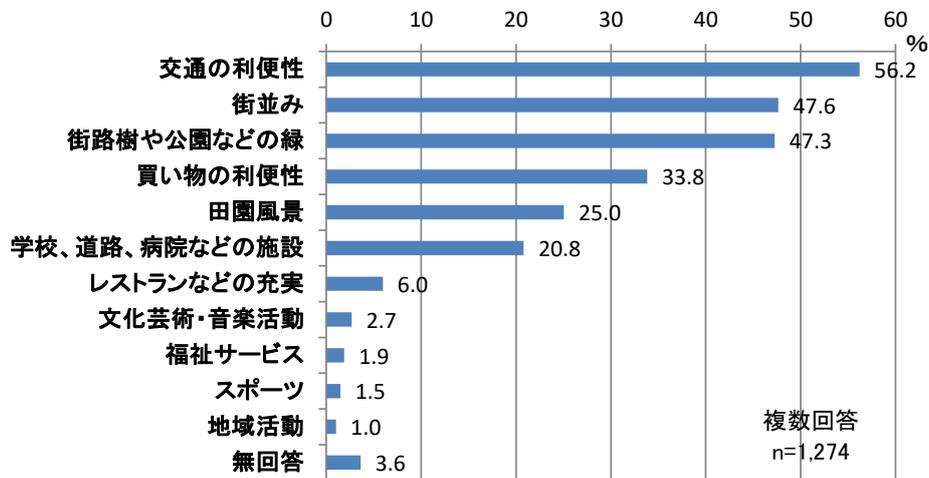
- ・青葉区への愛着を「感じている」「やや感じている」人の9割前後が青葉区への定住意向を示している。一方「あまり感じていない」「まったく感じていない」人の半数以上が「青葉区以外に住みたい」としている。
- ・横浜市への愛着度を「感じている」人の9割以上、「やや感じている」の8割以上が青葉区への定住意向を示している。「あまり感じていない」人の3割強、「まったく感じていない」人の半数が「青葉区以外に住みたい」としている。

		合計	問11 青葉区に住み続けたいと思うか		
			青葉区に住み続けたい	青葉区以外に住み続けたい	無回答
	全体	1274	84.3	14.2	1.5
問12-1 青葉区 というまちに 対しての愛着 や誇り	感じている	585	95.4	4.1	0.5
	やや感じている	408	87.7	11.8	0.5
	どちらともいえない	164	67.1	32.3	0.6
	あまり感じていない	70	42.9	54.3	2.9
	まったく感じていない	27	37.0	55.6	7.4
	わからない	13	53.8	23.1	23.1
	無回答	7	14.3	0.0	85.7
問12-2 横浜市 というまちに 対しての愛着 や誇り	感じている	534	92.9	6.6	0.6
	やや感じている	372	86.3	12.9	0.8
	どちらともいえない	189	75.7	23.3	1.1
	あまり感じていない	94	63.8	34.0	2.1
	まったく感じていない	36	47.2	50.0	2.8
	わからない	14	71.4	14.3	14.3
	無回答	35	77.1	5.7	17.1

5. 青葉区の魅力について

問 13 あなたは、青葉区のどのようなところが魅力的と感じていますか。(〇は3つまで)

- ・最も多いのは「交通の利便性」の 56.2% で、半数以上の人々が挙げている。次いで「街並み」が 47.6%、「街路樹や公園などの緑」が 47.3% でほぼ並ぶ。以下「買い物の利便性」(33.8%)、「田園風景」(25.0%)、「学校、道路、病院などの施設」(20.8%) が 2 割以上となっている。



■ 年齢別 青葉区の魅力(問13×F1)

- ・30代、40代では「街並み」が最も多く、特に30代では数値が高くなっている。それ以外の世代では「交通の利便性」が最も多い。

	合計	問13 青葉区の魅力的と感じるところ													
		交通の利便性	街並み	設 病 学 性 買 な 街 田 地 ど レ 福 楽 文 ス 無	校 院 校 買 い 物 の 利 便	性 買 い 物 の 利 便	な ど の 緑 や 公 園	街 路 樹 や 公 園	田 園 風 景	地 域 活 動	ど の 充 実 な	レ ス ト ラン な	福 祉 サ ー ビ ス	楽 活 動 ・ 音 楽	文 化 芸 術 ・ 音 楽
全体	1274	56.2	47.6	20.8	33.8	47.3	25.0	1.0	6.0	1.9	2.7	1.5	3.6		
F1 年齢(統合)															
10代・20代	140	58.6	38.6	23.6	33.6	38.6	24.3	0.7	13.6	1.4	0.7	1.4	3.6		
30代	137	50.4	65.7	18.2	40.1	51.1	24.1	0.7	7.3	2.2	1.5	2.2	0.0		
40代	259	49.4	55.6	20.1	32.0	45.6	25.9	0.4	6.6	0.0	1.5	1.5	2.7		
50代	238	60.5	52.5	21.4	31.5	45.8	22.7	0.4	4.2	0.8	3.8	0.0	2.5		
60代	233	55.4	48.5	19.3	31.8	51.5	27.5	0.9	6.9	2.6	2.1	1.7	5.2		
70代以上	252	62.7	31.0	21.8	36.1	49.2	24.6	2.8	1.2	4.0	4.8	2.0	5.6		

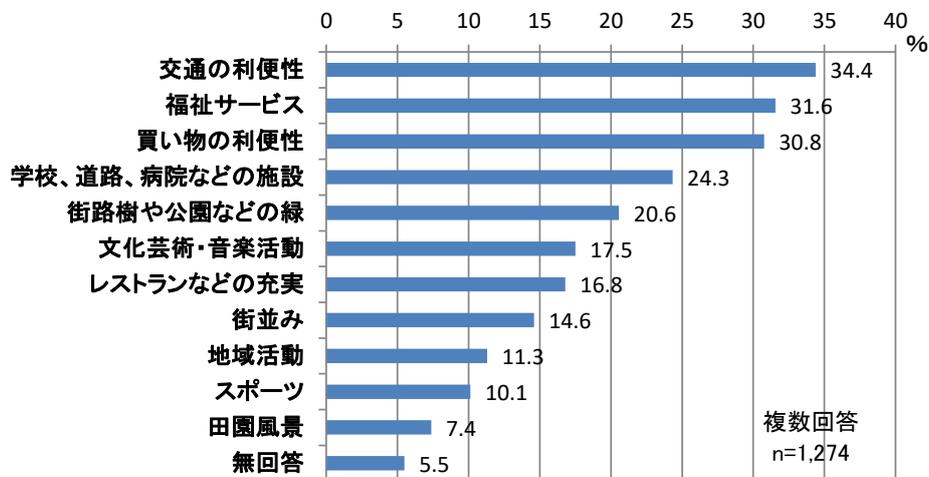
■ 居住地区別 青葉区の魅力(問13×F9)

- ・中里地区、美しが丘地区では「街並み」が最も多く、特に美しが丘地区では数値が高い。恩田地区、奈良町・奈良北団地地区、荇田西地区では「街路樹や公園などの緑」が最も多い。それ以外の地区では「交通の利便性」が最も多く、特に青葉台地区では数値が高くなっている。
- ・中里北部地区、奈良町・奈良北団地地区では「田園風景」、上谷本地区では「街並み」「学校、道路、病院などの施設」、谷本地区では「学校、道路、病院などの施設」、青葉台地区では「買い物の利便性」、美しが丘地区では「買い物の利便性」「街路樹や公園などの緑」の数値が、それぞれ区全体の数値より10ポイント以上高く、地域によって特性が見られる。

		問13 青葉区の魅力的と感じるところ												
		合計	交通の利便性	街並み	設 病 学 性 買 街 田 地 道 福 楽 文 文 体 活 動 楽 活 動 音 楽 活 動	院 校 道 路 施 設	物 の 利 便 性	路 樹 や 公 園 等 の 緑	園 風 景	域 活 動	の 充 実	社 サ ー ビ ス	化 術 ・ 音	ス ポ ー ツ
全体		1274	56.2	47.6	20.8	33.8	47.3	25.0	1.0	6.0	1.9	2.7	1.5	3.6
地区別	中里地区	78	51.3	56.4	20.5	19.2	55.1	30.8	2.6	2.6	5.1	3.8	5.1	2.6
	中里北部地区	63	65.1	41.3	22.2	31.7	39.7	39.7	0.0	6.3	1.6	0.0	0.0	4.8
	市ヶ尾地区	77	54.5	42.9	24.7	28.6	39.0	29.9	0.0	5.2	2.6	1.3	0.0	6.5
	上谷本地区	57	63.2	57.9	31.6	24.6	49.1	19.3	0.0	10.5	1.8	7.0	0.0	1.8
	谷本地区	113	54.9	45.1	34.5	26.5	46.0	28.3	0.9	4.4	1.8	1.8	0.9	2.7
	恩田地区	122	47.5	39.3	13.1	32.8	48.4	34.4	0.8	6.6	1.6	2.5	0.8	4.1
	青葉台地区	153	69.9	44.4	23.5	43.8	43.1	20.9	0.7	5.9	0.7	3.3	0.0	2.0
	奈良町・奈良北団地地区	104	29.8	39.4	15.4	18.3	54.8	43.3	1.0	1.0	1.9	5.8	2.9	5.8
	山内地区	162	64.2	57.4	18.5	41.4	43.8	12.3	0.6	9.3	1.9	1.2	1.2	1.9
	荇田・新荇田地区	134	64.2	44.8	14.2	42.5	44.8	22.4	0.7	6.7	0.7	3.0	3.0	3.0
	荇田西地区	54	53.7	53.7	25.9	24.1	55.6	14.8	1.9	7.4	1.9	3.7	1.9	3.7
	寸又野地区	71	59.2	50.7	18.3	40.8	50.7	15.5	2.8	0.0	4.2	1.4	4.2	2.8
	美しが丘地区	48	47.9	64.6	14.6	54.2	58.3	6.3	4.2	14.6	0.0	2.1	0.0	2.1

問 14 青葉区の魅力について、より向上させてほしいのはどのような点ですか。（〇は3つまで）

- ・最も多いのは「交通の利便性」の 34.4%、次いで「福祉サービス」が 31.6%、「買い物の利便性」が 30.8%で、これらは3割以上の方が挙げている。以下「学校、道路、病院などの施設」（24.3%）、「街路樹や公園などの緑」（20.6%）などと続く。



■ 年齢別 青葉区の魅力について、より向上させてほしい点（問14×F1）

- ・10代・20代では「買い物の利便性」、30代、40代では「交通の利便性」、50代、60代、70代以上では「福祉サービス」が最も多く、年齢が高いほど数値が高くなっている。また、30代では「学校、道路、病院などの施設」の数値が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		問14 青葉区の魅力について、より向上させてほしい点												
		合計	交通の利便性	街並み	学校、道路、病院などの施設	買い物の利便性	街路樹や公園などの緑	田園風景	地域活動	レストランなどの充実	福祉サービス	文化芸術・音楽活動	スポーツ	無回答
	全体	1274	34.4	14.6	24.3	30.8	20.6	7.4	11.3	16.8	31.6	17.5	10.1	5.5
F1 年齢(統合)	10代・20代	140	35.7	17.1	23.6	37.1	18.6	8.6	10.7	23.6	15.0	14.3	17.9	4.3
	30代	137	40.1	13.1	36.5	32.8	23.4	6.6	8.0	19.7	18.2	13.9	13.9	2.2
	40代	259	38.6	16.2	27.8	30.5	20.1	6.6	11.6	17.4	23.9	16.2	12.4	4.2
	50代	238	32.4	16.0	18.5	27.3	19.7	7.6	10.1	16.8	33.2	20.2	12.2	4.6
	60代	233	34.8	12.4	25.8	27.9	23.6	6.9	12.9	12.9	43.3	19.3	6.9	4.7
	70代以上	252	27.8	13.1	18.7	31.7	18.7	8.3	13.1	15.1	44.0	19.4	3.2	9.9

■ 居住地区別 青葉区の魅力について、より向上させてほしい点(問14×F9)

- ・市ヶ尾地区、奈良町・奈良北団地地区では「交通の利便性」が最も多く、特に奈良町・奈良北団地地区では高い数値となっている。荇田・新荇田地区では「学校、道路、病院などの施設」が最も多い。中里地区、谷本地区、青葉台地区、荇田西地区では「買い物の利便性」が最も多く、特に中里地区と荇田西地区では高い数値となっている。美しが丘地区は「文化芸術・音楽活動」が最も多い。それ以外の地区では「福祉サービス」が最も多く、特に上谷本地区では数値が高くなっている。
- ・美しが丘地区では「学校、道路、病院などの施設」の数値が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		問14 青葉区の魅力について、より向上させてほしい点												
		合計	交通の利便性	街並み	設 病 院 な ど の 施 設	学 校 、 道 路	性 買 い 物 の 利 便	な ど の 緑 の 街 路 樹 や 公 園	田 園 風 景	地 域 活 動	ド レ ス ト ラ ン な	福 祉 サ ー ビ ス	楽 文 化 活 動 音 術 ・ 音	ス ポ ー ツ
全体		1274	34.4	14.6	24.3	30.8	20.6	7.4	11.3	16.8	31.6	17.5	10.1	5.5
地区別	中里地区	78	39.7	7.7	28.2	43.6	20.5	5.1	15.4	21.8	24.4	9.0	9.0	3.8
	中里北部地区	63	31.7	17.5	27.0	19.0	9.5	9.5	12.7	14.3	39.7	20.6	9.5	4.8
	市ヶ尾地区	77	42.9	19.5	23.4	40.3	18.2	5.2	6.5	20.8	19.5	15.6	13.0	7.8
	上谷本地区	57	28.1	21.1	21.1	31.6	28.1	5.3	14.0	12.3	43.9	15.8	5.3	7.0
	谷本地区	113	39.8	15.0	17.7	40.7	16.8	4.4	13.3	15.9	29.2	14.2	8.8	6.2
	恩田地区	122	34.4	10.7	24.6	28.7	21.3	6.6	14.8	9.0	37.7	15.6	6.6	2.5
	青葉台地区	153	28.8	13.7	24.2	38.6	21.6	7.2	8.5	18.3	33.3	20.9	11.1	3.9
	奈良町・奈良北団地地区	104	62.5	13.5	27.9	28.8	12.5	12.5	4.8	21.2	27.9	12.5	8.7	3.8
	山内地区	162	25.9	10.5	24.7	18.5	21.0	9.3	11.1	9.9	36.4	16.7	12.3	9.3
	荇田・新荇田地区	134	23.9	17.9	27.6	26.1	25.4	9.0	14.9	21.6	25.4	20.9	15.7	4.5
	荇田西地区	54	33.3	20.4	20.4	42.6	22.2	5.6	9.3	25.9	25.9	13.0	5.6	7.4
	寸又野地区	71	28.2	21.1	18.3	26.8	25.4	8.5	12.7	11.3	36.6	22.5	9.9	5.6
	美しが丘地区	48	22.9	10.4	35.4	25.0	25.0	2.1	12.5	25.0	29.2	39.6	14.6	0.0

問 15 青葉区内にある花と緑に関する場所で、あなたが好きな場所をお書きください。

(3つまで)

- ・青葉区内にある花と緑に関する場所で、あなたが好きな場所では、603 人から計 918 件の意見が挙げられた。
- ・場所・エリア別では、「寺家ふるさと村」157 件、「こどもの国駅周辺」130 件、「たまプラーザ駅周辺」92 件、「桜台」83 件、「あざみ野周辺」59 件が上位 5 位となっている。
- ・カテゴリー別にみると、公園が 267 件と最も多く、次いで並木・街路樹が 173 件と多い。

場所・エリア別

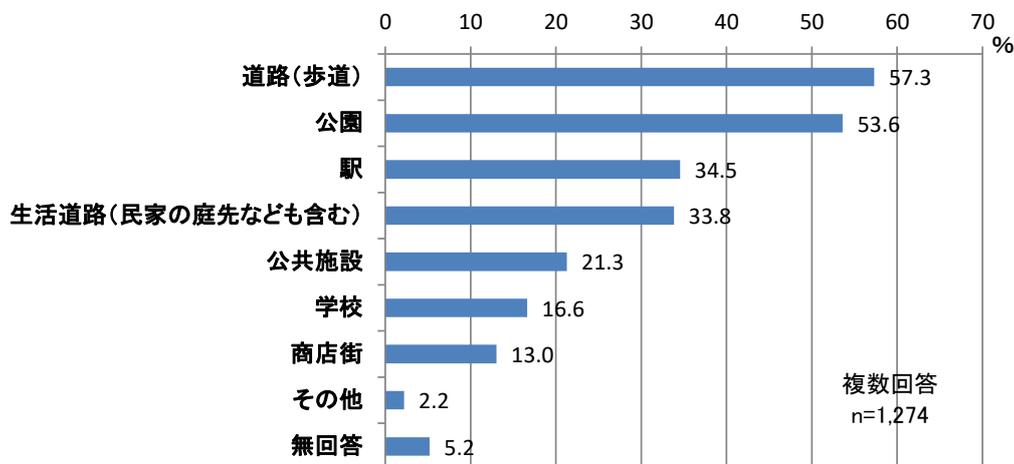
場所・エリア	件数
寺家ふるさと村	157
こどもの国駅周辺	130
たまプラーザ駅周辺	92
桜台(桜台公園など)	83
あざみ野駅周辺	59
鶴見川・谷本川沿い	33
美しが丘(美しが丘公園など)	33
もえぎ野(もえぎ野公園など)	32
藤が丘駅周辺	25
荳子田太陽公園(バラの公園)	16
青葉台駅周辺	14
保木(丘の上の桃の里)	13
市ヶ尾(駅、区役所、公園)	12
恩田川沿い	12
谷本(谷本公園、谷本小学校など)	12
奈良山公園	11
田奈(田園風景など)	6
たちばな台(たちばな台公園など)	6
恩田駅周辺	5
大場町(公園など)	5
つつしが丘(公園)	4
荳田(江田駅、公園)	4
柿の木台(街路樹)	4
桂台(公園、ケヤキ並木)	4
みすずが丘(公園)	3
すすき野(公園など)	3
元石川(街路樹)	2
成合(街路樹)	2
奈良町(公園など)	2
荳田西(荳田猿田公園など)	2
みたけ台(公園、ケヤキ並木)	2
松風台(公園、ハナミズキ)	2
榎が丘(街路樹など)	2
鉄町(桐蔭学園など)	2
しらとり台(ハーブ園)	1
鴨志田町(ハナミズキ)	1
すみよし台	1
千草台(公園)	1
その他(青葉区内)	3
その他(区外)	18
場所不特定(公園、桜並木など)	99
合計	918

カテゴリー別

カテゴリー	件数
公園	267
並木・街路樹	173
寺家ふるさと村	157
こどもの国	125
道路・駅	63
川・川沿い	44
植物	21
住宅地	14
田園風景	12
山・丘	12
学校	6
商店街・商業施設	4
区役所	3
イベント	2
神社・寺院	2
その他	13
合計	918

問 16 まちのどのようなところで、花や緑が増えてほしいですか。(〇はいくつでも)

・最も多いのは「道路（歩道）」の 57.3%、次いで「公園」の 53.6%で、共に半数以上の方が挙げている。以下「駅」（34.5%）、「生活道路（民家の庭先なども含む）」（33.8%）、「公共施設」（21.3%）などと続く。



■ 年齢別 まちの中で花や緑が増えてほしいところ(問16×F1)

・10代・20代から50代までの世代では「道路（歩道）」、60代、70代以上では「公園」が最も多くなっている。

		合計	問16 まちの中で花や緑が増えてほしいところ								
			公園	道路(歩道)	公共施設	駅	商店街	学校	生活道路(民家の庭先なども含む)	その他	無回答
全体		1274	53.6	57.3	21.3	34.5	13.0	16.6	33.8	2.2	5.2
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	46.4	57.9	19.3	43.6	14.3	14.3	22.9	2.9	2.1
	30代	137	54.0	62.0	25.5	42.3	14.6	26.3	34.3	0.7	2.9
	40代	259	50.2	57.9	19.7	32.4	11.6	20.5	27.4	1.5	4.6
	50代	238	50.8	55.9	20.6	33.6	15.1	16.8	35.3	2.5	3.8
	60代	233	60.5	59.7	25.3	38.6	12.0	14.2	41.2	1.3	3.4
	70代以上	252	57.9	53.6	19.0	25.0	12.3	11.5	38.5	3.6	11.1

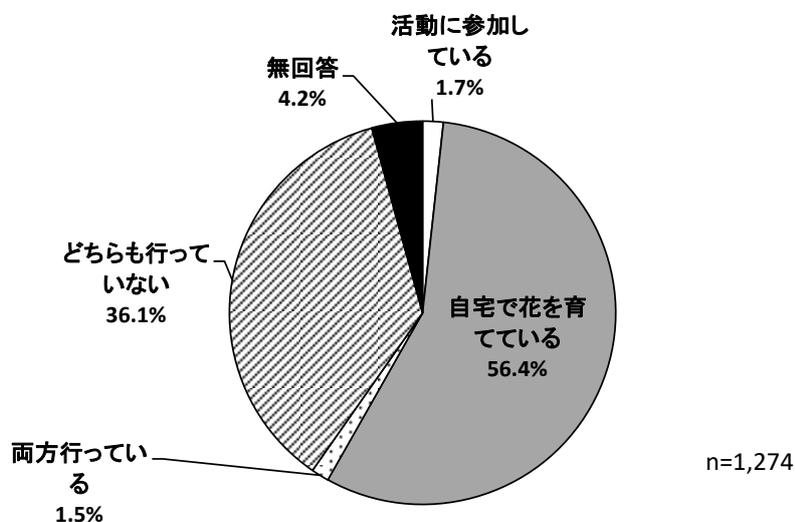
■ 居住地区別 まちの中で花や緑が増えてほしいところ(問16×F9)

- ・中里地区、谷本地区、山内地区、荇田西地区、美しが丘地区では「公園」が最も多く、谷本地区と美しが丘地区では数値も高くなっている。それ以外の地区では「道路（歩道）」が最も多い。
- ・美しが丘地区では「商店街」「学校」の数値が、区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問16 まちの中で花や緑が増えてほしいところ								
			公園	道路（歩道）	公共施設	駅	商店街	学校	生活道路（民家の庭先なども含む）	その他	無回答
全体		1274	53.6	57.3	21.3	34.5	13.0	16.6	33.8	2.2	5.2
地区別	中里地区	78	61.5	56.4	24.4	25.6	11.5	12.8	41.0	3.8	5.1
	中里北部地区	63	39.7	65.1	17.5	28.6	17.5	17.5	41.3	4.8	7.9
	市ヶ尾地区	77	50.6	58.4	22.1	41.6	10.4	20.8	28.6	1.3	6.5
	上谷本地区	57	49.1	66.7	19.3	40.4	7.0	8.8	35.1	0.0	1.8
	谷本地区	113	69.0	51.3	18.6	38.1	12.4	15.9	26.5	0.9	3.5
	恩田地区	122	48.4	56.6	19.7	33.6	5.7	16.4	27.9	1.6	7.4
	青葉台地区	153	52.9	60.1	17.6	37.3	19.0	11.8	36.6	1.3	4.6
	奈良町・奈良北団地地区	104	47.1	56.7	22.1	28.8	12.5	12.5	32.7	5.8	2.9
	山内地区	162	53.7	52.5	21.6	35.2	21.0	21.6	32.7	1.9	4.9
	荇田・新荇田地区	134	50.0	59.7	29.1	43.3	7.5	18.7	36.6	0.7	3.0
	荇田西地区	54	61.1	55.6	16.7	38.9	9.3	20.4	42.6	1.9	7.4
	すすき野地区	71	54.9	57.7	23.9	22.5	9.9	16.9	28.2	4.2	5.6
美しが丘地区	48	66.7	58.3	27.1	33.3	25.0	27.1	39.6	2.1	4.2	

問 17 あなたは、花に関する活動（公園愛護会等）に参加していますか。または、ご自宅で花を育てていますか。（○は1つだけ）

- ・「自宅で花を育てている」が最も多く 56.4%で、過半数を占めている。次いで「どちらも行っていない」が 36.1%である。「活動に参加している」は 1.7%、「両方行っている」は 1.5%で、これらを合わせると花に関する活動をしている人は 3.2%にとどまっている。



■ 年齢別 花に関する活動への参加と自宅で花を育てているか(問17×F1)

- ・10代・20代、30代では「どちらも行っていない」が最も多く、10代・20代では6割、30代でも半数を超えている。40代以上では「自宅で花を育てている」が最も多く、特に60代では高い数値となっている。

		合計	問17 花に関する活動（公園愛護会等）への参加と自宅で花を育てているか				
			活動に参加している	自宅で花を育てている	両方行っている	どちらも行っていない	無回答
全体		1274	1.7	56.4	1.5	36.1	4.2
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	0.7	34.3	0.0	65.0	0.0
	30代	137	2.2	43.8	1.5	52.6	0.0
	40代	259	1.2	55.2	0.8	41.7	1.2
	50代	238	0.4	60.5	0.8	37.0	1.3
	60代	233	1.7	67.4	1.7	24.5	4.7
	70代以上	252	4.0	62.7	3.6	15.9	13.9

■ 居住地区別 花に関する活動への参加と自宅で花を育てているか(問17×F9)

- ・いずれも「自宅で花を育てている」が最も多く、上谷本地区、すすき野地区では高い数値となっている。荏田・新荏田地区では「どちらも行ってない」の数値が、区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問17 花に関する活動（公園愛護会等）への参加と自宅で花を育てているか				
			活動に参加している	自宅で花を育てている	両方行っている	どちらも行ってない	無回答
全体		1274	1.7	56.4	1.5	36.1	4.2
地区別	中里地区	78	0.0	61.5	5.1	26.9	6.4
	中里北部地区	63	4.8	60.3	1.6	20.6	12.7
	市ヶ尾地区	77	1.3	48.1	0.0	44.2	6.5
	上谷本地区	57	1.8	68.4	0.0	26.3	3.5
	谷本地区	113	0.0	58.4	2.7	38.1	0.9
	恩田地区	122	3.3	62.3	2.5	30.3	1.6
	青葉台地区	153	2.6	49.7	2.0	42.5	3.3
	奈良町・奈良北団地地区	104	1.0	51.9	0.0	42.3	4.8
	山内地区	162	1.2	62.3	1.2	29.6	5.6
	荏田・新荏田地区	134	0.7	49.3	0.7	47.8	1.5
	荏田西地区	54	0.0	50.0	1.9	40.7	7.4
	すすき野地区	71	2.8	71.8	0.0	23.9	1.4
	美しが丘地区	48	2.1	52.1	2.1	41.7	2.1

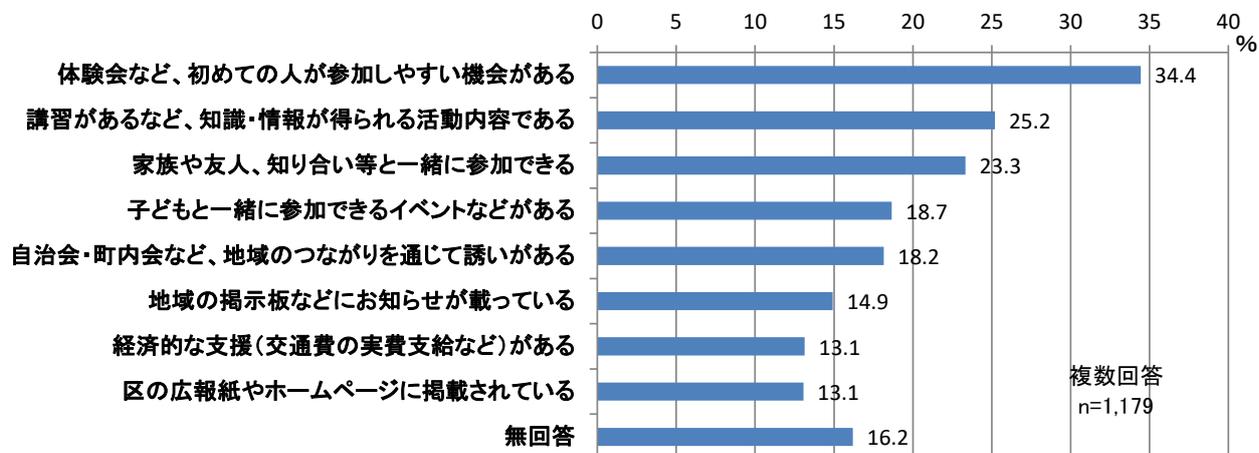
■ 居住形態別 花に関する活動への参加と自宅で花を育てているか(問17×F3)

- ・借家(共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)では「どちらも行ってない」が最も多い。それ以外では「自宅で花を育てている」が最も多く、持家(一戸建て)では7割を超えている。

		合計	問17 花に関する活動（公園愛護会等）への参加と自宅で花を育てているか				
			活動に参加している	自宅で花を育てている	両方行っている	どちらも行ってない	無回答
全体		1274	1.7	56.4	1.5	36.1	4.2
F3 居住形態	持家(一戸建て)	615	2.1	71.5	2.4	19.5	4.4
	持家(共同住宅)	314	2.2	48.1	0.3	45.9	3.5
	借家(一戸建て)	32	0.0	62.5	0.0	37.5	0.0
	借家(共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)	281	0.7	32.7	1.1	61.9	3.6
	その他	12	0.0	50.0	0.0	41.7	8.3

問 18 どのようになれば花に関する活動へ参加したいと思いますか。(問 17で「2 自宅で育てている」「4 どちらも行っていない」と回答された方、〇はいくつでも)

- ・「体験会など、初めての人が参加しやすい機会がある」が最も多く 34.4%である。次いで「講習があるなど、知識・情報が得られる活動内容である」が 25.2%、「家族や友人、知り合い等と一緒に参加できる」が 23.3%である。以下「子どもと一緒に参加できるイベントなどがある」(18.7%)、「自治会・町内会など、地域のつながりを通じて誘いがある」(18.2%)などとなっている。



■ 年齢別 どのようになれば花に関する活動へ参加したいと思うか(問 18×F1)

- ・10代・20代、40代、50代では「体験会など、初めての人が参加しやすい機会がある」が最も多い。30代では「子どもと一緒に参加できるイベントなどがある」が最も多く、数値も高くなっている。60代では「講習があるなど、知識・情報が得られる活動内容である」が最も多い。70代以上では「自治会・町内会など、地域のつながりを通じて誘いがある」が最も多く、これは年齢が高いほど数値も高い傾向にある。
- ・10代・20代で「経済的な支援(交通費の実費支給など)がある」、40代で「子どもと一緒に参加できるイベントなどがある」が、それぞれ区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

	合計	問18 どのようになれば花に関する活動へ参加したいと思うか									
		地域の掲示 板などにお 知らせが載 っている	区の広報 紙やホーム ページに載 られている	自治会・町 内会など、 地域のつな がりを通じ て誘いがあ る	家族や友人 、知り合い 等と一緒に 参加できる	子どもと一 緒に参加で きるイベン トなどがあ る	講習がある など、知識 ・情報が得 られる活動 内容である	体験会など 、初めての 人が参加し やすい機会 がある	経済的な支 援(交通費 の実費など)がある	無回答	
全体	1179	14.9	13.1	18.2	23.3	18.7	25.2	34.4	13.1	16.2	
F1 年齢 (統合)											
10代・20代	139	12.2	7.2	8.6	32.4	18.7	17.3	38.1	25.2	12.2	
30代	132	9.8	9.1	11.4	22.7	56.1	9.8	40.2	15.2	10.6	
40代	251	12.4	9.2	12.7	23.9	32.3	27.1	42.2	12.4	12.0	
50代	232	15.5	18.5	15.1	24.1	9.1	31.5	35.8	14.7	12.5	
60代	214	18.2	16.4	27.1	21.0	3.3	31.8	28.0	11.2	21.0	
70代以上	198	19.2	14.1	31.3	19.7	4.0	24.2	24.7	4.0	26.3	

■ 居住地区別 どのようになれば花に関する活動へ参加したいと思うか(問18×F9)

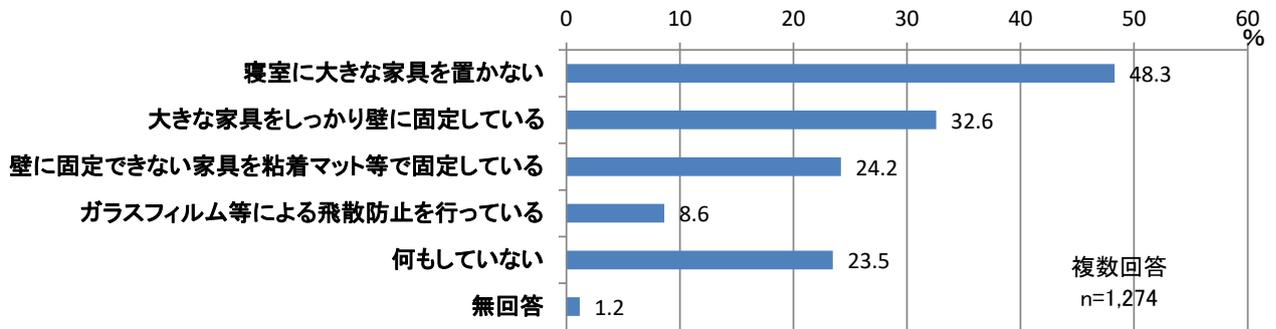
- ・すすき野地区では「講習があるなど、知識・情報が得られる活動内容である」が最も多い。それ以外の地区では「体験会など、初めての人が参加しやすい機会がある」が最も多くなっている。
- ・中里地区では「区の広報紙やホームページに掲載されている」、美しが丘地区では「子どもと一緒に参加できるイベントなどがある」の数値が、区の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問18 どのようになれば花に関する活動へ参加したいと思うか								
			地域の掲載板などにお知らせが載っている	区の広報紙やホームページに掲載されている	自治会・町内会など、地域つながりを通じて誘いがあ	家族や友人、知り合い等と一緒に参加できる	子どもと一緒に参加できるイベントなどがある	講習があるなど、知識内容・情報が得られる活動内容である	体験会など、初めての人が参加しやすい機会がある	経済的な支援(交通費の実費支給など)がある	無回答
	全体	1179	14.9	13.1	18.2	23.3	18.7	25.2	34.4	13.1	16.2
地区別	中里地区	69	15.9	24.6	21.7	27.5	13.0	24.6	30.4	8.7	17.4
	中里北部地区	51	9.8	15.7	27.5	15.7	17.6	25.5	37.3	17.6	17.6
	市ヶ尾地区	71	15.5	12.7	14.1	22.5	21.1	14.1	28.2	14.1	21.1
	上谷本地区	54	22.2	14.8	22.2	24.1	14.8	22.2	42.6	5.6	5.6
	谷本地区	109	16.5	13.8	11.9	21.1	21.1	26.6	33.0	13.8	18.3
	恩田地区	113	12.4	12.4	27.4	21.2	25.7	26.5	42.5	15.0	11.5
	青葉台地区	141	17.7	9.9	13.5	22.0	19.1	27.0	28.4	14.9	22.0
	奈良町・奈良北団地地区	98	15.3	8.2	16.3	23.5	12.2	20.4	36.7	16.3	9.2
	山内地区	149	11.4	11.4	15.4	27.5	16.1	28.9	31.5	12.1	22.8
	荏田・新荏田地区	130	13.1	15.4	20.0	26.2	23.8	19.2	41.5	16.2	9.2
	荏田西地区	49	10.2	10.2	18.4	20.4	14.3	28.6	32.7	16.3	22.4
	すすき野地区	68	14.7	13.2	23.5	27.9	4.4	41.2	27.9	7.4	14.7
	美しが丘地区	45	20.0	13.3	13.3	22.2	31.1	26.7	33.3	4.4	17.8

6. 防災について

問 19 地震対策としてご自宅でどのような安全対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

- ・「寝室に大きな家具を置かない」が 48.3% で最も多い。次いで「大きな家具をしっかりと壁に固定している」が 32.6%、「壁に固定できない家具を粘着マット等で固定している」が 24.2% と続くが、「何もしていない」を挙げた人も 23.5% にのぼる。



■ 年齢別 地震に関する自宅での安全対策(問19×F1)

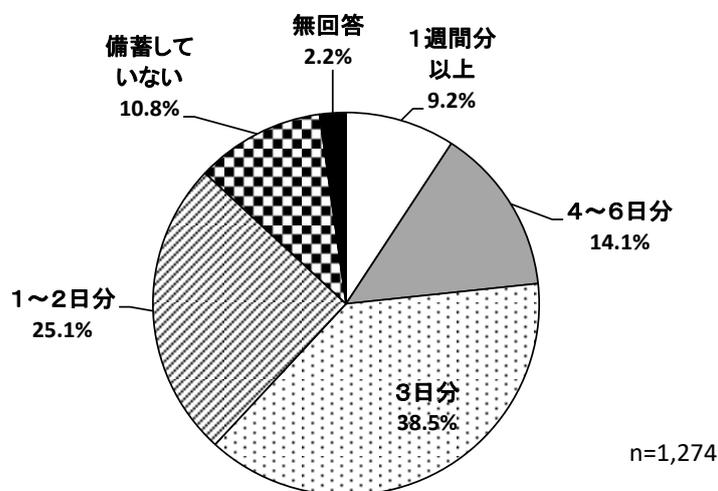
- ・いずれの世代も「寝室に大きな家具を置かない」が最も多く、特に 40 代では高い数値となっている。

		合計	問19 地震対策として自宅で行っている安全対策					無回答
			に大きな家具をしっかりと壁に固定している	粘着マット等で固定できない家具を	寝室に大きな家具を置かない	ガラスフィルム等による飛散防止を行っている	何もしていない	
全体		1274	32.6	24.2	48.3	8.6	23.5	1.2
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	32.1	25.0	33.6	5.7	29.3	0.0
	30代	137	19.0	24.1	54.0	5.1	27.7	0.0
	40代	259	32.4	27.4	58.3	6.9	17.0	0.0
	50代	238	33.6	32.8	45.0	10.1	21.0	1.3
	60代	233	34.3	21.0	43.3	8.2	28.3	1.7
	70代以上	252	37.7	15.1	49.6	12.7	23.0	2.4

問 20 ご自宅での災害に対する備蓄状況について、詳しくお聞きします。

問 20-1 何日分の食料・水を備蓄していますか。(日常的な買い置きも含む)(〇は1つだけ)

- ・「3日分」が38.5%で最も多く、次いで「1～2日分」が25.1%、「4～6日分」が14.1%となっている。「備蓄していない」は10.8%で、1割程度の人が水や食糧の備蓄をしていない。



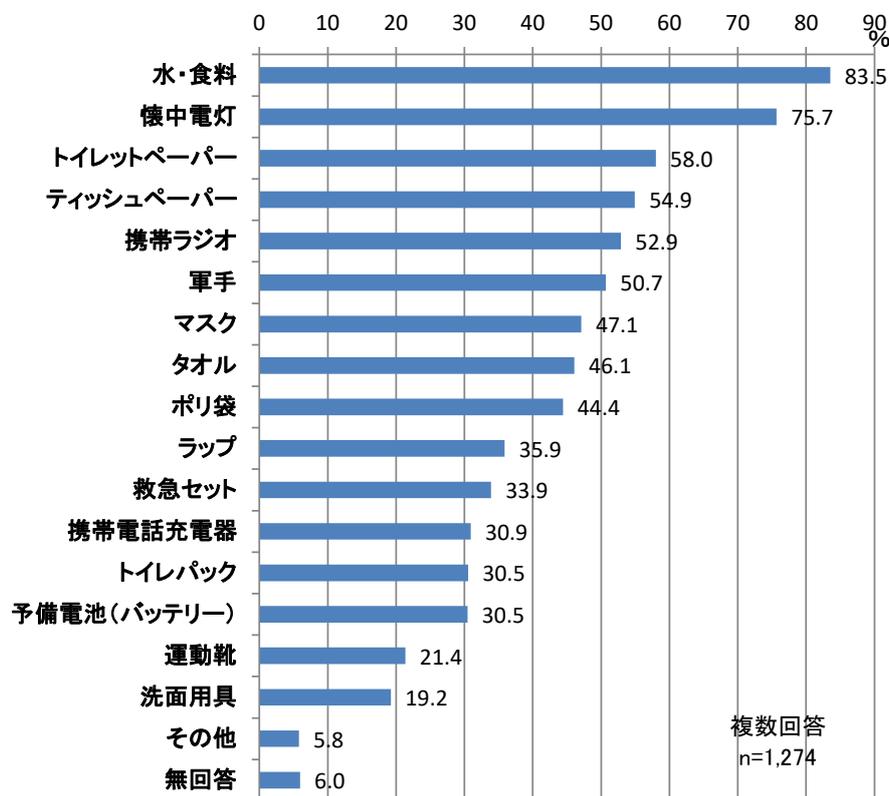
■ 年齢別 自宅での災害に対する備蓄状況(備蓄量)(問20-1×F1)

- ・10代・20代では「1～2日分」、30代以上の世代では「3日分」が最も多くなっている。一方「備蓄していない」の数値は年齢が若いほど高く、10代・20代では2割近くになっている。

		合計	問20-1 自宅での災害に対する備蓄状況 (備蓄している食料・水の量)					
			1週間分以上	4～6日分	3日分	1～2日分	備蓄していない	無回答
全体		1274	9.2	14.1	38.5	25.1	10.8	2.2
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	10.7	9.3	28.6	29.3	19.3	2.9
	30代	137	5.8	10.9	37.2	29.2	16.1	0.7
	40代	259	5.8	13.1	36.3	34.0	10.0	0.8
	50代	238	7.6	12.2	47.1	21.8	10.9	0.4
	60代	233	10.7	19.3	36.5	21.9	8.6	3.0
	70代以上	252	12.7	17.1	41.3	17.9	6.7	4.4

問 20-2 どのような備蓄をしていますか。(〇はいくつでも)

- ・「水・食料」が最も多く 83.5%で、8割以上の人が挙げている。次いで「懐中電灯」が 75.7%で、これら 2 点が突出している。以下「トイレトペーパー」(58.0%)、「ティッシュペーパー」(54.9%)、「携帯ラジオ」(52.9%)、「軍手」(50.7%)と続き、ここまでは 5 割以上の人々が挙げている。



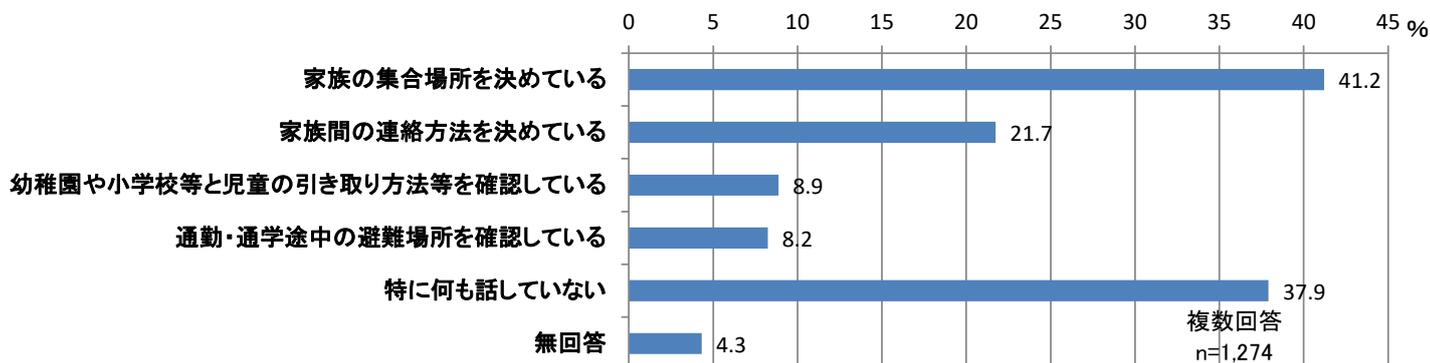
■ 年齢別 自宅での災害に対する備蓄状況(備蓄品)(問20-2×F1)

- ・いずれの世代も「水・食料」が最も多く、次点は「懐中電灯」となっている。70代以上では「タオル」の数値が、区全体の数値に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

		問20-2 自宅での災害に対する備蓄状況 (備蓄しているもの)																		
		合計	水・食料	トイレパック	トイレトペーパー	タオル	ティッシュペーパー	マスク	ラップ	救急セット	洗面用具	運動靴	携帯電話充電器	懐中電灯	携帯ラジオ	予備電池(バッテリー)	ポリ袋	軍手	その他	無回答
全体		1274	83.5	30.5	58.0	46.1	54.9	47.1	35.9	33.9	19.2	21.4	30.9	75.7	52.9	30.5	44.4	50.7	5.8	6.0
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	74.3	20.0	45.0	40.7	50.7	45.7	30.0	35.0	15.7	21.4	26.4	62.9	35.0	23.6	35.7	28.6	7.1	8.6
	30代	137	77.4	25.5	47.4	37.2	43.1	43.8	32.8	30.7	16.8	16.1	28.5	63.5	38.7	21.9	35.8	42.3	6.6	10.2
	40代	259	87.3	36.3	59.5	39.4	54.8	50.6	39.0	36.7	14.7	14.3	32.4	76.1	51.0	31.3	41.7	49.0	4.6	3.1
	50代	238	86.3	31.9	60.5	40.8	52.9	47.1	30.7	28.6	17.6	21.0	34.0	76.5	60.1	31.5	42.4	53.8	5.5	5.9
	60代	233	85.8	33.0	60.1	51.5	63.1	49.8	41.6	36.5	24.0	27.9	26.6	82.8	58.8	34.3	49.4	57.5	5.6	4.7
	70代以上	252	84.5	29.0	65.1	60.7	59.1	43.3	37.3	35.3	24.6	26.6	34.1	81.3	61.1	33.3	53.6	59.1	6.0	6.0

問 21 災害について、家族とどのような話し合いをしていますか。(〇はいくつでも)

- ・「家族の集合場所を決めている」が 41.2%で最も多いが、一方で「特に何も話していない」も 37.9%と 4 割近くの人が挙げている。以下「家族間の連絡方法を決めている」(21.7%) 「幼稚園や小学校等と児童の引き取り方法等を確認している」(8.9%) 「通勤・通学途中の避難場所を確認している」(8.2%) と続く。



■ 年齢別 災害についての家族との話し合い(問21×F1)

- ・ 10代・20代、60代、70代以上では「特に何も話していない」、30代、40代、50代では「家族の集合場所を決めている」が最も多い。
- ・ 30代、40代では「幼稚園や小学校等と児童の引き取り方法等を確認している」の数値が、区全体の数値に比べて 10ポイント以上高くなっている。

		合計	問21 災害について、家族としての話し合い					
			家族の集合場所を決めている	家族間の連絡方法を決めている	通勤・通学途中の避難場所を確認している	幼稚園や小学校等と児童の引き取り方法等を確認している	特に何も話していない	無回答
全体		1274	41.2	21.7	8.2	8.9	37.9	4.3
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	37.9	22.1	10.0	3.6	45.7	1.4
	30代	137	39.4	17.5	8.8	22.6	35.0	2.2
	40代	259	42.9	20.8	17.4	22.4	31.3	1.2
	50代	238	45.4	24.8	6.7	2.5	35.7	3.4
	60代	233	40.8	20.2	3.9	2.1	41.6	5.6
	70代以上	252	37.7	23.4	2.8	2.0	41.3	9.5

■ 居住地区別 災害についての家族との話し合い(問21×F9)

・青葉台地区、奈良町・奈良北団地地区、荏田西地区では「特に何も話していない」、それ以外の地区では「家族の集合場所を決めている」が最も多い。

		合計	問21 災害について、家族としている話し合い					無回答
			い家族の集合場所を決めて	て家族間の連絡方法を決め	所通勤・通学途中の避難場	の引き取り方法等と児童	幼稚園や小学校等と児童	
全体		1274	41.2	21.7	8.2	8.9	37.9	4.3
地区別	中里地区	78	39.7	25.6	11.5	5.1	37.2	6.4
	中里北部地区	63	42.9	17.5	4.8	4.8	34.9	4.8
	市ヶ尾地区	77	42.9	22.1	11.7	10.4	41.6	0.0
	上谷本地区	57	42.1	17.5	8.8	14.0	36.8	0.0
	谷本地区	113	43.4	18.6	3.5	8.0	42.5	0.9
	恩田地区	122	44.3	29.5	7.4	11.5	32.0	4.1
	青葉台地区	153	35.9	21.6	4.6	5.2	41.2	6.5
	奈良町・奈良北団地地区	104	36.5	27.9	9.6	5.8	38.5	5.8
	山内地区	162	45.1	17.3	11.1	11.1	35.8	5.6
	荏田・新荏田地区	134	44.8	20.1	14.9	11.9	36.6	2.2
	荏田西地区	54	38.9	16.7	1.9	9.3	46.3	5.6
	すすき野地区	71	35.2	31.0	2.8	4.2	33.8	7.0
美しが丘地区	48	41.7	18.8	8.3	14.6	35.4	2.1	

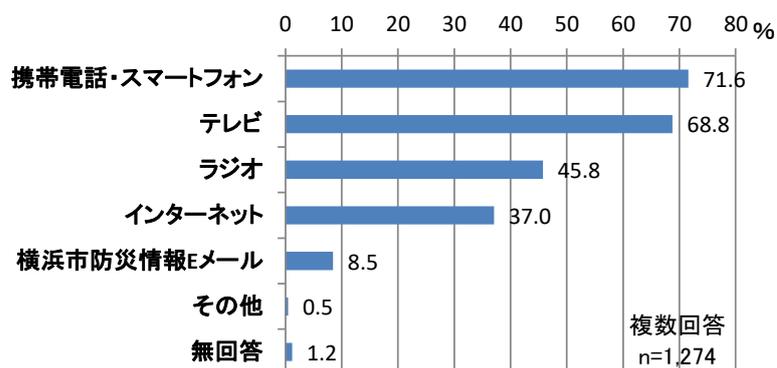
■ 家族形態別 災害についての家族との話し合い(問21×F4)

・ひとり暮らし、夫婦では「特に何も話していない」、親と子（2世代）、親と子と孫（3世代）、その他では「家族の集合場所を決めている」が最も多い。

		合計	問21 災害について、家族としている話し合い					無回答
			い家族の集合場所を決めて	て家族間の連絡方法を決め	所通勤・通学途中の避難場	の引き取り方法等と児童	幼稚園や小学校等と児童	
全体		1274	41.2	21.7	8.2	8.9	37.9	4.3
F4 同居の家族形態	ひとり暮らし	113	9.7	16.8	4.4	0.0	57.5	17.7
	夫婦	373	39.9	20.6	5.1	1.3	43.7	4.3
	親と子（2世代）	666	46.2	22.4	10.8	14.3	32.1	2.1
	親と子と孫（3世代）	69	40.6	29.0	11.6	11.6	36.2	0.0
	その他	38	52.6	23.7	2.6	7.9	31.6	7.9

問 22 災害時にどのような手段で情報を収集しますか。(〇はいくつでも)

- ・「携帯電話・スマートフォン」が 71.6% で最も多く、次いで「テレビ」が 68.8% で、これらは 7 割前後の人が挙げている。以下「ラジオ」(45.8%)、「インターネット」(37.0%) などとなっている。



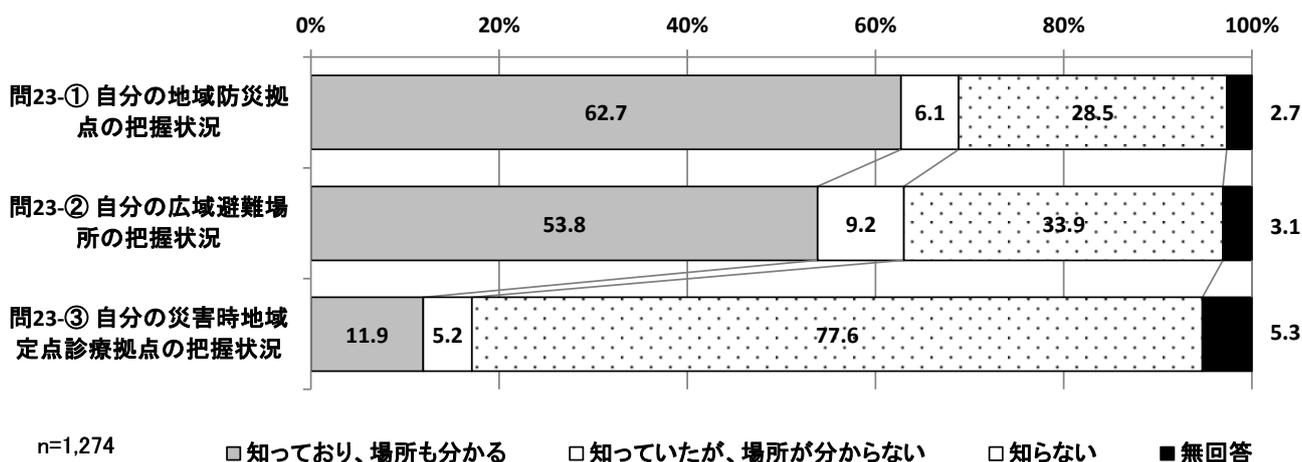
■ 年齢別 災害時に利用する情報収集の手段(問22×F1)

- ・10代・20代から50代までの世代では「携帯電話・スマートフォン」が最も多く、年齢が若いほど数値も高くなっている。60代、70代以上では「テレビ」が最も多く、これは年齢が高いほど数値が高い傾向にある。
- ・70代以上では「ラジオ」の数値が、区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問22 災害時に利用する情報収集の手段						
			テレビ	ラジオ	インターネット	携帯電話・スマートフォン	横浜市防災情報Eメール	その他	無回答
	全体	1274	68.8	45.8	37.0	71.6	8.5	0.5	1.2
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	52.9	28.6	45.0	85.0	5.7	0.0	1.4
	30代	137	54.7	35.0	46.7	83.9	5.1	1.5	0.7
	40代	259	67.6	40.9	44.0	81.9	7.3	0.0	0.4
	50代	238	68.5	47.1	43.3	80.7	11.3	0.4	0.4
	60代	233	74.7	53.2	29.6	61.4	9.9	0.4	0.9
	70代以上	252	81.0	57.9	23.0	48.4	9.1	0.8	2.4

**問 23 ご自分の地域防災拠点、広域避難場所、災害時地域定点診療拠点について把握
していますか。(項目ごとに○は1つ)**

- ・①地域防災拠点については「知っており、場所も分かる」が62.7%、「知っていたが、場所が分からない」が6.1%、「知らない」が28.5%で、3つのうち最も認知度が高い。
- ・②広域避難場所については「知っており、場所も分かる」が53.8%、「知っていたが、場所が分からない」が9.2%、「知らない」は33.9%となっている。
- ・③災害時地域定点診療拠点については「知っており、場所も分かる」が11.9%、「知っていたが、場所が分からない」が5.2%、「知らない」が77.6%で、他の2つに比べて認知度が特に低くなっている。



■ 年齢別 地域防災拠点、広域避難場所、災害時地域定点診療拠点の把握(問 23×F1)

- ・ ①地域防災拠点については、いずれも「知っており、場所も分かる」が最も多くなっているが、10代・20代、30代では「知らない」が区全体の数値を10ポイント以上上回っている。
- ・ ②広域避難場所については40代以上の世代では「知っており、場所も分かる」が最も多いが、10代・20代、30代では「知らない」が最も多く、若年層での認知度が低い。
- ・ ③災害時地域定点診療拠点については、いずれも「知らない」が最も多く、特に10代・20代では9割以上が「知らない」としている。

		合計	問23-① 自分の地域防災拠点の把握状況			
			知っており、場所も分かる	知っているが、場所が分からない	知らない	無回答
全体		1274	62.7	6.1	28.5	2.7
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	48.6	5.7	44.3	1.4
	30代	137	51.1	8.8	38.7	1.5
	40代	259	67.6	4.2	27.8	0.4
	50代	238	59.2	8.0	31.5	1.3
	60代	233	67.4	5.2	25.3	2.1
	70代以上	252	70.6	5.2	16.7	7.5

		合計	問23-② 自分の広域避難場所の把握状況			
			知っており、場所も分かる	知っているが、場所が分からない	知らない	無回答
全体		1274	53.8	9.2	33.9	3.1
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	35.0	11.4	52.1	1.4
	30代	137	40.9	10.2	47.4	1.5
	40代	259	55.2	8.9	35.1	0.8
	50代	238	53.8	10.1	35.7	0.4
	60代	233	63.9	6.9	26.6	2.6
	70代以上	252	62.7	7.9	20.2	9.1

		合計	問23-③ 自分の災害時地域定点診療拠点の把握状況			
			知っており、場所も分かる	知っているが、場所が分からない	知らない	無回答
全体		1274	11.9	5.2	77.6	5.3
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	5.0	2.9	90.7	1.4
	30代	137	8.8	5.8	83.9	1.5
	40代	259	13.5	4.6	81.1	0.8
	50代	238	8.8	5.5	83.6	2.1
	60代	233	13.7	5.6	76.4	4.3
	70代以上	252	16.7	5.2	61.5	16.7

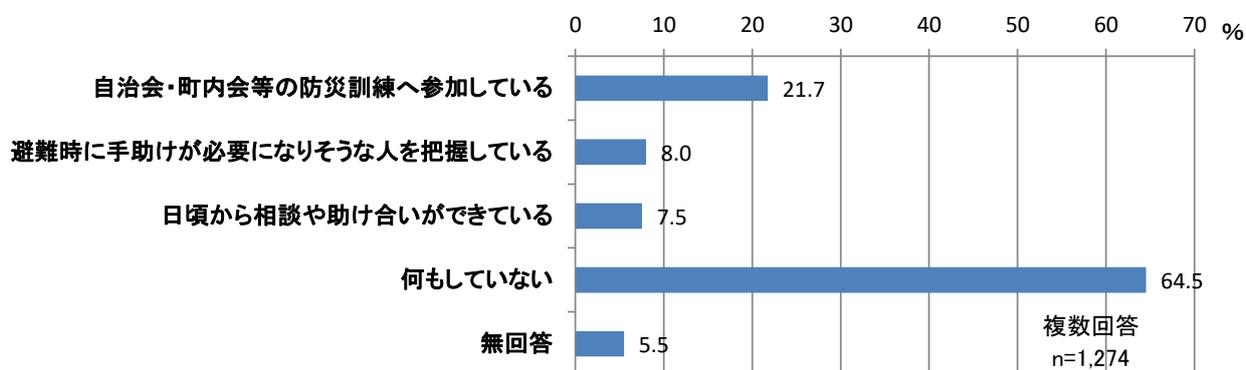
■ 居住地区別 地域防災拠点、広域避難場所、災害時地域定点診療拠点の把握(問 23×F9)

- ・①地域防災拠点については、いずれも「知っており、場所も分かる」が最も多く、中里地区、中里北部地区、上谷本地区で高い数値となっている。
- ・②広域避難場所については、荏田西地区のみ「知らない」、それ以外の地区では「知っており、場所も分かる」が最も多く、中里地区で高い数値となっている。
- ・③災害時地域定点診療拠点については、いずれも「知らない」が最も多い。なお奈良町・奈良北団地地区とすすき野地区では「知っており、場所も分かる」が2割を超えている。

		合計	問23-① 自分の地域防災拠点の把握状況			
			知っており、場所も分かる	知っているが、場所が分からない	知らない	無回答
全体		1274	62.7	6.1	28.5	2.7
地区別	中里地区	78	73.1	5.1	17.9	3.8
	中里北部地区	63	73.0	6.3	17.5	3.2
	市ケ尾地区	77	67.5	3.9	26.0	2.6
	上谷本地区	57	73.7	3.5	22.8	0.0
	谷本地区	113	60.2	11.5	27.4	0.9
	恩田地区	122	67.2	1.6	30.3	0.8
	青葉台地区	153	56.9	8.5	31.4	3.3
	奈良町・奈良北団地地区	104	68.3	2.9	26.9	1.9
	山内地区	162	62.3	4.9	29.6	3.1
	荏田・新荏田地区	134	51.5	9.0	38.1	1.5
	荏田西地区	54	50.0	9.3	33.3	7.4
	すすき野地区	71	67.6	7.0	19.7	5.6
	美しが丘地区	48	56.3	6.3	37.5	0.0
		合計	問23-② 自分の広域避難場所の把握状況			
			知っており、場所も分かる	知っているが、場所が分からない	知らない	無回答
全体		1274	53.8	9.2	33.9	3.1
地区別	中里地区	78	64.1	9.0	24.4	2.6
	中里北部地区	63	54.0	6.3	36.5	3.2
	市ケ尾地区	77	53.2	7.8	33.8	5.2
	上谷本地区	57	52.6	8.8	36.8	1.8
	谷本地区	113	57.5	8.8	30.1	3.5
	恩田地区	122	49.2	11.5	36.9	2.5
	青葉台地区	153	48.4	10.5	39.2	2.0
	奈良町・奈良北団地地区	104	63.5	7.7	26.0	2.9
	山内地区	162	55.6	8.6	32.7	3.1
	荏田・新荏田地区	134	50.0	6.0	43.3	0.7
	荏田西地区	54	31.5	18.5	42.6	7.4
	すすき野地区	71	63.4	8.5	21.1	7.0
	美しが丘地区	48	58.3	8.3	33.3	0.0
		合計	問23-③ 自分の災害時地域定点診療拠点の把握状況			
			知っており、場所も分かる	知っているが、場所が分からない	知らない	無回答
全体		1274	11.9	5.2	77.6	5.3
地区別	中里地区	78	9.0	7.7	75.6	7.7
	中里北部地区	63	7.9	1.6	84.1	6.3
	市ケ尾地区	77	11.7	5.2	76.6	6.5
	上谷本地区	57	15.8	5.3	75.4	3.5
	谷本地区	113	13.3	8.8	69.0	8.8
	恩田地区	122	11.5	4.1	82.0	2.5
	青葉台地区	153	9.2	6.5	80.4	3.9
	奈良町・奈良北団地地区	104	21.2	3.8	72.1	2.9
	山内地区	162	10.5	4.9	78.4	6.2
	荏田・新荏田地区	134	7.5	4.5	85.8	2.2
	荏田西地区	54	7.4	5.6	79.6	7.4
	すすき野地区	71	21.1	4.2	69.0	5.6
	美しが丘地区	48	6.3	6.3	87.5	0.0

問 24 防災対策に関して、普段からのご近所の付き合いの中で、取組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- ・「何もしていない」が最も多く 64.5%と、6割以上の方が挙げている。取り組んでいることとしては、「自治会・町内会等の防災訓練へ参加している」が最も多く 21.7%、「避難時に手助けが必要になりそうな人を把握している」が 8.0%、「日頃から相談や助け合いができています」が 7.5%となっている。



■ 年齢別 普段からのご近所の付き合いの中で取組んでいる防災対策(問24×F1)

- ・いずれも「何もしていない」が最も多くなっており、年齢が若いほど数値も高く、特に 10代・20代では8割を超えている。「避難時に手助けが必要になりそうな人を把握している」「自治会・町内会等の防災訓練へ参加している」は年齢が高いほど数値が高い傾向にある。

		合計	問24 防災対策に関して、普段からの近所の付き合いの中で取組んでいること				
			日頃から相談や助け合いができています	避難時に手助けが必要になりそうな人を把握している	自治会・町内会等の防災訓練へ参加している	何もしていない	無回答
	全体	1274	7.5	8.0	21.7	64.5	5.5
F1 年齢(統合)	10代・20代	140	1.4	5.0	9.3	81.4	5.7
	30代	137	8.8	4.4	12.4	72.3	4.4
	40代	259	6.9	6.9	18.5	70.3	2.7
	50代	238	8.8	8.4	20.6	66.8	1.7
	60代	233	7.3	9.0	30.0	56.2	6.4
	70代以上	252	9.9	11.5	31.3	51.6	9.9

■ 居住地区別 普段からのご近所の付き合いの中で取組んでいる防災対策(問24×F9)

・いずれも「何もしていない」が最も多く、特に荏田・新荏田地区で高い数値となっている。谷本地区、奈良町・奈良北団地地区では「自治会・町内会等の防災訓練へ参加している」を30%以上の人が挙げている。

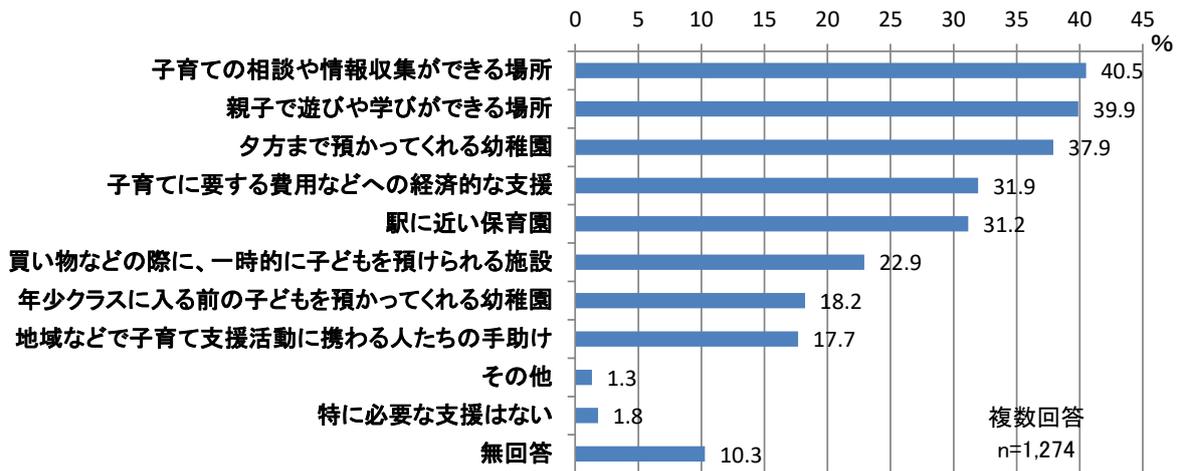
		合計	問24 防災対策に関して、普段からの近所の付き合いの中で取組んでいること				
			い日 が頃 でか ら相 談や 助け 合	しに てな いり そに う手 な助 けが 必要	災自 訓治 練会 へ参 加し てい る防	何 も し て い な い	無 回 答
	全体	1274	7.5	8.0	21.7	64.5	5.5
地区別	中里地区	78	12.8	11.5	17.9	64.1	5.1
	中里北部地区	63	7.9	6.3	22.2	66.7	1.6
	市ヶ尾地区	77	10.4	9.1	18.2	67.5	5.2
	上谷本地区	57	8.8	7.0	22.8	66.7	1.8
	谷本地区	113	6.2	7.1	30.1	58.4	3.5
	恩田地区	122	6.6	8.2	27.9	59.0	7.4
	青葉台地区	153	5.9	5.9	18.3	69.9	4.6
	奈良町・奈良北団地地区	104	7.7	10.6	31.7	54.8	3.8
	山内地区	162	7.4	8.6	18.5	64.8	5.6
	荏田・新荏田地区	134	6.0	4.5	11.2	78.4	3.7
	荏田西地区	54	5.6	11.1	22.2	59.3	9.3
	すすき野地区	71	9.9	12.7	25.4	56.3	11.3
	美しが丘地区	48	8.3	10.4	29.2	60.4	6.3

7. 子ども・子育て支援について

問 25 未就学児や小学生のお子さんをお持ちの家庭にはどのような支援が必要ですか。（項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに○は3つまで）

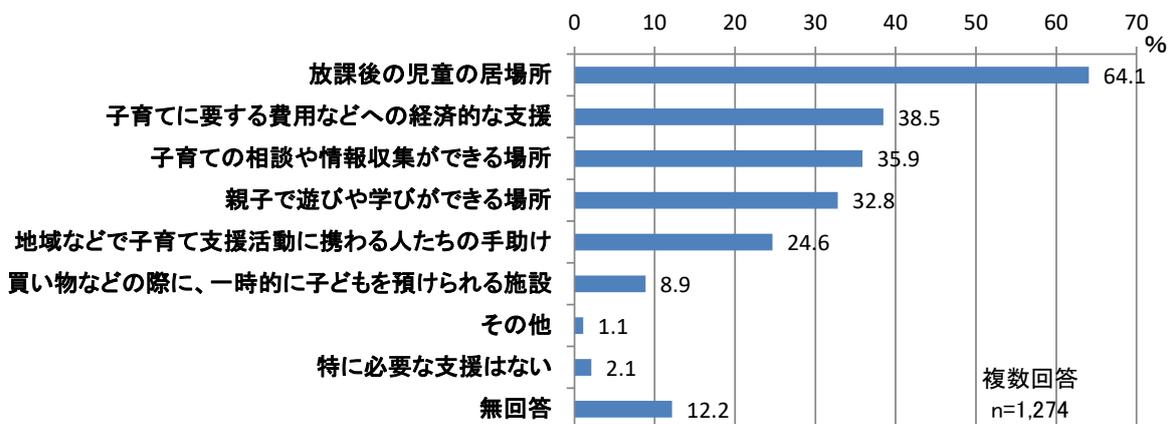
<未就学児>

- ・「子育ての相談や情報収集ができる場所」が最も多く 40.5%、次いで「親子で遊びや学びができる場所」が 39.9%、「夕方まで預かってくれる幼稚園」が 37.9%で、これらを4割前後の人が挙げている。以下「子育てに要する費用などへの経済的な支援」（31.9%）、「駅に近い保育園」（31.2%）を3割強の人が挙げている。



<小学生>

- ・「放課後の児童の居場所」が 64.1%で、6割を超える人が挙げており突出している。以下、「子育てに要する費用などへの経済的な支援」（38.5%）、「子育ての相談や情報収集ができる場所」（35.9%）、「親子で遊びや学びができる場所」（32.8%）を3割以上、「地域などで子育て支援活動に携わる人たちの手助け」（24.6%）を2割以上の人が挙げている。



■ 年齢別 子どもを持つ家庭に必要な支援(問25(1)×F1)

<未就学児>

- ・10代・20代と40代では「親子で遊びや学びができる場所」、30代では「子育てに要する費用などへの経済的な支援」、50代以上の世代では「子育ての相談や情報収集ができる場所」が最も多くなっている。
- ・10代・20代では「子育てに要する費用などへの経済的な支援」、30代では「買い物などの際に、一時的に子どもを預けられる施設」、60代では「駅に近い保育園」の数値が、それぞれ区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

		問25-1 未就学児の子どもを持つ家庭に必要な支援											
		合計	親子で遊びや学びができる場所	子育ての相談や情報収集ができる場所	施設的に子どもを預けられる	買い物などの際に、一時的に子どもを預けられる	駅に近い保育園	夕方まで預かってくれる幼稚園	年少クラスに入る前の子どもを預かってくれる幼稚園	手助けに携わる人たちの支援	地域などで子育て支援	子育てに要する費用などへの経済的な支援	その他
全体		1274	39.9	40.5	22.9	31.2	37.9	18.2	17.7	31.9	1.3	1.8	10.3
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	47.9	42.9	23.6	25.7	45.7	26.4	11.4	45.0	1.4	0.7	2.9
	30代	137	48.2	33.6	37.2	29.9	43.1	22.6	12.4	50.4	2.2	0.7	6.6
	40代	259	47.1	41.7	27.4	28.2	37.5	16.6	14.3	32.8	1.5	1.2	6.9
	50代	238	39.1	45.0	20.2	36.6	38.7	15.1	23.9	26.5	1.3	4.2	6.3
	60代	233	35.2	44.6	18.5	42.5	40.3	18.0	20.2	30.9	0.9	0.4	8.2
	70代以上	252	28.6	33.7	17.1	23.4	29.8	17.1	19.8	20.6	0.8	2.4	24.2

■ 年齢別 子どもを持つ家庭に必要な支援(問25(2)×F1)

<小学生>

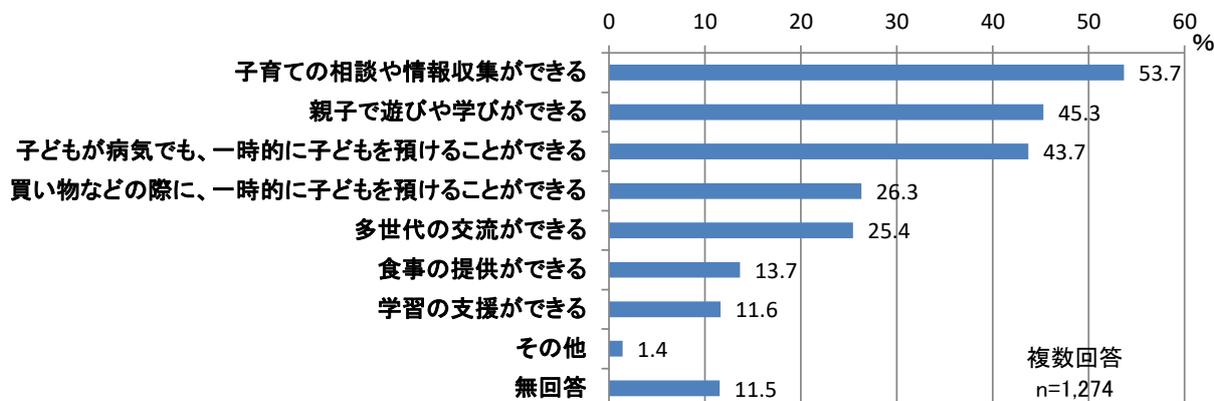
- ・いずれの世代も「放課後の児童の居場所」が最も多くなっている。
- ・10代・20代では「子育てに要する費用などへの経済的な支援」、30代では「子育てに要する費用などへの経済的な支援」と「親子で遊びや学びができる場所」の数値が、それぞれ区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

		問25-2 小学生の子どもを持つ家庭に必要な支援										
		合計	親子で遊びや学びができる場所	子育ての相談や情報収集ができる場所	施設的に子どもを預けられる	買い物などの際に、一時的に子どもを預けられる	放課後の児童の居場所	手助けに携わる人たちの支援	地域などで子育て支援	子育てに要する費用などへの経済的な支援	その他	特に必要な支援はない
全体		1274	32.8	35.9	8.9	64.1	24.6	38.5	1.1	2.1	12.2	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	41.4	35.7	10.7	71.4	20.0	52.1	0.0	1.4	5.0	
	30代	137	43.1	25.5	12.4	67.2	24.1	54.7	2.2	0.7	10.2	
	40代	259	37.1	34.0	7.7	70.3	19.3	38.6	1.2	2.7	5.8	
	50代	238	34.9	42.4	7.6	66.0	31.5	35.7	0.8	4.6	6.7	
	60代	233	27.5	41.6	7.3	67.4	27.5	40.3	1.3	0.9	11.2	
	70代以上	252	22.2	32.5	10.3	48.0	25.0	24.2	0.4	1.2	28.6	

問 26 地域の子育て支援の拠点となる施設には、どのような機能があるとよいですか。
 (項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに〇は3つまで)

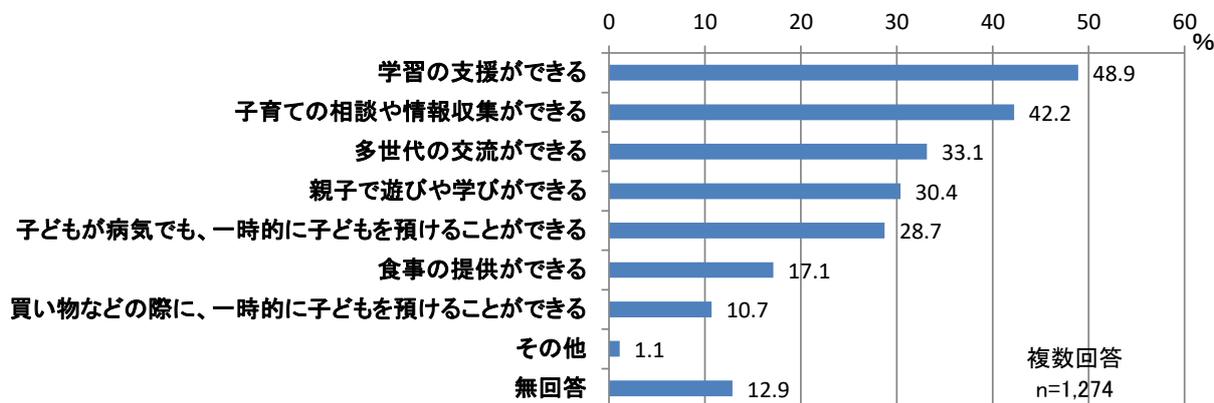
＜未就学児＞

・「子育ての相談や情報収集ができる」が 53.7%で最も多く、半数以上の人が挙げている。次いで「親子で遊びや学びができる」(45.3%)、「子どもが病気でも、一時的に子どもを預けることができる」(43.7%)を4割以上が挙げており、これら3点の希望が多くなっている。以下「買い物などの際に、一時的に子どもを預けることができる」(26.3%)、「多世代の交流ができる」(25.4%)と続く。



＜小学生＞

・「学習の支援ができる」が最も多く 48.9%、次いで「子育ての相談や情報収集ができる」が 42.2%で、これらを4割以上の人が挙げている。以下「多世代の交流ができる」(33.1%)、「親子で遊びや学びができる」(30.4%)、「子どもが病気でも、一時的に子どもを預けることができる」(28.7%)と続く。



■ 年齢別 地域の子育て支援拠点があるとよい機能(問26(1)×F1)

<未就学児>

- ・30代では「親子で遊びや学びができる」が最も多い。それ以外の世代では「子育ての相談や情報収集ができる」が最も多くなっている。

		合計	問26-1 (未就学児) 地域の子育て支援の拠点となる施設があるとよい機能								
			親子で遊びや学びができる	子育ての相談や情報収集ができる	的に子どもを預けることができる	買い物などの際に、一時的に子どもを預けることができる	子どもが病気でも、一時的に子どもを預けることができる	学習の支援ができる	食事の提供ができる	多世代の交流ができる	その他
全体		1274	45.3	53.7	26.3	43.7	11.6	13.7	25.4	1.4	11.5
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	51.4	53.6	33.6	40.7	21.4	16.4	24.3	1.4	3.6
	30代	137	64.2	49.6	32.1	51.8	18.2	10.2	18.2	2.2	6.6
	40代	259	50.6	56.0	30.9	42.9	8.1	8.1	24.7	1.5	7.7
	50代	238	47.5	61.3	23.5	47.1	10.5	15.5	28.6	1.3	8.0
	60代	233	38.2	54.9	22.3	46.4	11.6	20.6	32.6	0.9	9.0
	70代以上	252	31.3	46.4	21.4	37.3	7.1	11.5	21.4	1.6	26.2

■ 年齢別 地域の子育て支援拠点があるとよい機能(問26(2)×F1)

<小学生>

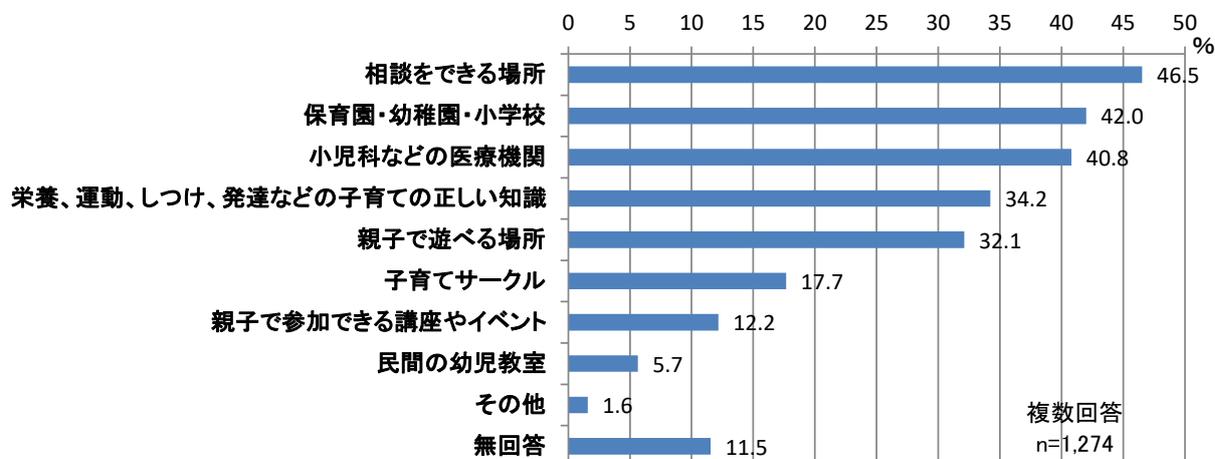
- ・10代・20代から50代までの世代では「学習の支援ができる」が最も多く、特に10代・20代では高い数値となっている。60代、70代以上では「子育ての相談や情報収集ができる」が最も多くなっている。
- ・10代・20代では「親子で遊びや学びができる」の数値が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問26-2 (小学生) 地域の子育て支援の拠点となる施設があるとよい機能								
			親子で遊びや学びができる	子育ての相談や情報収集ができる	的に子どもを預けることができる	買い物などの際に、一時的に子どもを預けることができる	子どもが病気でも、一時的に子どもを預けることができる	学習の支援ができる	食事の提供ができる	多世代の交流ができる	その他
全体		1274	30.4	42.2	10.7	28.7	48.9	17.1	33.1	1.1	12.9
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	41.4	40.0	10.7	28.6	65.7	15.0	32.9	2.1	5.7
	30代	137	38.7	34.3	17.5	35.8	51.8	14.6	33.6	1.5	10.9
	40代	259	34.0	42.5	10.0	26.6	51.0	13.9	35.5	1.2	6.6
	50代	238	32.4	49.2	12.2	28.6	53.8	22.3	33.2	0.8	6.3
	60代	233	24.9	46.4	9.0	32.6	45.1	23.2	36.5	0.4	11.2
	70代以上	252	20.2	38.5	8.3	25.0	35.7	12.3	27.8	1.2	29.8

問 27 未就学児や小学生を育てるため、特に必要だと思う情報はなんですか。(項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに○は3つまで)

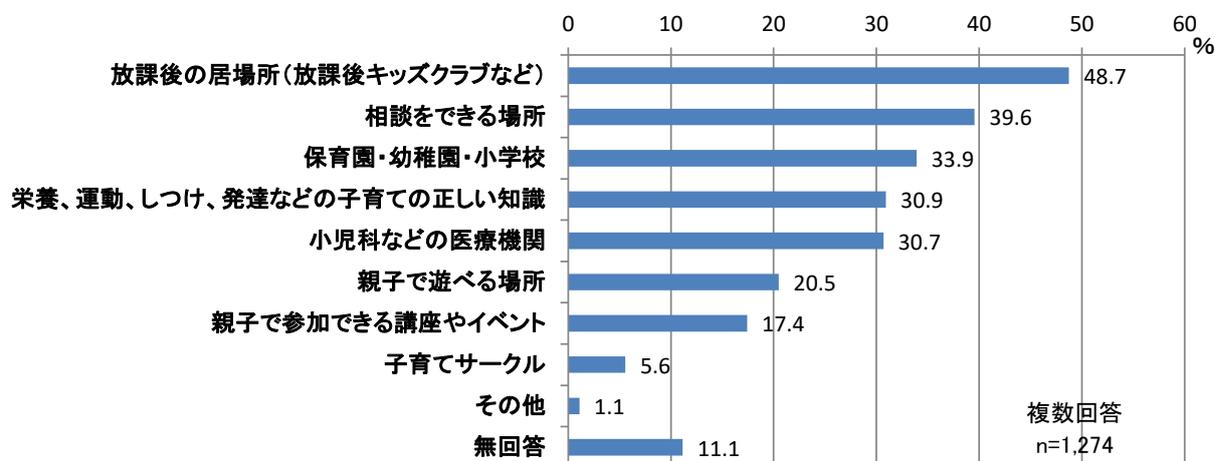
<未就学児>

- ・「相談をできる場所」が46.5%で最も多い。次いで「保育園・幼稚園・小学校」が42.0%、「小児科などの医療機関」が40.8%で、これらは4割以上の人が挙げている。以下「栄養、運動、しつけ、発達などの子育ての正しい知識」(34.2%)、「親子で遊べる場所」(32.1%)と続く。



<小学生>

- ・「放課後の居場所(放課後キッズクラブなど)」が最も多く48.7%で、半数近くの人が挙げている。以下「相談をできる場所」(39.6%)、「保育園・幼稚園・小学校」(33.9%)、「栄養、運動、しつけ、発達などの子育ての正しい知識」(30.9%)、「小児科などの医療機関」(30.7%)と続く。



■ 年齢別 未就学児や小学生を育てるため、特に必要だと思う情報(問27(1)×F1)

<未就学児>

- ・ 10代・20代と30代では「保育園・幼稚園・小学校」が最も多く、特に10代・20代では高い数値となっている。40代以上の世代では「相談をできる場所」が最も多くなっている。
- ・ 10代・20代では「栄養、運動、しつけ、発達などの子育ての正しい知識」、30代では「親子で遊べる場所」の数値が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問27-1 未就学児を育てるため、特に必要だと思う情報									
			親子で遊べる場所	相談をできる場所	子育てサークル	保育園・幼稚園・小学校	民間の幼児教室	発達などの子育ての正しい知識	栄養、運動、しつけ、	小児科などの医療機関	親子で参加できる講座	その他
全体		1274	32.1	46.5	17.7	42.0	5.7	34.2	40.8	12.2	1.6	11.5
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	41.4	52.9	13.6	55.7	6.4	46.4	40.0	9.3	0.7	3.6
	30代	137	46.7	30.7	15.3	51.8	8.0	30.7	50.4	21.2	2.2	6.6
	40代	259	34.7	48.3	15.8	44.0	4.2	28.6	45.9	13.1	1.2	8.5
	50代	238	25.6	52.5	18.9	44.1	6.7	36.1	47.5	10.5	2.9	5.9
	60代	233	29.6	44.6	24.9	42.5	6.0	33.9	39.5	12.0	0.9	10.3
	70代以上	252	25.4	46.0	16.3	24.6	4.0	33.3	26.6	9.5	1.6	26.6

■ 年齢別 未就学児や小学生を育てるため、特に必要だと思う情報(問27(2)×F1)

<小学生>

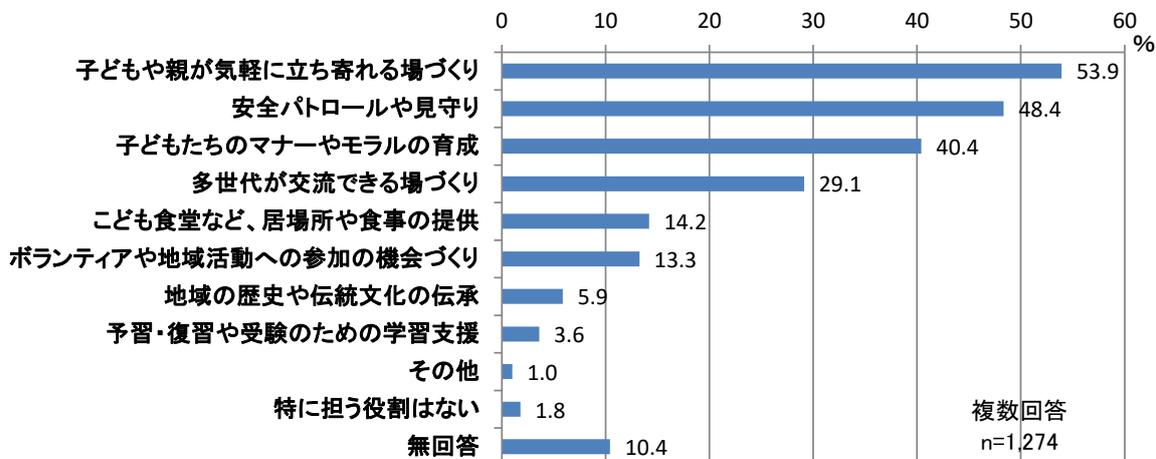
- ・ 10代・20代では「保育園・幼稚園・小学校」「放課後の居場所(放課後キッズクラブなど)」が同率となっている。70代以上では「相談をできる場所」が最も多い。それ以外の世代では「放課後の居場所(放課後キッズクラブなど)」が最も多くなっている。
- ・ 10代・20代では「栄養、運動、しつけ、発達などの子育ての正しい知識」、30代では「親子で遊べる場所」の数値が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問27-2 小学生を育てるため、特に必要だと思う情報									
			親子で遊べる場所	相談をできる場所	子育てサークル	保育園・幼稚園・小学校	放課後の居場所(放課後キッズクラブなど)	発達などの子育ての正しい知識	栄養、運動、しつけ、	小児科などの医療機関	親子で参加できる講座	その他
全体		1274	20.5	39.6	5.6	33.9	48.7	30.9	30.7	17.4	1.1	11.1
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	26.4	40.7	5.7	45.7	45.7	41.4	34.3	13.6	0.7	5.0
	30代	137	31.4	24.1	5.8	41.6	52.6	25.5	32.8	24.1	1.5	8.8
	40代	259	21.6	37.8	2.3	37.8	54.1	25.9	33.2	18.5	0.4	6.9
	50代	238	18.1	41.6	5.5	35.7	50.0	31.9	38.7	17.2	2.1	5.0
	60代	233	16.3	44.6	7.7	33.5	53.2	30.9	29.2	17.6	0.9	9.0
	70代以上	252	16.7	43.3	7.1	17.1	37.7	32.9	19.8	15.1	1.2	26.2

問 28 未就学児、小学生が健やかに成長するために、地域が担うべき役割はなんですか。（項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに○は3つまで）

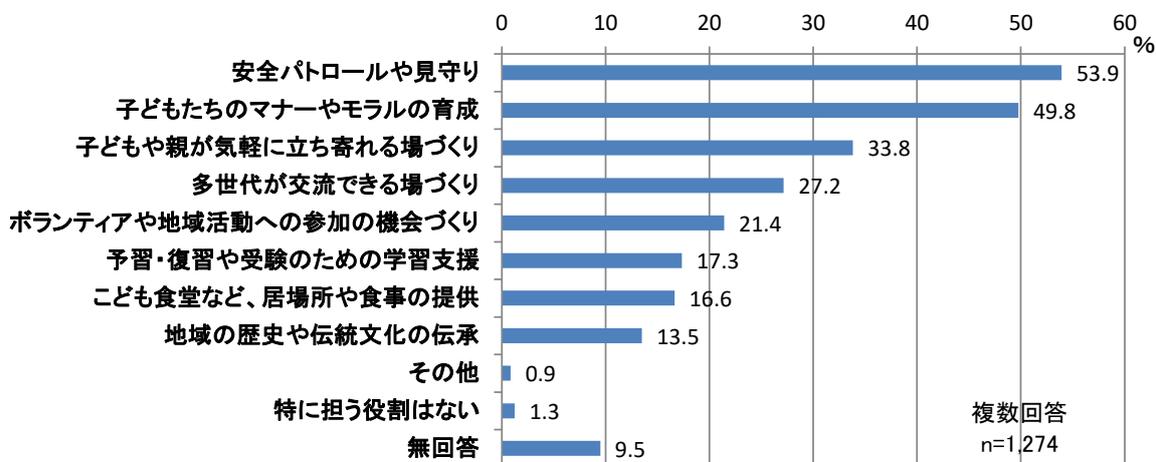
＜未就学児＞

- ・「子どもや親が気軽に立ち寄れる場づくり」が最も多く 53.9%で半数強、「安全パトロールや見守り」が 48.4%で半数弱の人が挙げている。以下「子どもたちのマナーやモラルの育成」（40.4%）、「多世代が交流できる場づくり」（29.1%）と続く。



＜小学生＞

- ・「安全パトロールや見守り」が 53.9%で半数強、「子どもたちのマナーやモラルの育成」が 49.8%で約半数の人が挙げており、回答が集中している。以下「子どもや親が気軽に立ち寄れる場づくり」（33.8%）、「多世代が交流できる場づくり」（27.2%）、「ボランティアや地域活動への参加の機会づくり」（21.4%）と続く。



■ 年齢別 健やかに成長するために、地域が担うべき役割(問28(1)×F1)

<未就学児>

・10代・20代と40代では「安全パトロールや見守り」が最も多く、特に10代・20代で高い数値となっている。30代と50代以上の世代では「子どもや親が気軽に立ち寄れる場づくり」が最も多い。

		問28-1 未就学児が健やかに成長するために、地域が担うべき役割													
		合計	子どもや親が気軽に立ち寄れる場づくり	子どもたちのマナーやモラルの育成	安全パトロールや見守り	予習・復習や受験のための学習支援	運動への参加の機会づくり	ボランティアや地域活動の伝承	地域の歴史や伝統文化	所や食事の提供	子ども食堂など、居場所づくり	多世代が交流できる場	その他	特に担う役割はない	無回答
	全体	1274	53.9	40.4	48.4	3.6	13.3	5.9	14.2	29.1	1.0	1.8	10.4		
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	58.6	47.1	61.4	4.3	12.1	6.4	15.7	20.0	0.7	1.4	4.3		
	30代	137	61.3	35.8	51.8	6.6	13.1	10.2	13.9	28.5	0.7	2.2	7.3		
	40代	259	52.1	40.2	52.5	2.7	16.6	6.6	12.7	27.8	0.4	1.9	8.5		
	50代	238	52.9	42.9	47.9	2.9	10.5	2.9	16.8	33.6	3.4	2.1	5.5		
	60代	233	56.7	37.3	42.1	3.4	12.9	7.3	18.0	33.9	0.4	1.7	9.9		
	70代以上	252	46.8	40.9	41.7	3.2	14.3	4.0	9.1	28.2	0.4	1.6	21.8		

■ 年齢別 健やかに成長するために、地域が担うべき役割(問28(2)×F1)

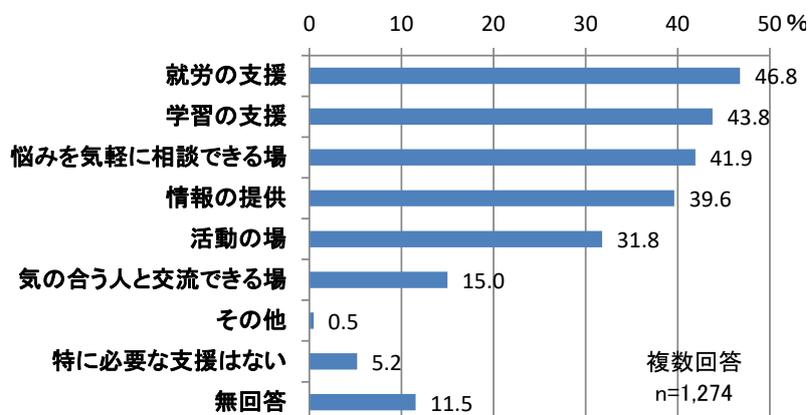
<小学生>

・10代・20代では「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多く、数値も高い。30代以上の世代では「安全パトロールや見守り」が最も多くなっている。

		問28-2 小学生が健やかに成長するために、地域が担うべき役割													
		合計	子どもや親が気軽に立ち寄れる場づくり	子どもたちのマナーやモラルの育成	安全パトロールや見守り	予習・復習や受験のための学習支援	運動への参加の機会づくり	ボランティアや地域活動の伝承	地域の歴史や伝統文化	所や食事の提供	子ども食堂など、居場所づくり	多世代が交流できる場	その他	特に担う役割はない	無回答
	全体	1274	33.8	49.8	53.9	17.3	21.4	13.5	16.6	27.2	0.9	1.3	9.5		
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	34.3	61.4	60.7	22.1	17.9	16.4	15.0	22.9	0.0	0.7	5.7		
	30代	137	32.8	45.3	56.2	24.1	19.7	14.6	21.2	25.5	0.0	2.2	9.5		
	40代	259	32.8	54.8	59.5	17.0	25.9	13.9	15.4	25.5	0.8	1.5	4.6		
	50代	238	31.9	50.8	55.9	16.8	21.0	11.8	20.2	27.7	2.9	1.7	2.5		
	60代	233	35.6	48.9	51.9	14.2	21.9	16.3	20.2	30.5	0.4	0.4	9.4		
	70代以上	252	34.5	41.7	43.3	14.7	20.2	9.9	9.5	29.8	0.4	1.2	22.2		

問 29 この項目では、中学生から 30 歳までを青少年と考えます。青少年や、青少年をお持ちの家庭にはどのような支援が必要ですか。(〇は3つまで)

- ・「就労の支援」が 46.8%で最も多く、「学習の支援」(43.8%)、「悩みを気軽に相談できる場」(41.9%)、「情報の提供」(39.6%)についても4割前後の人が挙げている。以下「活動の場」(31.8%)、「気の合う人と交流できる場」(15.0%)と続き、「特に必要な支援はない」は 5.2%となっている。



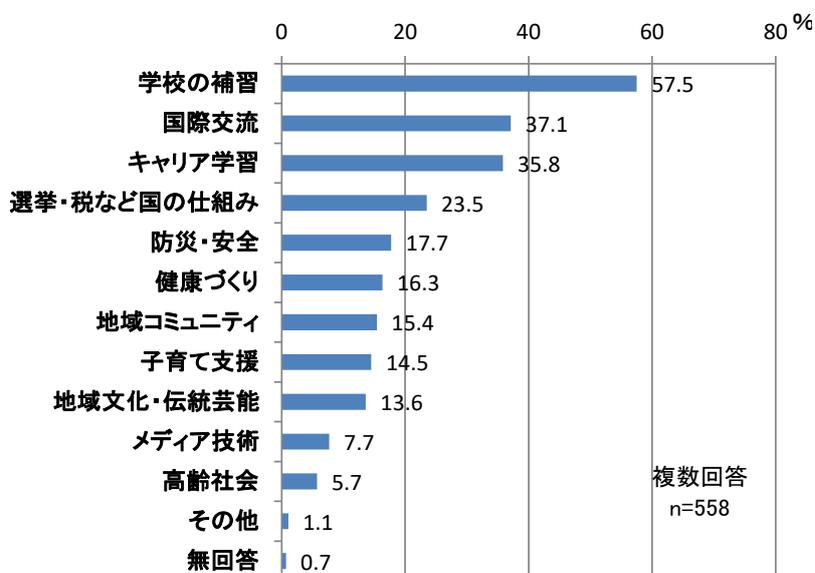
■ 年齢別 青少年や、青少年を持つ家庭に必要な支援(問29×F1)

- ・10代・20代、30代の若い世代では「学習の支援」が最も多く、年齢が若いほど数値も高い傾向にある。40代、50代では「就労の支援」、60代以上の世代では「悩みを気軽に相談できる場」が最も多く、世代によって傾向が分かれた。

		合計	問29 青少年や、青少年を持つ家庭に必要な支援								
			学習の支援	就労の支援	情報の提供	活動の場	気の合う人と交流できる場	悩みを気軽に相談できる場	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1274	43.8	46.8	39.6	31.8	15.0	41.9	0.5	5.2	11.5
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	55.0	53.6	45.7	28.6	14.3	34.3	0.0	6.4	3.6
	30代	137	54.0	48.9	39.4	32.8	18.2	34.3	0.0	3.6	5.8
	40代	259	48.6	49.0	41.3	32.4	10.4	41.7	0.8	7.3	6.6
	50代	238	41.2	52.1	44.1	34.5	12.6	42.4	1.3	7.6	3.4
	60代	233	39.1	48.9	41.6	34.3	16.3	50.2	0.0	3.0	13.3
	70代以上	252	34.1	32.9	29.4	27.0	20.2	43.7	0.4	2.8	28.6

問 29-1 青少年にとってどのような学習支援があるとよいですか。(問 29で「1 学習の支援」と回答された方、〇は3つまで)

- ・「学校の補習」が 57.5% で最も多く、6 割近い人が挙げている。以下「国際交流」(37.1%)、「キャリア学習」(35.8%) が 3 割台、「選挙・税など国の仕組み」(23.5%) が 2 割台で続く。



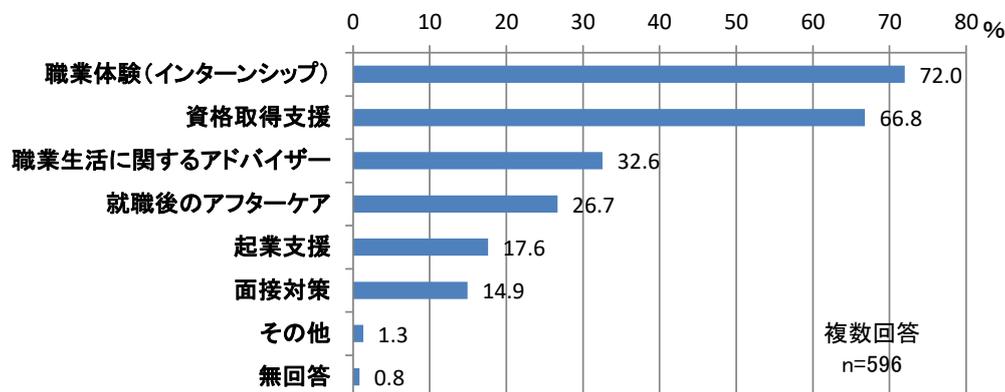
■ 年齢別 青少年にとってあるとよい学習支援(問29-1×F1)

- ・いずれの世代も「学習の補習」が最も多くなっている。
- ・青少年世代である 10 代・20 代では「選挙・税など国の仕組み」が区の数値より 10 ポイント以上高くなっており、世代による特徴が見られる。30 代では「国際交流」、70 代以上では「健康づくり」「高齢社会」が、区全体の数値を 10 ポイント以上上回っている。

		問29-1 青少年にとってあるとよい学習支援													
		合計	学校の補習	キャリア学習	地域文化・伝統芸能	防災・安全	健康づくり	高齢社会	子育て支援	選挙・税など国の仕組み	地域コミュニティ	国際交流	メディア技術	その他	無回答
全体		558	57.5	35.8	13.6	17.7	16.3	5.7	14.5	23.5	15.4	37.1	7.7	1.1	0.7
F1 年齢 (統合)	10代・20代	77	57.1	33.8	10.4	22.1	13.0	2.6	13.0	44.2	11.7	35.1	7.8	2.6	0.0
	30代	74	59.5	35.1	12.2	16.2	12.2	0.0	16.2	28.4	21.6	48.6	9.5	0.0	1.4
	40代	126	61.9	42.9	13.5	15.1	8.7	4.0	14.3	16.7	13.5	33.3	5.6	3.2	0.8
	50代	98	52.0	41.8	15.3	18.4	12.2	3.1	18.4	19.4	13.3	39.8	13.3	0.0	0.0
	60代	91	62.6	30.8	14.3	14.3	22.0	6.6	14.3	23.1	16.5	37.4	5.5	0.0	0.0
	70代以上	86	51.2	25.6	14.0	22.1	32.6	17.4	10.5	17.4	17.4	31.4	5.8	0.0	2.3

問 29-2 青少年にとってどのような就労支援があるとよいですか。(問 29で「2 就労の支援」と回答された方、〇は3つまで)

- ・「職業体験(インターンシップ)」が72.0%で最も多く、次いで「資格取得支援」が66.8%で、この2点に回答が集中している。以下「職業生活に関するアドバイザー」(32.6%)、「就職後のアフターケア」(26.7%)などとなっている。



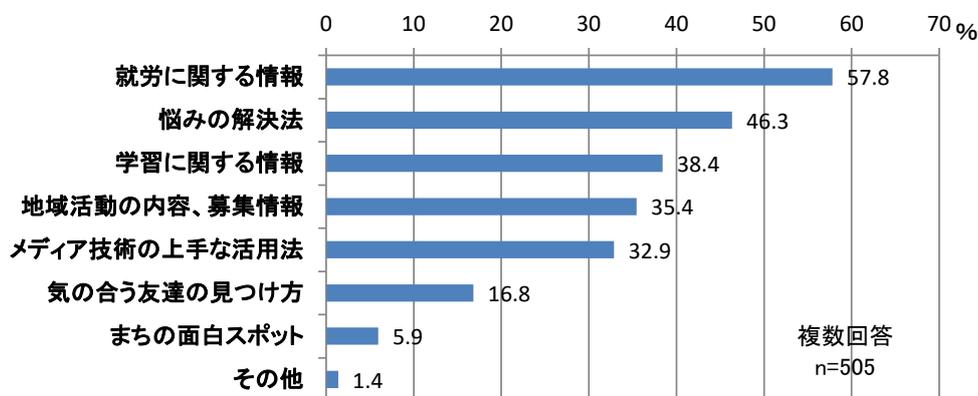
■ 年齢別 青少年にとってあるとよい就労支援(問29-2×F1)

- ・10代・20代、30代、50代、60代では「職業体験(インターンシップ)」が最も多く、特に10代・20代で高い数値となっている。40代と70代以上では「資格取得支援」が最も多い。
- ・60代、70代以上では「就職後のアフターケア」が、区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問29-2 青少年にとってあるとよい就労支援							
			職業体験(インターンシップ)	資格取得支援	起業支援	面接対策	就職後のアフターケア	職業生活に関するアドバイザー	その他	無回答
全体		596	72.0	66.8	17.6	14.9	26.7	32.6	1.3	0.8
F1 年齢(統合)	10代・20代	75	85.3	69.3	25.3	22.7	18.7	33.3	1.3	0.0
	30代	67	73.1	58.2	17.9	19.4	17.9	26.9	0.0	1.5
	40代	127	69.3	74.8	18.1	17.3	19.7	31.5	0.8	0.0
	50代	124	69.4	68.5	16.1	16.1	25.8	33.1	4.0	0.0
	60代	114	73.7	59.6	18.4	5.3	36.8	36.0	0.9	2.6
	70代以上	83	65.1	67.5	10.8	12.0	39.8	32.5	0.0	1.2

問 29-3 青少年にとってどのような情報があるとよいですか。(問 29 で「3 情報の提供」と回答された方、○は3つまで)

- ・「就労に関する情報」が 57.8% で最も多い。以下「悩みの解決法」(46.3%)、「学習に関する情報」(38.4%)、「地域活動の内容、募集情報」(35.4%)、「メディア技術の上手な活用法」(32.9%) をいずれも 3 割以上が挙げており、回答は比較的分散している。



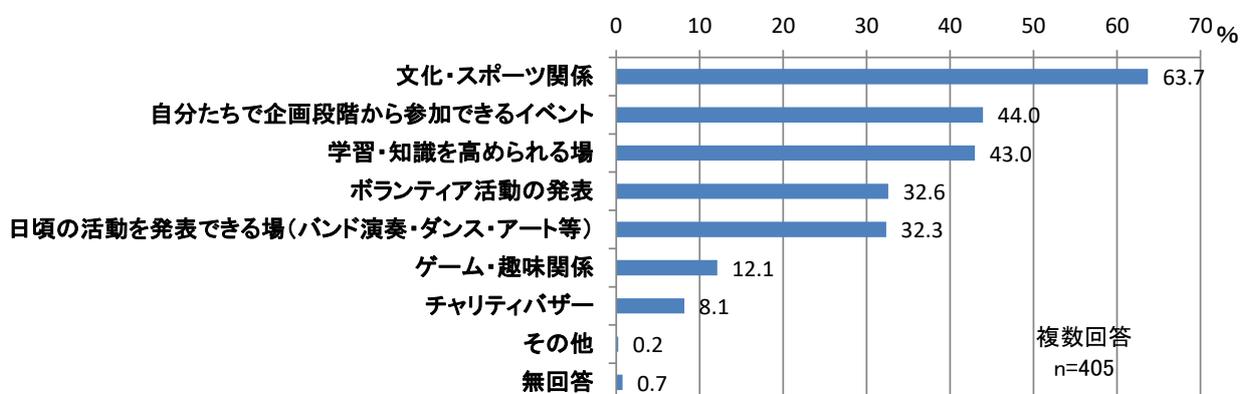
■ 年齢別 青少年にとってあるとよい情報(問 29-3×F1)

- ・70代以上では「悩みの解決法」、それ以外の世代では「就労に関する情報」が最も多く、特に30代で高い数値となっている。
- ・10代・20代、30代では「学習に関する情報」、60代では「地域活動の内容、募集情報」、70代以上では「気の合う友達の見つけ方」が、区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問29-3 青少年にとってあるとよい情報								
			気の合う友達の見つけ方	活用法	メディア技術の上手な	地域活動の内容、募集情報	悩みの解決法	就労に関する情報	学習に関する情報	まちの面白スポット	その他
全体		505	16.8	32.9	35.4	46.3	57.8	38.4	5.9	1.4	0.6
F1 年齢(統合)	10代・20代	64	20.3	28.1	31.3	39.1	60.9	54.7	7.8	3.1	1.6
	30代	54	16.7	22.2	33.3	38.9	70.4	50.0	9.3	0.0	0.0
	40代	107	10.3	30.8	31.8	43.9	59.8	45.8	6.5	0.9	0.0
	50代	105	8.6	36.2	29.5	45.7	61.0	38.1	2.9	3.8	0.0
	60代	97	15.5	39.2	46.4	52.6	56.7	26.8	6.2	0.0	1.0
	70代以上	74	33.8	36.5	41.9	54.1	43.2	23.0	4.1	0.0	1.4

問 29-4 青少年にとってどのような活動の場があるとよいですか。(問 29で「4 活動の場」と回答された方、○は3つまで)

- ・「文化・スポーツ関係」が最も多く 63.7%で、6割以上の方が挙げている。以下「自分たちで企画段階から参加できるイベント」(44.0%)、「学習・知識を高められる場」(43.0%)、「ボランティア活動の発表」(32.6%)、「日頃の活動を発表できる場(バンド演奏・ダンス・アート等)」(32.3%)についても3割以上の方が挙げており、求められる活動の場は多岐にわたっている。



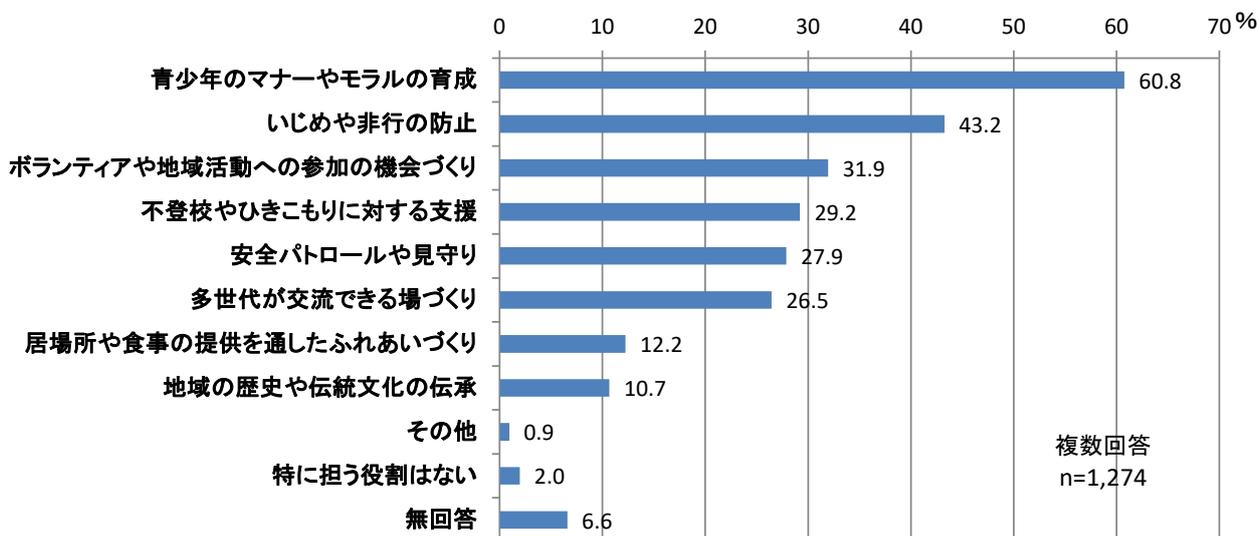
■ 年齢別 青少年にとってあるとよい活動の場(問29-4×F1)

- ・いずれも「文化・スポーツ関係」が最も多く、特に10代・20代で高い数値となっている。
- ・青少年世代である10代・20代では「ゲーム・趣味関係」「日頃の活動を発表できる場(バンド演奏・ダンス・アート等)」、40代では「学習・知識を高められる場」が、区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

		合計	問29-4 青少年にとってあるとよい活動の場								
			文化・スポーツ関係	ゲーム・趣味関係	ボランティア活動の発表	学習・知識を高められる場	自分たちで企画段階から参加できるイベント	場(バンド演奏・ダンス・アート等)	日頃の活動を発表できる	チャリティバザー	その他
全体		405	63.7	12.1	32.6	43.0	44.0	32.3	8.1	0.2	0.7
F1 年齢 (統合)	10代・20代	40	75.0	35.0	20.0	50.0	25.0	42.5	5.0	0.0	0.0
	30代	45	68.9	20.0	26.7	42.2	44.4	31.1	11.1	0.0	0.0
	40代	84	57.1	7.1	39.3	56.0	44.0	27.4	7.1	0.0	0.0
	50代	82	61.0	9.8	36.6	36.6	47.6	29.3	11.0	1.2	2.4
	60代	80	63.8	8.8	26.3	35.0	51.3	37.5	5.0	0.0	0.0
	70代以上	68	66.2	5.9	38.2	41.2	44.1	32.4	5.9	0.0	1.5

問 30 青少年が健やかに成長するために、地域が担うべき役割はなんですか。(〇は3つまで)

- ・「青少年のマナーやモラルの育成」が最も多く 60.8%で、約6割の人が挙げている。次いで「いじめや非行の防止」が 43.2%である。以下「ボランティアや地域活動への参加の機会づくり」(31.9%)、「不登校やひきこもりに対する支援」(29.2%)、「安全パトロールや見守り」(27.9%)、「多世代が交流できる場づくり」(26.5%)などと続く。一方「特に担う役割はない」は 2.0%にとどまっている。



■ 年齢別 青少年が健やかに成長するために、地域が担うべき役割(問30×F1)

- ・いずれも「青少年のマナーやモラルの育成」が最も多い。

F1 年齢(統合)	合計	問30 青少年が健やかに成長するために、地域が担うべき役割										
		青少年のマナーやモラル	安全パトロールや見守り	ボランティアや地域活動への参加の機会づくり	地域の歴史や伝統文化の伝承	居場所や食事の提供を通じたふれあいづくり	多世代が交流できる場づくり	いじめや非行の防止	不登校やひきこもりに対する支援	その他	特に担う役割はない	無回答
全体	1274	60.8	27.9	31.9	10.7	12.2	26.5	43.2	29.2	0.9	2.0	6.6
10代・20代	140	62.9	34.3	24.3	10.7	12.1	24.3	45.0	30.7	0.7	4.3	2.9
30代	137	61.3	31.4	24.8	11.7	15.3	25.5	51.8	35.8	1.5	1.5	5.1
40代	259	61.8	31.7	30.5	8.9	10.0	24.3	46.3	30.5	1.2	1.5	4.6
50代	238	61.3	26.1	35.3	9.7	12.2	26.5	40.3	31.1	1.7	3.8	1.7
60代	233	57.1	26.6	31.3	12.0	17.2	33.0	45.9	29.6	0.4	1.3	5.2
70代以上	252	63.5	20.6	38.9	11.1	7.9	25.4	34.9	21.0	0.4	0.4	16.7

■ 居住地区別 青少年が健やかに成長するために、地域が担うべき役割(問30×F9)

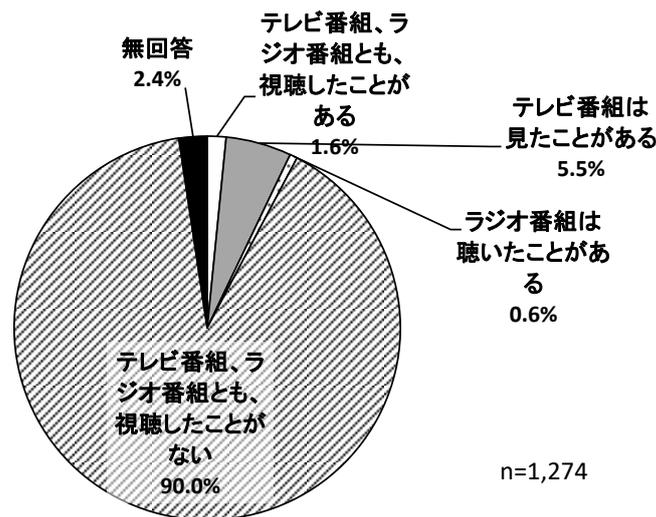
- ・ いずれも「青少年のマナーやモラルの育成」が最も多く、特にすすき野地区では数値が高くなっている。
- ・ 中里北部地区で「ボランティアや地域活動への参加の機会づくり」、上谷本地区では「いじめや非行の防止」、美しが丘地区では「居場所や食事の提供を通じたふれあいづくり」が、それぞれ区全体の数値より 10 ポイント以上高くなっている。

		問30 青少年が健やかに成長するために、地域が担うべき役割											
		合計	青少年のマナーやモラルの育成	安全パトロールや見守り	ボランティアや地域活動への参加の機会づくり	地域の歴史や伝統文化の伝承	居場所や食事の提供を通じたふれあいづくり	多世代が交流できる場づくり	いじめや非行の防止	不登校やひきこもりに対する支援	その他	特に担う役割はない	無回答
全体		1274	60.8	27.9	31.9	10.7	12.2	26.5	43.2	29.2	0.9	2.0	6.6
地区別	中里地区	78	59.0	30.8	32.1	19.2	11.5	35.9	37.2	17.9	0.0	1.3	5.1
	中里北部地区	63	52.4	22.2	44.4	9.5	14.3	31.7	42.9	27.0	6.3	1.6	6.3
	市ヶ尾地区	77	54.5	31.2	35.1	11.7	6.5	22.1	41.6	28.6	0.0	5.2	7.8
	上谷本地区	57	63.2	26.3	36.8	1.8	8.8	29.8	57.9	35.1	0.0	0.0	3.5
	谷本地区	113	61.1	27.4	27.4	11.5	15.0	27.4	39.8	28.3	0.9	1.8	8.0
	恩田地区	122	57.4	26.2	36.9	13.9	10.7	26.2	40.2	29.5	1.6	3.3	4.9
	青葉台地区	153	56.2	29.4	35.9	8.5	18.3	28.1	42.5	30.1	1.3	2.0	6.5
	奈良町・奈良北団地地区	104	64.4	28.8	31.7	8.7	7.7	26.9	36.5	27.9	0.0	1.9	10.6
	山内地区	162	63.0	27.8	26.5	13.6	9.3	26.5	48.8	31.5	0.6	1.9	7.4
	荇田・新荇田地区	134	64.9	26.1	28.4	9.0	15.7	23.9	45.5	27.6	0.0	2.2	6.0
	荇田西地区	54	63.0	29.6	25.9	5.6	13.0	14.8	48.1	31.5	0.0	1.9	5.6
	すすき野地区	71	77.5	31.0	32.4	9.9	5.6	22.5	46.5	29.6	1.4	0.0	4.2
	美しが丘地区	48	60.4	31.3	29.2	10.4	22.9	29.2	39.6	35.4	0.0	2.1	0.0

8. 広報について

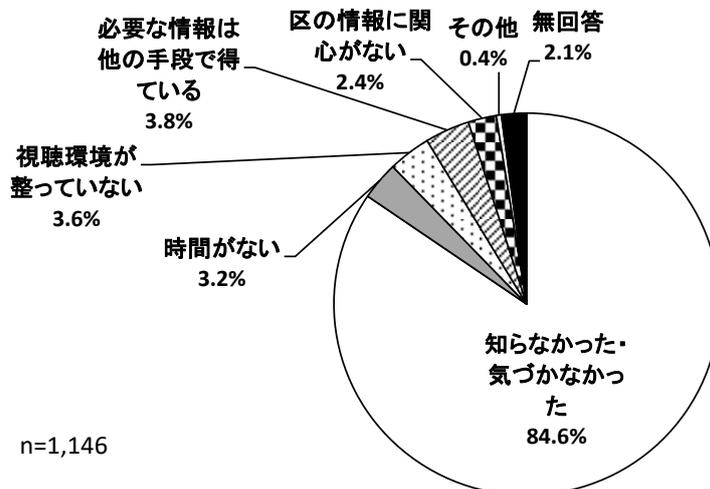
問 31 あなたは青葉区広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」と、青葉区広報ラジオ番組「あおバリューRadio」を視聴したことがありますか。(○は1つだけ)

- ・「テレビ番組、ラジオ番組とも、視聴したことがない」が90.0%と全体の9割を占め、圧倒的多数となっている。「テレビ番組は見たことがある」(5.5%)「テレビ番組、ラジオ番組とも、視聴したことがある」(1.6%)「ラジオ番組は聴いたことがある」(0.6%)を合わせても7.7%で、テレビまたはラジオを視聴したことがある人は1割未満となっている。



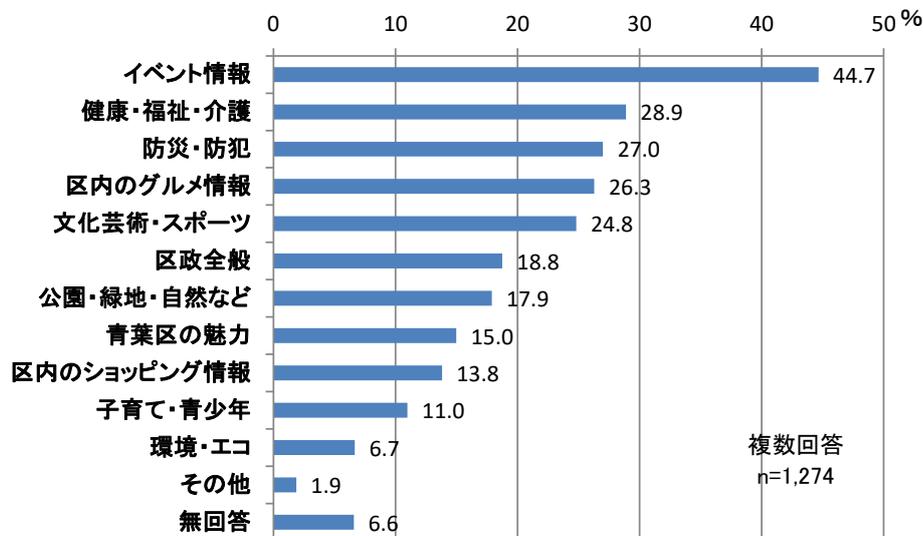
問 31-1 視聴したことがない理由は何ですか。(問 31 で「4 テレビ番組、ラジオ番組とも、視聴したことがない」と回答された方、○は1つだけ)

- ・「知らなかった・気づかなかった」が84.6%で、全体の8割以上を占めている。



問 32 青葉区の広報番組で、どのようなテーマを視聴したいですか。(〇は3つまで)

- ・「イベント情報」が 44.7% で最も多く、次点の「健康・福祉・介護」(28.9%) より 15.8 ポイント高くなっている。以下「防災・防犯」(27.0%)、「区内のグルメ情報」(26.3%)、「文化芸術・スポーツ」(24.8%)などを2割以上の人が挙げている。



■ 年齢別 青葉区の広報番組で視聴したいテーマ(問32×F1)

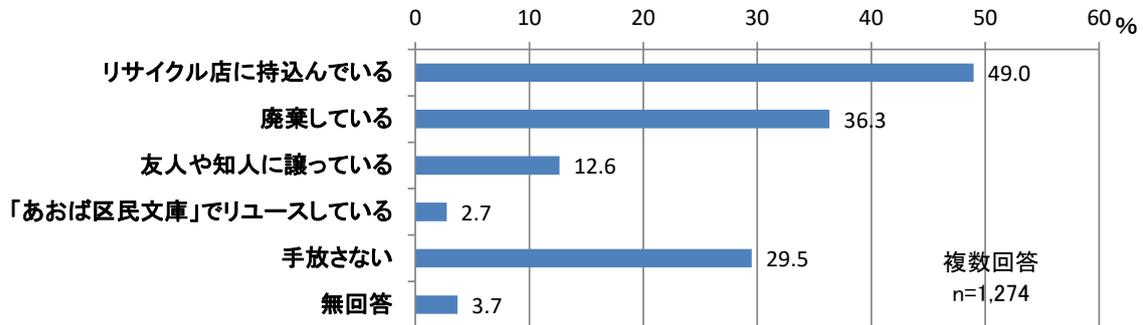
- ・10代・20代では「区内のグルメ情報」が最も多く、若い世代ほど数値が高くなっている。30代、40代、50代では「イベント情報」が最も多く、特に30代で数値が高い。60代、70代以上では「健康・福祉・介護」が最も多く、年齢が高いほど数値が高くなっている。
- ・10代・20代では「区内のショッピング情報」、30代では「子育て・青少年」「区内のグルメ情報」が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問32 青葉区の広報番組で、視聴したいテーマ												
			区政全般	健康・福祉・介護	子育て・青少年	防災・防犯	環境・エコ	文化芸術・スポーツ	イベント情報	青葉区の魅力	区内のグルメ情報	区内のショッピング情報	公園・緑地・自然など	その他	無回答
全体		1274	18.8	28.9	11.0	27.0	6.7	24.8	44.7	15.0	26.3	13.8	17.9	1.9	6.6
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	12.1	9.3	13.6	21.4	7.1	21.4	37.1	12.1	52.1	31.4	12.1	2.9	5.7
	30代	137	13.1	8.0	34.3	16.8	3.6	21.2	62.8	11.7	40.9	16.1	19.0	0.7	4.4
	40代	259	15.1	21.2	17.4	29.3	6.9	26.6	54.4	11.6	33.6	14.3	13.9	1.2	5.4
	50代	238	20.2	30.3	7.1	30.3	9.2	25.2	50.4	16.4	26.1	13.4	13.0	2.1	2.5
	60代	233	21.5	42.9	2.1	30.9	6.4	28.8	41.2	15.5	13.7	11.2	26.2	3.4	6.0
	70代以上	252	26.2	45.6	1.6	26.6	5.6	23.8	27.8	20.2	9.1	4.0	21.8	0.8	12.7

9. 読書推進について

問 33 読み終わった本はどのように手放していますか。(〇はいくつでも)

- ・「リサイクル店に持込んでいる」が 49.0%で最も多く、次いで「廃棄している」が 36.3%となっている。一方で「手放さない」も 29.5%と、3割近い人が挙げている。



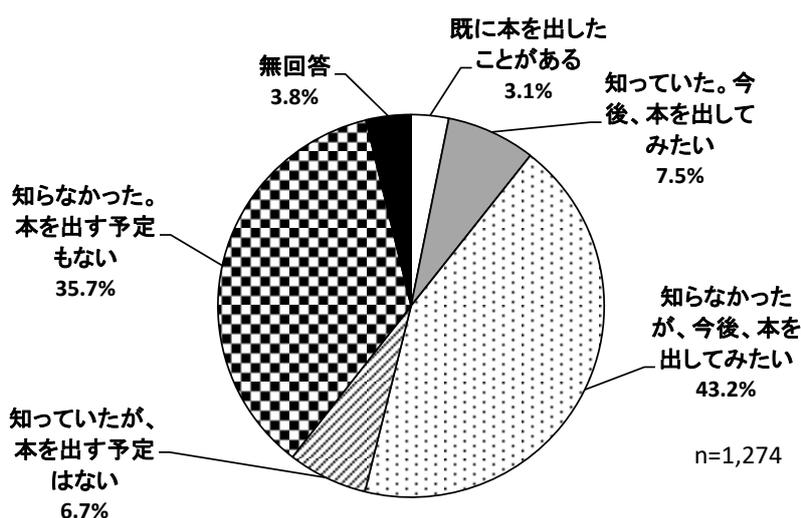
■ 年齢別 読み終わった本の手放し方(問33×F1)

- ・50代までの世代では「リサイクル店に持込んでいる」が最も多く、特に40代、50代では数値が高くなっている。60代、70代以上では「廃棄している」が最も多く、特に60代で数値が高くなっている。
- ・10代・20代では「手放さない」を半数以上が挙げており、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問33 読み終わった本の手放し方					
			「あおば区民文庫」でリユースしている	友人や知人に譲っている	リサイクル店に持込んでいる	廃棄している	手放さない	無回答
全体		1274	2.7	12.6	49.0	36.3	29.5	3.7
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	0.7	7.1	52.9	24.3	51.4	0.7
	30代	137	0.7	13.1	58.4	32.8	24.8	1.5
	40代	259	1.5	15.4	61.8	32.4	25.1	0.4
	50代	238	2.1	10.1	67.6	33.6	24.8	0.4
	60代	233	5.2	12.0	37.8	49.8	30.5	2.6
	70代以上	252	4.4	15.5	21.4	39.7	29.0	12.7

問 34 「あおば区民文庫ボックス」を知っていますか。また、リユースのため本を「あおば区民文庫ボックス」に出してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

- ・「知らなかったが、今後、本を出してみたい」が最も多く 43.2%で、4割以上を占めている。次いで「知らなかった。本を出す予定もない」が 35.7%で、これらを合わせると 78.9%と、「あおば区民文庫ボックス」を知らなかった人が8割近くに達している。以下「知っていた。今後、本を出してみたい」(7.5%)、「知っていたが、本を出す予定はない」(6.7%)、「既に本を出したことがある」(3.1%)と続く。
- ・「既に本を出したことがある」「知っていた。今後、本を出してみたい」「知らなかったが、今後、本を出してみたい」を合わせると 53.8%で、半数以上の人が「あおば区民文庫ボックス」の利用希望を持っている。



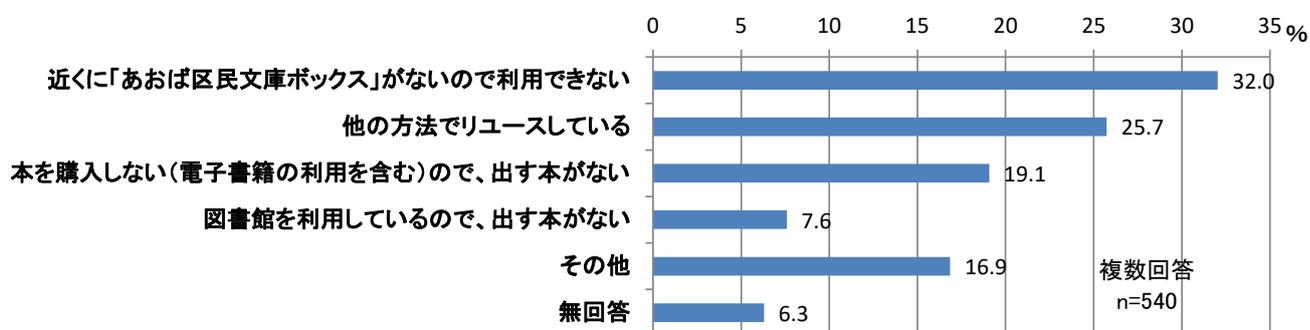
■ 年齢別 「あおば区民文庫ボックス」の認知、利用希望 (問34×F1)

- ・10代・20代では「知らなかった。本を出す予定もない」が最も多い。30代以上の世代では「知らなかったが、今後、本を出してみたい」が最も多くなっている。

	合計	問34 「あおば区民文庫ボックス」の認知とリユースのため本を「あおば区民文庫ボックス」に出したいか						
		既に本を出したことがある	知っていたが、本を出す予定はない	知っていた。今後、本を出してみたい	知らなかったが、今後、本を出してみたい	知らなかった。本を出す予定もない	無回答	
全体	1274	3.1	6.7	43.2	7.5	35.7	3.8	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	0.7	4.3	35.7	5.0	54.3	0.0
	30代	137	1.5	9.5	47.4	1.5	38.0	2.2
	40代	259	0.8	7.3	51.4	7.3	32.4	0.8
	50代	238	3.4	8.8	47.1	7.6	31.9	1.3
	60代	233	6.4	9.0	41.2	8.2	32.2	3.0
	70代以上	252	4.0	5.2	35.7	7.9	35.3	11.9

問 34-1 「あおば区民文庫ボックス」を利用されない理由を教えてください。(問 34で「4 知っていたが、本を出す予定はない」「5 知らなかった。本を出す予定もない」と回答された方、〇はいくつでも)

- ・「近くに「あおば区民文庫ボックス」がないので利用できない」が32.0%で最も多い。以下「他の方法でリユースしている」(25.7%)、「本を購入しない(電子書籍の利用を含む)ので、出す本がない」(19.1%)、「その他」(16.9%)、「図書館を利用しているので、出す本がない」(7.6%)と続く。



「その他」意見内容

分類	件数
本は手放さない	23
区役所が遠い、行かない	8
知らなかった	6
資源ゴミに出している、廃棄している	5
面倒くさい	5
売る、買い取りの方がよい	5
何度も読み返すから	5
本は読まない、買わない	4
持って行くのが重いから	3
興味がない	3
教育機関への寄付	2
電子書籍を利用する	2
家族・友人に譲る	2
どこにあるのかわからない	2
運ぶ手段がない	2
健康上の理由で外出が困難	2
リユースの方法がわからなくて不安	1
NPOを通じた寄付	1
本を作ったところにお金が行かないリユースは理不尽	1
忙しい	1
目が不自由	1
リユースできるかわからない	1
書き込みをするため	1
引っ越した	1
文庫本ばかりで喜ばれないと思う	1
出すならほかの方法がよい	1
特になし	1
計	90

■ 年齢別 「あおば区民文庫ボックス」を利用されない理由(問34-1×F1)

- ・ 10代・20代と50代では「他の方法でリユースしている」が最も多く、特に50代で数値が高くなっている。それ以外の世代では「近くに「あおば区民文庫ボックス」がないので利用できない」が最も多く、特に40代で数値が高い。

		合計	問34-1 「あおば区民文庫ボックス」を利用されない理由					
			近くに「あおば区民文庫ボックス」がないので利用できない	他の方法でリユースしている	図書館を利用していない	本を購入しない(電子書籍の利用を含む)	その他	無回答
全体		540	32.0	25.7	7.6	19.1	16.9	6.3
F1 年齢 (統合)	10代・20代	83	24.1	33.7	2.4	18.1	19.3	3.6
	30代	54	29.6	27.8	3.7	22.2	16.7	5.6
	40代	103	44.7	26.2	5.8	10.7	16.5	4.9
	50代	94	28.7	37.2	5.3	13.8	19.1	6.4
	60代	94	30.9	20.2	10.6	24.5	14.9	10.6
	70代以上	109	31.2	13.8	13.8	26.6	15.6	5.5

問 34-2 「あおば区民文庫ボックス」が多くの方に利用されるために、どのようなことが必要だと思いますか。自由にご記入ください。

- ・「あおば区民文庫ボックス」が多くの方に利用されるために必要なこととして、535人から782件の意見があった。
- ・必要な対策としては、「設置場所の増加」が352件と最も多く、次いで「PR」222件となっている。このほか「区役所」53件、「情報発信」48件、「利用方法」42件、「管理」25件、「付加価値」20件などが挙げられた。

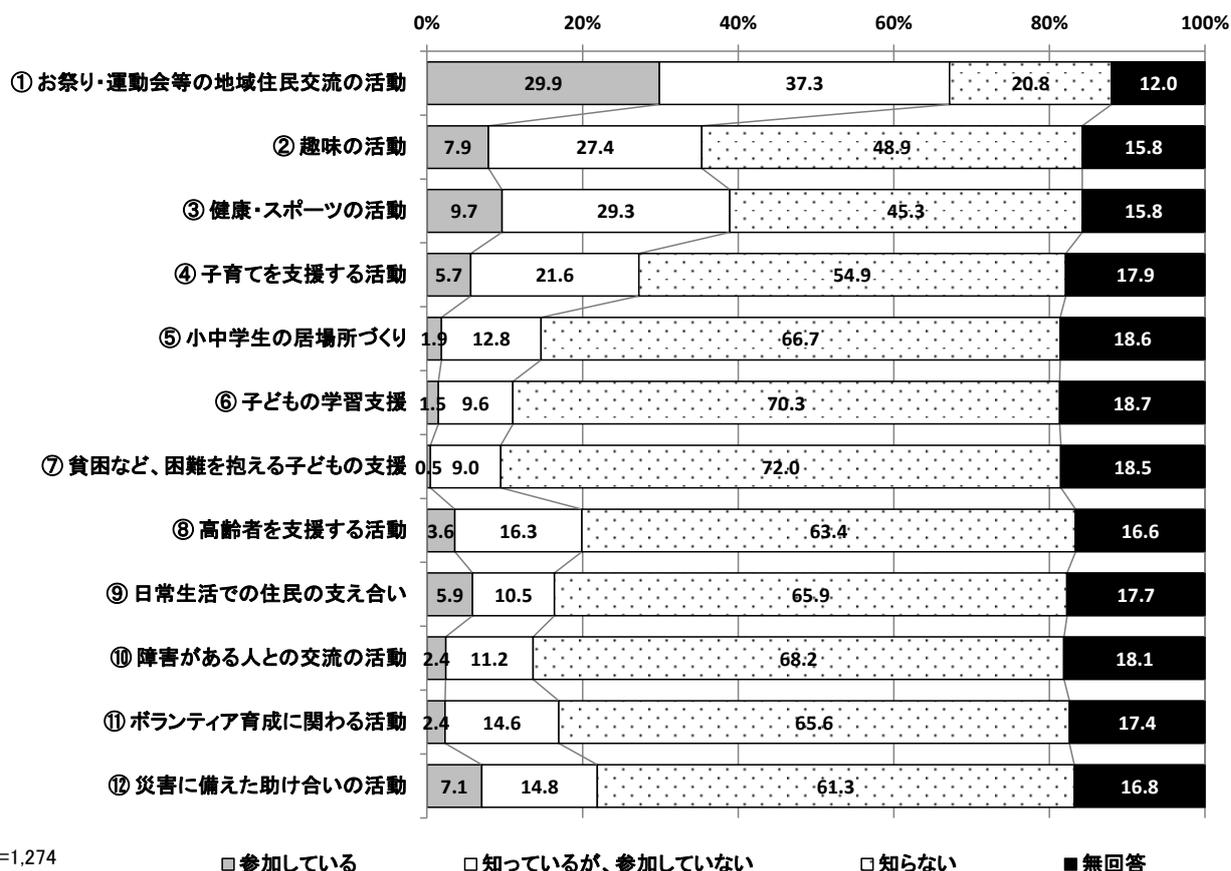
大分類	小計	意見内容	意見数	大分類	小計	意見内容	意見数		
設置場所の増加	352	駅に設置	118	情報発信	48	利用方法をわかりやすく	15		
		ボックスを増やす	86			文庫ボックスの利用実績（リユース状況）を公開	11		
		スーパー・ショッピングセンターに設置	28			メリット・デメリットを明確に情報提供	8		
		身近な場所に欲しい	24			在庫本の情報公開（ネット等）	8		
		地区センターに設置	20	希望の本の情報収集とその公開	5	利用方法	42	利用者の声を広報	1
		人目につく立ち寄りやすい場所に設置	17	引き取りサービス	10				
		コンビニに設置	10	利便性の向上	8				
		公共施設に設置	8	本が少ないので増やす	7				
		図書館に設置	6	幅広いジャンルを回収	5				
		子ども達が集まる場所	4	文庫ボックスに回収する本の種類を詳しく明記	3				
		子ども達に欲しい	4	洒落た目立つ箱に変える	3				
		学校（小中高大に設置）	4	大きな看板を出し目立たせる	2				
		地域ケアプラザに設置	4	選別職員を（管理人）を置く	2				
		図書館ポストと一緒に設置	4	1ヶ月に1度又は、3ヶ月に1度、回収日を設定	1				
		郵便局に設置	4	1人の利用数の制限	1				
		小学校の古紙回収時を利用	3	管理	25			本の清潔・品質の管理が必要	14
		自治体ごとに設置	3			本の管理が必要	5		
		公民館・自治会館	2			本のタイトルリストをつくる	4		
		銀行に設置	2			選びやすい陳列	2		
		本屋に設置	1			付加価値	20	特典があると良い	7
区役所の各相談窓口	1	ポイント制	4						
コミュニティハウスに設置	1	商店街で利用できる金券等（地域通貨等）	3						
行政サービスコーナーに設置	1	1冊100円などで回収	2						
月1回地域で回収	1	バスチケットに還元	1						
PR	222	周知・宣伝する	141	粗大ごみの料金割引特典	1				
		場所の周知	16	青葉区の施設利用券発行	1				
		広報誌に載せる	13	寄付金控除等優遇策	1				
		認知度を上げる	12	その他	12			読書活動の推進（皆さんに本を読んでもらいたい）	3
		自治会（回覧板）にチラシを配布	10					リサイクル店とのタイアップ	1
		ポスターで知らせる	8			地区センターで本の寄贈を呼びかける	1		
		小中学校等に教える	5			駅の傍に図書館がない	1		
		看板・掲示板で知らせる	4			図書館に新刊本がない	1		
		駅構内やバスで宣伝	3			図書館を増やして欲しい	1		
		区内の店で提示	2			本は買う主義	1		
		設置場所のマップ配布	2			時々区役所で古書即売会を開催	1		
		キャッチフレーズをつくる	1			需要のないサービスなので不要	1		
		テレビラジオで宣伝	1			ゴミ収集に出している	1		
		折込広告等の告知	1	良い点	8	現状で可	2		
		町内会・老人会で宣伝	1			蔵書を処分したいので利用したい	2		
バスのつり革広告	1	エコ活動になる	1						
本屋で宣伝	1	とても良い取組	1						
遠い・不便・面倒	26	欲しかった本を見つけ嬉しかった	1						
区役所	53	区役所に行く機会が少ない	11	周囲の本好きの方に教えている	1				
		重い	7	（回答者数：535人） 意見数：782件					
		区役所で土日も回収	5						
		区役所に行く機会を増やす方策を考える（イベントなど）	2						
		区役所の駐車施設の充実	2						

10. 社会貢献活動について

問 35 あなたの経験を生かして、地域で次のような社会貢献活動に参加していますか。
参加していない、知らないという場合、今後参加したいと思いますか。（項目ごとに○は1つ）

<参加実績>

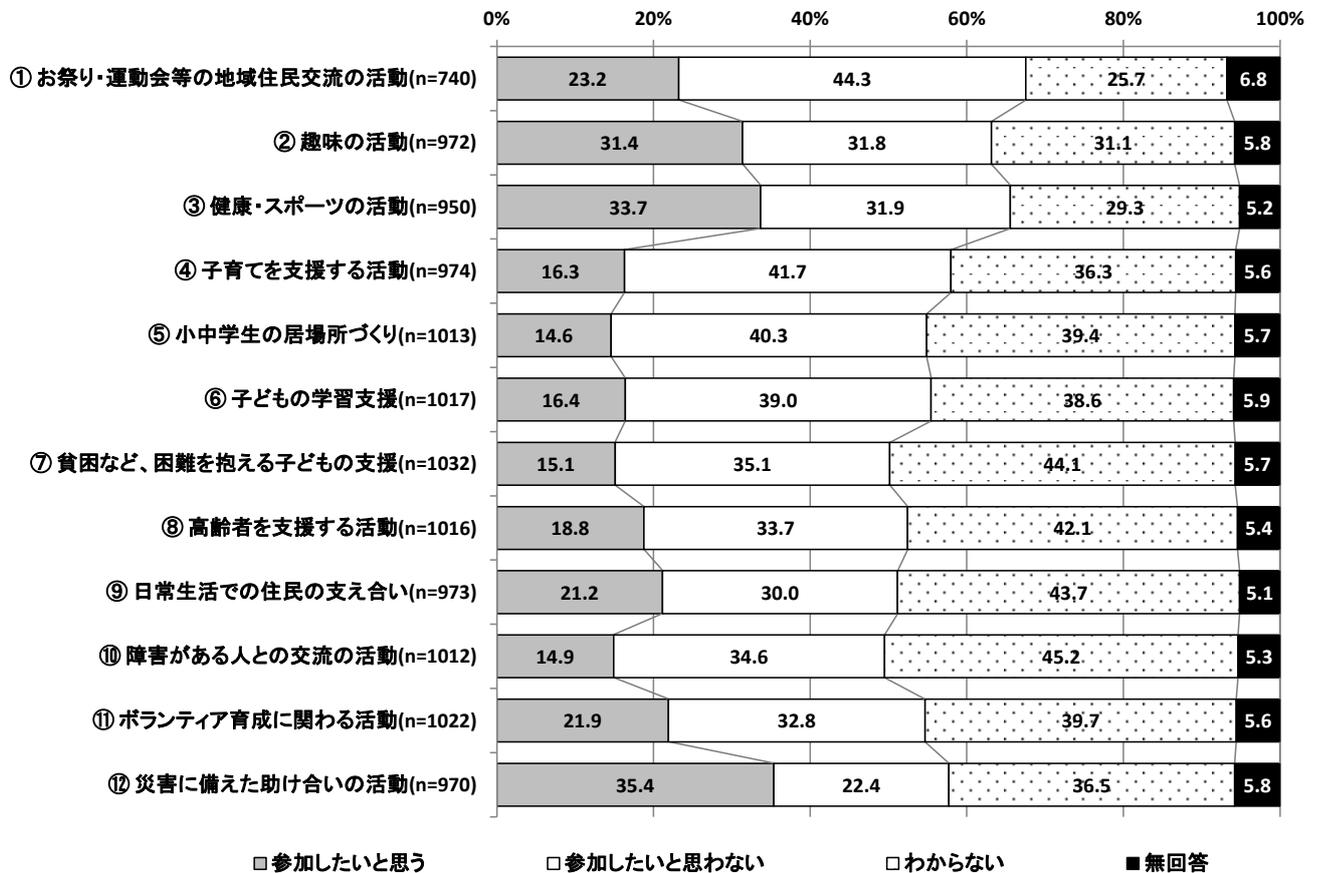
- ・「参加している」の割合が高いのは「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」（29.9％）で約3割である。次いで「③ 健康・スポーツの活動」（9.7％）、「② 趣味の活動」（7.9％）である。この3項目以外の項目では、「知らない」の割合が半数以上となっている。
- ・「知らない」の割合が最も高いのは「⑦ 貧困など、困難を抱える子どもの支援」（72.0％）、「⑥ 子どもの学習支援」（70.3％）で、7割を超えている。



<参加希望>

(“参加実績”で「知っているが、参加していない」「知らない」を回答した場合)

- ・「参加したいと思う」の割合が最も高いのは「⑫ 災害に備えた助け合いの活動」(35.4%)である。次いで「③ 健康・スポーツの活動」(33.7%)、「② 趣味の活動」(31.4%)で、いずれも3割を超えている。
- ・一方「参加したいと思わない」の割合が高いのは、「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」(44.3%)で、4割を超えている。次いで「④ 子育てを支援する活動」(41.7%)、「⑤ 小中学生の居場所づくり」(40.3%)、「⑥ 子どもの学習支援」(39.0%)も4割前後に達し、子どもに関わる活動への参加意欲が低い。
- ・「わからない」の割合が高い項目は「⑩ 障がいがある人との交流の活動」(45.2%)、「⑦ 貧困など、困難を抱える子どもの支援」(44.1%)、「⑨ 日常生活での住民の支え合い」(43.7%)、「⑧ 高齢者を支援する活動」(42.1%)で4割以上となっている。



■ 年齢別 地域活動への参加状況(問35(1)×F1)

- ・全ての年代で「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」への参加率が高い。
- ・「④子育てを支援する活動」については30代の参加率がやや高い。
- ・「②趣味の活動」については、年齢が高いほど数値も高い傾向にある。

		問35(参加実績)												
		地① 域お祭 り・運 動会等 の活 動	② 趣味 の活 動	動③ 健康 ・ス ポー ツの 活 動	動④ 子育 てを 支 援す る活 動	く⑤ 小中 学生 の居 場所 づ くり	⑥ 子ど もの 学 習支 援	え⑦ る子 ども の支 援を 抱	動⑧ 高 齢者 を支 援す る活 動	支⑨ え合 い日 常生 活で の住 民の	流⑩ の障 害が ある 人 との 交 渉	関⑪ わる 活 動 ボ ラン テ ィア 育 成に	い⑫ の活 動 災 害に 備 え た 助 け 合 い	
全体		1274	29.9	7.9	9.7	5.7	1.9	1.5	0.5	3.6	5.9	2.4	2.4	7.1
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	32.1	2.1	2.9	2.1	4.3	3.6	0.7	2.9	4.3	2.1	0.7	1.4
	30代	137	36.5	4.4	3.6	14.6	2.2	2.2	0.0	0.7	3.6	1.5	1.5	4.4
	40代	259	39.0	6.2	9.3	7.7	2.3	1.2	0.0	0.8	5.4	1.2	1.5	8.5
	50代	238	27.7	5.0	8.4	8.0	2.1	1.3	0.8	2.9	8.0	3.4	0.8	10.9
	60代	233	25.8	11.6	15.0	2.1	1.3	0.9	0.9	5.2	5.6	1.7	2.6	7.3
	70代以上	252	22.6	14.7	13.9	2.0	0.4	1.2	0.4	7.9	7.1	4.4	6.0	6.7

※各項目の「参加している」と回答した人の割合

■ 年齢別 地域活動への参加希望(問35(2)×F1)

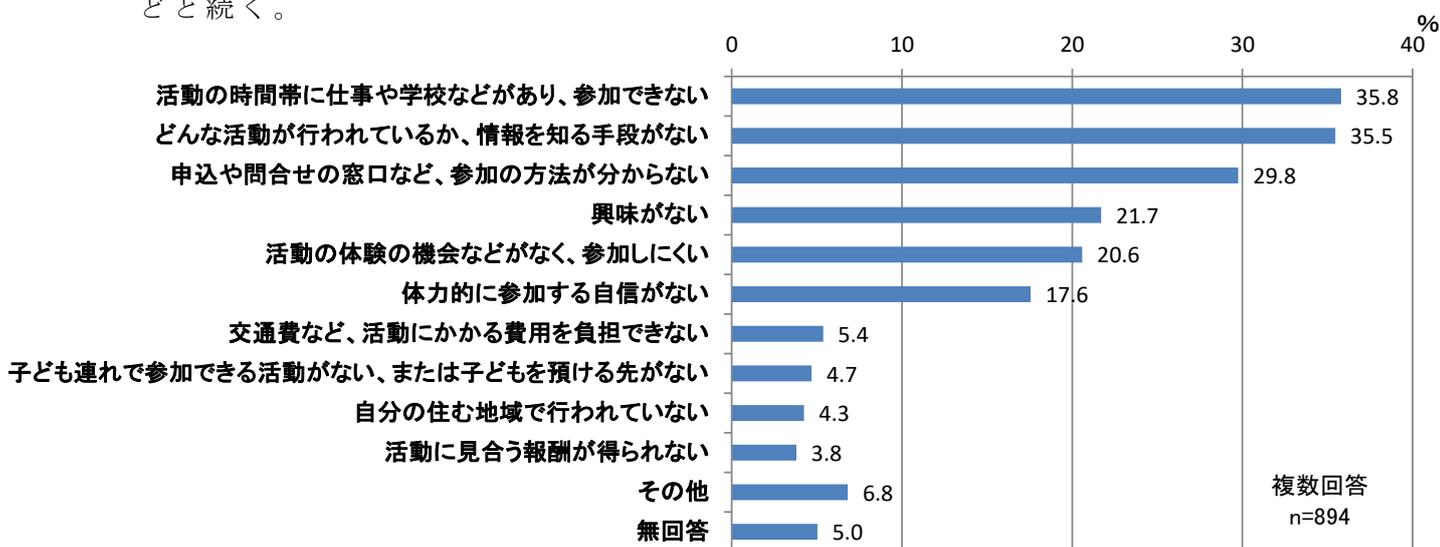
- ・30代では「③健康・スポーツの活動」、70代以上では「②趣味の活動」、それ以外の世代では「⑫災害に備えた助け合いの活動」への参加希望が最も高くなっている。
- ・「① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」については10代・20代及び30代で区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。また、30代では「②趣味の活動」「④子育てを支援する活動」「⑤小中学生の居場所づくり」「⑥子どもの学習支援」についても区全体の数値より10ポイント以上高く、30代では参加希望の内容が多岐にわたっている。

		問35(参加希望)											
		地① 域お祭 り・運 動会等 の活 動	② 趣味 の活 動	動③ 健康 ・ス ポー ツの 活 動	動④ 子育 てを 支 援す る活 動	く⑤ 小中 学生 の居 場所 づ くり	⑥ 子ど もの 学 習支 援	え⑦ る子 ども の支 援を 抱	動⑧ 高 齢者 を支 援す る活 動	支⑨ え合 い日 常生 活で の住 民の	流⑩ の障 害が ある 人 との 交 渉	関⑪ わる 活 動 ボ ラン テ ィア 育 成に	い⑫ の活 動 災 害に 備 え た 助 け 合 い
全体		23.2	31.4	33.7	16.3	14.6	16.4	15.1	18.8	21.2	14.9	21.9	35.4
F1 年齢 (統合)	10代・20代	38.0	28.4	32.3	18.7	19.1	22.0	17.6	19.5	19.8	15.7	16.9	38.2
	30代	42.2	44.4	49.6	42.7	29.9	31.5	13.8	14.0	22.4	18.8	28.9	36.3
	40代	23.8	29.1	29.3	16.9	16.9	18.3	13.9	14.8	21.9	16.7	21.9	36.6
	50代	16.1	28.2	30.5	13.9	10.6	13.6	18.2	22.2	21.4	15.8	24.1	36.4
	60代	14.7	30.8	36.0	8.7	8.1	9.3	14.6	23.6	21.7	10.4	21.5	36.2
	70代以上	16.5	29.8	26.7	3.0	4.4	5.9	11.0	17.3	18.3	11.4	15.9	24.2

※各項目の「参加したいと思う」と回答した人の割合

問 35-1 参加していないのはどのような理由からですか。(問 35 でいずれかの項目について、「4 参加したいと思う」「5 参加したいと思わない」と回答された方、○はいくつでも)

- ・「活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない」が 35.8%、「どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない」が 35.5% でほぼ並んでいる。以下「申込や問合せの窓口など、参加の方法が分からない」(29.8%)、「興味がない」(21.7%)、「活動の体験の機会などがなく、参加しにくい」(20.6%)などと続く。



■ 年齢別 地域で社会貢献活動に参加しない理由(問 35-1 × F1)

- ・10代・20代では「どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない」「活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない」が同率である。30代と60代では「どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない」が最も多く、特に30代で数値が高い。40代、50代では「活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない」が最も多く、特に40代で数値が高くなっている。70代以上では「体力的に参加する自信がない」が最も多い。
- ・10代・20代では「興味がない」、30代では「子ども連れで参加できる活動がない、または子どもを預ける先がない」が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

	合計	問35-1 参加していない理由													
		知らない	申込や問合せの方法が分からない	段がない、情報を知ることができない	どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない	自分の住む地域で行われていない	学校などがあり、参加できない	活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない	子ども連れで参加できる活動がない、または子どもを預ける先がない	交通費など、活動にかかる費用を負担できない	活動に見合う報酬が得られない	活動の体験の機会などがなく、参加しにくい	体力的に参加する自信がない	興味がない	その他
全体	894	29.8	35.5	4.3	35.8	4.7	5.4	3.8	20.6	17.6	21.7	6.8	5.0		
F1 年齢(統合)															
10代・20代	115	32.2	42.6	5.2	42.6	5.2	5.2	8.7	11.3	7.8	32.2	3.5	3.5		
30代	114	34.2	46.5	2.6	33.3	22.8	4.4	6.1	19.3	5.3	21.1	4.4	4.4		
40代	195	29.7	33.8	4.6	46.7	3.6	6.7	4.6	17.9	6.7	19.0	8.2	4.6		
50代	174	32.2	31.6	2.9	44.8	0.0	4.0	1.7	21.3	17.2	22.4	4.6	4.6		
60代	165	28.5	32.1	5.5	27.9	1.2	6.7	2.4	24.8	26.1	20.6	9.7	7.3		
70代以上	125	21.6	31.2	4.0	12.0	0.0	4.0	0.8	27.2	44.0	18.4	9.6	5.6		

■ 居住地区別 地域で社会貢献活動に参加しない理由(問35-1×F9)

- ・中里北部地区では「体力的に参加する自信がない」が最も多い。市ヶ尾地区、上谷本地区、谷本地区、山内地区では「活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない」が最も多い。荏田西地区では「申込や問合せの窓口など、参加の方法が分からない」「どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない」が同率である。奈良町・奈良北団地地区、荏田・新荏田地区では「申込や問合せの窓口など、参加の方法が分からない」が最も多く、特に奈良町・奈良北団地地区で数値が高くなっている。中里地区、恩田地区、青葉台地区、すすき野地区、美しが丘地区では「どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない」が最も多い。
- ・すすき野地区では「活動の体験の機会などがなく、参加しにくい」が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

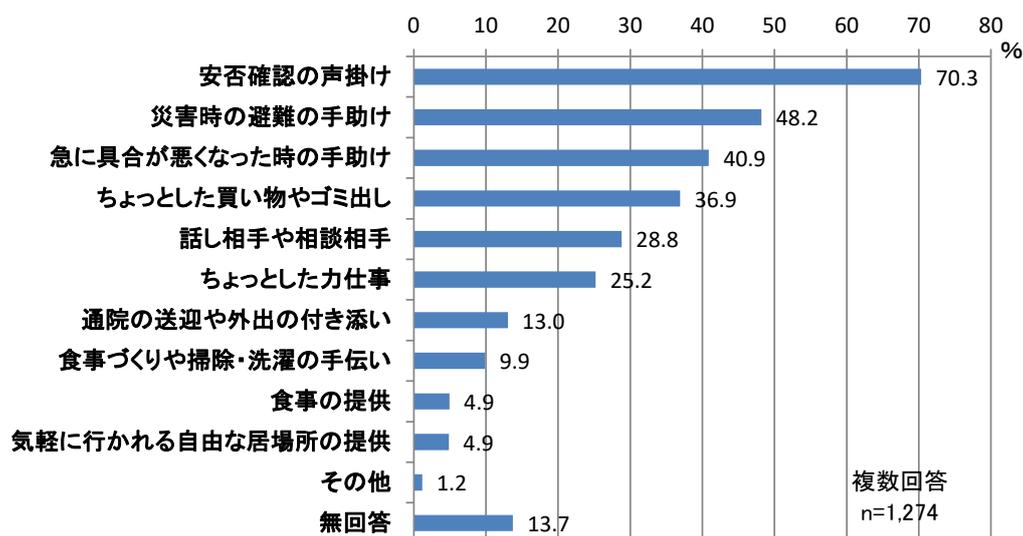
		問35-1 参加していない理由														
		合計	知らない	申込や問合せの方法が分からない	段がない	どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない	自分の住む地域で行われていない	学校などがあり、参加できない	活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない	子ども連れで参加できる活動がない、または子どもを預ける先がない	交通費など、活動にかかる費用を負担できない	活動に見合う報酬が得られない	活動の体験の機会などがなく、参加しにくい	体力的に参加する自信がない	興味がない	その他
全体		894	29.8	35.5	4.3	35.8	4.7	5.4	3.8	20.6	17.6	21.7	6.8	5.0		
地区別	中里地区	59	30.5	42.4	10.2	40.7	1.7	0.0	3.4	15.3	20.3	22.0	5.1	8.5		
	中里北部地区	40	15.0	25.0	2.5	30.0	2.5	10.0	0.0	17.5	35.0	15.0	7.5	2.5		
	市ヶ尾地区	52	23.1	34.6	1.9	42.3	1.9	9.6	0.0	15.4	26.9	25.0	5.8	1.9		
	上谷本地区	40	25.0	30.0	0.0	45.0	7.5	2.5	0.0	17.5	22.5	27.5	0.0	7.5		
	谷本地区	84	22.6	29.8	1.2	36.9	9.5	4.8	4.8	21.4	15.5	17.9	7.1	3.6		
	恩田地区	85	30.6	43.5	7.1	32.9	5.9	7.1	3.5	23.5	14.1	18.8	5.9	3.5		
	青葉台地区	111	29.7	36.9	2.7	34.2	5.4	4.5	4.5	21.6	21.6	18.9	9.0	2.7		
	奈良町・奈良北団地地区	78	47.4	34.6	7.7	34.6	2.6	6.4	2.6	17.9	7.7	29.5	9.0	7.7		
	山内地区	108	26.9	32.4	3.7	34.3	3.7	5.6	3.7	20.4	20.4	23.1	4.6	9.3		
	荏田・新荏田地区	102	39.2	33.3	2.0	36.3	5.9	4.9	6.9	20.6	11.8	22.5	7.8	3.9		
	荏田西地区	38	39.5	39.5	5.3	28.9	2.6	5.3	5.3	13.2	7.9	18.4	13.2	5.3		
	すすき野地区	44	25.0	34.1	4.5	31.8	2.3	2.3	4.5	31.8	20.5	15.9	6.8	6.8		
	美しが丘地区	36	16.7	44.4	8.3	33.3	5.6	8.3	8.3	25.0	16.7	25.0	8.3	0.0		

11. 地域の福祉保健活動について

問 36 あなたは近所の困っている人にどのような手助けができると思いますか。また、少し困ったことがあった場合、ご近所から手助けしてもらいたいことはありますか。(〇はいくつでも)

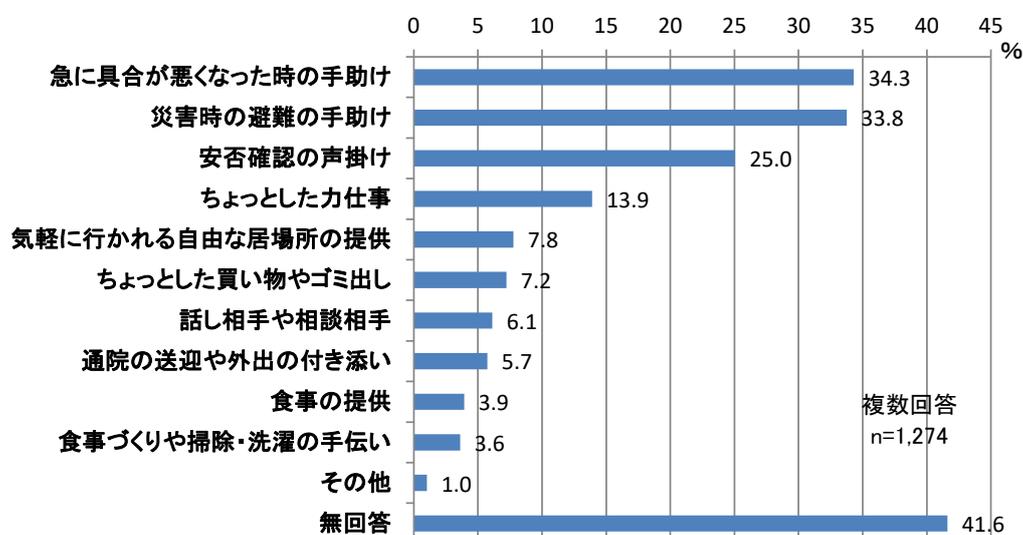
<手助けできること>

- ・「安否確認の声掛け」が最も多く 70.3%で、約7割の人が挙げている。次いで「災害時の避難の手助け」(48.2%)、「急に具合が悪くなった時の手助け」(40.9%)を4割以上、「ちょっとした買い物やゴミ出し」(36.9%)を3割以上の人が挙げている。



<手助けしてほしいこと>

- ・「急に具合が悪くなった時の手助け」が 34.3%、「災害時の避難の手助け」が 33.8%でほぼ並んでいる。次いで「安否確認の声掛け」が 25.0%となっている。



■ 年齢別 近所の困っている人にできる手助け(問36(1)×F1)

- ・いずれも「安否確認の声掛け」が最も多く、特に50代で数値が高い。
- ・10代・20代では「ちょっとした力仕事」「災害時の避難の手助け」、50代では「災害時の避難の手助け」が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている。

		問36-1 近所の困っている人にどのような手助けができると思うか																
		合計	安否確認の声掛け	ゴミ出し	ちよつとした買った買物や	濯の手伝い	食事づくりや掃除・洗	ちよつとした力仕事	き添いの	通院の送迎や外出の付	話し相手や相談相手	居場所の提供	気軽に行かれる自由な	食事の提供	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他	無回答
全体		1274	70.3	36.9	9.9	25.2	13.0	28.8	4.9	4.9	48.2	40.9	1.2	13.7				
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	70.7	28.6	13.6	40.0	10.0	32.9	7.9	9.3	61.4	41.4	0.0	8.6				
	30代	137	70.8	31.4	9.5	29.2	8.0	29.2	8.8	5.1	45.3	42.3	0.7	13.9				
	40代	259	75.3	37.1	8.5	30.1	14.3	28.6	2.3	4.6	57.5	49.4	0.4	10.8				
	50代	238	81.5	45.0	9.2	26.9	14.7	25.2	2.5	5.5	61.8	47.9	1.7	4.6				
	60代	233	69.5	45.5	14.6	20.2	17.6	32.6	5.6	4.3	45.5	40.8	1.7	12.4				
	70代以上	252	56.3	30.2	6.3	14.3	10.7	27.0	5.2	3.2	23.4	25.8	1.6	27.4				

■ 年齢別 近所から手助けしてもらいたいこと(問36(2)×F1)

- ・10代・20代から50代までの世代では「災害時の避難の手助け」が最も多く、特に10代・20代で高い数値となっている。60代、70代以上では「急に具合が悪くなった時の手助け」が最も多い。

		問36-2 少し困ったことがあった場合、近所から手助けしてもらいたいこと																
		合計	安否確認の声掛け	ゴミ出し	ちよつとした買った買物や	濯の手伝い	食事づくりや掃除・洗	ちよつとした力仕事	き添いの	通院の送迎や外出の付	話し相手や相談相手	居場所の提供	気軽に行かれる自由な	食事の提供	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他	無回答
全体		1274	25.0	7.2	3.6	13.9	5.7	6.1	7.8	3.9	33.8	34.3	1.0	41.6				
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	30.0	6.4	5.0	13.6	3.6	10.7	15.7	5.0	48.6	37.9	0.7	27.1				
	30代	137	26.3	5.1	3.6	8.8	5.1	7.3	8.8	5.8	36.5	33.6	0.0	40.1				
	40代	259	29.7	6.2	2.7	11.2	5.0	5.4	4.6	2.7	35.1	30.9	0.4	44.0				
	50代	238	23.1	6.7	1.3	10.9	3.8	4.2	2.9	2.5	34.0	33.2	1.3	45.8				
	60代	233	20.6	8.6	4.3	18.5	9.4	5.2	5.6	3.9	30.9	34.8	2.6	40.8				
	70代以上	252	23.4	9.1	5.6	18.7	6.7	6.3	12.3	5.2	25.8	38.5	0.8	43.3				

■ 居住地区別 近所の困っている人にできる手助け(問36(1)×F9)

- ・いずれも「安否確認の声掛け」が最も多くなっている。
- ・上谷本地区では「ちょっとした買い物やゴミ出し」が、区全体の数値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問36-1 近所の困っている人にどのような手助けができると思うか												
地区別			安否確認の声掛け	ちょっとした買い物やゴミ出し	濯の手伝い	食事づくりや掃除・洗	ちょっとした力仕事	き添いの送迎や外出の付	話し相手や相談相手	居場所の提供	気軽に行かれる自由な	食事の提供	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他
	全体	1274	70.3	36.9	9.9	25.2	13.0	28.8	4.9	4.9	48.2	40.9	1.2	13.7	
	中里地区	78	74.4	39.7	7.7	28.2	12.8	29.5	3.8	6.4	46.2	33.3	2.6	12.8	
	中里北部地区	63	63.5	31.7	11.1	34.9	14.3	31.7	3.2	4.8	46.0	39.7	4.8	15.9	
	市ヶ尾地区	77	70.1	35.1	6.5	19.5	6.5	29.9	5.2	1.3	41.6	37.7	0.0	13.0	
	上谷本地区	57	75.4	47.4	8.8	19.3	12.3	35.1	5.3	5.3	43.9	47.4	1.8	5.3	
	谷本地区	113	68.1	35.4	13.3	28.3	15.0	29.2	5.3	5.3	51.3	38.1	2.7	15.0	
	恩田地区	122	70.5	37.7	10.7	27.0	15.6	28.7	5.7	9.0	54.9	45.1	0.8	9.8	
	青葉台地区	153	76.5	39.2	7.2	27.5	11.8	34.6	7.2	4.6	43.1	44.4	0.0	11.8	
	奈良町・奈良北団地地区	104	70.2	28.8	5.8	23.1	8.7	26.9	3.8	1.9	53.8	34.6	1.0	17.3	
	山内地区	162	68.5	40.1	10.5	24.7	14.2	25.9	4.9	4.9	49.4	44.4	2.5	16.7	
	荏田・新荏田地区	134	67.9	36.6	14.9	23.9	12.7	27.6	3.0	6.7	50.7	37.3	0.0	11.2	
	荏田西地区	54	74.1	38.9	7.4	20.4	11.1	14.8	7.4	1.9	42.6	40.7	0.0	16.7	
	すすき野地区	71	71.8	40.8	12.7	29.6	21.1	28.2	1.4	2.8	47.9	46.5	0.0	8.5	
	美しが丘地区	48	66.7	37.5	14.6	20.8	16.7	33.3	8.3	6.3	47.9	43.8	0.0	18.8	

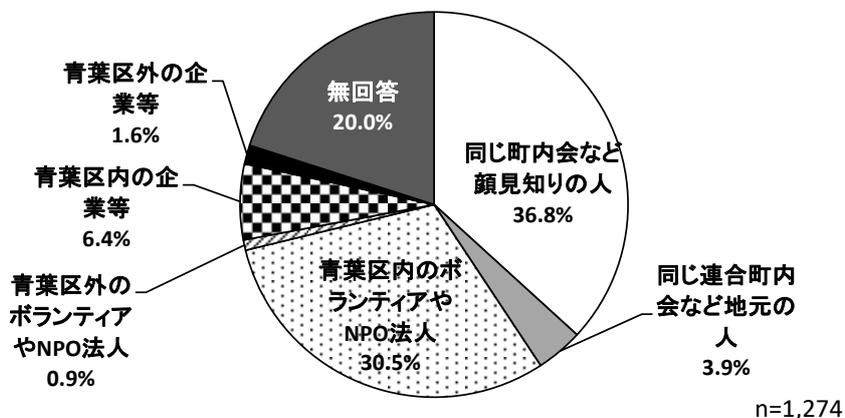
■ 居住地区別 近所から手助けしてもらいたいこと(問36(2)×F9)

- ・荏田西地区で「安否確認の声掛け」、谷本地区、青葉台地区、山内地区、荏田・新荏田地区では「災害時の避難の手助け」、それ以外の地区では「急に具合が悪くなった時の手助け」が最も多い。
- ・上谷本地区で「安否確認の声掛け」、すすき野地区で「ちょっとした力仕事」が、区全体の数値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	問36-2 少し困ったことがあった場合、近所から手助けしてもらいたいこと												
地区別			安否確認の声掛け	ちょっとした買い物やゴミ出し	濯の手伝い	食事づくりや掃除・洗	ちょっとした力仕事	き添いの送迎や外出の付	話し相手や相談相手	居場所の提供	気軽に行かれる自由な	食事の提供	災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	その他
	全体	1274	25.0	7.2	3.6	13.9	5.7	6.1	7.8	3.9	33.8	34.3	1.0	41.6	
	中里地区	78	24.4	7.7	2.6	21.8	9.0	6.4	7.7	2.6	32.1	34.6	1.3	41.0	
	中里北部地区	63	30.2	3.2	0.0	12.7	4.8	3.2	9.5	1.6	30.2	38.1	3.2	41.3	
	市ヶ尾地区	77	28.6	3.9	2.6	13.0	5.2	1.3	9.1	2.6	33.8	36.4	1.3	37.7	
	上谷本地区	57	38.6	8.8	1.8	17.5	3.5	8.8	7.0	5.3	33.3	43.9	0.0	31.6	
	谷本地区	113	22.1	6.2	2.7	8.8	4.4	2.7	6.2	3.5	34.5	24.8	0.9	47.8	
	恩田地区	122	25.4	4.1	3.3	10.7	5.7	6.6	7.4	4.9	30.3	33.6	0.0	47.5	
	青葉台地区	153	20.9	5.2	6.5	13.7	6.5	13.7	7.8	5.9	29.4	27.5	0.0	47.1	
	奈良町・奈良北団地地区	104	19.2	7.7	2.9	14.4	3.8	4.8	3.8	3.8	36.5	39.4	1.0	40.4	
	山内地区	162	26.5	11.1	4.9	16.0	7.4	6.2	9.3	2.5	42.6	39.5	3.1	33.3	
	荏田・新荏田地区	134	22.4	6.7	3.7	11.9	5.2	7.5	9.7	5.2	35.1	32.8	0.7	40.3	
	荏田西地区	54	31.5	7.4	3.7	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	27.8	27.8	0.0	50.0	
	すすき野地区	71	25.4	15.5	4.2	25.4	7.0	1.4	12.7	5.6	32.4	42.3	1.4	32.4	
	美しが丘地区	48	27.1	8.3	2.1	8.3	8.3	2.1	6.3	2.1	35.4	41.7	0.0	39.6	

問 36-1 手助けを受ける場合、どのような方から受けてください。(〇は1つだけ)

- ・「同じ町内会など顔見知りの人」が最も多く 36.8%、次いで「青葉区内のボランティアや NPO 法人」が 30.5%でともに3割以上を占め、この2件が多くなっている。以下「青葉区内の企業等」(6.4%)、「同じ連合町内会など地元の人」(3.9%)、「青葉区外の企業等」(1.6%)、「青葉区外のボランティアや NPO 法人」(0.9%)と続く。



■ 年齢別 手助けしてもらいたい人 (問36-1×F1)

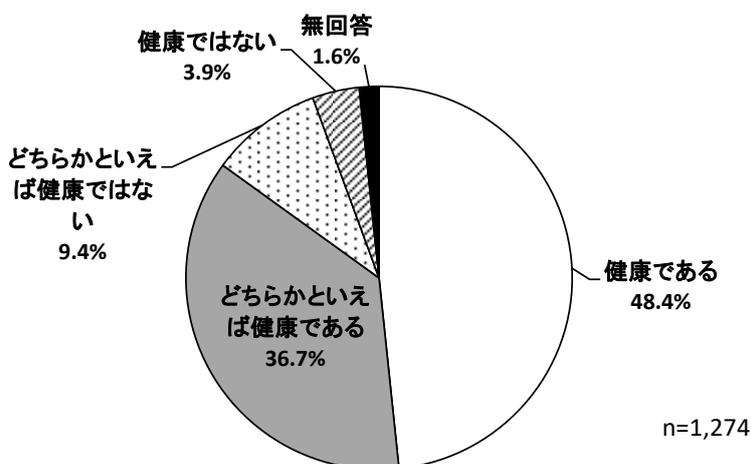
- ・10代・20代、30代と70代以上では「同じ町内会など顔見知りの人」が最も多く、特に10代・20代で数値が高い。40代、50代、60代では「青葉区内のボランティアや NPO 法人」が最も多くなっている。

	合計	問36-1 手助けを受ける場合、どのような方から受けてください							
		り の じ 町 内 会 な ど 顔 見 知 り の 人	元 の 同 じ 連 合 町 内 会 な ど 地 元 の 人	ア や 青 葉 区 内 の ボ ラ ン テ ィ ヤ N P O 法 人	ア や 青 葉 区 外 の ボ ラ ン テ ィ ヤ N P O 法 人	青 葉 区 内 の 企 業 等	青 葉 区 外 の 企 業 等	無 回 答	
全体	1274	36.8	3.9	30.5	0.9	6.4	1.6	20.0	
F1 年齢 (統合)	10代・20代	47.1	5.0	22.1	0.7	10.7	2.9	11.4	
	30代	38.7	4.4	27.7	0.0	8.8	2.9	17.5	
	40代	32.8	4.6	37.1	0.8	6.6	2.3	15.8	
	50代	238	34.5	3.4	36.1	0.8	6.3	1.7	17.2
	60代	233	32.6	2.1	34.8	1.7	6.9	0.9	21.0
	70代以上	252	41.3	4.8	21.0	0.8	2.0	0.0	30.2

12. 健康について

問 37 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。(○は1つだけ)

- ・「健康である」が 48.4% で全体の半数弱を占めている。次いで「どちらかといえば健康である」が 36.7% で、これらを合わせると全体の 8 割以上が健康であるとしている。以下「どちらかといえば健康ではない」(9.4%)、「健康ではない」(3.9%) と続く。



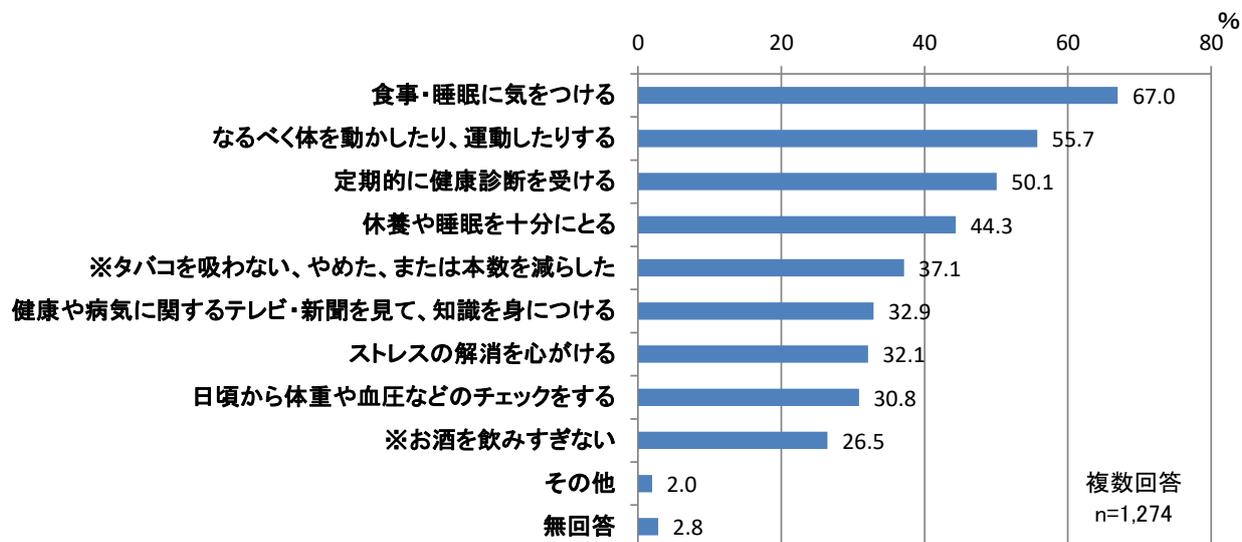
■ 年齢別 最近の健康状態(問37×F1)

- ・50代までの世代では「健康である」が最も多く、特に10代・20代、30代では7割前後が挙げている。60代、70代以上では「どちらかといえば健康である」が最も多くなっている。

		合計	問37 最近の健康状態				
			健康である	どちらかといえば健康である	どちらかといえば健康ではない	健康ではない	無回答
全体		1274	48.4	36.7	9.4	3.9	1.6
F1 年齢 (統合)	10代・20代	140	67.9	23.6	7.1	1.4	0.0
	30代	137	70.8	23.4	4.4	0.7	0.7
	40代	259	56.0	35.5	5.0	1.9	1.5
	50代	238	46.2	41.2	8.8	3.4	0.4
	60代	233	39.1	45.5	11.2	3.9	0.4
	70代以上	252	29.0	40.5	17.1	9.5	4.0

問 38 あなたはご自身の健康のためにどのようなことに気をつけていますか。(※印の質問は 20 歳以上の方のみ回答、○はいくつでも)

- 「食事・睡眠に気をつける」が最も多く 67.0%で、7 割近い人が挙げている。次いで「なるべく体を動かしたり、運動したりする」(55.7%)、「定期的に健康診断を受ける」(50.1%)が 5 割以上、「休養や睡眠を十分にとる」(44.3%)が 4 割以上で続く。



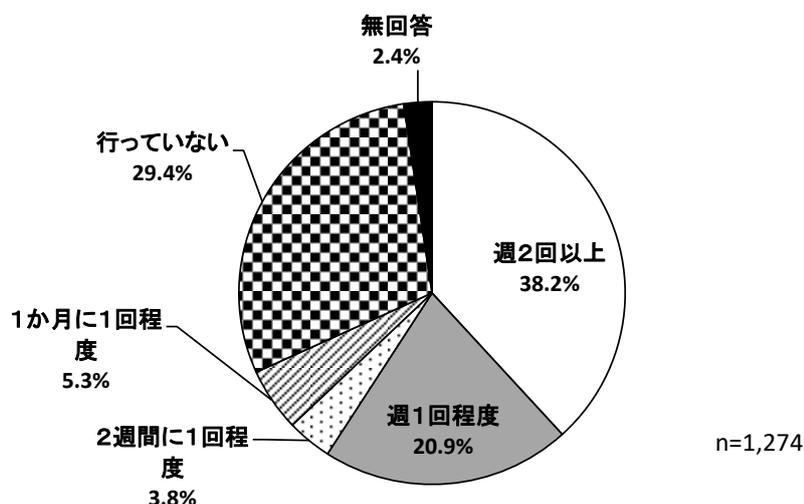
■ 年齢別、男女別 健康のために気をつけていること(問38×F1, F2)

- 60代では「なるべく体を動かしたり、運動したりする」が最も多い。それ以外の世代では「食事・睡眠に気をつける」が最も多くなっている。
- 60代、70代で区全体の数値を 10 ポイント以上上回っている項目が多くみられ、高齢世代で健康のための留意点が多岐にわたっていることがわかる。
- 男女とも「食事・睡眠に気をつける」が最も多い。また、男性は女性より「※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした」が 10.4 ポイント、女性は男性より「健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける」が 13.5 ポイント高くなっている。

		問38 自身の健康のために気をつけていること											
		合計	なるべく体を動かしたりする	食事・睡眠に気をつける	休養や睡眠を十分にとる	日頃から体重や血圧などのチェックをする	定期的に健康診断を受ける	ストレスの解消を心がける	身につける	健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける	※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした	※お酒を飲みすぎない	その他
	全体	1274	55.7	67.0	44.3	30.8	50.1	32.1	32.9	37.1	26.5	2.0	2.8
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	45.0	59.3	50.7	9.3	13.6	25.7	16.4	41.4	32.9	3.6	6.4
	30代	137	50.4	65.7	45.3	12.4	38.0	26.3	17.5	35.0	21.9	2.9	1.5
	40代	259	46.3	68.3	46.7	15.1	53.7	32.8	23.6	35.5	27.8	1.9	1.9
	50代	238	52.9	64.3	39.5	27.3	54.2	30.7	31.1	34.9	19.3	0.8	2.5
	60代	233	71.7	71.2	45.5	52.4	62.2	36.9	44.2	39.5	26.6	1.3	0.9
	70代以上	252	64.3	69.4	42.5	53.2	58.7	35.7	51.2	38.5	30.6	2.4	3.2
F 2 性別	男性	493	60.6	63.7	46.0	34.3	51.3	30.4	24.7	43.8	31.4	1.8	1.8
	女性	760	53.2	69.1	43.8	28.7	49.3	33.3	38.2	33.4	23.2	2.1	3.0

問 39 あなたは1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つだけ)

- ・「週2回以上」が最も多く38.2%で全体の4割弱となっているが、次いで「行っていない」が29.4%で、運動をしていない人も約3割に達している。以下「週1回程度」(20.9%)、「2週間に1回程度」(3.8%)、「1か月に1回程度」(5.3%)と続く。
- ・「週2回以上」「週1回程度」を合わせると59.1%で、6割近くの人が週1回以上の運動をしている。



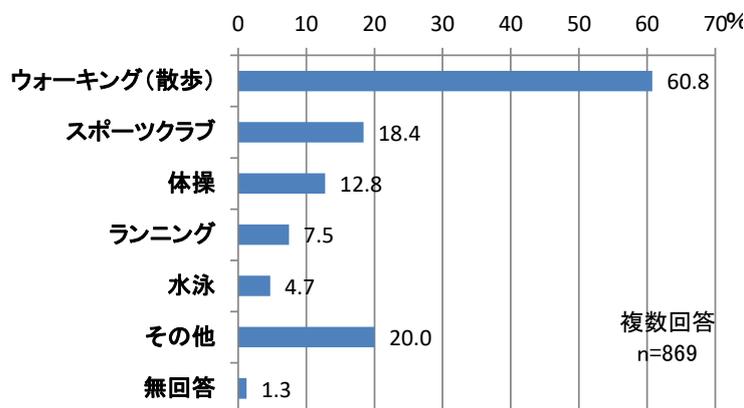
■ 年齢別、男女別 1回30分以上の運動の頻度(問39×F1, F2)

- ・30代、40代では「行っていない」が最も多く、特に40代では数値が高い。それ以外の世代では「週2回以上」が最も多く、60代、70代以上では半数を超えている。
- ・男女とも「週2回以上」が最も多い。また、女性は男性より「行っていない」が8.6ポイント高くなっている。

		合計	問39 1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っているか					
			週2回以上	週1回程度	2週間に1回程度	1か月に1回程度	行っていない	無回答
全体		1274	38.2	20.9	3.8	5.3	29.4	2.4
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	41.4	13.6	2.9	7.1	35.0	0.0
	30代	137	16.8	29.9	4.4	12.4	36.5	0.0
	40代	259	27.0	23.6	4.6	4.2	39.4	1.2
	50代	238	35.7	20.2	5.0	5.9	32.4	0.8
	60代	233	51.1	19.7	3.4	2.6	22.7	0.4
	70代以上	252	51.6	19.8	2.4	3.6	15.5	7.1
F 2 性別	男性	493	41.0	22.7	4.1	6.5	24.3	1.4
	女性	760	36.8	20.1	3.4	4.5	32.9	2.2

問 39-1 どのような運動を行っていますか。(問 39 で「1」から「4」に回答された方、○はいくつでも)

- ・「ウォーキング(散歩)」を 60.8% の人が挙げており、突出して多くなっている。以下「その他」(20.0%)、「スポーツクラブ」(18.4%)、「体操」(12.8%)、「ランニング」(7.5%)、「水泳」(4.7%)と続く。



「その他」記述内容

大分類	中分類	件数	大分類	中分類	件数	
球技	テニス	20	日常生活	部活動	6	
	ゴルフ	18		学校の授業	5	
	フットサル	6		犬の散歩	4	
	バドミントン	6		仕事	2	
	サッカー	4		畑仕事	2	
	卓球	4		子どもと遊ぶ	1	
	バレーボール	3		カラオケ	1	
	野球	3		ボイストレーニング	1	
	グランドゴルフ	3		アウトドア	16	
	バスケットボール	2		自転車	12	
	ソフトボール	1		登山	2	
	ペタンク	1		サーフィン	1	
	球技	1		モーターサイクル	1	
	トレーニング・フィットネス	ヨガ、ピラティス		16	ダンス	ダンス
ストレッチ		5	バレエ	3		
筋トレ		4	フラ	2		
マシン		2	社交ダンス	1		
エアロビクス		2	武道	太極拳	5	
加圧		1		武道	1	
水中ウォーキング		1		剣道	1	
ウェイト		1		柔道	1	
パーソナルトレーニング		1	福祉系	リハビリ	2	
ジム		1		デイサービス	2	
メディカルフィットネス		1		健康セミナー	1	
				その他		1
					特に決まっていない	1
				計		172

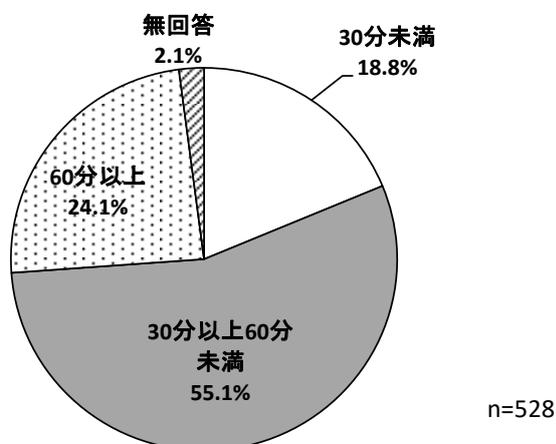
■ 年齢別、男女別 行っている運動(問39-1×F1, F2)

- ・いずれも「ウォーキング(散歩)」が最も多く、特に70代以上では数値が高い。
10代・20代では「ランニング」「その他」が、区全体の数値より10ポイント以上高くなっている
- ・男女とも「ウォーキング(散歩)」が最も多い。男性は女性より「ランニング」が8.7ポイント、女性は男性より「体操」が12.6ポイント高くなっている。

		合計	問39-1 行っている運動						
			ウォーキング(散歩)	ランニング	体操	水泳	スポーツクラブ	その他	無回答
全体		869	60.8	7.5	12.8	4.7	18.4	20.0	1.3
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	91	42.9	19.8	6.6	4.4	13.2	36.3	0.0
	30代	87	48.3	11.5	6.9	8.0	19.5	23.0	0.0
	40代	154	56.5	10.4	11.0	2.6	14.3	24.0	1.9
	50代	159	59.1	9.4	6.3	3.8	24.5	15.7	0.0
	60代	179	66.5	1.7	17.3	5.0	16.2	16.8	0.6
	70代以上	195	74.4	1.5	21.0	5.6	20.5	13.8	3.6
F 2 性別	男性	366	59.8	12.6	5.5	5.2	17.5	21.6	0.8
	女性	493	61.7	3.9	18.1	4.5	19.3	18.5	1.6

問 39-2 1日にどれくらいウォーキングしていますか。お出かけ（通勤・通学・買い物・散歩等）で歩いた時間も含めてお答えください。（問 39-1で「1 ウォーキング（散歩）」に回答された方、○は1つだけ）

- ・「30分以上 60分未満」が最も多く 55.1%で、過半数を占めている。次いで「60分以上」（24.1%）、「30分未満」（18.8%）と続く。



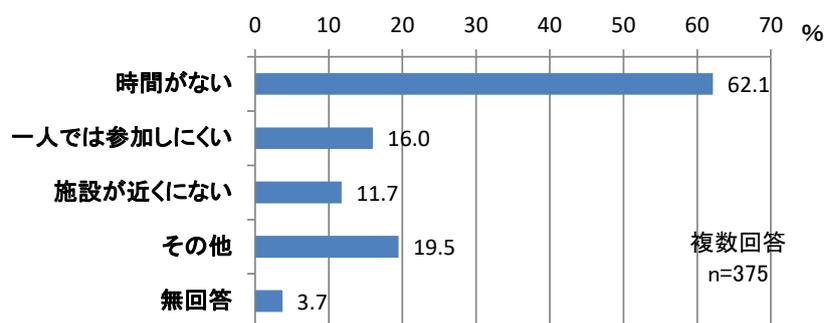
■ 年齢別、男女別 1日にウォーキングする時間（問39-2×F1, F2）

- ・いずれも「30分以上 60分未満」が最も多く、特に40代では数値が高い。
- ・男女とも「30分以上 60分未満」が最も多い。

		合計	問39-2 1日にウォーキングする時間			
			30分未満	30分以上 60分未満	60分以上	無回答
	全体	528	18.8	55.1	24.1	2.1
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	39	20.5	59.0	17.9	2.6
	30代	42	28.6	47.6	21.4	2.4
	40代	87	14.9	65.5	16.1	3.4
	50代	94	20.2	52.1	26.6	1.1
	60代	119	15.1	55.5	26.9	2.5
	70代以上	145	20.0	51.7	27.6	0.7
F 2 性別	男性	219	15.1	58.0	26.0	0.9
	女性	304	21.7	52.6	23.0	2.6

問 39-3 運動を行っていない理由をお聞かせください。(問 39 で「5 行っていない」に回答された方、〇はいくつでも)

- ・「時間がない」(62.1%)に回答が集中している。以下「その他」(19.5%)、「一人では参加しにくい」(16.0%)、「施設が近くにない」(11.7%)と続く。



「その他」意見内容

分類	件数
健康上の理由(病気、怪我等)	13
運動が嫌い	10
年齢的な理由で	5
体力がない	5
日常生活や仕事で身体を動かしているから	4
30分未満でやっている	4
面倒くさい	4
歩いている	3
子どもがいるから	2
必要性を感じない	2
ジムに通っていたがやめた	1
身体を休めたい	1
興味がない	1
経済的余裕がない	1
やる気が起きない	1
疲れるので嫌だ	1
わからない	1
きっかけがない	1
妊娠中だから	1
計	61

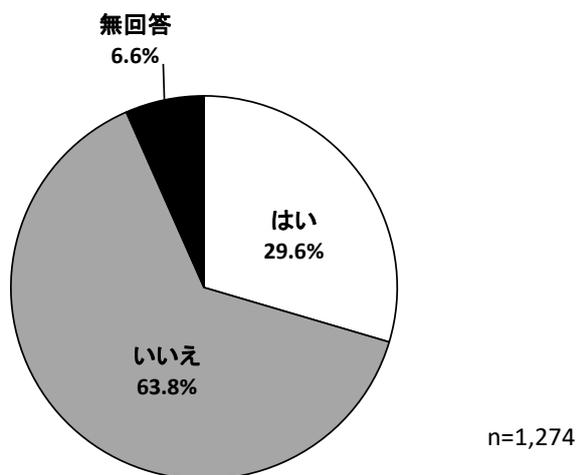
■ 年齢別、男女別 運動を行っていない理由(問39-3×F1, F2)

- ・70代以上では「その他」が最も多いが、それ以外は「時間がない」が最も多く、特に10代・20代、30代では数値が高い。
- ・男女とも「時間がない」が最も多く、男性は女性より11.6ポイント高い。

		合計	問39-3 運動を行っていない理由				
			時間がない	施設が近くにない	一人では参加しにくい	その他	無回答
全体		375	62.1	11.7	16.0	19.5	3.7
F1 年齢 (統合)	10代・20代	49	77.6	12.2	12.2	12.2	4.1
	30代	50	82.0	12.0	10.0	14.0	2.0
	40代	102	68.6	11.8	16.7	15.7	1.0
	50代	77	68.8	10.4	13.0	15.6	1.3
	60代	53	39.6	7.5	22.6	32.1	5.7
	70代以上	39	17.9	17.9	20.5	38.5	15.4
F2 性別	男性	120	70.0	13.3	12.5	17.5	3.3
	女性	250	58.4	10.8	17.6	20.8	3.6

問 40 横浜市のよこはまウォーキングポイント事業を知っていますか。(〇は1つだけ)

- ・「いいえ」が63.8%で6割以上を占め、「はい」の29.6%を34.2ポイント上回っており、認知度は高いとは言えない。



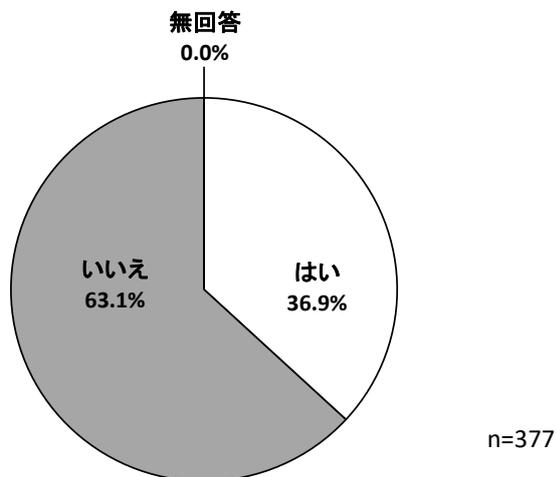
■ 年齢別、男女別 よこはまウォーキングポイント事業の認知(問40×F1, F2)

- ・いずれも「いいえ」の方が多く、特に10代・20代では8割を超えているなど、若年層での認知度が低い。
- ・男女とも「いいえ」の方が多い。女性は「はい」が男性を12.8ポイント上回っており、女性の方が認知度が高くなっている。

		合計	問40 横浜市のよこはまウォーキングポイント事業の認知		
			はい	いいえ	無回答
全体		1274	29.6	63.8	6.6
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	12.1	84.3	3.6
	30代	137	21.9	71.5	6.6
	40代	259	32.0	64.1	3.9
	50代	238	30.3	66.0	3.8
	60代	233	39.1	54.9	6.0
	70代以上	252	32.1	56.3	11.5
F 2 性別	男性	493	21.9	71.0	7.1
	女性	760	34.7	60.0	5.3

問 40-1 対象年齢の拡大(40歳以上から18歳以上に)や事業所単位の参加ができることになったことを知っていますか。(問 40で「1 はい」に回答された方、〇は1つだけ)

- ・「いいえ」が63.1%で、「はい」の36.9%を26.2ポイント上回っている。



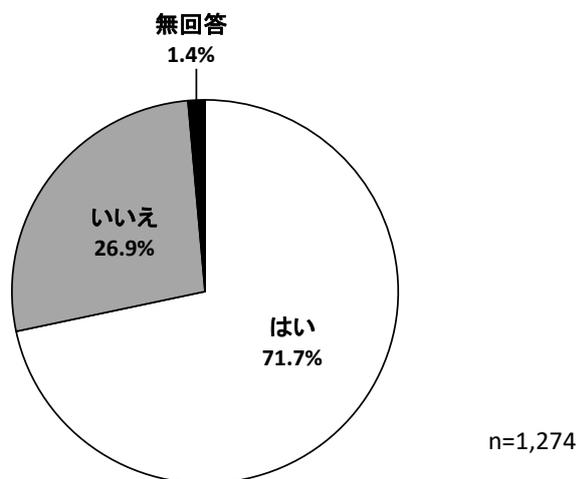
■ 年齢別、男女別 対象年齢の拡大、事業所単位の参加の認知(問 40-1×F1, F2)

- ・10代・20代のみ「はい」の方が多くなっている。それ以外の世代では「いいえ」の方が多く、特に30代で数値が高くなっている。
- ・男女とも「いいえ」の方が多く、男女差はみられなかった。

		合計	問40-1 対象年齢の拡大や事業所単位の参加可能な事実の認知		
			はい	いいえ	無回答
	全体	377	36.9	63.1	0.0
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	17	58.8	41.2	0.0
	30代	30	26.7	73.3	0.0
	40代	83	32.5	67.5	0.0
	50代	72	31.9	68.1	0.0
	60代	91	35.2	64.8	0.0
	70代以上	81	44.4	55.6	0.0
F 2 性別	男性	108	36.1	63.9	0.0
	女性	264	36.0	64.0	0.0

問 41 あなたは野菜たっぷり（350g/日）の食事を心がけていますか。（○は1つだけ）

- ・「はい」が71.7%で全体の7割以上を占めている。「いいえ」は26.9%で、全体の4分の1強である。



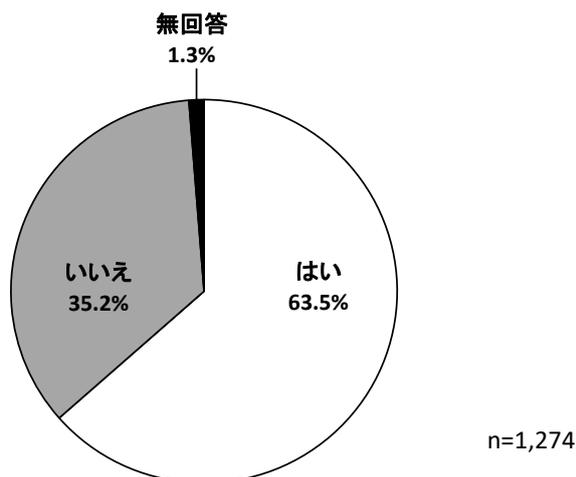
■ 年齢別、男女別、家族形態別 野菜たっぷりの食事を心がけているか(問41×F1, F2, F4)

- ・いずれも「はい」の方が多く、10代・20代、50代を除いて7割を超えている。
- ・10代・20代では「いいえ」が区全体の数値を10ポイント以上上回っている。
- ・男女とも「はい」の方が多く、特に女性は男性より12.7ポイント高くなっている。
- ・家族形態別では、いずれも「はい」の方が多くなっているものの、ひとり暮らしとその他では「いいえ」が区全体の数値を10ポイント以上上回っている。

	合計	問41 野菜たっぷり（350g/日）の食事を心がけているか		
		はい	いいえ	無回答
全体	1274	71.7	26.9	1.4
F 1 年齢 (統合)				
10代・20代	140	52.9	46.4	0.7
30代	137	75.2	24.8	0.0
40代	259	72.2	27.8	0.0
50代	238	69.7	29.8	0.4
60代	233	78.1	21.9	0.0
70代以上	252	77.8	19.4	2.8
F 2 性別				
男性	493	64.5	34.7	0.8
女性	760	77.2	22.2	0.5
F 4 同居の家族形態				
ひとり暮らし	113	60.2	38.1	1.8
夫婦	373	77.7	21.7	0.5
親と子（2世代）	666	71.9	27.6	0.5
親と子と孫（3世代）	69	72.5	27.5	0.0
その他	38	57.9	39.5	2.6

問 42 あなたは塩分控えめ（8g/日）の食事を心がけていますか。（○は1つだけ）

- ・「はい」が63.5%で6割以上を占める。「いいえ」は35.2%である。



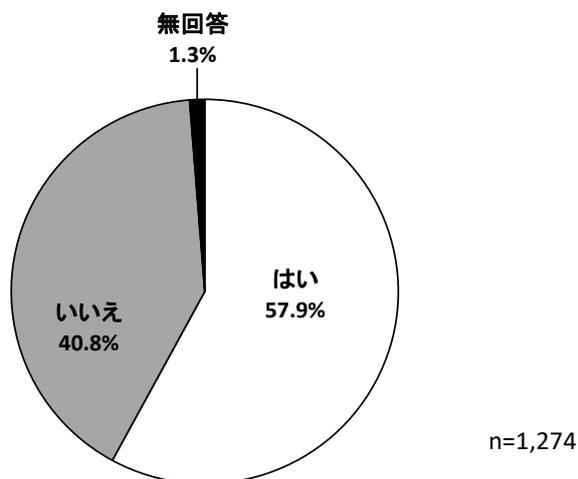
■ 年齢別、男女別、家族形態別 塩分控えめの食事を心がけているか（問42×F1, F2, F4）

- ・10代・20代では「いいえ」の方が多く、6割近くに達している。30代以上の世代では「はい」の方が多く、年齢が高いほど数値も高くなっており、60代、70代以上では7割を超えている。
- ・男女とも「はい」の方が多く、特に女性は男性より13.7ポイント高くなっている。
- ・家族形態別では、いずれも「はい」の方が多くなっている。

		合計	問42 あなたは塩分控えめ（8g/日）の食事を心がけているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		1274	63.5	35.2	1.3
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	40.0	59.3	0.7
	30代	137	56.9	42.3	0.7
	40代	259	59.5	40.5	0.0
	50代	238	59.7	40.3	0.0
	60代	233	76.0	24.0	0.0
	70代以上	252	79.0	19.0	2.0
F 2 性別	男性	493	55.6	43.6	0.8
	女性	760	69.3	30.3	0.4
F 4 同居 の家族形態	ひとり暮らし	113	57.5	40.7	1.8
	夫婦	373	72.1	27.6	0.3
	親と子（2世代）	666	61.0	38.6	0.5
	親と子と孫（3世代）	69	59.4	40.6	0.0
	その他	38	63.2	34.2	2.6

**問 43 お口の健康について伺います。あなたは定期的に歯科医を受診するなどにより、
歯や歯肉のケアや、検診を行っていますか。(○は1つだけ)**

- ・「はい」が 57.9% で過半数を占め、「いいえ」の 40.8% を 17.1 ポイント上回っている。



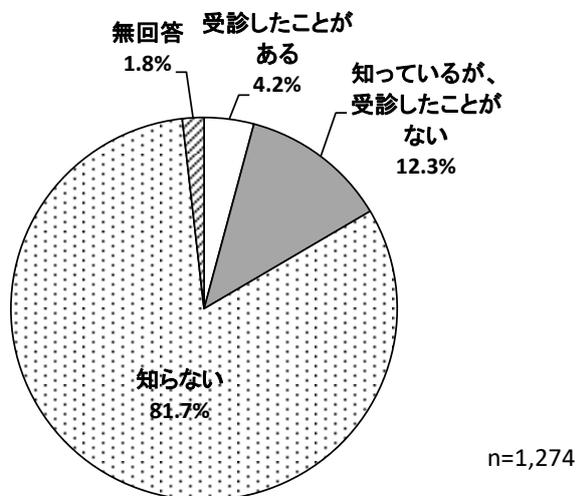
■ 年齢別、男女別 歯や歯肉のケアや検診を行っているか(問43×F1, F2)

- ・ 10代・20代では「いいえ」の方が多く、6割近くに達している。30代以上の世代では「はい」の方が多く、特に高齢者層で数値が高い傾向にある。
- ・ 男女とも「はい」の方が多く、特に女性は男性より 9.3 ポイント高くなっている。

		合計	問43 歯や歯肉のケアや、検診を行っているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		1274	57.9	40.8	1.3
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	40.0	59.3	0.7
	30代	137	56.9	43.1	0.0
	40代	259	54.8	45.2	0.0
	50代	238	58.8	41.2	0.0
	60代	233	62.2	37.8	0.0
	70代以上	252	69.4	28.6	2.0
F 2 性別	男性	493	53.1	46.2	0.6
	女性	760	62.4	37.4	0.3

問 44 横浜市では満 40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の人を対象に対象医療機関で歯周疾患検診を行っています。あなたは横浜市の歯周疾患検診を知っていますか。(○は 1 つだけ)

- ・「知らない」が 81.7% で 8 割強を占めている。「知っているが、受診したことがない」が 12.3%、「受診したことがある」は 4.2% で、これらを合わせても認知度は 2 割未満と低くなっている。



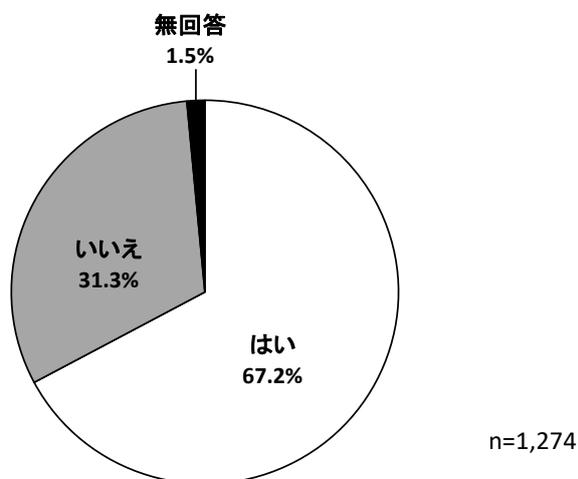
■ 年齢別、男女別 横浜市の歯周疾患検診の認知(問44×F1, F2)

- ・いずれも「知らない」の方が多く、特に 10 代・20 代では 9 割を超えているなど、若い世代ほど認知度が低い。また、「知っているが、受診したことがない」の数値は、年齢が高いほど高くなっている。
- ・男女とも「知らない」の方が多く、さほど顕著な男女差は見られなかった。

	合計	問44 横浜市の歯周疾患検診の認知				
		受診したことがある	知っているが、受診したことがない	知らない	無回答	
全体	1274	4.2	12.3	81.7	1.8	
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	0.0	4.3	94.3	1.4
	30代	137	2.2	7.3	88.3	2.2
	40代	259	4.6	11.2	84.2	0.0
	50代	238	1.7	13.4	84.9	0.0
	60代	233	5.2	13.7	80.7	0.4
	70代以上	252	8.7	18.7	69.4	3.2
F 2 性別	男性	493	3.2	10.3	84.6	1.8
	女性	760	4.9	13.6	81.1	0.5

問 45 歯周病は「歯」だけの問題ではなく、全身の様々な病気に影響を及ぼします。あなたは歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関連があることを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・「はい」が 67.2% で 7 割近くを占め、「いいえ」の 31.3% を 35.9 ポイント上回っている。



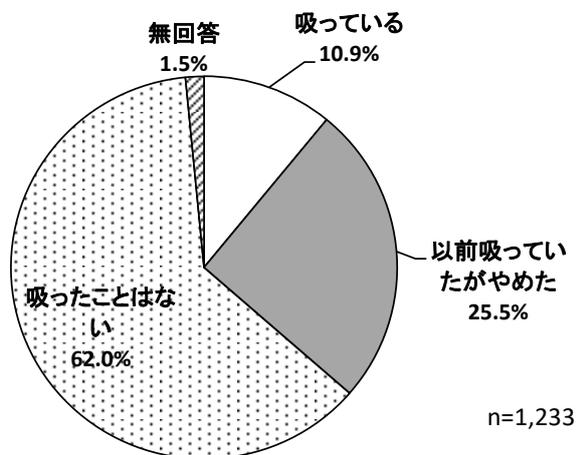
■ 年齢別、男女別 歯周病と全身疾患との関連の認知(問45×F1, F2)

- ・いずれも「はい」の方が多いが、10代・20代、30代では「いいえ」が区全体の数値より10ポイント以上高く、若い世代での認知度が低くなっている。
- ・男女とも「はい」の方が多いが、女性は男性を10.7ポイント上回っており、女性の方が認知度が高くなっている。

		合計	問45 歯周病と全身疾患との関連の認知		
			はい	いいえ	無回答
	全体	1274	67.2	31.3	1.5
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	51.4	47.9	0.7
	30代	137	55.5	43.8	0.7
	40代	259	70.3	29.0	0.8
	50代	238	73.9	26.1	0.0
	60代	233	71.2	28.3	0.4
	70代以上	252	71.8	26.2	2.0
F 2 性別	男性	493	61.3	37.5	1.2
	女性	760	72.0	27.6	0.4

問 46 あなたは、タバコを吸っていますか。(20歳以上の方のみ、○は1つだけ)

- ・「吸ったことはない」が62.0%、「以前吸っていたがやめた」が25.5%で、非喫煙者が全体の9割近くを占める。「吸っている」は10.9%で、喫煙率は1割程度である。



■ 年齢別、男女別 喫煙習慣の有無(問45×F1, F2)

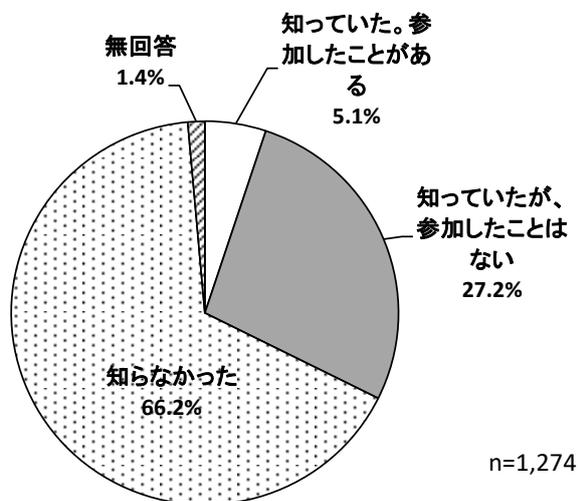
- ・いずれも「吸ったことはない」が最も多く、特に10代・20代では8割を超えている。
- ・男性は「以前吸っていたがやめた」、女性は「吸ったことはない」が最も多くなっている。男性は女性より「吸っている」が10.9ポイント高い。

		合計	問46 喫煙の有無			
			吸っている	以前吸っていたがやめた	吸ったことはない	無回答
全体		1233	10.9	25.5	62.0	1.5
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	99	8.1	10.1	80.8	1.0
	30代	137	11.7	24.8	63.5	0.0
	40代	259	12.7	20.8	66.4	0.0
	50代	238	12.2	29.0	57.6	1.3
	60代	233	12.9	28.8	57.9	0.4
	70代以上	252	7.5	31.0	59.9	1.6
F 2 性別	男性	471	17.6	45.6	36.3	0.4
	女性	741	6.7	13.2	79.2	0.8

13. 介護予防について

問 47 あなたは、区役所や地域ケアプラザ（包括支援センター）が、介護予防（寝たきりを予防し、いつまでも元気であるための健康づくり）の講座やプログラムを開催していることを知っていますか。（○は1つだけ）

- ・「知らなかった」が 66.2% で最も多い。「知っていたが、参加したことはない」は 27.2%、「知っていた。参加したことがある」は 5.1% で、これらを合わせると 32.3% と、事業自体の認知度は 3 割強となっている。



■ 年齢別、男女別 介護予防講座やプログラムの認知（問47×F1, F2）

- ・60代までの世代では「知らなかった」が最も多く、特に10代・20代、30代では8割を超えており、若い世代での認知度が低い。70代以上では「知っていたが、参加したことはない」が最も多く4割を超えており、「知っていた。参加したことがある」も区全体の数値を10ポイント以上上回っているなど、認知度が高くなっている。
- ・男女とも「知らなかった」が最も多く、特に男性は女性を9.1ポイント上回っており、女性より認知度が低くなっている。

		合計	問47 介護予防の講座やプログラムの認知			
			知っていた。参加したことがある	知っていたが、参加したことはない	知らなかった	無回答
	全体	1274	5.1	27.2	66.2	1.4
F 1 年齢 (統合)	10代・20代	140	0.0	10.7	87.9	1.4
	30代	137	0.7	16.8	81.8	0.7
	40代	259	0.0	22.4	77.2	0.4
	50代	238	1.7	26.9	71.4	0.0
	60代	233	7.3	33.5	59.2	0.0
	70代以上	252	17.1	42.5	38.9	1.6
	F 2 性別	男性	493	3.0	23.5	72.4
女性		760	6.3	30.1	63.3	0.3

14. 区政について

青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

- ・青葉区政についての意見として、313人から計435件の意見が挙げられた。
- ・意見が多かったのは、分野ごとに「区政・区役所サービス」147件、「道路・交通」90件、「環境」68件、「教育・文化」35件、「健康・福祉」25件、「子育て」20件、「防犯・防災」17件、「地域」17件、「医療」5件の順である。
- ・各分野の中で項目をまとめてみると、最も多かったのは「公共交通」についての32件である。以下、目立ったものとしては「区政全般」（26件）「アンケート」（20件）「広報・広聴」（20件）「自然環境」（20件）などとなっている。

大分類	件数	中分類	件数	大分類	件数	中分類	件数
区政・区役所サービス	147	区政全般	26	教育・文化	35	図書館	12
		アンケート	20			イベント	8
		広報・広聴	20			学校・教育	7
		税金・年金の有効活用	15			スポーツ	6
		公共施設	15			文化活動	2
		行政サービス	15	健康・福祉	25	高齢者福祉	7
		職員の資質	14			生活困窮者	5
		市民参加	8			障害者福祉	5
		青葉区の将来像、活性化	7			福祉一般	4
		地域間格差の是正	7			健康づくり	4
道路・交通	90	公共交通	32	子育て	20	子育て支援	6
		道路	12			保育施設	5
		歩道	12			医療費	3
		都市基盤整備	10			幼稚園	2
		交通マナー	7			子どもの遊び場	2
		駐車場・駐輪場	6			子ども服のリユース	1
		駅前再開発・まちづくり	5			保育施設と老人ホームの一体化	1
		違法駐車・放置自転車	3			防犯・防災	17
		自転車専用道路	3	防災	5		
		環境	68	自然環境	20	地域	17
住環境	17			自治会	5		
ゴミ分別・ゴミ収集	17			地域コミュニティ	4		
公園	10			地域活動	1		
路上喫煙	3			医療	5	病院・医院	3
ペット・動物	1					医療体制	2
				その他	11		11
						総計	435

調 査 票

平成 28 年度 青葉区区民意識調査

【調査ご協力のお願い】

区民の皆様におかれましては、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

青葉区では、平成 28 年度運営方針として「住みつづけたい・住みたいまち青葉 ～「青葉クオリティプロジェクト」の推進～」を基本目標に定め、様々な事業を行っています。より良い区政の運営に向け、今後の参考とするために、区民の皆様には青葉区の生活について、行動や意識を伺う「青葉区区民意識調査」を実施いたします。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様の中から、16 歳以上の男女 3,000 人の方を無作為に抽出し、お願いしています。調査票は無記名でご提出いただき、ご回答いただいた内容は統計的に処理されますので、皆様の個人情報や直接外部に公表されることは絶対にありません。また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。お答えになりたくない質問は、無理にお答えいただかず、無回答としていただければ結構です。

調査結果につきましては、今後、「青葉区ホームページ」や「広報よこはま青葉区版」で公表いたします。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 28 年 7 月

青葉区長 小池 恭一

<ご記入にあたって>

- ① 封筒のあて名のご本人様にご回答ください。ご本人様が回答できない場合は、恐れ入りますが、調査票を破棄してください。
- ② お答えは、各設問の中であてはまる回答（選択肢）の番号を○で囲んでください。
○の数は、(○は1つだけ)、(○はいくつでも)のように指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
また、「その他」にあてはまる場合は、() 内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。
別途指示がある設問については、その指示に従ってお答えください。
- ③ 質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
- ④ 鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。

※ ご記入いただきました調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて、**7月29日（金）まで**にご投函ください。

なお、返信用封筒左上に「差出有効期間 平成 28 年 6 月 30 日まで」とありますが、そのままお使いになれます。切手を貼らずにご投函ください。

※ この調査に関するご質問などは、下記までお問合せください。

青葉区役所 区政推進課 企画調整係

電話: 045-978-2216

FAX: 045-978-2410

お住まいの周辺の生活環境について

問1 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。 (○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------|
| 1 暮らしやすい | 3 どちらともいえない | 5 暮らしにくい |
| 2 どちらかという暮らしやすい | 4 どちらかという暮らしにくい | |

問2 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境が以前(概ね5年前、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|---------|---------|
| 1 よくなった | 3 悪くなった |
| 2 変わらない | 4 わからない |

問3 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(概ね5年前、居住暦5年以内の方は居住したとき)と比べてどの様に変わったと思いますか。

(項目ごとに“満足度”、“以前と比べて”からそれぞれに○は1つ)

	満足度						以前と比べて			
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない
(記入例) バスの便などの地域交通	1	②	3	4	5	6	①	2	3	4
① バスの便などの地域交通	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
② 通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
③ 放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
④ 良好な街並みの整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑤ 商店街の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑥ 公園などの管理・整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑦ 緑の保全と緑化の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑨ 地域の防災体制の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑩ 地域の防犯体制の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑪ 食品衛生・環境衛生の監視・指導	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑫ 子育て支援や青少年の健全育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑬ 感染症・生活習慣病などの保健推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑭ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑮ 障害者福祉	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑯ 病院などの医療環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑰ 経済的に困っている人の保護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑱ 地区センター・スポーツセンターなどの施設	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑲ 広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
⑳ 身近な区役所窓口のサービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

問4 仮に今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺環境で、特に重視するのはどのようなことですか。(問3の質問項目①～⑳のうち、該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

問5 区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。

(問3の質問項目①～⑳のうち、該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

地域と生活について

問6 あなたの住んでいる地域には、現在どのような課題や問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

<p>1 家庭・地域の子育て機能の低下</p> <p>2 子どもが安心して遊ぶ場の不足</p> <p>3 子どもの減少による地域活力の低下</p> <p>4 子どもたちの将来への不安(進学、就職、友だちづきあい、結婚など)</p> <p>5 発達障害児・者への支援の不足</p> <p>6 子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足</p> <p>7 高齢者や障害者の外出困難</p> <p>8 高齢化による介護問題の深刻化</p> <p>9 認知症者に対する理解の不足</p> <p>10 障害者に対する理解の不足</p> <p>11 障害者の高齢化・重度化</p> <p>12 障害者の就労支援の不足</p> <p>13 青少年の非行</p> <p>14 不登校、ひきこもりの増加</p>	<p>15 ニート(就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者)となる青少年の増加</p> <p>16 近隣の人とのつきあいの希薄化</p> <p>17 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足</p> <p>18 地域活動をする場所の不足</p> <p>19 身近な健康づくりの場の不足</p> <p>20 犯罪の増加・治安の悪化</p> <p>21 災害に対する備えの不足</p> <p>22 地域に関する情報の不足</p> <p>23 住宅の建て替えの増加</p> <p>24 バスの便の減少</p> <p>25 段差解消などバリアフリーの不足</p> <p>26 身近な日用品販売店(コンビニやスーパー等)の不足</p> <p>27 その他()</p>
--	---

問7 日常生活のうえで、困ったときに、誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

<p>1 家族・親戚</p> <p>2 友人</p> <p>3 近所の人</p> <p>4 自治会・町内会の人</p> <p>5 民生委員</p>	<p>6 区役所の職員</p> <p>7 地域ケアプラザの職員</p> <p>8 社会福祉協議会の職員</p> <p>9 相談したいが相談できる相手がない</p> <p>10 相談する必要がない、自分で解決している</p>
---	---

問8 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。

(〇は1つだけ)

<p>1 顔もよく知らない</p> <p>2 道で会えば挨拶くらいする</p> <p>3 たまに立ち話をする</p> <p>4 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている</p> <p>5 困ったとき相談したり、助け合ったりする</p>

問9 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。 (○は1つだけ)

- 1 互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい
- 2 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい
- 3 親密な人間関係があって、暮らしやすい
- 4 人間関係が濃密で、わずらわしい

問10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。 (○は1つだけ)

- 1 加入している
- 2 加入していない

問10で「2 加入していない」と回答された方へ

問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。 (○は2つまで)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 加入することの利益を感じない | 4 加入を勧誘されなかった |
| 2 いろいろな役をやらされそう | 5 加入の仕方がわからない |
| 3 近所づきあいが煩わしい | 6 その他 () |

定住意識について

問11 あなたは、青葉区に住み続けたいと思いますか。 (○は1つだけ)

- 1 青葉区に住み続けたい
- 2 青葉区以外に住みたい

問11で「2 青葉区以外に住みたい」と回答された方へ

問11-1 「住み続けたくない」気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるためには何が必要だと思いませんか。 (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 自宅近くにスーパーや店ができる | 8 整然とした良好な街並みができる |
| 2 病院や診療所が充実する | 9 環境が静かになる |
| 3 交通の便が良くなる | 10 近隣との関係がよくなる |
| 4 自然環境に恵まれている | 11 その他 () |
| 5 趣味や余暇活動がしやすくなる | 12 特に理由はない |
| 6 学校や保育園・幼稚園が増える | |
| 7 教育や文化の水準があがる | |

区・市への愛着について

問12 あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。
青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。 (それぞれに○は1つ)

青葉区	横浜市
1 感じている	1 感じている
2 やや感じている	2 やや感じている
3 どちらともいえない	3 どちらともいえない
4 あまり感じていない	4 あまり感じていない
5 まったく感じていない	5 まったく感じていない
6 わからない	6 わからない

青葉区の魅力について

問 13 あなたは、青葉区のどのようなところが魅力的と感じていますか。 (〇は3つまで)

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| 1 交通の利便性 | 5 街路樹や公園などの緑 | 9 福祉サービス |
| 2 街並み | 6 田園風景 | 10 文化芸術・音楽活動 |
| 3 学校、道路、病院などの施設 | 7 地域活動 | 11 スポーツ |
| 4 買い物の利便性 | 8 レストランなどの充実 | |

問 14 青葉区の魅力について、より向上させてほしいのはどのような点ですか。 (〇は3つまで)

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| 1 交通の利便性 | 5 街路樹や公園などの緑 | 9 福祉サービス |
| 2 街並み | 6 田園風景 | 10 文化芸術・音楽活動 |
| 3 学校、道路、病院などの施設 | 7 地域活動 | 11 スポーツ |
| 4 買い物の利便性 | 8 レストランなどの充実 | |

青葉区では、平成 29 年春に開催される「全国都市緑化よこはまフェア」に合わせて、花と緑に関するさまざまな取組として「フラワーネックレス青葉 2017」を実施します。

問 15 青葉区内にある花と緑に関する場所で、あなたが好きな場所をお書きください。(3つまで)

--

問 16 まちのどのようなところで、花や緑が増えてほしいですか。 (〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|-------|--------------------|
| 1 公園 | 4 駅 | 7 生活道路（民家の庭先なども含む） |
| 2 道路（歩道） | 5 商店街 | 8 その他（ ） |
| 3 公共施設 | 6 学校 | |

問 17 あなたは、花に関する活動（公園愛護会等）に参加していますか。または、ご自宅で花を育てていますか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 活動に参加している | 3 両方行っている |
| 2 自宅で花を育てている | 4 どちらも行っていない |

問 17 で「2 自宅で育てている」「4 どちらも行っていない」と回答された方へ

問 18 どのようになれば花に関する活動へ参加したいと思いませんか。 (〇はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1 地域の掲示板などにお知らせが載っている |
| 2 区の広報紙やホームページに掲載されている |
| 3 自治会・町内会など、地域のつながりを通じて誘いがある |
| 4 家族や友人、知り合い等と一緒に参加できる |
| 5 子どもと一緒に参加できるイベントなどがある |
| 6 講習があるなど、知識・情報が得られる活動内容である |
| 7 体験会など、初めての人が参加しやすい機会がある |
| 8 経済的な支援（交通費の実費支給など）がある |

防災について

熊本県熊本地方を震源とした大きな地震により、多大な被害が発生しています。災害が起きた時に、少しでも被害を軽減するためには、日頃からの減災行動が非常に重要です。

問 19 地震対策としてご自宅でどのような安全対策を行っていますか。 (〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1 大きな家具をしっかり壁に固定している |
| 2 壁に固定できない家具を粘着マット等で固定している |
| 3 寝室に大きな家具を置かない |
| 4 ガラスフィルム等による飛散防止を行っている |
| 5 何もしていない |

問 20 ご自宅での災害に対する備蓄状況について、詳しくお聞きします。

問 20-1 何日分の食料・水を備蓄していますか。(日常的な買い置きも含む) (○は1つだけ)

1 1週間分以上	3 3日分	5 備蓄していない
2 4～6日分	4 1～2日分	

問 20-2 どのような備蓄をしていますか。(○はいくつでも)

1 水・食料	7 ラップ	13 携帯ラジオ
2 トイレパック	8 救急セット	14 予備電池(バッテリー)
3 トイレトーパー	9 洗面用具	15 ポリ袋
4 タオル	10 運動靴	16 軍手
5 ティッシュペーパー	11 携帯電話充電器	17 その他
6 マスク	12 懐中電灯	()

問 21 災害について、家族とどのような話し合いをしていますか。(○はいくつでも)

1 家族の集合場所を決めている
2 家族間の連絡方法を決めている
3 通勤・通学途中の避難場所を確認している
4 幼稚園や小学校等と児童の引き取り方法等を確認している
5 特に何も話していない

問 22 災害時にどのような手段で情報を収集しますか。(○はいくつでも)

1 テレビ	3 インターネット	5 横浜市防災情報 Eメール
2 ラジオ	4 携帯電話・スマートフォン	6 その他()

問 23 ご自分の地域防災拠点、広域避難場所、災害時地域定点診療拠点について把握していますか。

【地域防災拠点】
 身近な市立小・中学校を地域防災拠点に指定し、避難生活場所、地域への情報発信場所、住民による救護・救出活動の支援、備蓄の機能を有し、防災備蓄庫を備えています。

【広域避難場所】
 地震に伴う大火災が発生し、炎上拡大した場合、その輻射熱や煙から生命、身体財産を守るために避難する場所

【災害時地域定点診療拠点(青葉区独自の制度)】
 青葉区内で震度6弱以上の地震が発生した際に、医療関係団体の協力を得て、医師等が特定の地域防災拠点に集まり、主に軽症者の診療を行う拠点

(項目ごとに○は1つ)

	知っており、 場所も分かる	知っていたが、 場所が分からない	知らない
①地域防災拠点	1	2	3
②広域避難場所	1	2	3
③災害時地域定点診療拠点	1	2	3

問 24 防災対策に関して、普段からのご近所の付き合いの中で、取組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

1 日頃から相談や助け合いができています	3 自治会・町内会等の防災訓練へ参加している
2 避難時に手助けが必要になりそうな人を把握している	4 何もしていない

子ども・子育て支援について

青葉区では、未来をつくる子ども・青少年が地域に見守られながら成長できるまちづくりを目指し、様々な子育て支援に取り組んでいます。

※お子さんをお持ちの方だけではなく、全ての方に伺います。

問 25 未就学児や小学生のお子さんをお持ちの家庭にはどのような支援が必要ですか。

(項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに○は3つまで)	未就学児	小学生
① 親子で遊びや学びができる場所	1	1
② 子育ての相談や情報収集ができる場所	2	2
③ 買い物などの際に、一時的に子どもを預けられる施設	3	3
④ 駅に近い保育園	4	
⑤ 夕方まで預かってくれる幼稚園	5	
⑥ 年少クラスに入る前の子どもを預かってくれる幼稚園	6	
⑦ 放課後の児童の居場所		7
⑧ 地域などで子育て支援活動に携わる人たちの手助け	8	8
⑨ 子育てに要する費用などへの経済的な支援	9	9
⑩ その他 ()	10	10
⑪ 特に必要な支援はない	11	11

問 26 地域の子育て支援の拠点となる施設には、どのような機能があるとよいですか。

(項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに○は3つまで)	未就学児	小学生
① 親子で遊びや学びができる	1	1
② 子育ての相談や情報収集ができる	2	2
③ 買い物などの際に、一時的に子どもを預けることができる	3	3
④ 子どもが病気でも、一時的に子どもを預けることができる	4	4
⑤ 学習の支援ができる	5	5
⑥ 食事の提供ができる	6	6
⑦ 多世代の交流ができる	7	7
⑧ その他 ()	8	8

問 27 未就学児や小学生を育てるため、特に必要だと思う情報はなんですか。

(項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに○は3つまで)	未就学児	小学生
① 親子で遊べる場所	1	1
② 相談をできる場所	2	2
③ 子育てサークル	3	3
④ 保育園・幼稚園・小学校	4	4
⑤ 民間の幼児教室	5	
⑥ 放課後の居場所(放課後キッズクラブなど)		6
⑦ 栄養、運動、しつけ、発達などの子育ての正しい知識	7	7
⑧ 小児科などの医療機関	8	8
⑨ 親子で参加できる講座やイベント	9	9
⑩ その他 ()	10	10

問 28 未就学児、小学生が健やかに成長するために、地域が担うべき役割はなんですか。

(項目ごとに“未就学児”、“小学生”それぞれに○は3つまで)	未就学児	小学生
① 子どもや親が気軽に立ち寄れる場づくり	1	1
② 子どもたちのマナーやモラルの育成	2	2
③ 安全パトロールや見守り	3	3
④ 予習・復習や受験のための学習支援	4	4
⑤ ボランティアや地域活動への参加の機会づくり	5	5
⑥ 地域の歴史や伝統文化の伝承	6	6
⑦ こども食堂など、居場所や食事の提供	7	7
⑧ 多世代が交流できる場づくり	8	8
⑨ その他()	9	9
⑩ 特に担う役割はない	10	10

問 29 この項目では、中学生から 30 歳までを青少年と考えます。青少年や、青少年をお持ちの家庭にはどのような支援が必要ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------|----------------|
| 1 学習の支援 | 5 気の合う人と交流できる場 |
| 2 就労の支援 | 6 悩みを気軽に相談できる場 |
| 3 情報の提供 | 7 その他() |
| 4 活動の場 | 8 特に必要な支援はない |

問 29 で「1 学習の支援」と回答された方へ

→ 問 29-1 青少年にとってどのような学習支援があるとよいですか。(○は3つまで)

- | | | |
|-------------|---------------|------------|
| 1 学校の補習 | 5 健康づくり | 9 地域コミュニティ |
| 2 キャリア学習 | 6 高齢社会 | 10 国際交流 |
| 3 地域文化・伝統芸能 | 7 子育て支援 | 11 メディア技術 |
| 4 防災・安全 | 8 選挙・税など国の仕組み | 12 その他() |

問 29 で「2 就労の支援」と回答された方へ

→ 問 29-2 青少年にとってどのような就労支援があるとよいですか。(○は3つまで)

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| 1 職業体験(インターンシップ) | 4 面接対策 | 7 その他() |
| 2 資格取得支援 | 5 就職後のアフターケア | |
| 3 起業支援 | 6 職業生活に関するアドバイザー | |

問 29 で「3 情報の提供」と回答された方へ

→ 問 29-3 青少年にとってどのような情報があるとよいですか。(○は3つまで)

- | | | |
|-----------------|------------|-------------|
| 1 気の合う友達の見つけ方 | 4 悩みの解決法 | 7 まちの面白スポット |
| 2 メディア技術の上手な活用法 | 5 就労に関する情報 | 8 その他() |
| 3 地域活動の内容、募集情報 | 6 学習に関する情報 | |

問 29 で「4 活動の場」と回答された方へ

→ 問 29-4 青少年にとってどのような活動の場があるとよいですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1 文化・スポーツ関係 | 5 自分たちで企画段階から参加できるイベント |
| 2 ゲーム・趣味関係 | 6 日頃の活動を発表できる場(ハンド演奏・ダンス・アート等) |
| 3 ボランティア活動の発表 | 7 チャリティバザー |
| 4 学習・知識を高められる場 | 8 その他() |

問 30 青少年が健やかに成長するために、地域が担うべき役割はなんですか。 (〇は3つまで)

	青少年
① 青少年のマナーやモラルの育成	1
② 安全パトロールや見守り	2
③ ボランティアや地域活動への参加の機会づくり	3
④ 地域の歴史や伝統文化の伝承	4
⑤ 居場所や食事の提供を通じたふれあいづくり	5
⑥ 多世代が交流できる場づくり	6
⑦ いじめや非行の防止	7
⑧ 不登校やひきこもりに対する支援	8
⑨ その他 ()	9
⑩ 特に担う役割はない	10

広報について

青葉区では、テレビ番組とラジオ番組を制作しています。テレビ番組は、平成 28 年 4 月から内容をリニューアルして、青葉区の魅力あふれるスポットを紹介しています。

テレビ「あおバリューTV from 丘の横浜」

ケーブルテレビ イッツコム 11ch 火曜 21 時 30 分～21 時 40 分

土曜 16 時 10 分～16 時 20 分

ジェイコム 11ch 月曜・火曜 12 時 15 分～12 時 25 分

青葉区ホームページ、インターネット動画サイトでも視聴可能

ラジオ「あおバリューRadio」

FM サルース 84.1MHz 月曜～金曜 11 時～11 時 20 分 (生放送)

18 時 30 分～18 時 50 分 (再放送)

土曜・日曜 9 時～9 時 30 分 (平日のダイジェスト)

インターネットラジオでも聴取可能

問 31 あなたは青葉区広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」と、青葉区広報ラジオ番組「あおバリューRadio」を視聴したことがありますか。 (〇は1つだけ)

- 1 テレビ番組、ラジオ番組とも、視聴したことがある
- 2 テレビ番組は見たことがある
- 3 ラジオ番組は聴いたことがある

問 32 へ

- 4 テレビ番組、ラジオ番組とも、視聴したことがない

問 31 で「4 テレビ番組、ラジオ番組とも、視聴したことがない」と回答された方へ

問 31-1 視聴したことがない理由は何ですか。

(〇は1つだけ)

- 1 知らなかった・気づかなかった
- 2 時間がない
- 3 視聴環境 (ケーブルテレビ、ラジオ、インターネット等) が整っていない
- 4 必要な情報は他の手段で得ている
- 5 区の情報に関心がない
- 6 その他 ()

問 32 青葉区の広報番組で、どのようなテーマを視聴したいですか。 (○は3つまで)

- | | | |
|------------|-------------|----------------|
| 1 区政全般 | 5 環境・エコ | 9 区内のグルメ情報 |
| 2 健康・福祉・介護 | 6 文化芸術・スポーツ | 10 区内のショッピング情報 |
| 3 子育て・青少年 | 7 イベント情報 | 11 公園・緑地・自然など |
| 4 防災・防犯 | 8 青葉区の魅力 | 12 その他 () |

読書推進について

問 33 読み終わった本はどのように手放していますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1 「あおば区民文庫（旧あおばリユース文庫）」でリユースしている | |
| 2 友人や知人に譲っている | 4 廃棄している |
| 3 リサイクル店に持込んでいる | 5 手放さない |

問 34 「あおば区民文庫ボックス」を知っていますか。また、リユースのため本を「あおば区民文庫ボックス」に出してみたいと思いますか。

【あおば区民文庫ボックス】
(旧「あおばリユース文庫ボックス」)

区役所1階に設置したボックスに本を投函するだけで、読み終わった本や誰かに読んでもらいたい本を気軽にリユースできます。読書推進や資源リユースの推進に役立っています。是非、ご利用ください。



(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1 既に本を出したことがある | } 問34-2へ |
| 2 知っていた。今後、本を出してみたい | |
| 3 知らなかったが、今後、本を出してみたい | |
| 4 知っていたが、本を出す予定はない | |
| 5 知らなかった。本を出す予定もない | |

問 34 で「4 知っていたが、本を出す予定はない」「5 知らなかった。本を出す予定もない」と回答された方へ

問 34-1 「あおば区民文庫ボックス」を利用されない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1 近くに「あおば区民文庫ボックス」がないので利用できない |
| 2 他の方法でリユースしている |
| 3 図書館を利用しているので、出す本がない |
| 4 本を購入しない(電子書籍の利用を含む)ので、出す本がない |
| 5 その他 () |

問 34-2 「あおば区民文庫ボックス」が多くの方に利用されるために、どのようなことが必要だと思えますか。自由にご記入ください。

社会貢献活動について

問 35 あなたの経験を生かして、地域で次のような社会貢献活動に参加していますか。参加していない、知らないという場合、今後参加したいと思いますか。 (項目ごとに○は1つ)

※“参加希望”は、“参加実績”で「知っているが、参加していない」「知らない」を回答された場合、お答えください。

	参加実績			参加希望 (※参加実績で「参加している」以外を選んだ場合)		
	参加済み	知っているが、参加していない	知らない	参加したいと思う	参加したくない	わからない
(記入例) お祭り・運動会等の地域住民交流の活動	1	②	3	④	5	6
① お祭り・運動会等の地域住民交流の活動	1	2	3	4	5	6
② 趣味の活動	1	2	3	4	5	6
③ 健康・スポーツの活動	1	2	3	4	5	6
④ 子育てを支援する活動	1	2	3	4	5	6
⑤ 小中学生の居場所づくり	1	2	3	4	5	6
⑥ 子どもの学習支援	1	2	3	4	5	6
⑦ 貧困など、困難を抱える子どもの支援	1	2	3	4	5	6
⑧ 高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6
⑨ 日常生活での住民の支え合い	1	2	3	4	5	6
⑩ 障害がある人との交流の活動	1	2	3	4	5	6
⑪ ボランティア育成に関わる活動(ボランティア講座等)	1	2	3	4	5	6
⑫ 災害に備えた助け合いの活動	1	2	3	4	5	6

↓
問 36 へ

↓
問 35-1 へ

問 35 でいずれかの項目について、「4 参加したいと思う」「5 参加したいと思わない」と回答された方へ

問 35-1 参加していないのはどのような理由からですか。 (〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 申込や問合せの窓口など、参加の方法が分からない |
| 2 どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない |
| 3 自分の住む地域で行われていない |
| 4 活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない |
| 5 子ども連れで参加できる活動がない、または子どもを預ける先がない |
| 6 交通費など、活動にかかる費用を負担できない |
| 7 活動に見合う報酬が得られない |
| 8 活動の体験の機会などがなく、参加しにくい |
| 9 体力的に参加する自信がない |
| 10 興味がない |
| 11 その他 () |

地域の福祉保健活動について

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指す、「青葉かがやく生き生きプラン（青葉区地域福祉保健計画）」について、平成28年4月に第3期計画を新たに策定しました。

問 36 あなたは近所の困っている人にどのような手助けができると思いますか。
また、少し困ったことがあった場合、ご近所から手助けしてもらいたいことはありますか。
 (〇はいくつでも)

	手助けできること	手助けしてほしいこと
① 安否確認の声掛け	1	1
② ちょっとした買い物やゴミ出し	2	2
③ 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	3	3
④ ちょっとした力仕事	4	4
⑤ 通院の送迎や外出の付き添い	5	5
⑥ 話し相手や相談相手	6	6
⑦ 気軽に行かれる自由な居場所の提供	7	7
⑧ 食事の提供	8	8
⑨ 災害時の避難の手助け	9	9
⑩ 急に具合が悪くなった時の手助け	10	10
⑪ その他 ()	11	
⑫ その他 ()		12

問 36-1 手助けを受ける場合、どのような方から受けたいですか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1 同じ町内会など顔見知りの人 | 5 青葉区内の企業等 |
| 2 同じ連合町内会など地元の人 | 6 青葉区外の企業等 |
| 3 青葉区内のボランティアやNPO法人 | |
| 4 青葉区外のボランティアやNPO法人 | |

健康について

問 37 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。

(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 健康である | 3 どちらかといえば健康ではない |
| 2 どちらかといえば健康である | 4 健康ではない |

問 38 あなたはご自身の健康のためにどのようなことに気をつけていますか。

※印の質問は、20歳以上の方のみお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1 なるべく体を動かしたり、運動したりする | 7 健康や病気に関するテレビ・新聞を見て、知識を身につける |
| 2 食事・睡眠に気をつける | 8 ※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした |
| 3 休養や睡眠を十分にとる | 9 ※お酒を飲みすぎない |
| 4 日頃から体重や血圧などのチェックをする | 10 その他 |
| 5 定期的に健康診断を受ける | () |
| 6 ストレスの解消を心がける | |

問 39 あなたは1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 週2回以上 | 4 1か月に1回程度 |
| 2 週1回程度 | 5 行っていない |
| 3 2週間に1回程度 | |

問 39で「1」から「4」に回答された方へ

→ 問 39-1 どのような運動を行っていますか。

(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|-----------|--------|
| 1 ウォーキング(散歩) | 4 水泳 | } 問40へ |
| 2 ランニング | 5 スポーツクラブ | |
| 3 体操 | 6 その他() | |

問 39-1で「1 ウォーキング(散歩)」に回答された方へ

→ 問 39-2 1日にどれくらいウォーキングしていますか。お出かけ(通勤・通学・買い物・散歩等)で歩いた時間も含めてお答えください。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|--------------|---------|
| 1 30分未満 | 2 30分以上60分未満 | 3 60分以上 |
|---------|--------------|---------|

問 39で「5 行っていない」に回答された方へ

→ 問 39-3 運動を行っていない理由をお聞かせください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 時間がない | 3 一人では参加しにくい |
| 2 施設が近くにない | 4 その他() |

問 40 横浜市よこはまウォーキングポイント事業を知っていますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------|-------------|
| 1 はい | 2 いいえ →問41へ |
|------|-------------|

問 40で「1 はい」に回答された方へ

→ 問 40-1 対象年齢の拡大(40歳以上から18歳以上に)や事業所単位の参加ができることになったことを知っていますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

こどもは成長のため、おとなは健康を保つために、栄養バランスのよい食事をとることが大切です。

主な栄養素の種類 ①炭水化物 ②脂質 ③たんぱく質 ④ミネラル ⑤ビタミン

①は主に主食、②・③は主に主菜、④・⑤は主に副菜に含まれます。

問 41 あなたは野菜たっぷり（350g/日）の食事を心がけていますか。 (○は1つだけ)

- 1 はい 2 いいえ

問 42 あなたは塩分控えめ（8g/日）の食事を心がけていますか。 (○は1つだけ)

- 1 はい 2 いいえ

問 43 お口の健康について伺います。あなたは定期的に歯科医を受診するなどにより、歯や歯肉のケアや、検診を行っていますか。 (○は1つだけ)

- 1 はい 2 いいえ

問 44 横浜市では満40歳、50歳、60歳、70歳の人を対象に対象医療機関で歯周疾患検診を行っています。あなたは横浜市の歯周疾患検診を知っていますか。 (○は1つだけ)

- 1 受診したことがある 3 知らない
2 知っているが、受診したことがない

問 45 歯周病は「歯」だけの問題ではなく、全身の様々な病気に影響を及ぼします。あなたは歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関連があることを知っていますか。 (○は1つだけ)

- 1 はい 2 いいえ

次の項目は、20歳以上の方のみお答えください。

問 46 あなたは、タバコを吸っていますか。 (○は1つだけ)

- 1 吸っている 2 以前吸っていたがやめた 3 吸ったことはない

介護予防について

問 47 あなたは、区役所や地域ケアプラザ（包括支援センター）が、介護予防（寝たきりを予防し、いつまでも元気であるための健康づくり）の講座やプログラムを開催していることを知っていますか。 (○は1つだけ)

- 1 知っていた。参加したことがある
2 知っていたが、参加したことはない
3 知らなかった



あと少しです……………

【あ】	1 青葉台一丁目～二丁目	7 美しが丘四丁目～五丁目	13 荇田北一丁目～三丁目
	2 あかね台一丁目～二丁目	8 美しが丘西一丁目～二丁目	14 荇田西一丁目～五丁目
	3 あざみ野一丁目～四丁目	9 美しが丘西三丁目	15 榎が丘
	4 あざみ野南一丁目～四丁目	10 梅が丘	16 大場町
	5 市ケ尾町	11 荇子田一丁目～三丁目	17 恩田町
	6 美しが丘一丁目～三丁目	12 荇田町	
【か】	18 柿の木台	20 上谷本町	22 鉄町
	19 桂台一丁目～二丁目	21 鴨志田町	23 黒須田
【さ】	24 桜台	27 下谷本町	30 すずき野一丁目～三丁目
	25 さつきが丘	28 しらとり台	31 すみよし台
	26 寺家町	29 新石川一丁目～四丁目	
【た】	32 たちばな台一丁目～二丁目	34 千草台	
	33 田奈町	35 つつじが丘	
【な】	36 奈良町	37 奈良一丁目～五丁目	38 成合町
【は】	39 藤が丘一丁目～二丁目		
【ま】	40 松風台	43 緑山	46 もみの木台
	41 みすすが丘	44 もえぎ野	
	42 みたけ台	45 元石川町	
【わ】	47 若草台		

区政について

青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
 お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、7月29日（金）までにご投函ください。



青葉区ホームページ

平成 28 年度青葉区運営方針 <http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/20160509095825.html>

青葉区区民意識調査 <http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/research.html>

平成28年度 青葉区区民意識調査 調査結果 報告書 詳細版

発行日 平成28年12月

発行 青葉区 総務部 区政推進課 企画調整係

〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町31番地4

TEL 045 (978) 2216

FAX 045 (978) 2410